

磐田市総合計画後期計画策定のための基礎調査

磐田市市民意識調査 報告書

平成 23 年 3 月

磐 田 市

目 次

調査の概要	1
1 調査目的	2
2 調査項目	2
3 調査方法	2
4 回収結果	2
5 調査報告書の見方	3
6 回答者の標本構成（問1～問7）	4
7 有効回答者と住民基本台帳に基づく人口の比較	6
調査結果の概要	7
調査結果	17
1 市の取組みについて	
問8 市政全般への満足度	18
問9 市役所の仕事ぶりへの満足度	20
問10 市役所の仕事を改善・改革すべき理由	22
問11 市の取組み（41施策）に対する現在の満足度と今後の重要性	24
(1) 満足度・重要度による分析（市全体）	24
(2) 満足度・重要度の分布状況による分析（市全体）	26
(3) 要望度による分析（市全体）	28
(4) 基本目標別の分析	30
(5) 地区別の分析	44
問12 特に重要な取り組みベスト5	74
問13 特に優先すべき取り組みベスト3	84
2 まちへの思いについて	
問14 市への愛着	88
問15 住みやすさ	90
問16 今後の居留意向	92
問17 転出したい理由	94
問18 市の魅力的な資源	97
問19 市のシンボル	100
問20 市の現在のイメージ、今後期待するイメージ	101
問21 市の良いところ(好きなどころ)、良くないところ(嫌いなどころ)	104

3	まちづくりについて	
	問22 魅力あるまちづくりのための優先施策	106
	問23 将来の土地利用に関する優先施策	109
4	産業（商業・工業・農林水産業）について	
	問24 産業の活性化のための優先施策	112
5	環境について	
	問25 地球環境を守るための優先施策	115
6	公共交通について	
	問26 今後の自主運行バスのあり方	118
7	コミュニティについて	
	問27 地域活動への参加状況	120
	問28 地域活動をより活発にするための優先施策	123
8	福祉について	
	問29 住み慣れた地域で安心して暮らすための優先施策	126
	問30 本格的な高齢社会を迎えるにあたっての優先施策	129
9	子育て・教育について	
	問31 子どもを生み育てるための優先施策	132
	問32 子どもの教育を充実させるための優先施策	135
10	生涯学習・スポーツ振興について	
	問33 生涯学習・スポーツ振興のための優先施策	138
11	広報広聴について	
	問34 市政に関する情報の入手方法	141
	問35 市役所から入手したい情報	144
	問36 磐田市の魅力を全国に発信するための優先施策	147
12	協働のまちづくり	
	問37 協働のまちづくりの推進	150
	問38 協働の推進に必要なこと	152
	問39 人の役に立ちたいと思うか	154
13	行政運営について	
	問40 今後の行政サービスと市民負担のあり方	156
	問41 行財政改革のため、実施すべきこと	158
14	磐田市のまちづくりへの自由意見（問42）	161
	参考資料	199
1	単純集計表	200
2	調査票	215

このページは、白紙です。

I 調査の概要

- 1 調査目的
- 2 調査項目
- 3 調査方法
- 4 回収結果
- 5 調査報告書の見方
- 6 回答者の標本構成（問1～問7）
- 7 有効回答者と住民基本台帳に基づく人口の比較

1 調査目的

磐田市では、平成 18 年度に策定した平成 28 年度までの今後の将来像を示す総合計画のうち、前期基本計画が平成 23 年度で満了するため、現在、「後期基本計画」（計画期間：平成 24 年度～平成 28 年度）を策定している。

今回の調査は、市民のまちづくりに対する現状や要望等を把握し、計画づくりに活用することを目的に実施したものである。

2 調査項目

- ・回答者について
- ・市の取り組みについて
- ・まちへの思いについて
- ・まちづくりについて
- ・産業（商業・工業・農林水産業）について
- ・環境について
- ・公共交通について
- ・コミュニティについて
- ・福祉について
- ・子育て・教育について
- ・生涯学習・スポーツ振興について
- ・広報・広聴について
- ・協働のまちづくりについて
- ・行政運営について
- ・自由意見 概要版への記載なし

3 調査方法

- ・調査対象：磐田市内在住の 20 歳以上の市民 3,000 人
- ・抽出方法：住民基本台帳に基づく無作為抽出
- ・実施方法：往復郵送（対象者に調査票を郵送し、記入後返送してもらい回収）
- ・調査期間：平成 23 年 1 月 12 日から平成 23 年 1 月 31 日まで

4 回収結果

- ・有効回収数 1,856 票 ・回収率 61.8%

5 調査報告書の見方

(1) 標本誤差

アンケート調査を行なう場合、一般的にその母集団が2万人以上の集団であるとき、2,000人程度を対象とすれば母集団全体の意見を反映していると考えられている。今回の調査では、母集団が14万人以上であるため、対象者数3,000人、回収数1,856票は、調査結果を見る上で、統計上有効な数値であると考えられる。

ただし、標本を無作為に抽出した世論調査の統計数値には誤差があり、この調査がどの程度の精度を持った回答結果であるのかを示す指標として「標本誤差」があり、それは次の数式によって算出される。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \sqrt{\frac{n - N}{n - 1} \times \frac{P(1 - P)}{N}}$$

n = 母集団数
 N = 比率算出の基数 (サンプル数)
 P = 回答比率

上記の数式を用いると、この調査の標本誤差は、下表「標本誤差早見表」のとおりとなる。

この表の見方は、例えば、「ある設問の回答者数が1,856人あり、その設問中の選択肢の回答比率が90%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±1.36%以内(88.64%～91.36%)である」とみることができる。

(標本誤差早見表)

回答比率 回答者数	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,856人	±1.36%	±1.81%	±2.07%	±2.21%	±2.26%
1,500人	±1.51%	±2.01%	±2.31%	±2.47%	±2.52%
1,000人	±1.85%	±2.47%	±2.83%	±3.03%	±3.09%
500人	±2.62%	±3.50%	±4.01%	±4.29%	±4.37%
250人	±3.72%	±4.95%	±5.68%	±6.07%	±6.19%

(2) 凡例

- ・ 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがあります。
- ・ 基数となる実数はNとして掲載し、各グラフの比率はNを母数とした割合を示しています。
- ・ 一部のグラフについて、クロス集計をする上で「無回答」を省略しているものがあります。
- ・ 1人の回答者が複数回答する設問では「複数回答」と表示しています。この場合、その比率の合計は100.0%を上回ることがある。

6 回答者の標本構成（問1～問7）

表中、上段は「件数」、下段は「割合(%)」を示す。

問1 性別（N=1,856）

性別は、「女性」の方が多く、「男性」より約8%多くなっている。

男性	女性	無回答
850	1,000	6
45.8	53.9	0.3

問2 年代（N=1,856）

年齢は、「60～69歳」が最多で24.3%、次いで「50～59歳」20.4%、「30～39歳」17.6%となっている。

20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 歳 以上	無 回 答
176	327	320	378	451	201	3
9.5	17.6	17.2	20.4	24.3	10.8	0.2

問3 職業（N=1,856）

職業は、「勤め人」が最多で28.5%、次いで「無職」23.0%、「専業主婦(夫)」14.4%、「パート・アルバイト」13.5%となっている。

勤 め 人	員 会 社 ・ 団 体 の 役 員	業 農 林 漁 業 の 自 営 業	業 商 ・ 工 ・ サ ー ビ ス 業 等 の 自 営 業	職 業 職 業	自 由 業 ・ 専 門 的 職 業	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト	専 業 主 婦 (夫)	学 生	無 職	そ の 他	無 回 答
678	39	58	86	39	317	263	23	321	27	5	
36.5	2.1	3.1	4.6	2.1	17.1	14.2	1.2	17.3	1.5	0.3	

問4 通勤・通学先（N=1,856）

通勤・通学先は、「磐田市内(自宅以外)」が最多で36.0%、これに「自宅」10.0%を合わせた46.0%の人が、市内に通勤・通学している。また、磐田市以外では、「浜松市」が13.4%で最多となっている。

自 宅	磐 田 市 (自 宅 以 外)	浜 松 市	袋 井 市	森 町	掛 川 市	そ の 他	通 勤 通 学 し て い な い	無 回 答
186	669	249	102	17	32	67	413	121
10.0	36.0	13.4	5.5	0.9	1.7	3.6	22.3	6.5

問5 家族構成 (N = 1,856)

家族構成は、「二世帯」が51.8%と過半を占め、次いで、「三世帯」20.5%、「一世帯」20.3%となっている。

（ひとり暮らし） 単身	一世帯 （夫婦のみ）	二世帯 （親と子）	三世帯 （親と子と孫）	兄弟姉妹	その他	無回答
88	377	962	381	8	29	11
4.7	20.3	51.8	20.5	0.4	1.6	0.6

問6 居住地区 (N = 1,856)

居住地区は、「豊田地区」が最多で16.8%、次いで、「見付地区」13.8%、「福田地区」及び「竜洋地区」の11.5%となっている。

見付	中泉	今之浦	岩田・大藤・向笠	西貝・御厨・南御厨・田原	天竜・長野・於保	福田	竜洋	豊田	豊岡	無回答
256	170	39	120	196	178	213	213	312	149	10
13.8	9.2	2.1	6.5	10.6	9.6	11.5	11.5	16.8	8.0	0.5

問7 居住年数 (N = 1,856)

居住年数は、全体の4分の3を「20年以上」が占めている。これに次いで、「10年～20年未満」11.4%、「5～10年未満」5.5%となっている。

2年未満	2～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20年以上	無回答
49	90	103	211	1,399	4
2.6	4.8	5.5	11.4	75.4	0.2

7 有効回答者と住民基本台帳に基づく人口（平成 22 年 12 月末現在）の比較

有効回答者数と住民基本台帳に基づく人口（平成 22 年 12 月末現在）を比較すると、以下のとおりとなる。

属性		有効回答者		住民基本台帳に基づく人口 (H22.12 末現在)	
		件数	割合 (%)	20 歳以上人口	割合 (%)
性別	男性	850	45.8	71,164	50.2
	女性	1,000	53.9	70,715	49.8
年代	20 歳代	176	9.5	20,797	14.7
	30 歳代	327	17.6	25,074	17.7
	40 歳代	320	17.2	21,378	15.1
	50 歳代	378	20.4	23,169	16.3
	60 歳台	451	24.3	24,720	17.4
	70 歳以上	201	10.8	26,741	18.8
居住地区	見付	256	13.8	19,699	13.9
	中泉	170	9.2	15,338	10.8
	今之浦	39	2.1	1,699	1.2
	岩田、大藤、向笠	120	6.5	9,195	6.5
	西貝、御厨、南御厨、田原	196	10.6	13,534	9.5
	天竜、長野、於保	178	9.6	15,482	10.9
	福田	213	11.5	16,256	11.5
	竜洋	213	11.5	16,805	11.8
	豊田	312	16.8	24,288	17.1
	豊岡	149	8.0	9,583	6.8
合計		1,856	100.0	141,879	100.0

属性未回答のものがあるため、各所属の合計は有効回答数と一致しないものがある。

II 調査結果の概要

- 1 市の取り組みについて
- 2 まちへの思いについて
- 3 まちづくりについて
- 4 産業（商業・工業・農林水産業）について
- 5 環境について
- 6 公共交通について
- 7 コミュニティについて
- 8 福祉について
- 9 子育て・教育について
- 10 生涯学習・スポーツ振興について
- 11 広報・広聴について
- 12 協働のまちづくりについて
- 13 行政運営について

1 市の取り組みについて（問 8～問 13）

市民の 23%以上が市政全般に「満足」を感じている。

市民の 23.6%が市政全般に対する満足を感じている。一方、19.1%が不満を感じている。

地区別では、磐田 6 地区及び豊田地区の満足度が高くなっているが、一方、豊岡地区の満足度は低く、特に不満の割合が他地区より 10 ポイント以上高くなっている。

現在、市民の 27%が「市役所の仕事ぶりに満足」を感じている。

市民の 27.0%が市役所の仕事ぶりに対して満足を感じている。一方、27.2%が不満（改善・改革すべき）を感じている。

満足度の高い年代は、60 歳台及び 70 歳以上で、一方、50 歳台以下の各年代では、不満の割合が高くなっている。特に 20 歳代の 30%以上が不満を感じている。

不満の主な理由として、「職員にコスト意識がない」「仕事のやり方に柔軟性がない」「利用時間が不便である」「職員の対応や態度が悪い」などが多くなっている。

防災・防犯等「安全・安心なまちづくり」への満足・重要度が総合的に高い。

（具体的な数値データは、7 ページの「基本施策別の満足度・重要度」を参照のこと）

（現在の満足度）

分野別（前期基本計画における基本目標別）にみると、市民の満足度が高い分野は、防災・防犯等「安全・安心なまちづくり」となっている。一方、市民の満足度が低い分野は、市街地整備・土地利用等「住んで良かったと思えるまちづくり」となっている。

具体的な取り組み別（前期基本計画における基本施策別）にみると、市民の満足度ベスト 5 は、「上下水道の整備」、「循環型社会の推進」、「消防・救急体制の充実」、「健康づくりの推進」、「学習機会の充実」となっている。一方、市民の満足度ワースト 5 は、「商業・サービス業の充実」、「雇用環境の充実」、「市街地整備の推進」、「公共交通機関の利用促進」、「観光・交流の振興」となっている。

（現在の重要度）

分野別（前期基本計画における基本目標別）にみると、市民の重要度ベスト 3 は、子育て・福祉・健康等「やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり」、循環型社会・上下水道整備等「環境にやさしいまちづくり」、防災・防犯等「安全・安心なまちづくり」となっている。一方、市民の重要度ワースト 3 は、「計画推進のために」、男女共同参画・文化振興等「豊かな心を育み活躍できるまちづくり」、市街地整備・土地利用等「住んで良かったと思えるまちづくり」となっている。

具体的な取り組み別（前期基本計画における基本施策別）にみると、市民の重要度ベスト 5 は、「地域医療体制の充実」、「高齢者福祉の推進」、「地域防災対策・体制の強化」、「循環型社会の推進」、「地域防犯体制の強化」となっている。一方、市民の重要度ワースト 5 は、「男女共同参画の推進」、「美しい街並みづくり」、「住生活の向上」、「文化の振興と歴史遺産の整備・活用」、「市街地整備の推進」となっている。

(基本施策別の満足度・重要度)

基本目標	基本施策		満足度			重要度		
			指数	順位	平均	指数	順位	平均
1 環境にやさしいまちづくり	1	環境保全の推進	3.15	6	3.13	3.79	21	4.03
	2	省資源・エネルギー対策の充実	2.81	33		3.97	14	
	3	環境教育の推進	3.04	19		3.93	16	
	4	生活環境の向上	3.04	18		4.05	13	
	5	循環型社会の推進	3.35	2		4.22	4	
	6	上下水道の整備	3.36	1		4.18	6	
2 住んで良かったと思えるまちづくり	7	計画的な土地利用の推進	2.81	32	2.88	3.59	28	3.5
	8	市街地整備の推進	2.72	39		3.36	37	
	9	道路網の整備	2.95	27		3.65	24	
	10	緑豊かなまちづくり	3.03	21		3.64	26	
	11	住生活の向上	2.90	30		3.29	39	
	12	美しい街並みづくり	2.87	31		3.27	40	
	13	公共交通機関の利用促進	2.72	38		3.46	32	
3 豊かな心を育み活躍できるまちづくり	14	地域情報化の推進	3.04	17	3.02	3.57	30	3.59
	15	子どもの教育の充実	3.13	9		4.07	12	
	16	健全な青少年育成	2.93	28		3.86	18	
	17	学習機会の充実	3.17	5		3.60	27	
	18	文化の振興と歴史遺産の整備・活用	3.06	16		3.36	38	
	19	スポーツの振興	3.14	8		3.52	31	
4 安全・安心なまちづくり	20	多文化共生と国際交流の推進	2.95	26	3.14	3.44	33	4.03
	21	男女共同参画の推進	2.79	34		3.21	41	
	22	地域防災対策・体制の強化	3.15	7		4.25	3	
	23	地域防犯体制の強化	3.09	12		4.19	5	
	24	交通安全対策の充実	3.12	10		4.10	7	
	25	消防・救急体制の充実	3.31	3		4.08	11	
	26	治山・治水対策の充実	3.10	11		3.88	17	
5 やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり	27	消費生活対策の充実	3.06	15	3.07	3.65	25	4.08
	28	地域福祉システムの充実	3.07	14		3.78	23	
	29	子育て環境の整備	3.01	23		4.10	8	
	30	高齢者福祉の推進	3.00	24		4.33	2	
	31	障害者福祉の推進	3.03	20		4.09	10	
	32	健康づくりの推進	3.23	4		3.80	20	
6 交流と活力のあるまちづくり	33	地域医療体制の充実	3.07	13	2.77	4.43	1	3.74
	34	農林水産業の振興	2.93	29		3.79	22	
	35	商業・サービス業の充実	2.64	41		3.58	29	
	36	工業・新産業の育成・振興	2.79	35		3.85	19	
	37	観光・交流の振興	2.76	37		3.44	34	
計画推進のために	38	雇用環境の充実	2.71	40	2.93	4.10	9	3.6
	39	市民の力を高める	2.99	25		3.41	36	
	40	地域の力を高める	3.02	22		3.42	35	
		41	行政の力を高める	2.78	36	3.95	15	
指数の平均			3.00			3.79		

今後の重要度が高い施策は、市民生活に直結するもの（高齢者福祉、地域医療、子育て、雇用等）

（具体的な数値データは、9ページの「今後の重要度ベスト5、今後の優先度ベスト3」を参照のこと）

（今後の重要度）

分野別（前期基本計画における基本目標別）にみると、今後、特に重要であるものベスト10に、「やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり」関連施策が3つ（高齢者福祉の推進、地域医療体制の充実、子育て環境の整備）入っており、市民の子育て、健康、福祉等に対するニーズの高さが伺える。また、「交流と活力のあるまちづくり」及び「安全・安心なまちづくり」関連施策が2つずつ入っており、市民生活に直接的な影響を与える、雇用、地域経済、防犯・防災体制等に対するニーズも高くなっている。

具体的な取り組み別（前期基本計画における基本施策別）にみると、今後、特に重要なものベスト5は、「高齢者福祉の推進」、「地域医療体制の充実」、「子育て環境の整備」、「雇用環境の充実」、「子どもの教育の充実」となっている。

市民生活に直結する施策(高齢者福祉、地域医療、子育て、雇用等)は、今後の優先度も高い。

（具体的な数値データは、9ページの「今後の重要度ベスト5、今後の優先度ベスト3」を参照のこと）

（今後の優先度）

分野別（前期基本計画における基本目標別）にみると、今後、特に優先すべきものベスト10に、「やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり」及び「安全・安心なまちづくり」関連施策が3つずつ入っており、市民の健康、福祉、防災、防犯等に対するニーズが高くなっている。また、「交流と活力のあるまちづくり」関連施策が2つ入っており、市民生活に直結する、雇用、地域経済等に対するニーズも高くなっている。

具体的な取り組み別（前期基本計画における基本施策別）にみると、今後、特に優先すべきものベスト3は、「高齢者福祉の推進」、「地域医療体制の充実」、「子育て環境の整備」となっている。

(今後の重要度ベスト5、今後の優先度ベスト3)

	基本施策	問 12 (N = 1,856)			問 13 (N = 1,856)		
		件数	割合	順位	件数	割合	順位
1	環境保全の推進	93	5.0%	25	42	2.3%	28
2	省資源・エネルギー対策の充実	187	10.1%	15	111	6.0%	14
3	環境教育の推進	106	5.7%	23	57	3.1%	24
4	生活環境の向上	154	8.3%	17	76	4.1%	20
5	循環型社会の推進	232	12.5%	9	118	6.4%	13
6	上下水道の整備	186	10.0%	16	123	6.6%	12
7	計画的な土地利用の推進	80	4.3%	28	39	2.1%	29
8	市街地整備の推進	77	4.1%	29	52	2.8%	25
9	道路網の整備	114	6.1%	21	76	4.1%	21
10	緑豊かなまちづくり	111	6.0%	22	52	2.8%	26
11	住生活の向上	56	3.0%	32	27	1.5%	30
12	美しい街並みづくり	39	2.1%	39	12	0.6%	40
13	公共交通機関の利用促進	188	10.1%	14	101	5.4%	17
14	地域情報化の推進	46	2.5%	36	18	1.0%	35
15	子どもの教育の充実	400	21.6%	5	294	15.8%	6
16	健全な青少年育成	154	8.3%	18	90	4.8%	18
17	学習機会の充実	47	2.5%	34	18	1.0%	36
18	文化の振興と歴史遺産の整備・活用	45	2.4%	37	17	0.9%	37
19	スポーツの振興	56	3.0%	33	27	1.5%	31
20	多文化共生と国際交流の推進	47	2.5%	35	19	1.0%	34
21	男女共同参画の推進	28	1.5%	40	10	0.5%	41
22	地域防災対策・体制の強化	369	19.9%	6	256	13.8%	7
23	地域防犯体制の強化	244	13.1%	8	145	7.8%	9
24	交通安全対策の充実	195	10.5%	12	111	6.0%	15
25	消防・救急体制の充実	196	10.6%	11	137	7.4%	10
26	治山・治水対策の充実	96	5.2%	24	72	3.9%	22
27	消費生活対策の充実	45	2.4%	38	17	0.9%	38
28	地域福祉システムの充実	89	4.8%	26	59	3.2%	23
29	子育て環境の整備	437	23.5%	3	381	20.5%	3
30	高齢者福祉の推進	626	33.7%	1	569	30.7%	1
31	障害者福祉の推進	190	10.2%	13	135	7.3%	11
32	健康づくりの推進	87	4.7%	27	46	2.5%	27
33	地域医療体制の充実	520	28.0%	2	481	25.9%	2
34	農林水産業の振興	150	8.1%	19	105	5.7%	16
35	商業・サービス業の充実	141	7.6%	20	77	4.1%	19
36	工業・新産業の育成・振興	210	11.3%	10	146	7.9%	8
37	観光・交流の振興	58	3.1%	31	27	1.5%	32
38	雇用環境の充実	426	23.0%	4	328	17.7%	4
39	市民の力を高める	28	1.5%	41	13	0.7%	39
40	地域の力を高める	67	3.6%	30	27	1.5%	33
41	行政の力を高める	366	19.7%	7	307	16.5%	5
	無回答	425	22.9%		192	10.3%	

2 まちへの思いについて（問 14～問 21）

市民の 70%以上が「磐田市への愛着」を感じている。

市民の 71.4%が磐田市への愛着を感じている。一方、愛着を感じていない人は、10%にも満たない。

福田、竜洋、豊岡の 3 地区は、市全体と比べ、愛着を感じている人が少ないが、それでも、半分以上の人が愛着を感じている。

市民の 70%以上が「住みやすいまち」と思っている。

市民の 70.6%が磐田市を住みやすいと思っている。一方、住みにくいと思う人は、10%にも満たない。

市全体と比べ、福田、竜洋、豊岡の 3 地区は、住みやすいと思う人が少ないが、それでも、半分以上の人が住みやすいと感じている。

市民の 75%以上が「磐田市への定住志向」を示している。

市民の 75.5%が磐田市への定住志向を持っている。一方、転出したい人は 1 割に満たない。

転出したい理由のトップは、同率で、「買い物などの日常生活が不便」及び「交通（通学や通勤など）が不便」となっている。

磐田市の魅力トップは「遠州灘や天竜川などの水資源」

市民の 32.5%が「遠州灘や天竜川などの水資源」を、磐田市の魅力的な資源と考えている。

40 歳代以下のトップは「ジュピロ磐田などのスポーツクラブ」、50 歳代以上のトップは「遠州灘や天竜川などの水資源」となっている。

磐田 6 地区のトップは「ジュピロ磐田などのスポーツクラブ」、福田は「メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品」、竜洋・豊田・豊岡のトップは「遠州灘や天竜川などの水資源」となっており、各地域の特徴が顕著に表れている。

磐田市のシンボルは、やはり「ジュピロ磐田」がトップ

市民の 33.1%が、磐田市のシンボルとして「ジュピロ磐田」を挙げている。次いで、桶ヶ谷沼、旧見付学校などがシンボルとして挙げられている。

市民が期待する磐田市のイメージは「にぎわい」と「元気(力強さ)」

「にぎわい」及び「元気(力強さ)」は、現在と今後期待するイメージの差が最大となっており、市民が期待する今後の磐田市のイメージとして考えられる。

市民は、磐田市の「公共交通機関」を改善して欲しいと思っている

「公共交通機関」は、良いところ（好きなどころ）と良くないところ（嫌いなどころ）の差が最大で、市民が改善の必要性を強く感じている。

「公共交通機関」は、今之浦、岩田・大藤・向笠、西貝・御厨・南御厨・田原、竜洋、豊田、豊岡の6地区で、差が最大となっている。

3 まちづくりについて（問 22～23）

魅力あるまちづくりに最優先すべきことは、「安全と安心なまちづくり」

魅力あるまちづくりのため、市民の45.9%が「事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり」を優先すべきと考えている。また、1.6ポイント差で「誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実」を求める意見も多くなっている。

今後の土地利用におけるポイントは、「自然環境の保全」と「農地の活用」

将来の土地利用に関して、市民の33.9%が「豊かな自然環境の保全」を優先すべきと考えている。次いで、0.4ポイント差の「農地の積極的な活用と生産基盤の整備」となっている。

4 産業（商業・工業・農林水産業）について（問 24）

市民の25%以上が産業活性化に「成長産業(企業)の誘致、雇用対策」が必要と考えている。

市民の約26%が、産業の活性化のために優先すべきこととして、「成長が期待できる産業(企業)の誘致」と「勤労者福祉や雇用対策の充実」を挙げている。これらに続き、市民の21.8%が「商店街の活性化支援」を必要であると考えている。

5 環境について（問 25）

市民の30%以上が、地球環境保全に「クリーンエネルギー、森林保全、ごみ対策」が効果的と考えている。

市民の30%以上が地球環境保全に優先すべきこととして、「クリーンエネルギーの活用・導入支援」「森林保全」「ごみの3R（減量化、資源化、再商品化）」が必要であると考えている。

6 公共交通について（問 26）

市民の60%以上が自主運行バスの廃止意向を示している。

市民の60.1%が自主運行バスの廃止意向を示している。また、自主運行バス廃止への対応策として、「運賃補助」や「財政負担が小さい運行形態」などの導入を求める意見が多くなっている。

7 コミュニティについて（問 27、問 28）

市民の 70%以上が地域活動に参加している。

市民の 70%以上が何らかの形で地域活動に参加している。特に、自治会活動には市民の過半数が参加しており、最も身近な地域活動となっている。

20 歳代及び 30 歳代は、他の世代と比べ地域活動への参加率が低く、市民の 33.9%が、地域活動の活発化に「活動機会の情報提供」が必要と考えている。

8 福祉について（問 29～問 30）

市民の 30%以上が「福祉施設の充実」が必要と考えている。

市民の 33.2%が住み慣れた地域で安心して暮らすため、「高齢者や障害のある方の入所施設の充実」を優先すべきと考えている。

年齢別の傾向として、30 歳代以下は「保育サービスなどの子育て支援の充実」、40 歳代以上は「高齢者や障害のある方の入所施設の充実」を優先すべきとする意見が多くなっている。

市民の 30%以上が「福祉サービスの充実」が必要と考えている。

市民の 33.7%が高齢社会を迎えるにあたり、「在宅・施設福祉サービスの充実」を優先すべきと考えている。

9 子育て・教育について（問 31、問 32）

市民の 45%以上が「保育サービスの充実」を求めている。

市民の 45.2%が子どもを生み育てるため、「乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」を優先すべきと考えている。

市民の約 40%が教育の充実に「教師の指導力向上」が必要と考えている。

市民の 39.4%が子どもの教育を充実させるため、「教師の指導力の向上」が必要と考えている。また、2.7 ポイント差で「子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み」を求める意見も多くなっている。

10 生涯学習・スポーツ振興について（問 33）

市民の 30%以上が「初心者対応の充実」が必要と考えている。

市民の 32.2%が生涯学習・スポーツ振興を充実させるため、「初心者向けの教室・講座・行事の充実」を必要と考えている。また、施設（建物や設備）の利用しやすさを希望する意見も多くなっている。

11 広報・広聴について（問 34～問 36）

市民の 85%以上が「広報いわた」から市政情報を入手している。

市民の 88.1%が市政に関する情報を、「広報いわた」から入手している。広報いわたを含め、自治会を介して配布・回覧される文書から市政情報を入手する市民が依然として多い。

市民の 50%以上が「医療保健情報」を市から入手したいと考えている。

市民の 54.0%が市から入手したい情報として、「医療・保健に関する情報」を挙げている。また、「ごみ収集などの生活情報」「催し物やイベントに関する情報」など、その他の情報についても一定の希望があり、この回答からも市民ニーズが多様化していることが伺える。

市民の約 50%が「積極的な情報発信」による磐田市の PR を求めている。

全国に磐田市の魅力を発信するため、市民の 27.8%が「様々なマスメディアを活用した情報の発信」、21.9%が「ITなど各種ツールを活用した情報発信力の強化」を求めている。

その一方で、「イベント開催」「B級グルメ」「地域ブランド」など、具体的な事業を通じて市の魅力を発信していくことを望む声も多くなっている。

12 協働のまちづくりについて（問 37～問 39）

市民の 55%が「協働のまちづくり」が必要であると認識

協働のまちづくりに対して、市民の 34.3%が「協働はまちづくりには必要だが押し付けにならないよう慎重に進めるべき」、20.7%が「住みよいまちをつくるために協働を積極的に推進、充実していくことが望ましい」と回答しており、市民の 55%が「協働」の必要性を認識していることが伺える。一方、36.3%が「協働の意味や効果、範囲がわかりにくいので、なんともいえない」と回答していることから、今後も協働のまちづくりに関する情報提供が必要である。

市民の 40%以上が協働の推進に「市民の意識改革」が必要と考えている。

市民の 42.2%が協働の推進に必要なものに、「意識変化」を挙げている。また、これに加え、31.0%が「情報提供や参加しやすい仕組み」を求めている。

市民の 50%以上が「人の役に立ちたい」と考えている。

人の役に立ちたいと思うかという設問に対して、市民の 54.5%が「そう思うが、社会貢献活動への参加など、どうしていいかわからない」と回答しており、個人の思いが具体的な活動に発展できていない状況にあることが伺える。

13 行政運営について（問 40、問 41）

市民の 40%以上が行政サービスの水準は「財政状況に応じたものでよい」と考えている。

市民の 44.2%が行政サービスの水準と市民負担のあり方として、「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい」と回答し、身の丈にあった市政運営を求めていることが伺える。

一方、31.5%が「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」と回答し、自分が必要とするサービスに対しては一定の負担増も止むを得ないとする意見も多くなっている。

市民の 30%以上が効率的な行政運営に「組織の簡素・合理化、民間委託」が必要と考えている。

効率的な行政運営のため今後の必要なこととして、市民の 34.9%が「行政組織を簡素・合理化する」、32.4%が「行政と民間の役割を見直し、民間に出来ることは積極的に民間に任せる」と回答し、組織・役割の見直しを求める意見が多くなっている。

また、「予算の重点配分・重点投資」、「内部経費の適正化・削減」といった、市の財政運営に対して効率化を求める意見も多くなっている

Ⅲ 調査結果

- 1 市の取り組みについて
- 2 まちへの思いについて
- 3 まちづくりについて
- 4 産業（商業・工業・農林水産業）について
- 5 環境について
- 6 公共交通について
- 7 コミュニティについて
- 8 福祉について
- 9 子育て・教育について
- 10 生涯学習・スポーツ振興について
- 11 広報・広聴について
- 12 協働のまちづくりについて
- 13 行政運営について
- 14 自由意見

1 市の取り組みについて

問 8 市政全般について、どの程度満足していますか？（1つ選択）

全体

市民の 23.6%が市政全般に満足を感じている。一方、19.1%の人が不満を感じている。

（全体集計）

	件数（件）	割合
満足	63	3.4%
やや満足	375	20.2%
どちらとも言えない	1,003	54.0%
やや不満	272	14.7%
不満	82	4.4%
無回答	61	3.3%
計	1,856	100.0%

性別

男性の 24.7%、女性の 22.6%が市政全般に満足している。一方、男性の 20.6%、女性の 17.8%が不満を感じている。

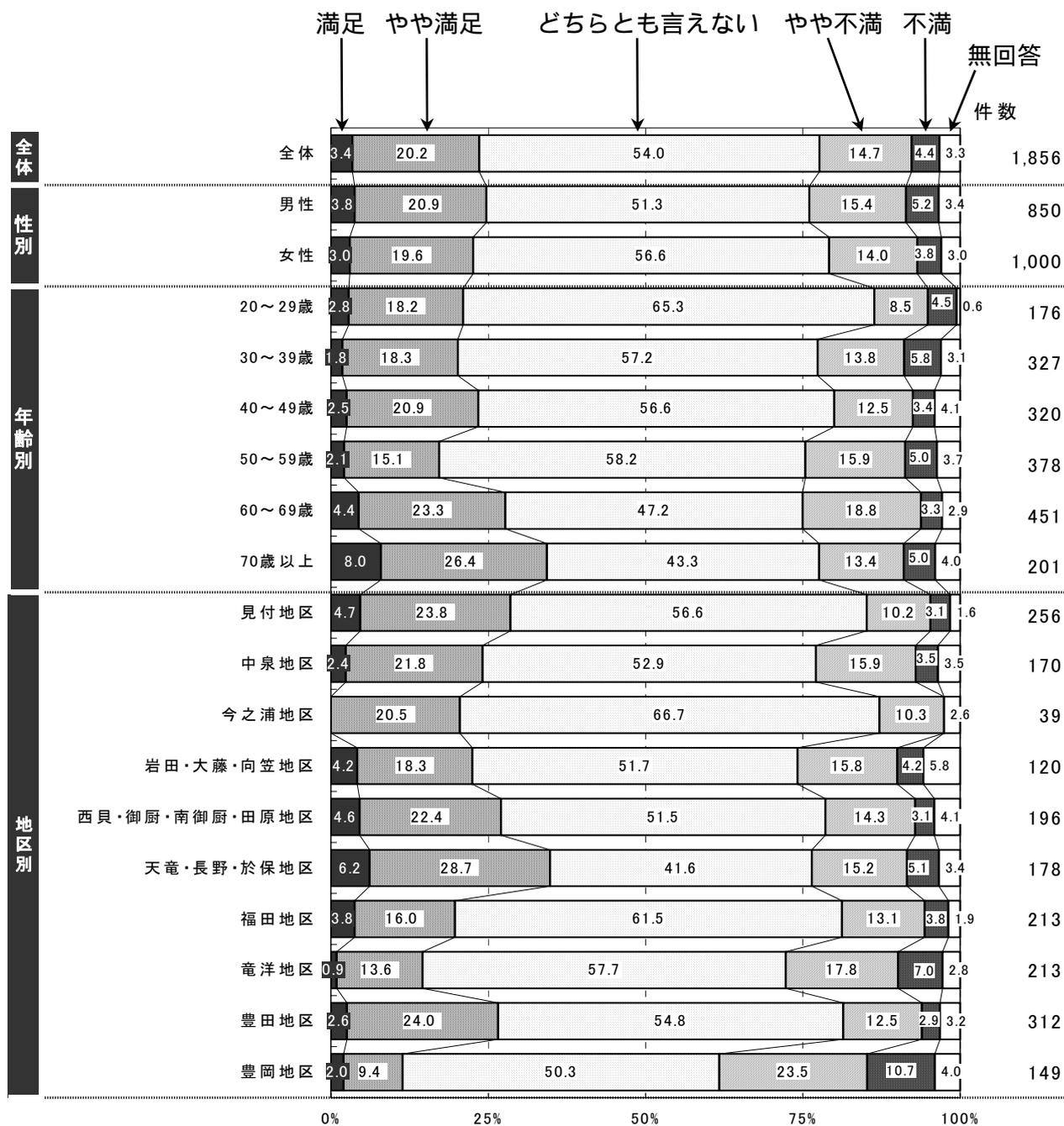
年齢別

70 歳以上及び 60 歳代は、市政全般への満足度が高くなっている。一方、20 歳代及び 40 歳代は、不満を感じている人が多くなっている。

地区別

磐田 6 地区及び豊田地区では、2 割以上の人が市政全般に満足を感じている。一方、竜洋、豊岡では、市政全般に満足を感じている人は 15%に満たない。特に豊岡地区の 34.2%が不満を感じており、他地区と比べ極めて不満度が高くなっている。

(属性別)



問9 市役所の仕事ぶりについて、どの程度満足していますか？（1つ選択）

全体

市全体では、27.0%の人が、市役所の仕事ぶりに満足を感じている。一方、27.2%の人が不満を感じている。

（全体集計）

	件数（件）	割合
満足	92	5.0%
やや満足	409	22.0%
どちらとも言えない	813	43.8%
改善すべき点がある	429	23.1%
思い切った改革をすべきである	76	4.1%
無回答	37	2.0%
計	1,856	100.0%

性別

男性の25.3%、女性の28.3%が市役所の仕事ぶりに満足している。一方、男性の30.3%、女性の24.8%が不満を感じている。

男性は、満足より不満を感じている人が多く、一方、女性は、不満より満足を感じている人が多くなっている。

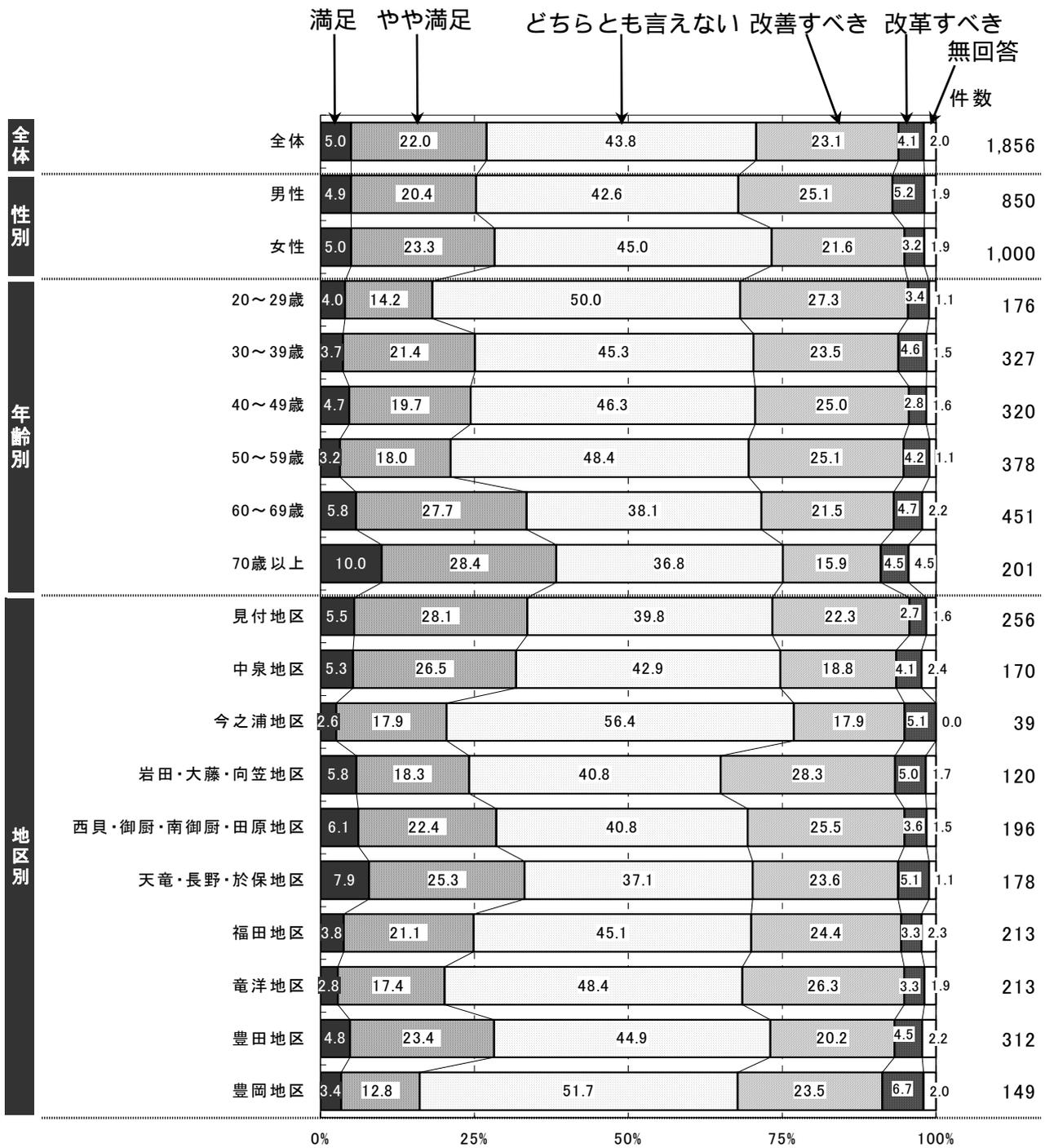
年齢別

70歳以上及び60歳代は、市役所の仕事ぶりへの満足度が高くなっている。しかし、70歳以上を除くすべての年齢層で、不満を感じている人が25%以上となっている。特に20歳代では、不満の割合が30%を超えている。

地区別

見付、中泉、天竜・長野・於保、西貝・御厨・南御厨・田原、豊田の5地区では、市民の4分の1以上が市役所の仕事ぶりに満足を感じている。一方、見付、岩田・大藤・向笠、西貝・御厨・南御厨・田原、天竜・長野・於保、福田、竜洋、豊岡の7地区では、市民の4分の1が不満を感じている。特に豊岡地区では、不満の割合が30%を超えている。

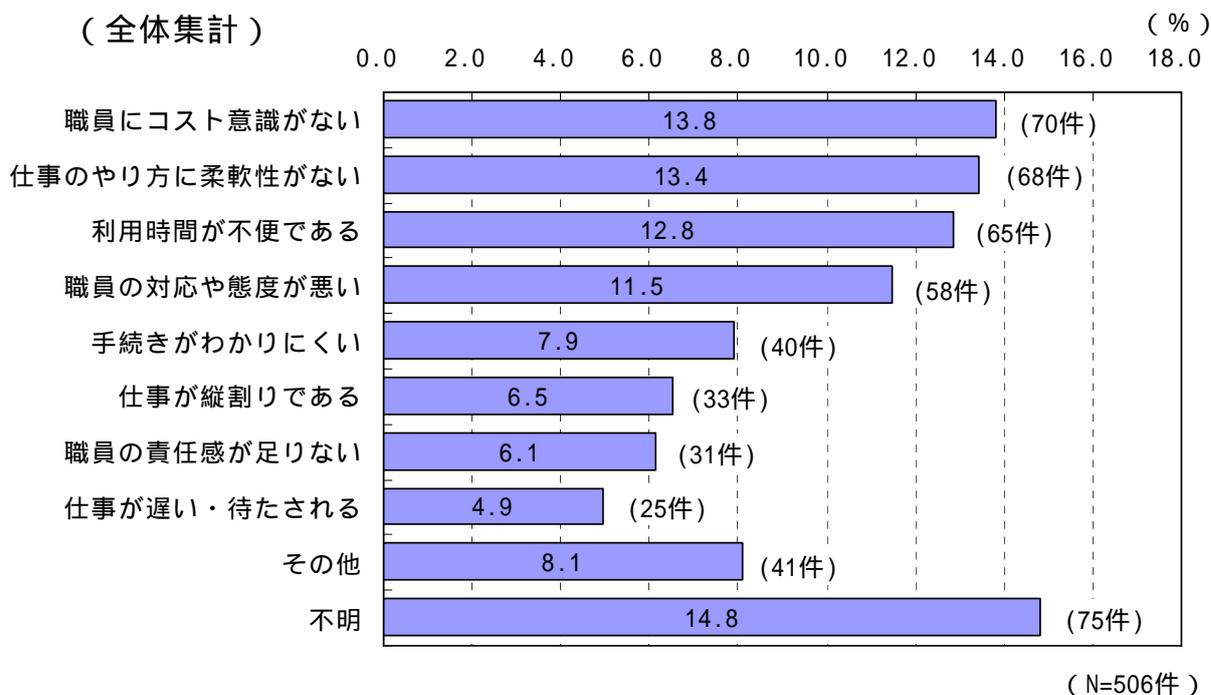
(属性別)



問 10 問 9 で「市役所の仕事を改善・改革すべき」と回答した理由は何ですか？（1つ選択）

全体

市全体では、「職員にコスト意識がない」が最多で 13.8%、次いで、「仕事のやり方に柔軟性がない」13.4%、「利用時間が不便である」12.8%、「職員の対応や態度が悪い」11.5%となっている。



性別

男性では、「職員にコスト意識がない」が 16.7%で最も多いのに対し、女性は「仕事のやり方に柔軟性がない」が 14.5%で最も多くなっている。

年齢別

3つの年齢層（20～29歳が 18.5%、30～39歳が 19.6%、40～49歳が 14.6%）において、「利用時間が不便である」が、最も多くなっている。

50～59歳は「仕事のやり方に柔軟性がない」が最多で 17.1%、60～69歳は「職員にコスト意識がない」が 21.8%、70歳以上では「職員の対応や態度が悪い」が 19.5%となっている。

地区別

市全体と同様に、「職員にコスト意識がない」が4地区（中泉 23.4%、岩田・大藤・向笠 17.5%、天竜・長野・於保 17.6%、豊田 16.9%）で最多となっている。また、「仕事のやり方に柔軟性がない」も4地区（見付 23.4%、西貝・御厨・南御厨・田原 17.5%、福田 15.0%、竜洋 15.9%）で最多となっている。

(性別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	1 職員にコスト意識がない 43件 16.7%	3 利用時間が不便である 33件 12.8%	2 仕事のやり方に柔軟性がない 32件 12.4%	4 職員の対応や態度が悪い 24件 9.3%	7 職員の責任感が足りない 22件 8.5%
女性	2 仕事のやり方に柔軟性がない 36件 14.5%	4 職員の対応や態度が悪い 34件 13.7%	3 利用時間が不便である 32件 12.9%	1 職員にコスト意識がない 27件 10.9%	5 手続きがわかりにくい 20件 8.1%

(年齢別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳	3 利用時間が不便である 10件 18.5%	4 職員の対応や態度が悪い 7件 13.0%	8 仕事が遅い・待たされる 7件 13.0%	5 手続きがわかりにくい 6件 11.1%	2 仕事のやり方に柔軟性がない 4件 7.4%
30～39歳	3 利用時間が不便である 18件 19.6%	4 職員の対応や態度が悪い 16件 17.4%	2 仕事のやり方に柔軟性がない 14件 15.2%	1 職員にコスト意識がない 10件 10.9%	5 手続きがわかりにくい 8件 8.7%
40～49歳	3 利用時間が不便である 13件 14.6%	4 職員の対応や態度が悪い 12件 13.5%	2 仕事のやり方に柔軟性がない 10件 11.2%	1 職員にコスト意識がない 9件 10.1%	5 手続きがわかりにくい 8件 9.0%
50～59歳	2 仕事のやり方に柔軟性がない 19件 17.1%	1 職員にコスト意識がない 16件 14.4%	3 利用時間が不便である 14件 12.6%	5 手続きがわかりにくい 10件 9.0%	4 職員の対応や態度が悪い 6 仕事が縦割りである 8件 7.2%
60～69歳	1 職員にコスト意識がない 26件 21.8%	2 仕事のやり方に柔軟性がない 18件 15.1%	7 職員の責任感が足りない 14件 11.8%	6 仕事が縦割りである 10件 8.4%	3 利用時間が不便である 9件 7.6%
70歳以上	4 職員の対応や態度が悪い 8件 19.5%	1 職員にコスト意識がない 6件 14.6%	5 手続きがわかりにくい 6件 14.6%	6 仕事が縦割りである 4件 9.8%	7 職員の責任感が足りない 4件 9.8%

(地区別：上位5件のみ)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付	2 仕事のやり方に柔軟性がない 15件 23.4%	1 職員にコスト意識がない 11件 17.2%	3 利用時間が不便である 9件 14.1%	4 職員の対応や態度が悪い 7件 10.9%	6 仕事が縦割りである 5件 7.8%
中泉	1 職員にコスト意識がない 7件 17.9%	2 仕事のやり方に柔軟性がない 5件 12.8%	6 仕事が縦割りである 5件 12.8%	3 利用時間が不便である 4 職員の対応や態度が悪い 5 手続きがわかりにくい 4件 10.3%	
今之浦	3 利用時間が不便である 3件 33.3%				
岩田・大藤・向笠	1 職員にコスト意識がない 7件 17.5%	3 利用時間が不便である 4件 10.0%	6 仕事が縦割りである 4件 10.0%	7 職員の責任感が足りない 4件 10.0%	2 仕事のやり方に柔軟性がない 8 仕事が遅い・待たされる 3件 7.5%
西貝・御厨・南御厨・田原	2 仕事のやり方に柔軟性がない 10件 17.5%	5 手続きがわかりにくい 6件 10.5%	1 職員にコスト意識がない 5件 8.8%	7 職員の責任感が足りない 5件 8.8%	3 利用時間が不便である 4 職員の対応や態度が悪い 7 職員の責任感が足りない 4件 7.0%
天竜・長野・於保	1 職員にコスト意識がない 9件 17.6%	4 職員の対応や態度が悪い 9件 17.6%	3 利用時間が不便である 8件 15.7%	2 仕事のやり方に柔軟性がない 5件 9.8%	5 手続きがわかりにくい 7 職員の責任感が足りない 8 仕事が遅い・待たされる 3件 5.9%
福田	2 仕事のやり方に柔軟性がない 9件 15.0%	3 利用時間が不便である 8件 13.3%	4 職員の対応や態度が悪い 8件 13.3%	5 手続きがわかりにくい 5件 8.3%	1 職員にコスト意識がない 6 仕事が縦割りである 8 仕事が遅い・待たされる 4件 6.7%
竜洋	2 仕事のやり方に柔軟性がない 10件 15.9%	4 職員の対応や態度が悪い 10件 15.9%	1 職員にコスト意識がない 9件 14.3%	3 利用時間が不便である 9件 14.3%	5 手続きがわかりにくい 8件 12.7%
豊田	1 職員にコスト意識がない 13件 16.9%	3 利用時間が不便である 10件 13.0%	4 職員の対応や態度が悪い 9件 11.7%	5 手続きがわかりにくい 6 仕事が縦割りである 7 職員の責任感が足りない 6件 7.8%	
豊岡	7 職員の責任感が足りない 7件 15.6%	3 利用時間が不便である 6件 13.3%	1 職員にコスト意識がない 5件 11.1%	2 仕事のやり方に柔軟性がない 5件 11.1%	4 職員の対応や態度が悪い 5件 11.1%

回答数2件以上のみ記載

市では、限られた予算の中で、次のような取り組みを行っています。それぞれの取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。（1つずつ選択）

(1) 満足度・重要度による分析

本設問は、市の行政施策全般に対する満足度（これまでの取り組みに満足しているか）及び重要度（今後の施策に力を注ぐべきと考えているか）を調査し、今後の行政サービスの向上、効率的・効果的に施策を展開するために実施したものである

調査結果の整理・分析にあたっては、各施策の満足度及び重要度を、それぞれ満足度指数及び重要度指数として、以下のとおり点数化している。

（満足度指数と重要度指数の算出）

満足度指数	・満足度指数とは、「満足=5点、やや満足=4点、ふつう=3点、やや不満=2点、不満=1点」とし、回答人数に掛け、回答総数(無回答数除く)で除したもので、5に近いほど満足で、1に近いほど不満であることを示す。
重要度指数	・重要度指数とは、「高い=5点、やや高い=4点、ふつう=3点、やや低い=2点、低い=1点」とし、回答人数に掛け、回答総数(無回答数除く)で除したもので、5に近いほど重要度が高く、1に近いほど重要度が低いことを示す。

現在の満足度

分野別（前期基本計画における基本目標別）にみると、市民の満足度が高い分野は、防災・防犯等「安全・安心のまちづくり」となっている。一方、市民の満足度が低い分野は、市街地整備・土地利用等「住んで良かったと思えるまちづくり」となっている。

具体的な取り組み別(前期基本計画における基本施策別)にみると、市民の満足度ベスト5は、「上下水道の整備」、「循環型社会の推進」、「消防・救急体制の充実」、「健康づくりの推進」、「学習機会の充実」となっている。一方、市民の満足度ワースト5は、「商業・サービス業の充実」、「雇用環境の充実」、「市街地整備の推進」、「公共交通機関の利用促進」、「観光・交流の振興」となっている。

現在の重要度

分野別（前期基本計画における基本目標別）にみると、市民の重要度ベスト3は、子育て・福祉・健康等「やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり」、循環型社会・上下水道整備等「環境にやさしいまちづくり」、防災・防犯等「安全・安心なまちづくり」となっている。一方、市民の重要度ワースト3は、「計画推進のために」、男女共同参画・文化振興等「豊かな心を育み活躍できるまちづくり」、市街地整備・土地利用等「住んで良かったと思えるまちづくり」となっている。

具体的な取り組み別(前期基本計画における基本施策別)にみると、市民の重要度ベスト5は、「地域医療体制の充実」、「高齢者福祉の推進」、「地域防災対策・体制の強化」、「循環型社会の推進」、「地域防犯体制の強化」となっている。一方、市民の重要度ワースト5は、「男女共同参画の推進」、「美しい街並みづくり」、「住生活の向上」、「文化の振興と歴史遺産の整備・活用」、「市街地整備の推進」となっている。

(施策別の満足度・重要度)

基本目標	基本施策	満足度			重要度		
		指数	順位	平均	指数	順位	平均
1 環境にやさしいまちづくり	1 環境保全の推進	3.15	6	3.13	3.79	21	4.03
	2 省資源・エネルギー対策の充実	2.81	33		3.97	14	
	3 環境教育の推進	3.04	19		3.93	16	
	4 生活環境の向上	3.04	18		4.05	13	
	5 循環型社会の推進	3.35	2		4.22	4	
	6 上下水道の整備	3.36	1		4.18	6	
2 住んで良かったと思えるまちづくり	7 計画的な土地利用の推進	2.81	32	2.88	3.59	28	3.5
	8 市街地整備の推進	2.72	39		3.36	37	
	9 道路網の整備	2.95	27		3.65	24	
	10 緑豊かなまちづくり	3.03	21		3.64	26	
	11 住生活の向上	2.90	30		3.29	39	
	12 美しい街並みづくり	2.87	31		3.27	40	
	13 公共交通機関の利用促進	2.72	38		3.46	32	
	14 地域情報化の推進	3.04	17		3.57	30	
3 豊かな心を育み活躍できるまちづくり	15 子どもの教育の充実	3.13	9	3.02	4.07	12	3.59
	16 健全な青少年育成	2.93	28		3.86	18	
	17 学習機会の充実	3.17	5		3.60	27	
	18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用	3.06	16		3.36	38	
	19 スポーツの振興	3.14	8		3.52	31	
	20 多文化共生と国際交流の推進	2.95	26		3.44	33	
	21 男女共同参画の推進	2.79	34		3.21	41	
4 安全・安心なまちづくり	22 地域防災対策・体制の強化	3.15	7	3.14	4.25	3	4.03
	23 地域防犯体制の強化	3.09	12		4.19	5	
	24 交通安全対策の充実	3.12	10		4.10	7	
	25 消防・救急体制の充実	3.31	3		4.08	11	
	26 治山・治水対策の充実	3.10	11		3.88	17	
	27 消費生活対策の充実	3.06	15		3.65	25	
	5 やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり	28 地域福祉システムの充実	3.07		14	3.07	
29 子育て環境の整備		3.01	23	4.10	8		
30 高齢者福祉の推進		3.00	24	4.33	2		
31 障害者福祉の推進		3.03	20	4.09	10		
32 健康づくりの推進		3.23	4	3.80	20		
33 地域医療体制の充実		3.07	13	4.43	1		
6 交流と活力のあるまちづくり	34 農林水産業の振興	2.93	29	2.77	3.79	22	3.74
	35 商業・サービス業の充実	2.64	41		3.58	29	
	36 工業・新産業の育成・振興	2.79	35		3.85	19	
	37 観光・交流の振興	2.76	37		3.44	34	
	38 雇用環境の充実	2.71	40		4.10	9	
計画推進のために	39 市民の力を高める	2.99	25	2.93	3.41	36	3.6
	40 地域の力を高める	3.02	22		3.42	35	
	41 行政の力を高める	2.78	36		3.95	15	
指数の平均		3.00			3.79		

2) 満足度・重要度の分布状況による分析

41 施策の満足度指数と重要度指数をもとに、横軸に満足度、縦軸に重要度をおき、その分布状況を、散布図として整理した。

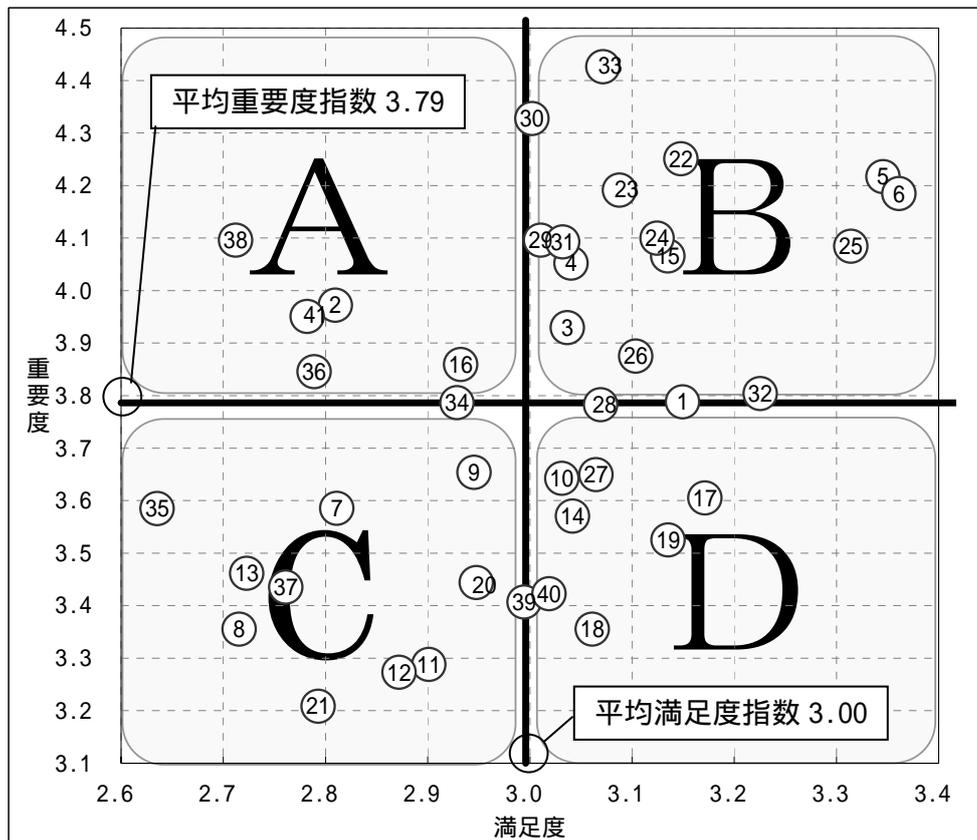
散布図は、各平均値（満足度：3.0、重要度：3.79）を基準（境）とし、下記の4つの領域に分類し、満足度と重要度の関係を示している。

なお、A～Dの領域分類は、あくまで優先度及び重要度の中間値で施策を総体的に分類したものであり、各施策を明確に区分するものではない。

（4つの領域）

区分	領域名	満足度	重要度	内容
A	重点課題施策	低い	高い	これまでの取り組みを重点的に改善していく必要のある施策
B	継続推進施策	高い	高い	現在の水準を継続維持するため、今後とも着実に取り組む必要のある施策
C	検討課題施策	低い	低い	これまでの取り組みを改善するとともに、施策の重要性を市民に広めていく必要のある施策
D	成果検証施策	高い	低い	これまでの取り組みによる成果の検証に基づき、事業のあり方を精査する必要のある施策

散布図



基本目標別の領域分類

前述 「散布図」を、基本目標別に表で整理すると、以下のとおりになる。

基本目標	Aゾーン 優先的改善施策	Bゾーン 継続維持施策	Cゾーン 検討課題施策	Dゾーン 成果検証施策
1 環境にやさしいまちづくり	2 省資源・エネルギー対策の充実	1 環境保全の推進 3 環境教育の推進 4 生活環境の向上 5 循環型社会の推進 6 上下水道の整備		
2 住んで良かった			7 計画的な土地利用の推進 8 市街地整備の推進 9 道路網の整備 11 住生活の向上 12 美しい街並みづくり 13 公共交通機関の利用促進	10 緑豊かなまちづくり 14 地域情報化の推進
3 豊かな心を育み	16 健全な青少年育成	15 子どもの教育の充実	20 多文化共生と国際交流の推進 21 男女共同参画の推進	17 学習機会の充実 18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 19 スポーツの振興
4 安全・安心		22 地域防災対策・体制の強化 23 地域防犯体制の強化 24 交通安全対策の充実 25 消防・救急体制の充実 26 治山・治水対策の充実		27 消費生活対策の充実
5 やさしさ、ふれあい、支え合い		29 子育て環境の整備 30 高齢者福祉の推進 31 障害者福祉の推進 32 健康づくりの推進 33 地域医療体制の充実		28 地域福祉システムの充実
6 交流と活力がある	34 農林水産業の振興 36 工業・新産業の育成・振興 38 雇用環境の充実		35 商業・サービス業の充実 37 観光・交流の振興	
計画推進	41 行政の力を高める		39 市民の力を高める	40 地域の力を高める

③ 要望度による分析

施策の重要度が高く、かつ、満足度の低い施策ほど、市民の要望が高い施策と考えられることから、ここでは、41 施策の満足度指数と重要度指数をもとに、要望度指数を算出し、整理、分析を行った。

要望度指数は、下記のとおり算出し、重要度が高く、かつ、満足度が低いほど、その点数が高くなる指標となっている。

なお、要望度指数は、今後の行政サービスの向上、効率的・効果的施策を展開していくための指標として、定義し、点数化したものであり、要望度指数の順位がそのまま施策の優先度等を示すものではない。

$$\text{要望度指数} = \text{重要度指数} \times (6 - \text{満足度指数})$$

分析

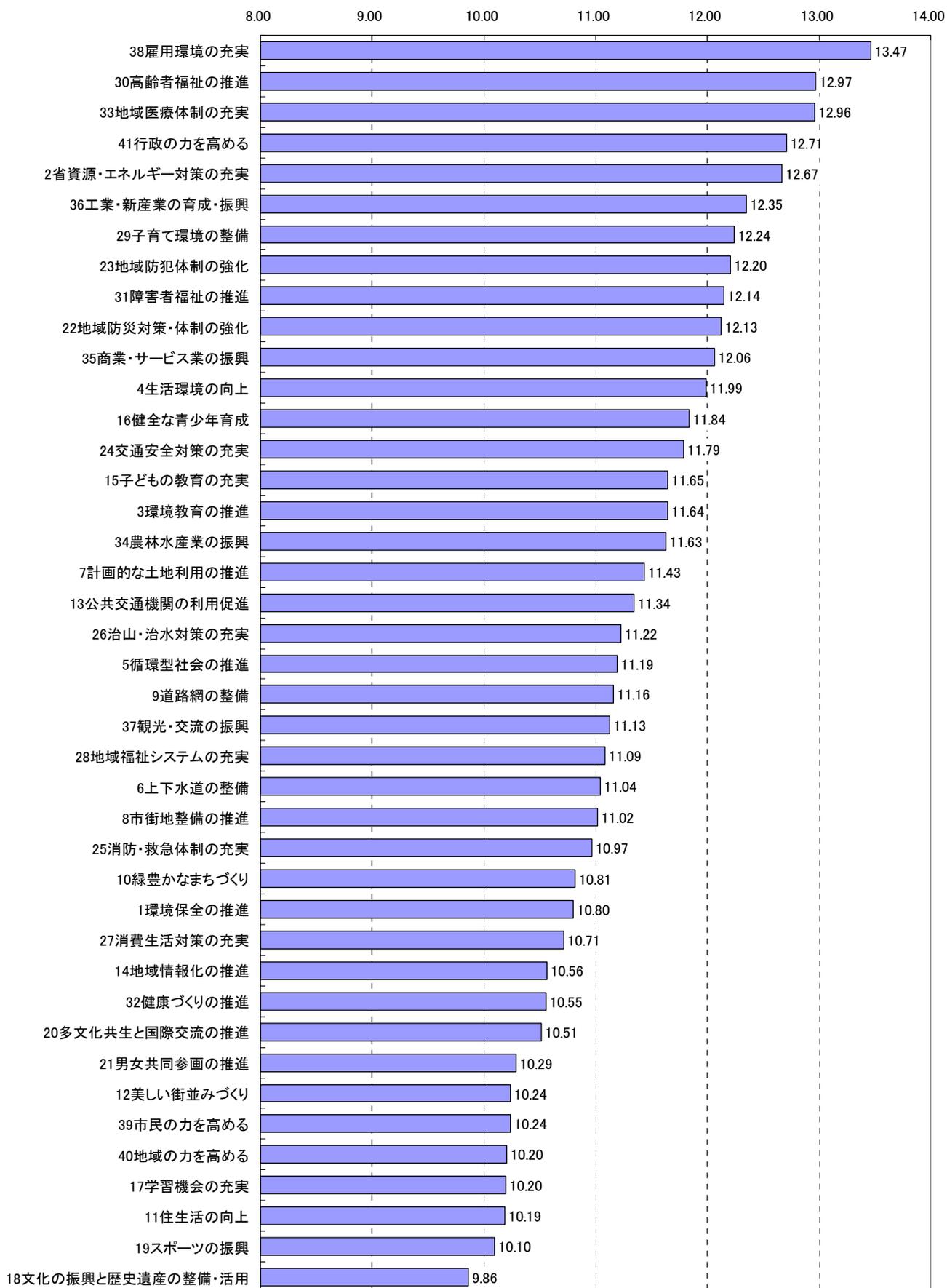
- ・基本目標別にみると、要望の高い施策（要望度 12.0 以上）の中に、「やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり」の施策が 4 つ（高齢者福祉の推進、地域医療体制の充実、子育て環境の整備、障害者福祉の推進）入っており、健康・福祉に係る施策に対する要望が高くなっている。また、「交流と活力のあるまちづくり」に係る施策が 3 つ、さらに、「安全・安心なまちづくり」に係る施策が 2 つ入っており、市民生活に直結する雇用、地域経済、防犯・防災体制等に対する要望が高くなっている。
- ・基本施策別にみると、特に要望度が高いもの（重要度 12.5 以上）として、「雇用環境の充実」（要望度 13.47）、「高齢者福祉の推進」（要望度 12.97）、「地域医療体制の充実」（要望度 12.96）、「行政の力を高める」（要望度 12.71）、「省資源・エネルギー対策の充実」（要望度 12.67）が挙げられている。

（要望度の高い施策）

順位	基本目標	基本施策	要望度
1	6 交流と活力のあるまちづくり	38 雇用環境の充実	13.47
2	5 やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり	30 高齢者福祉の推進	12.97
3	5 やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり	33 地域医療体制の充実	12.96
4	計画推進のために	41 行政の力を高める	12.71
5	1 環境にやさしいまちづくり	2 省資源・エネルギー対策の充実	12.67
6	6 交流と活力のあるまちづくり	36 工業・新産業の育成・振興	12.35
7	5 やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり	29 子育て環境の整備	12.24
8	4 安全・安心なまちづくり	23 地域防犯体制の強化	12.20
9	5 やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり	31 障害者福祉の推進	12.14
10	4 安全・安心なまちづくり	22 地域防災対策・体制の強化	12.13
11	6 交流と活力のあるまちづくり	35 商業・サービス業の振興	12.06

41 施策の要望度

41の基本施策に対する要望度を高い順にグラフにすると、以下のとおりになる。



(4) 基本目標別の分析

◆ 『1 環境にやさしいまちづくり』

満足度

- ・「省資源・エネルギー対策の充実」以外の5つの基本施策が、41基本施策の平均満足度(3.00)を上回っている。特に、「上下水道の整備」(3.36)、「循環型社会の推進」(3.35)は、41施策の中で満足度が上位1、2位となっている。

不満の理由

- ・不満の意見が最も多い「省資源・エネルギー対策の充実」(31.6%)では、「もっと進めるべき」とする意見が最多の49.5%となっている。
- ・「環境保全の推進」では、「内容がわからない」とする意見が52.7%と他の施策と比べ高くなっている。
- ・「上下水道の整備」(41.7%)及び「生活環境の向上」(42.5%)は、満足の意見が高くなっているが、一方では、「もっと進めるべき」とする意見が60%を上回っており、より一層の施策推進が求められている。
- ・「循環型社会の推進」は、「もっと進めるべき」が最多の53.5%となっているが、その一方で、「効果が期待できない」が21.5%で、他の施策と比べて7~12%程度高くなっている。

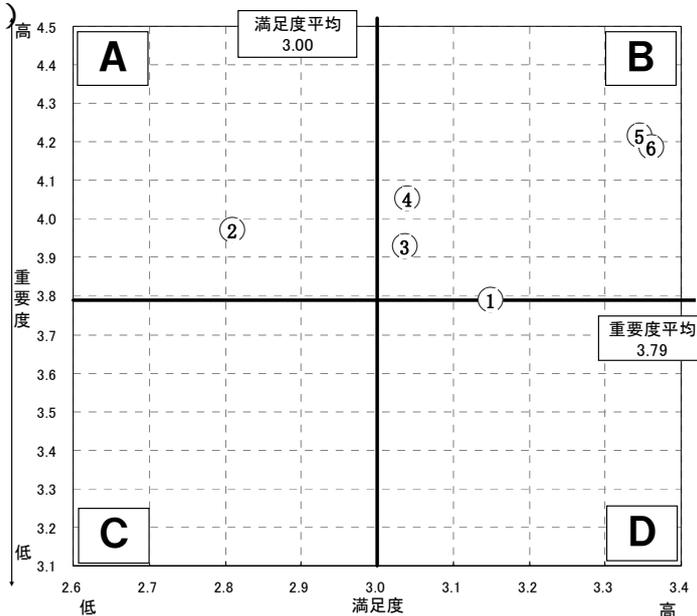
重要度

- ・6施策すべてが、41基本施策の平均重要度(3.79)を上回っている。
- ・特に、「上下水道の整備」(4.18)、「循環型社会の推進」(4.22)は、41施策の中で重要度指数が上位4、6位となっている。

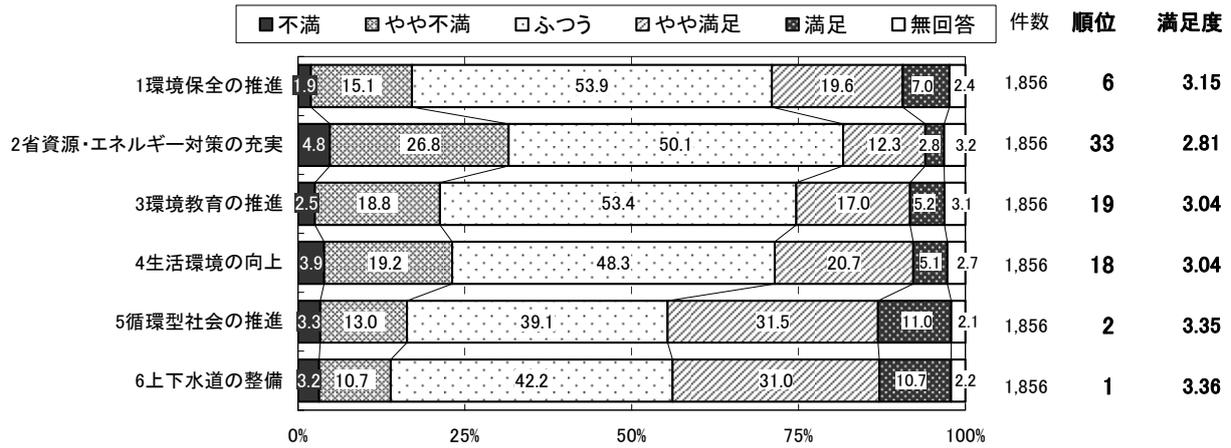
(6 施策の領域分類)

A 優先的改善施策	B 継続維持施策	C 検討課題施策	D 成果検証施策
2 省資源・エネルギー対策の充実	3 環境教育の推進 4 生活環境の向上 5 循環型社会の推進 6 上下水道の整備		1 環境保全の推進

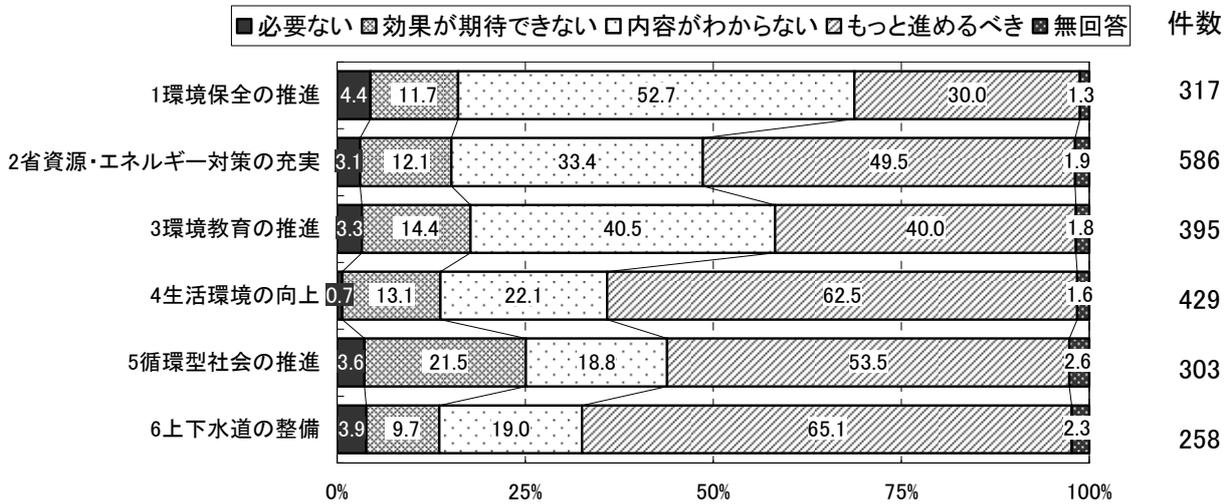
(6 施策の分布状況)



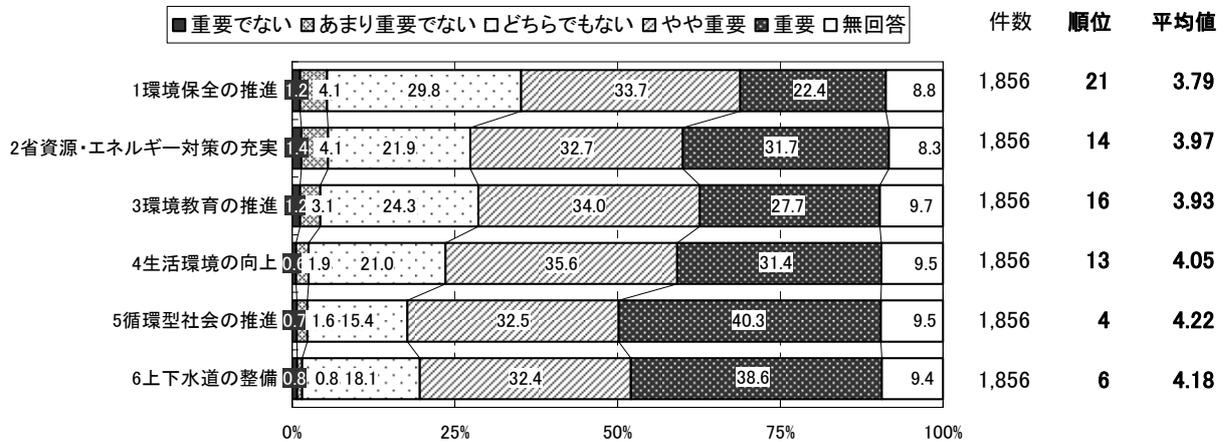
(満足度)



(不満の理由)



(重要度)



◆ 『2 住んで良かったと思えるまちづくり』

満足度

- ・「10 緑豊かなまちづくり」及び「14 地域情報化の推進」以外の6つの基本施策が、41基本施策の平均満足度(3.00)を下回っている。特に、「8 市街地整備の推進」(2.72)、「13 公共交通機関の利用促進」(2.72)は、41施策の中で満足度が下位1、2位となっている。

不満の理由

- ・不満の意見が最も多い「8 市街地整備の推進」(31.6%)では、「効果が期待できない」とする意見が最多の34.2%となっている。また、「13 公共交通機関の利用促進」では「もっと進めるべき」が最多の43.4%となっている。
- ・「7 計画的な土地利用の推進」では、「内容がわからない」とする意見が50.5%と他の施策と比べ高くなっている。
- ・「緑豊かなまちづくり」及び「9 道路網の整備」は、「もっと進めるべき」が他の施策と比べて高くなっている。

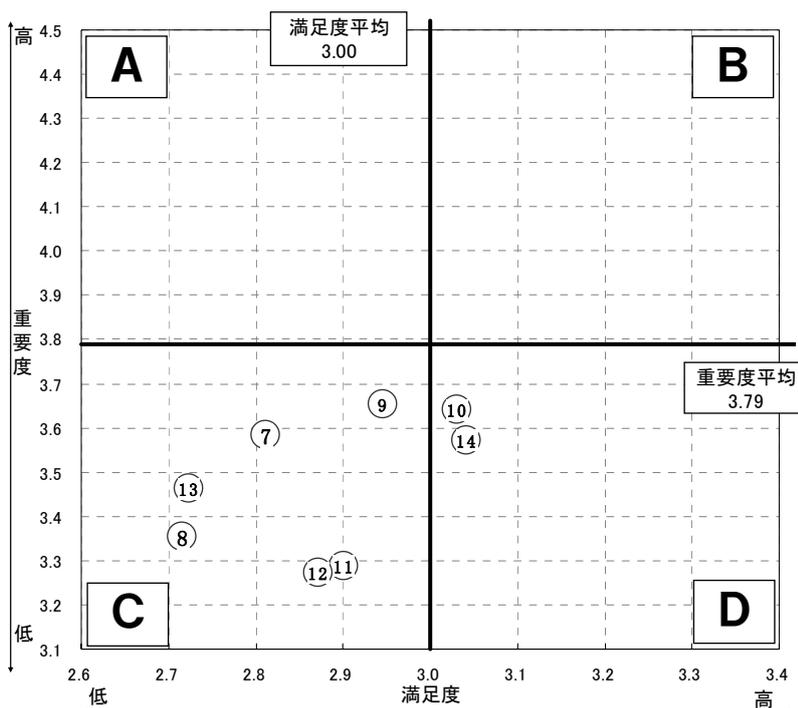
重要度

- ・6施策すべてが、41基本施策の平均重要度(3.79)を下回っている。
- ・特に、「11 住生活の向上」(3.29)、「8 市街地整備の推進」(3.36)は、41施策の中で重要度指数が下位3、5位となっている。

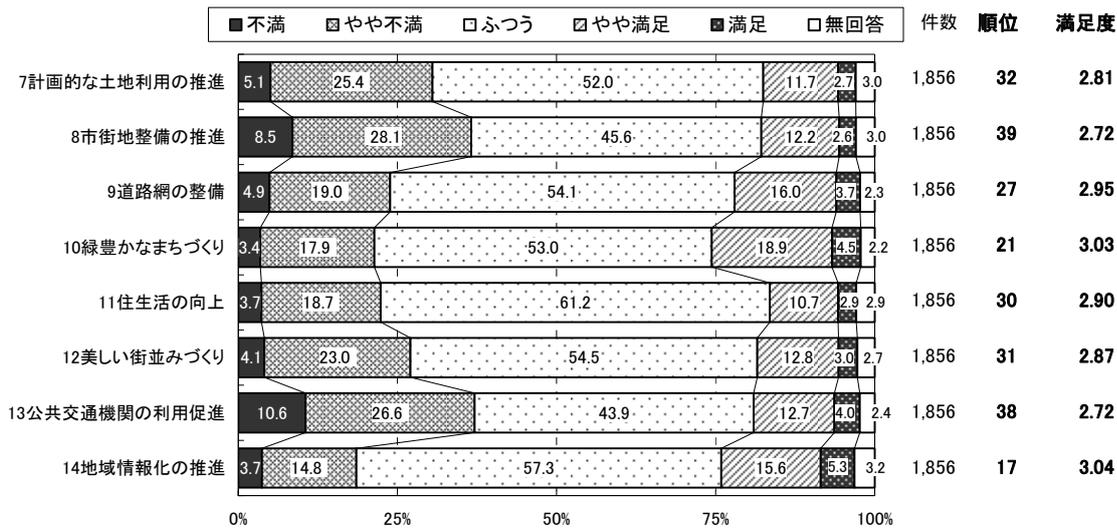
(6 施策の領域分類)

A 優先的改善施策	B 継続維持施策	C 検討課題施策	D 成果検証施策
		7 計画的な土地利用の推進 8 市街地整備の推進 9 道路網の整備 11 住生活の向上 12 美しい街並みづくり 13 公共交通機関の利用促進	10 緑豊かなまちづくり 14 地域情報化の推進

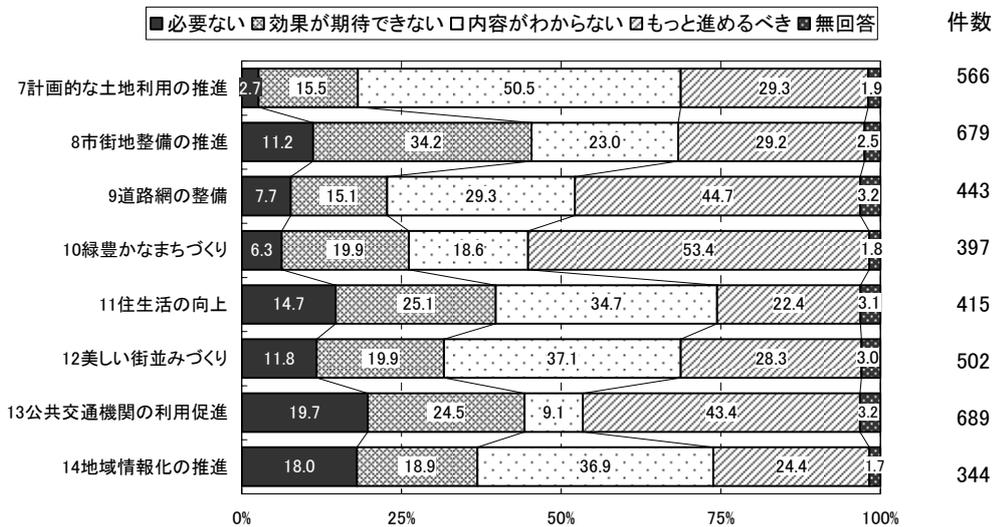
(6 施策の分布状況)



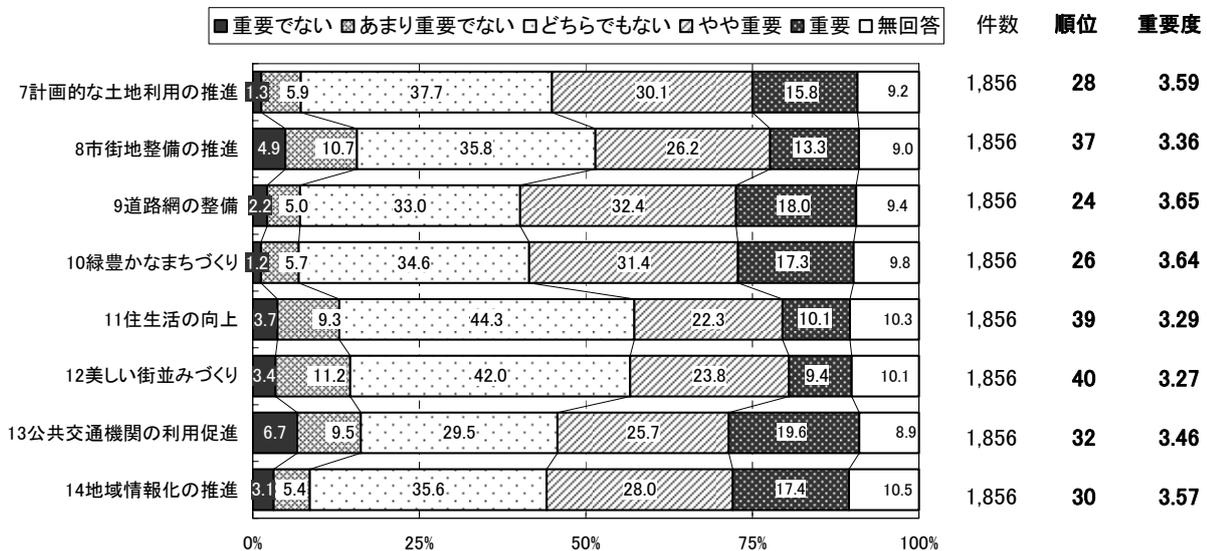
(満足度)



(不満の理由)



(重要度)



◆ 『3 豊かな心を育み活躍できるまちづくり』

満足度

- ・ 41 基本施策の平均満足度(3.00)を上回っている基本施策は 4 施策、下回っている基本施策は 3 施策となっている。「17 学習機会の充実」(3.17)は、41 施策の中で満足度が上位 5 位となっている。

不満の理由

- ・ 不満の意見が最も多い「21 男女共同参画の推進」では、「内容がわからない」とする意見が最多の 59.2%となっている。
- ・ 「15 子どもの教育の充実」では、「もっと進めるべき」とする意見が 61.2%と他の施策と比べ高くなっている。

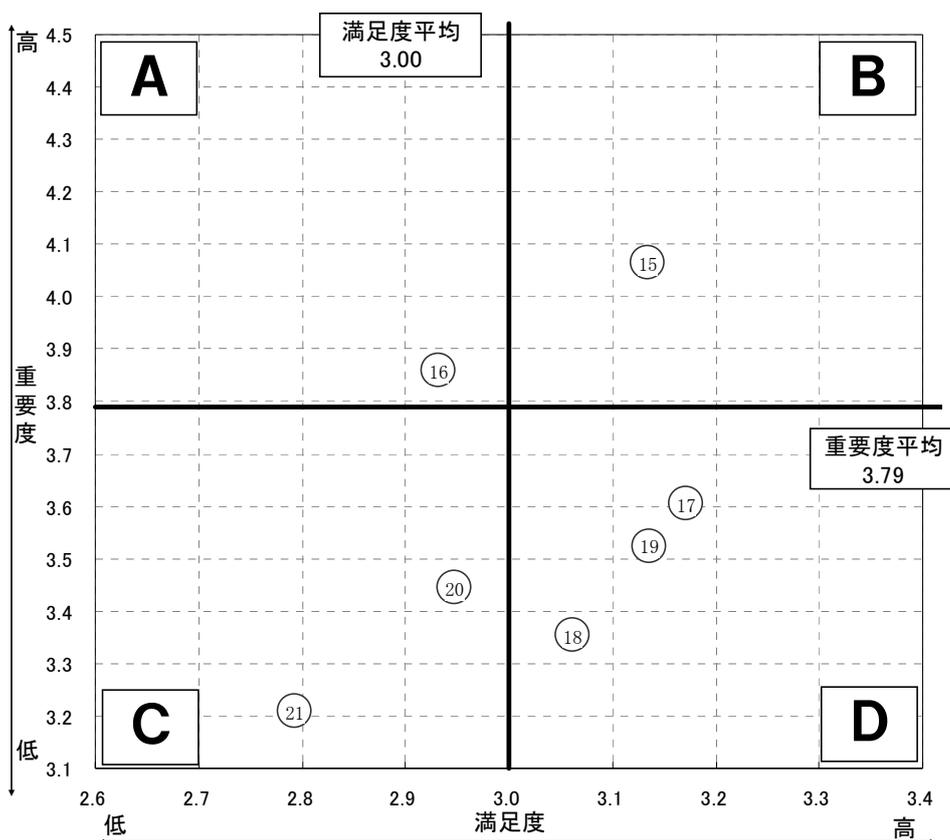
重要度

- ・ 「15 子どもの教育の充実」及び「16 健全な青少年育成」以外の 5 施策が、41 基本施策の平均重要度(3.79)を下回っている。
- ・ 特に、「21 男女共同参画の推進」(3.21)、「18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用」(3.36)は、41 施策の中で重要度指数が下位 1、4 位となっている。

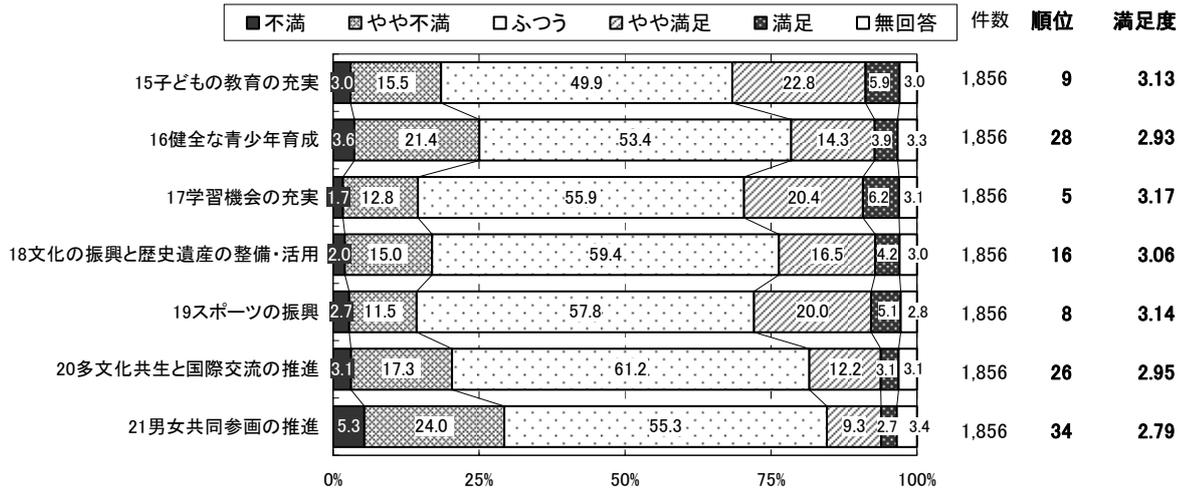
(6 施策の領域分類)

A 優先的改善施策	B 継続維持施策	C 検討課題施策	D 成果検証施策
16 健全な青少年育成	15 子どもの教育の充実	20 多文化共生と国際交流の推進 21 男女共同参画の推進	17 学習機会の充実 18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 19 スポーツの振興

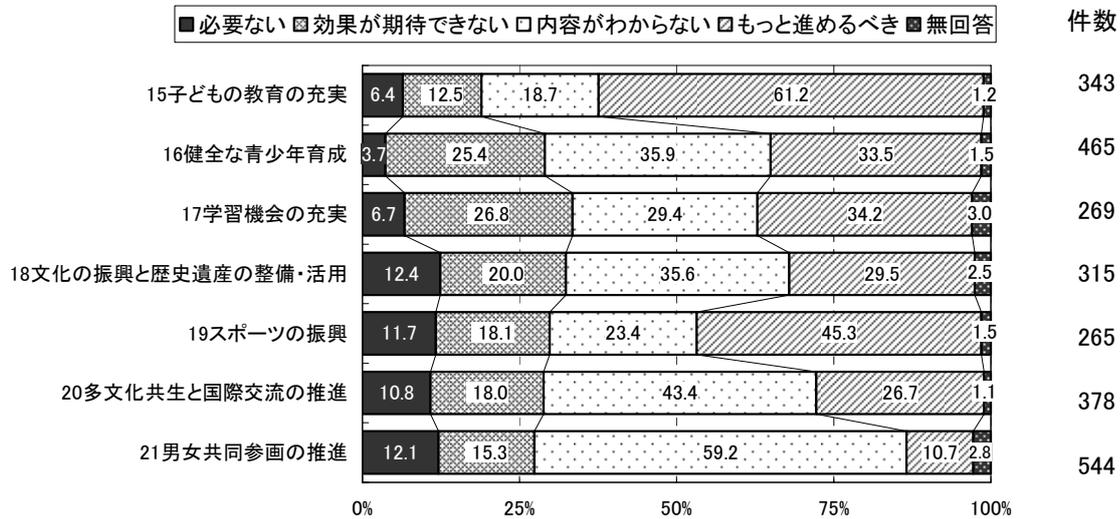
(6 施策の分布状況)



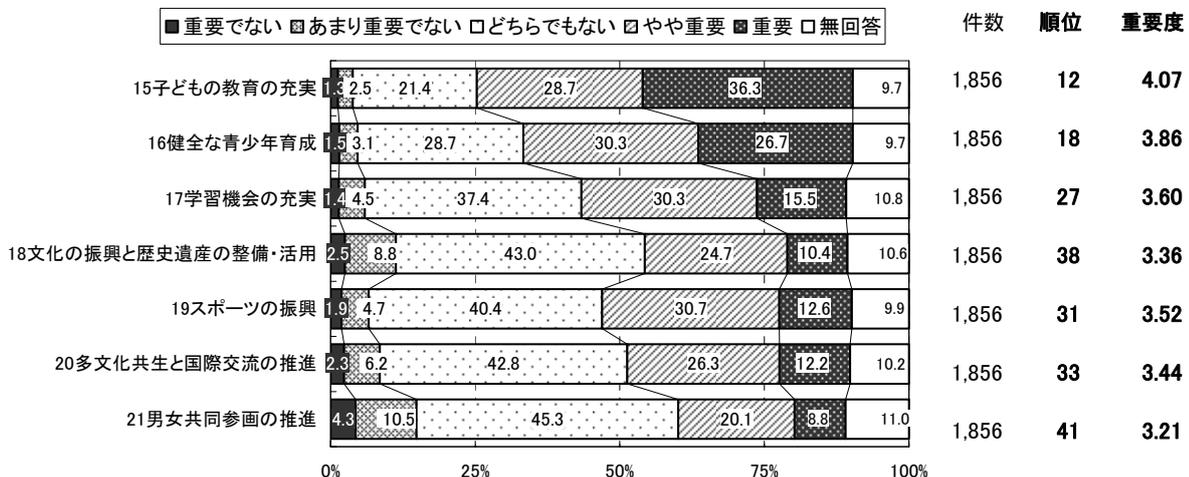
(満足度)



(不満の理由)



(重要度)



◆ 『4 安全・安心なまちづくり』

満足度

- ・ 6つの基本施策全てが、41基本施策の平均満足度(3.00)を上回っている。特に、「25 消防・救急体制の充実」(3.31)は、41施策の中で満足度が上位3位となっている。

不満の理由

- ・ 6つの基本施策全てが、「もっと進めるべき」とする意見が最も高くなっている。特に「24 交通安全対策の充実」、「22 地域防災対策・体制の強化」では約8割となっている。
- ・ 「226 治山・治水対策の充実」では、「内容がわからない」とする意見が40.1%と他の施策と比べ高くなっている。

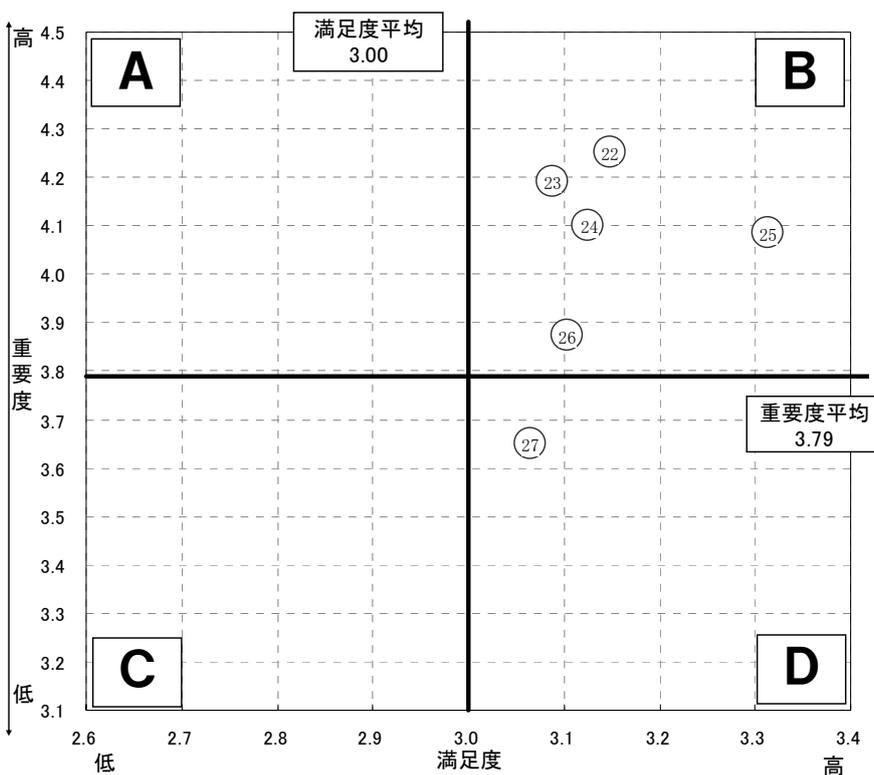
重要度

- ・ 「27 消費生活対策の充実」以外の5施策すべてが、41基本施策の平均重要度(3.79)を上回っている。
- ・ 特に、「22 地域防災対策・体制の強化」(4.25)、「23 地域防犯体制の強化」(4.19)は、41施策の中で重要度指数が上位3、5位となっている。

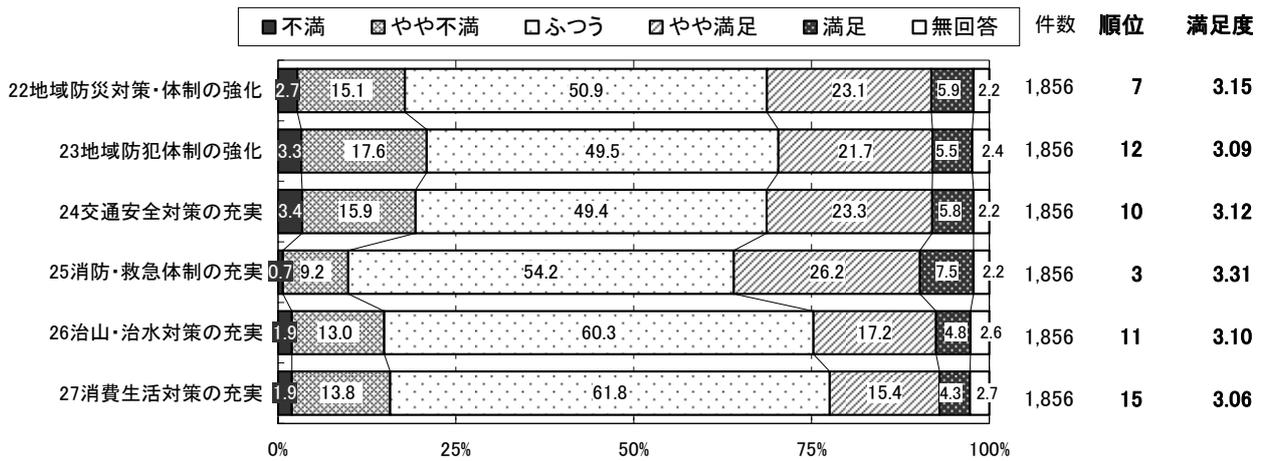
(6 施策の領域分類)

A 優先的改善施策	B 継続維持施策	C 検討課題施策	D 成果検証施策
	22 地域防災対策・体制の強化 23 地域防犯体制の強化 24 交通安全対策の充実 25 消防・救急体制の充実 26 治山・治水対策の充実		27 消費生活対策の充実

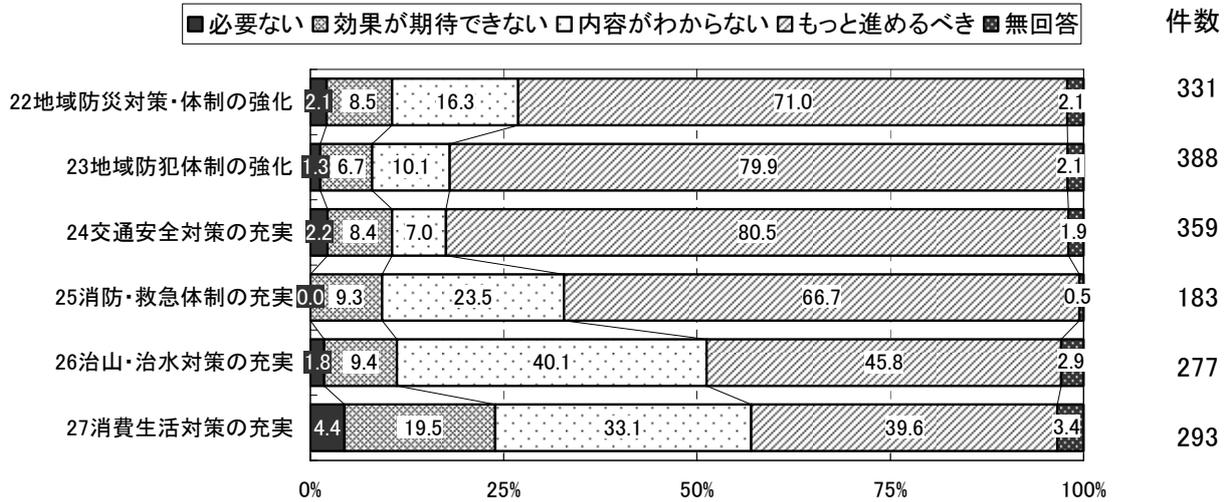
(6 施策の分布状況)



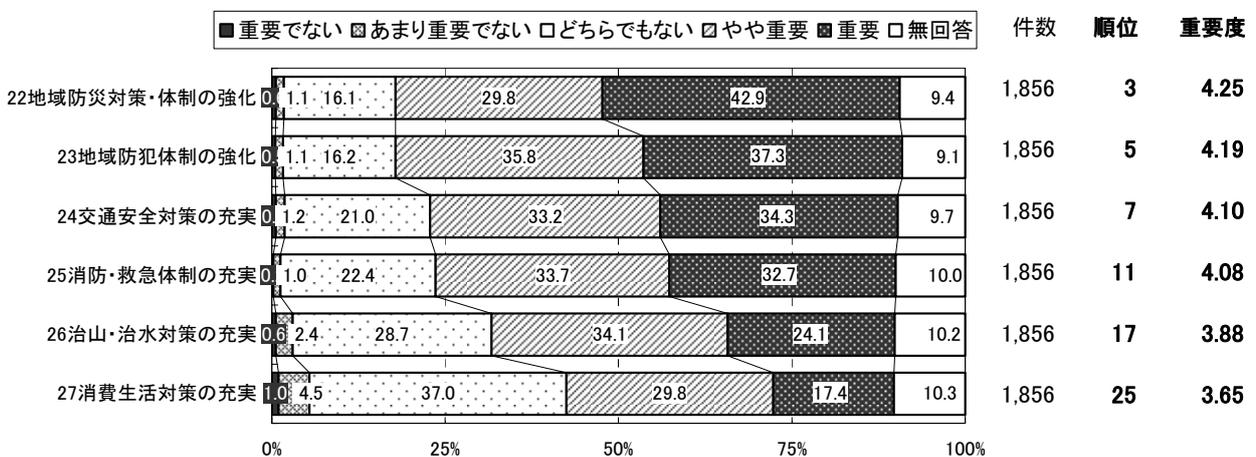
(満足度)



(不満の理由)



(重要度)



◆ 『5 やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり』

満足度

- ・6つの基本施策全てが、41基本施策の平均満足度(3.00)を上回っている。特に、「32健康づくりの推進」(3.23)は、41施策の中で満足度が上位4位となっている。

不満の理由

- ・「28地域福祉システムの充実」以外の5施策では「もっと進めるべき」とする意見が最も高くなっている。特に、「33地域医療体制の充実」では87.4%と高くなっている。
- ・不満の意見が最も多い「30高齢者福祉の推進」では、「もっと進めるべき」とする意見が最多の77.0%となっている。
- ・「28地域福祉システムの充実」では、「内容がわからない」とする意見が48.0%と他の施策と比べ高くなっている。

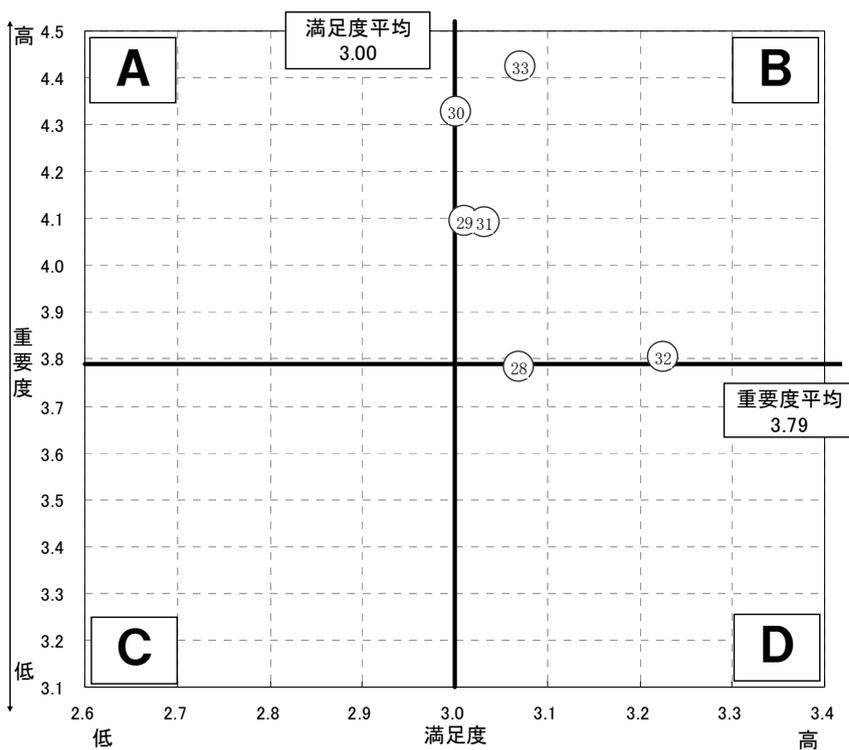
重要度

- ・「28地域福祉システムの充実」を除く5施策が、41基本施策の平均重要度(3.79)を上回っている。
- ・特に、「33地域医療体制の充実」(4.43)、「30高齢者福祉の推進」(4.33)は、41施策の中で重要度指数が上位1、2位となっている。

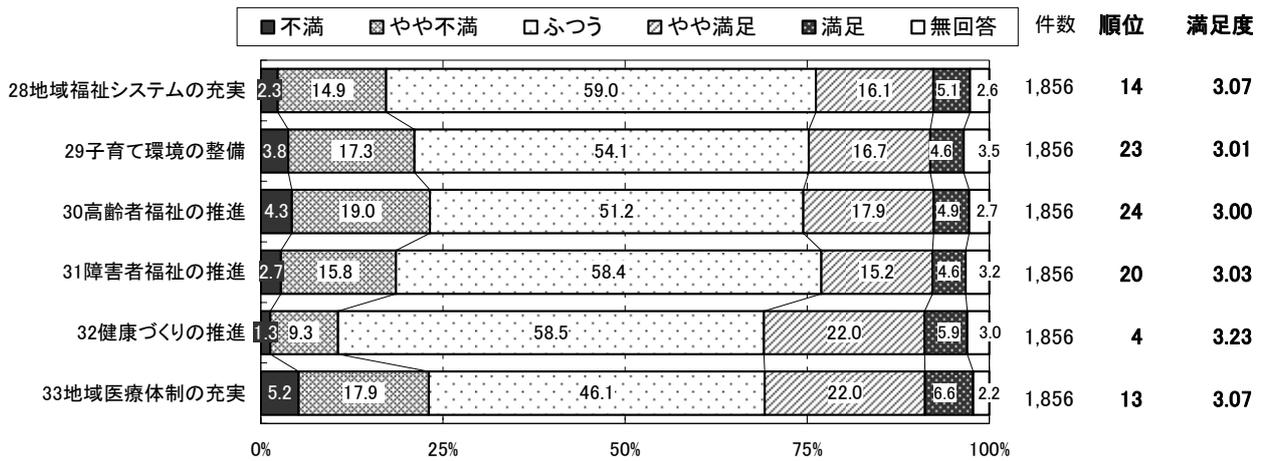
(6 施策の領域分類)

A 優先的改善施策	B 継続維持施策	C 検討課題施策	D 成果検証施策
	29 子育て環境の整備 30 高齢者福祉の推進 31 障害者福祉の推進 32 健康づくりの推進 33 地域医療体制の充実		28 地域福祉システムの充実

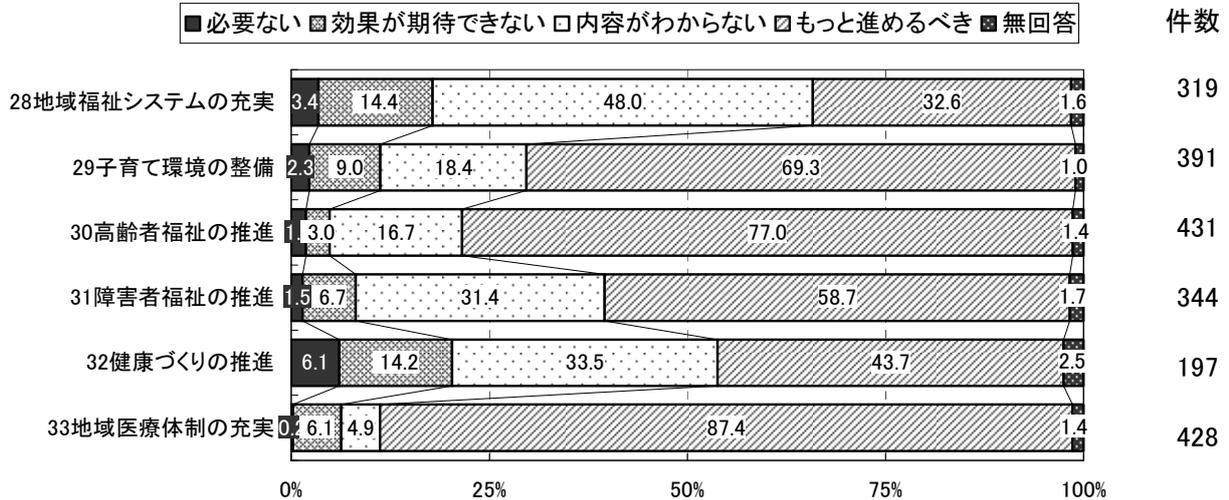
(6 施策の分布状況)



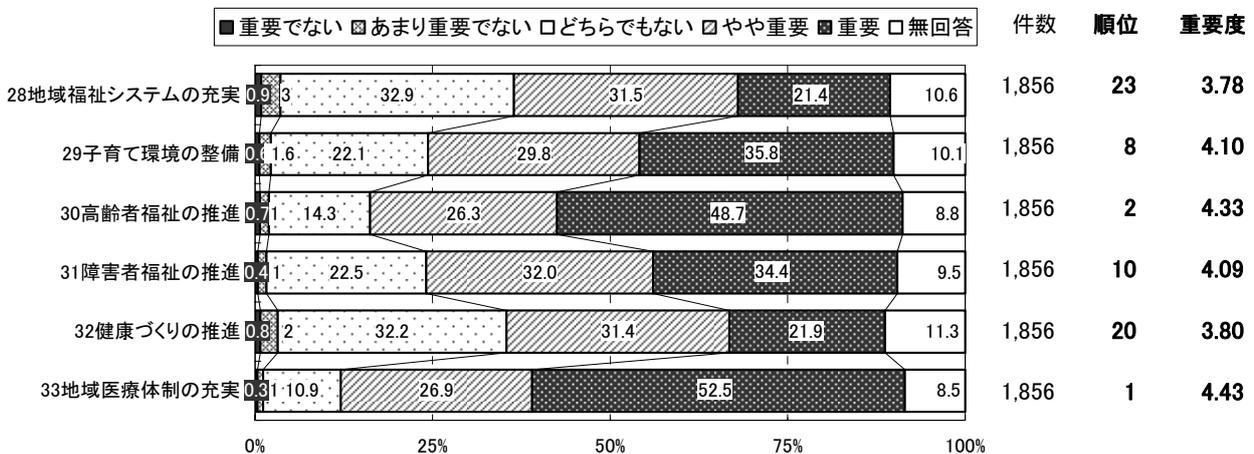
(満足度)



(不満の理由)



(重要度)



◆ 『6 交流と活力のあるまちづくり』

満足度

- ・ 5つの基本施策全てが、41基本施策の平均満足度(3.00)を下回っている。特に、「35 商業・サービス業の振興」(2.64)、「38 雇用環境の充実」(2.71)は、41施策の中で満足度が下位1、2位となっている。

不満の理由

- ・ 5つの基本施策全てが、「もっと進めるべき」とする意見が最も高く、特に、不満の意見が多い「38 雇用環境の充実」では、71.3%と高くなっている。
- ・ 不満の意見が最も多い「35 商業・サービス業の振興」では、「もっと進めるべき」が42.5%とする意見が最も多い一方、「効果が期待できない」とする意見も22.6%と高くなっている。

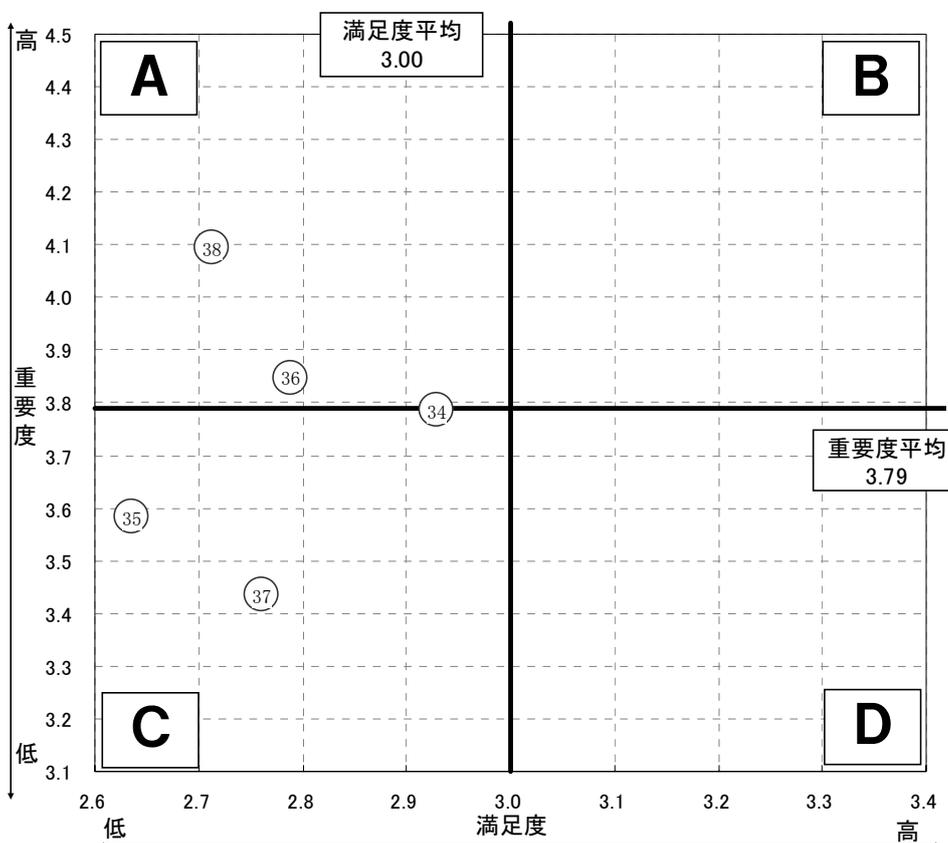
重要度

- ・ 41基本施策の平均重要度(3.79)を上回る基本施策は3施策、下回る施策は2施策となっている。
- ・ 「37 観光・交流の振興」(3.44)は、41施策の中で重要度指数が下位8位となっている。

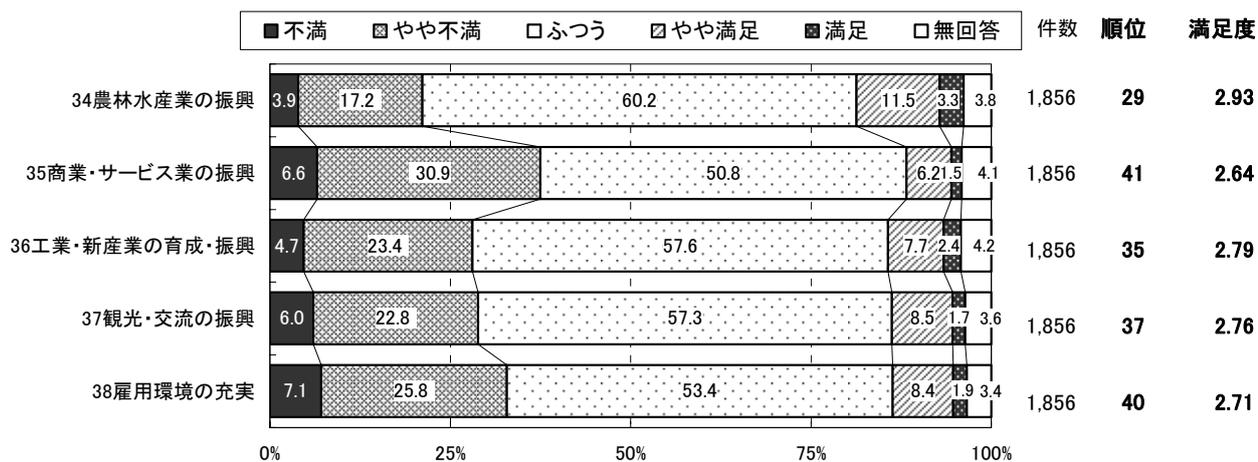
(6 施策の領域分類)

A 優先的改善施策	B 継続維持施策	C 検討課題施策	D 成果検証施策
36工業・新産業の育成・振興 38 雇用環境の充実		34 農林水産業の振興 35商業・サービス業の振興 37 観光・交流の振興	

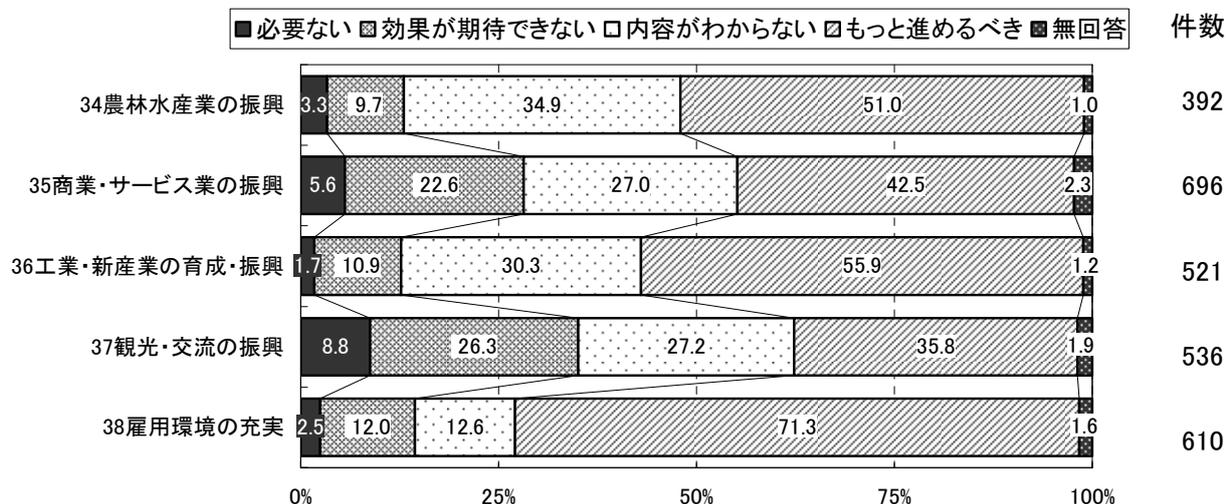
(6 施策の分布状況)



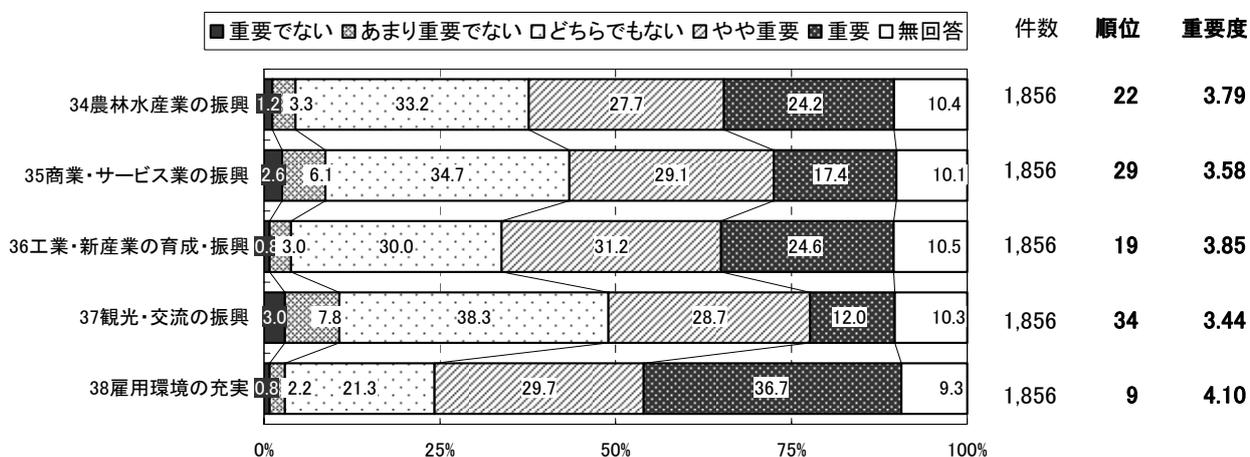
(満足度)



(不満の理由)



(重要度)



◆ 『計画推進のために』

満足度

- ・ 41 基本施策の平均満足度(3.00)を上回るのは1施策、下回るのは2施策となっている。
- ・ 「41 行政の力を高める」(2.78)は、41 施策の中で満足度が下位6位となっている。

不満の理由

- ・ 不満の意見が最も多い「41 行政の力を高める」では、「もっと進めるべき」とする意見が最多の60.0%となっている。
- ・ 「39 市民の力を高める」では、「内容がわからない」とする意見が51.5%と最も高くなっている。

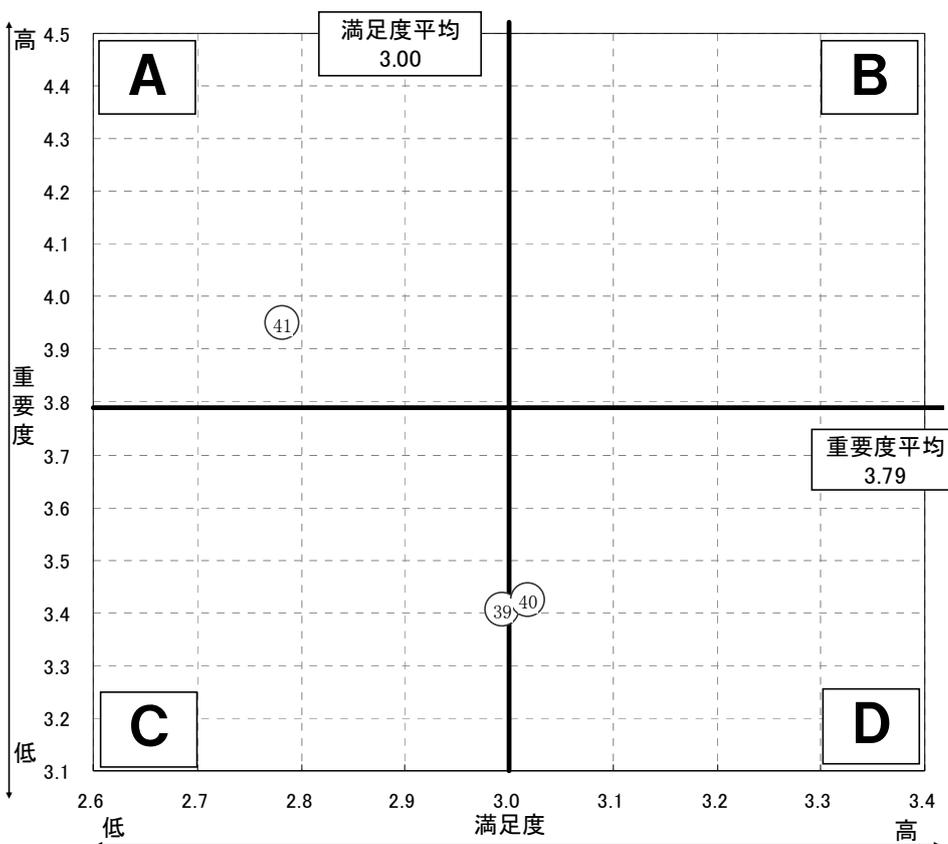
重要度

- ・ 41 基本施策の平均重要度(3.79)を上回るのが1施策、下回るのが2施策となっている。
- ・ 「39 市民の力を高める」(3.41)、「40 地域の力を高める」(3.42)は、41 施策の中で重要度指数が下位6、7位となっている。

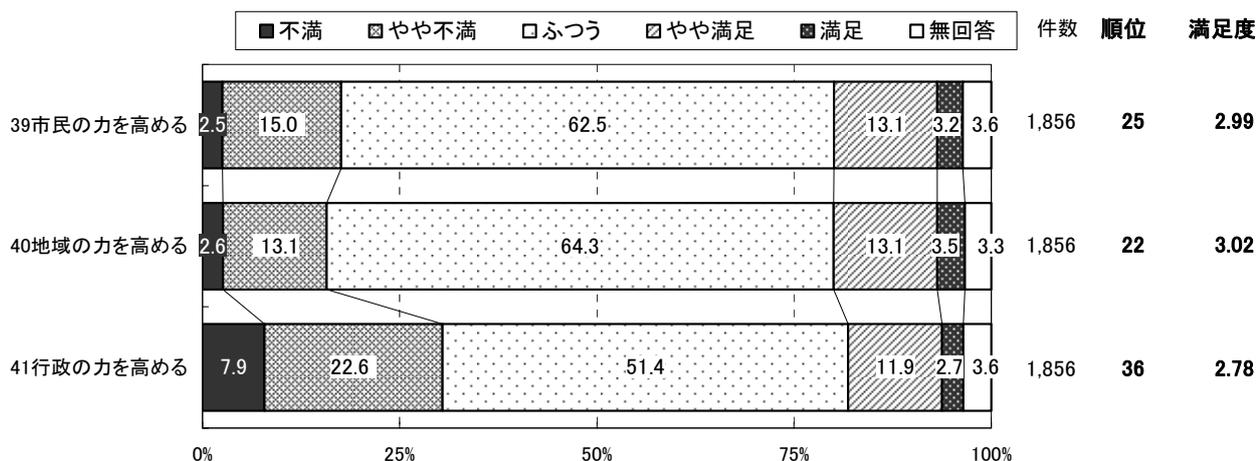
(6 施策の領域分類)

A 優先的改善施策	B 継続維持施策	C 検討課題施策	D 成果検証施策
41 行政の力を高める		39 市民の力を高める	40 地域の力を高める

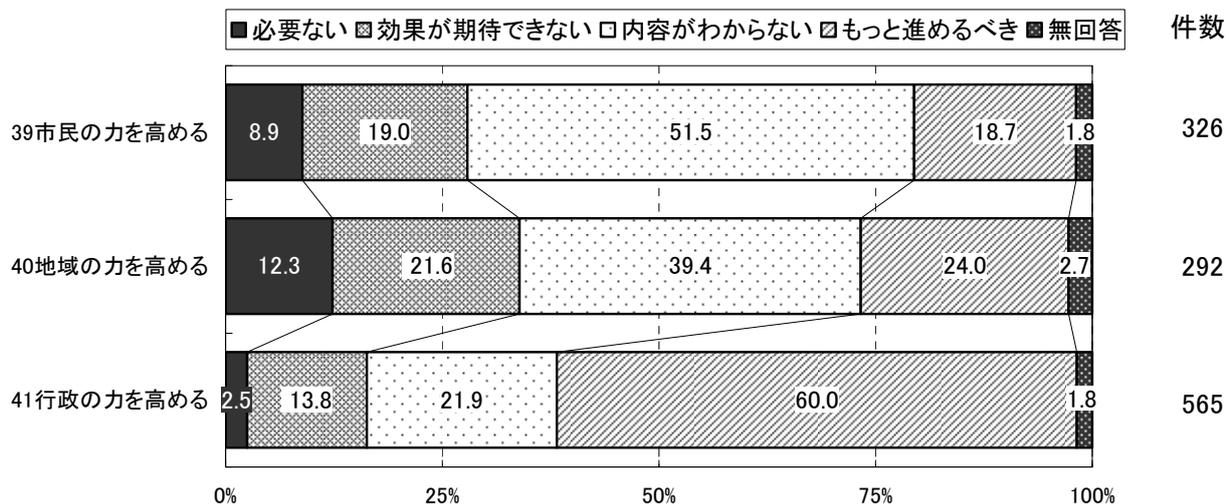
(6 施策の分布状況)



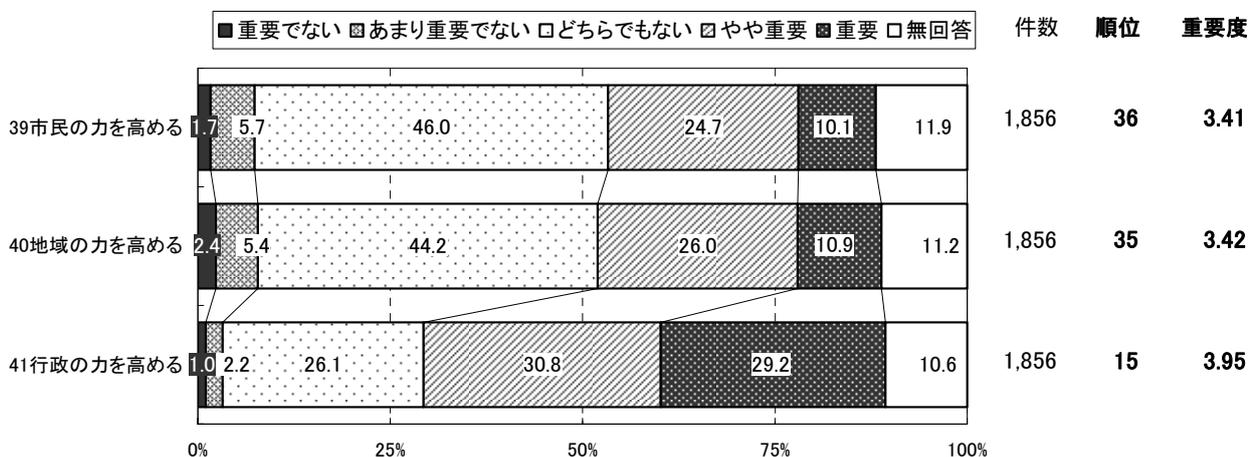
(満足度)



(不満の理由)



(重要度)



(5) 地区別の分析

◆ 見付地区

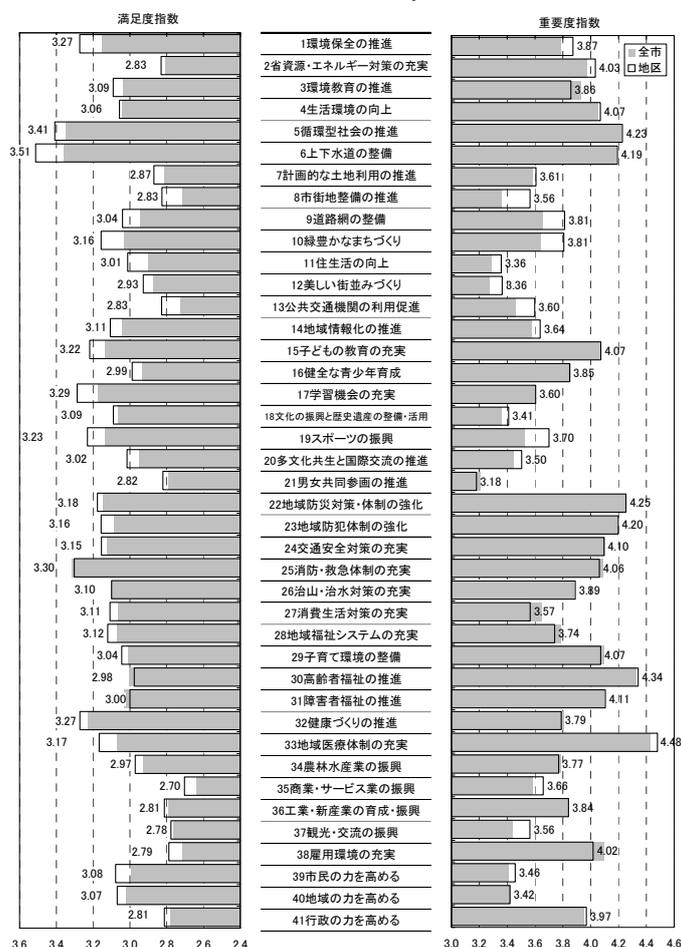
満足度

- ・市全体の満足度に比べ、見付地区の満足度が「0.1以上」上回っている施策
 6 上下水道の整備(+0.15)、10 緑豊かなまちづくり(+0.12)、1 環境保全の推進(+0.12)、
 17 学習機会の充実(+0.12)、11 住生活の向上(+0.11)、8 市街地整備の推進(+0.11)、
 13 公共交通機関の利用促進(+0.11)、33 地域医療体制の充実(+0.10)、19 スポーツの
 振興(+0.10)、9 道路網の整備(+0.10)
- ・市全体の満足度に比べ、見付地区の満足度が「0.1以上」下回っている施策
 該当施策なし。

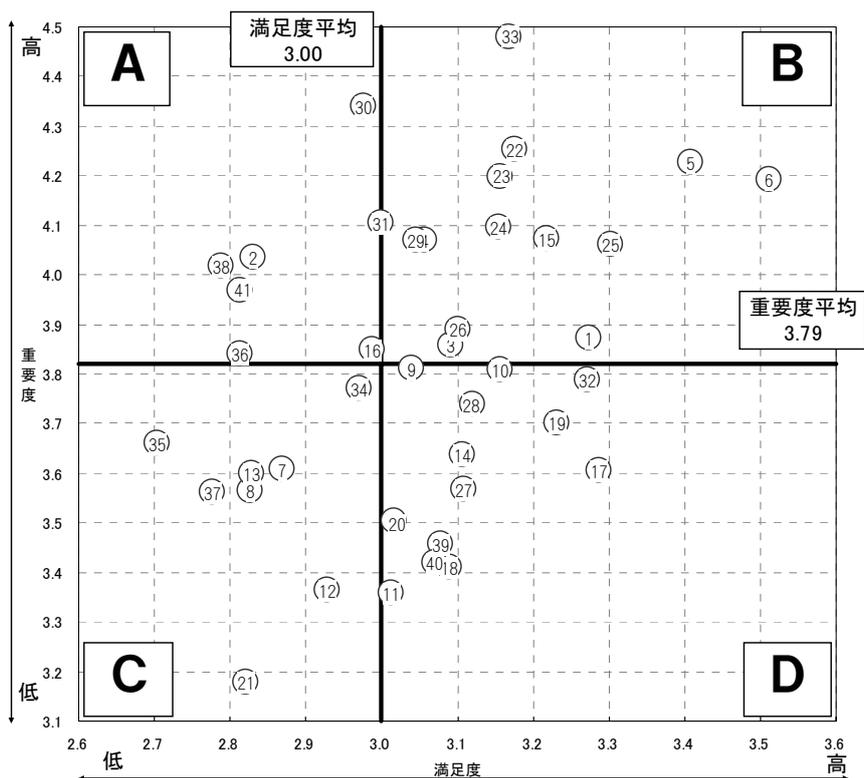
重要度

- ・市全体の重要度に比べ、見付地区の重要度が「0.1以上」上回っている施策
 8 市街地整備の推進(+0.21)、19 スポーツの振興(+0.18)、10 緑豊かなまちづくり(+
 0.17)、9 道路網の整備(+0.16)、13 公共交通機関の利用促進(+0.14)、37 観光・交流
 の振興(+0.13)
- ・市全体の重要度に比べ、見付地区の重要度が「0.1以上」下回っている施策
 該当施策なし。

(市全体と見付地区における満足度・重要度の比較)



(見付地区の満足度・重要度の分布状況)



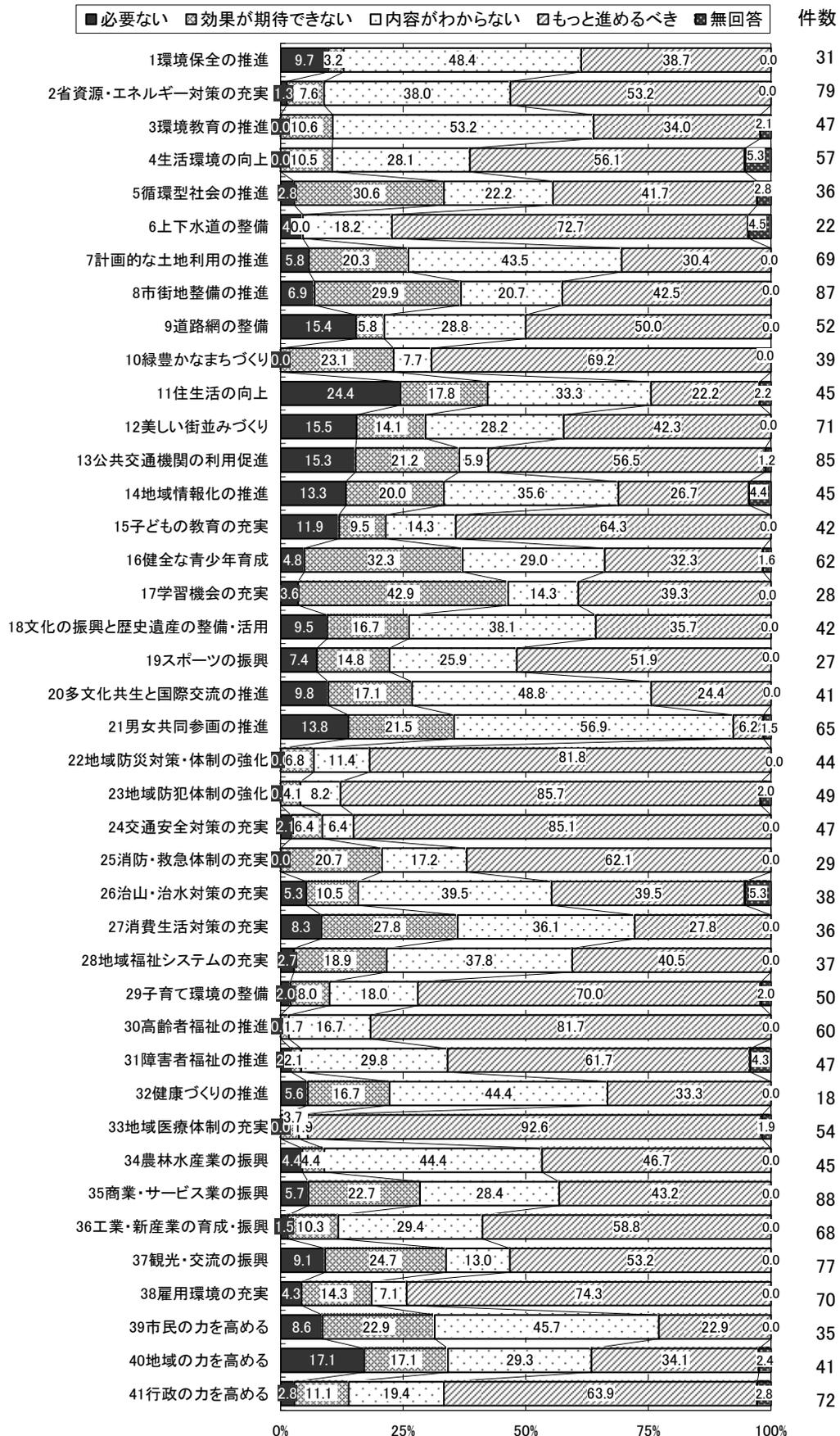
(41 施策の領域分類)

	A 優先的改善施策	B 継続維持施策	C 検討課題施策	D 成果検証施策
1 環境にやさしい	2 省資源・エネルギー対策の充実	1 環境保全の推進 3 環境教育の推進 4 生活環境の向上 5 循環型社会の推進 6 上下水道の整備		
2 住んで良かった			7 計画的な土地利用の推進 8 市街地整備の推進 12 美しい街並みづくり 13 公共交通機関の利用促進	9 道路網の整備 10 緑豊かなまちづくり 11 住生活の向上 14 地域情報化の推進
3 豊かな心を育み	16 健全な青少年育成	15 子どもの教育の充実	21 男女共同参画の推進	17 学習機会の充実 18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 19 スポーツの振興 20 多文化共生と国際交流の推進
4 安全・安心		22 地域防災対策・体制の強化 23 地域防犯体制の強化 24 交通安全対策の充実 25 消防・救急体制の充実 26 治山・治水対策の充実		27 消費生活対策の充実
5 やさしさ、ふれあい、	30 高齢者福祉の推進	29 子育て環境の整備 31 障害者福祉の推進 33 地域医療体制の充実		28 地域福祉システムの充実 32 健康づくりの推進
6 交流と活力	36 工業・新産業の育成・振興 38 雇用環境の充実		34 農林水産業の振興 35 商業・サービス業の充実 37 観光・交流の振興	
計画推進	41 行政の力を高める			39 市民の力を高める 40 地域の力を高める

不満の理由

9割以上の方が「地域医療体制の充実」を、「もっと進めるべき」と考えている。

8割以上が、「地域防災対策・体制の強化」「地域防犯体制の強化」「交通安全対策の充実」を「もっと進めるべき」と考えている。



◆ 中泉地区

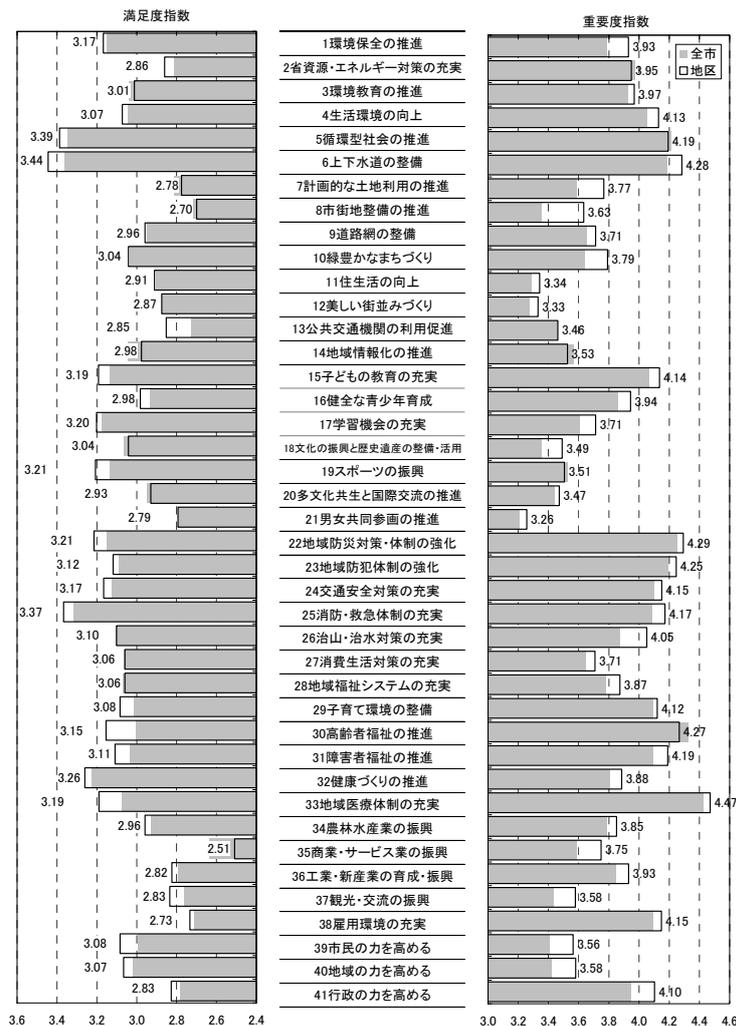
満足度

- ・市全体の満足度に比べ、中泉地区の満足度が「0.1以上」上回っている施策
30 高齢者福祉の推進 (+0.15)、13 公共交通機関の利用促進 (+0.13)、33 地域医療体制の充実 (+0.12)
- ・市全体の満足度に比べ、中泉地区の満足度が「0.1以上」下回っている施策
35 商業・サービス業の振興 (-0.13)

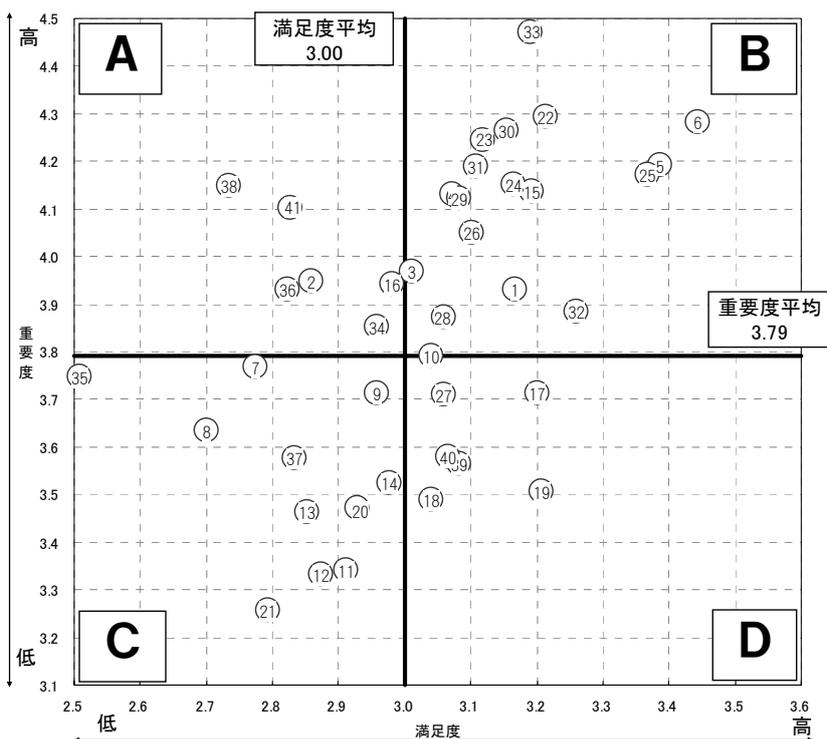
重要度

- ・市全体の重要度に比べ、中泉地区の重要度が「0.1以上」上回っている施策
8 市街地整備の推進 (+0.28)、7 計画的な土地利用の推進 (+0.18)、26 治山・治水対策の充実 (+0.18)、35 商業・サービス業の振興 (+0.16)、40 地域の力を高める (+0.16)、39 市民の力を高める (+0.16)、41 行政の力を高める (+0.15)、10 緑豊かなまちづくり (+0.15)、37 観光・交流の振興 (+0.14)、1 環境保全の推進 (+0.14)、18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 (+0.14)、17 学習機会の充実 (+0.11)、6 上下水道の整備 (+0.10)、31 障害者福祉の推進 (+0.10)
- ・市全体の重要度に比べ、中泉地区の重要度が「0.1以上」下回っている施策
該当施策なし。

(市全体と中泉地区における満足度・重要度の比較)



(中泉地区の満足度・重要度の分布状況)

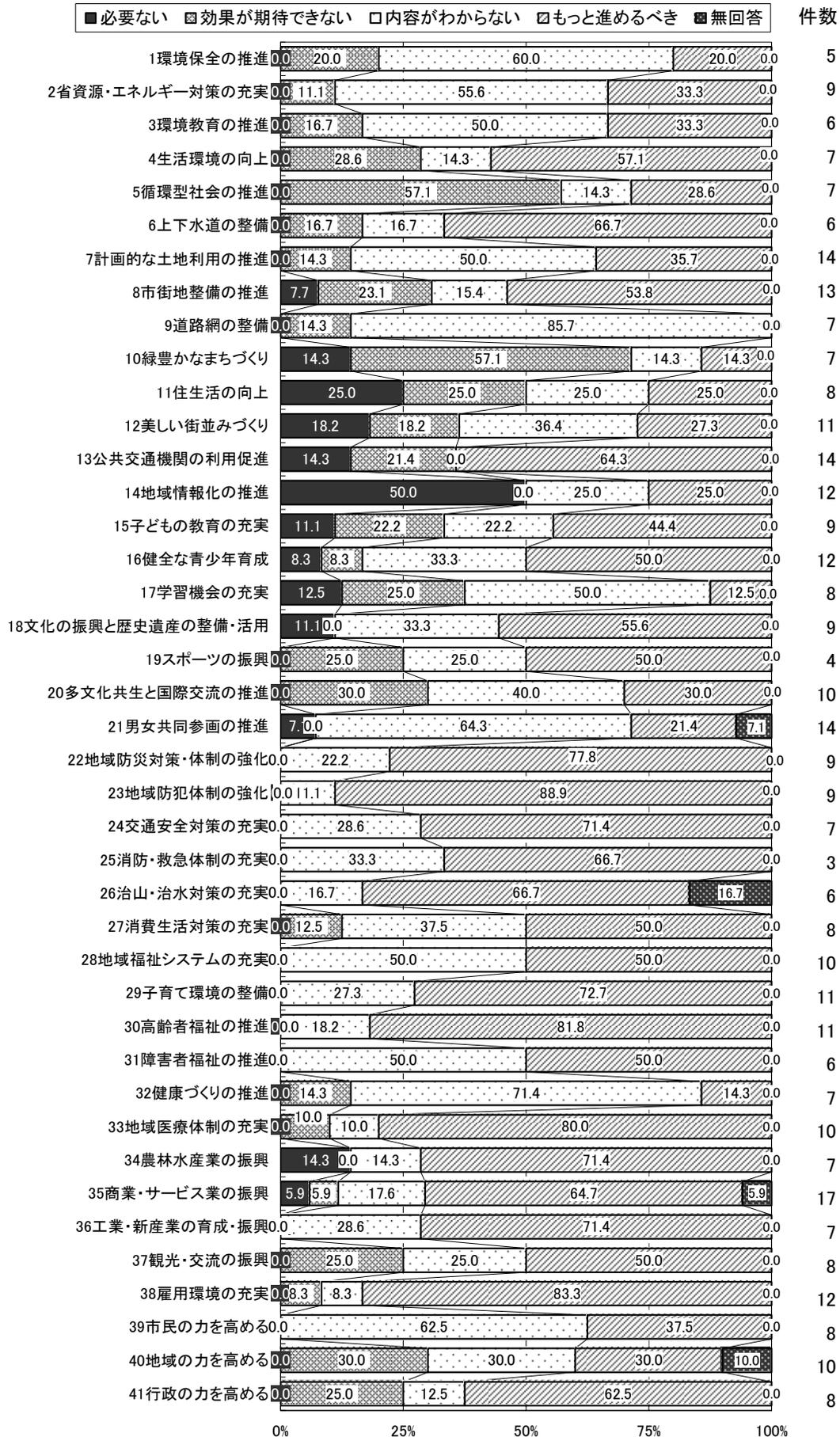


(41 施策の領域分類)

	A 優先的改善施策	B 継続維持施策	C 検討課題施策	D 成果検証施策
1 環境にやさしい	2 省資源・エネルギー対策の充実	1 環境保全の推進 3 環境教育の推進 4 生活環境の向上 5 循環型社会の推進 6 上下水道の整備		
2 住んで良かった		10 緑豊かなまちづくり	7 計画的な土地利用の推進 8 市街地整備の推進 9 道路網の整備 11 住生活の向上 12 美しい街並みづくり 13 公共交通機関の利用促進 14 地域情報化の推進	
3 豊かな心を育み	16 健全な青少年育成	15 子どもの教育の充実	16 健全な青少年育成	17 学習機会の充実 18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 19 スポーツの振興
4 安全・安心		22 地域防災対策・体制の強化 23 地域防犯体制の強化 24 交通安全対策の充実 25 消防・救急体制の充実 26 治山・治水対策の充実		27 消費生活対策の充実
5 やさしさ、ふれあい、		28 地域福祉システムの充実 29 子育て環境の整備 30 高齢者福祉の推進 31 障害者福祉の推進 32 健康づくりの推進 33 地域医療体制の充実		
6 交流と活力	34 農林水産業の振興 36 工業・新産業の育成・振興 38 雇用環境の充実		35 商業・サービス業の振興 37 観光・交流の振興	
計画推進	41 行政の力を高める			39 市民の力を高める 40 地域の力を高める

不満の理由

「地域情報化の推進」を必要ないと考えている人が5割以上いる。



◆ 今之浦地区

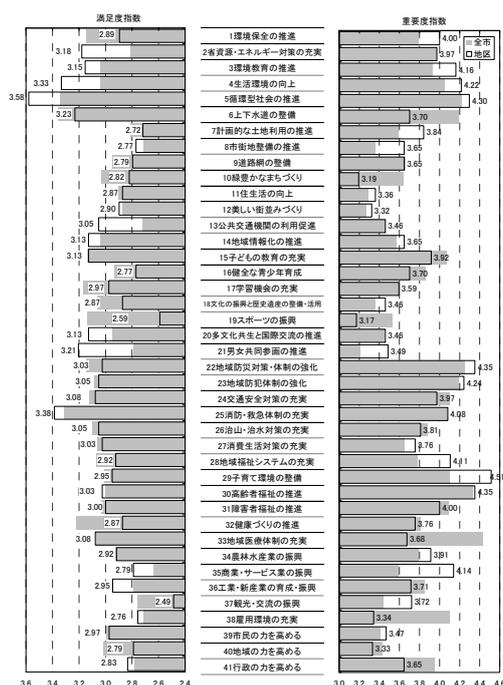
満足度

- ・市全体の満足度に比べ、今之浦地区の満足度が「0.1以上」上回っている施策
 - 21 男女共同参画の推進 (+0.41)、2 省資源・エネルギー対策の充実 (+0.37)、13 公共交通機関の利用促進 (+0.33)、4 生活環境の向上 (+0.29)、5 循環型社会の推進 (+0.23)、20 多文化共生と国際交流の推進 (+0.18)、36 工業・新産業の育成・振興 (+0.16)、35 商業・サービス業の振興 (+0.15)、3 環境教育の推進 (+0.12)
- ・市全体の満足度に比べ、今之浦地区の満足度が「0.1以上」下回っている施策
 - 19 スポーツの振興 (-0.55)、32 健康づくりの推進 (-0.35)、37 観光・交流の振興 (-0.27)、1 環境保全の推進 (-0.25)、40 地域の力を高める (-0.23)、10 緑豊かなまちづくり (-0.21)、17 学習機会の充実 (-0.20)、18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 (-0.19)、16 健全な青少年育成 (-0.16)、9 道路網の整備 (-0.15)、28 地域福祉システムの充実 (-0.15)、6 上下水道の整備 (-0.13)、22 地域防災対策・体制の強化 (-0.12)

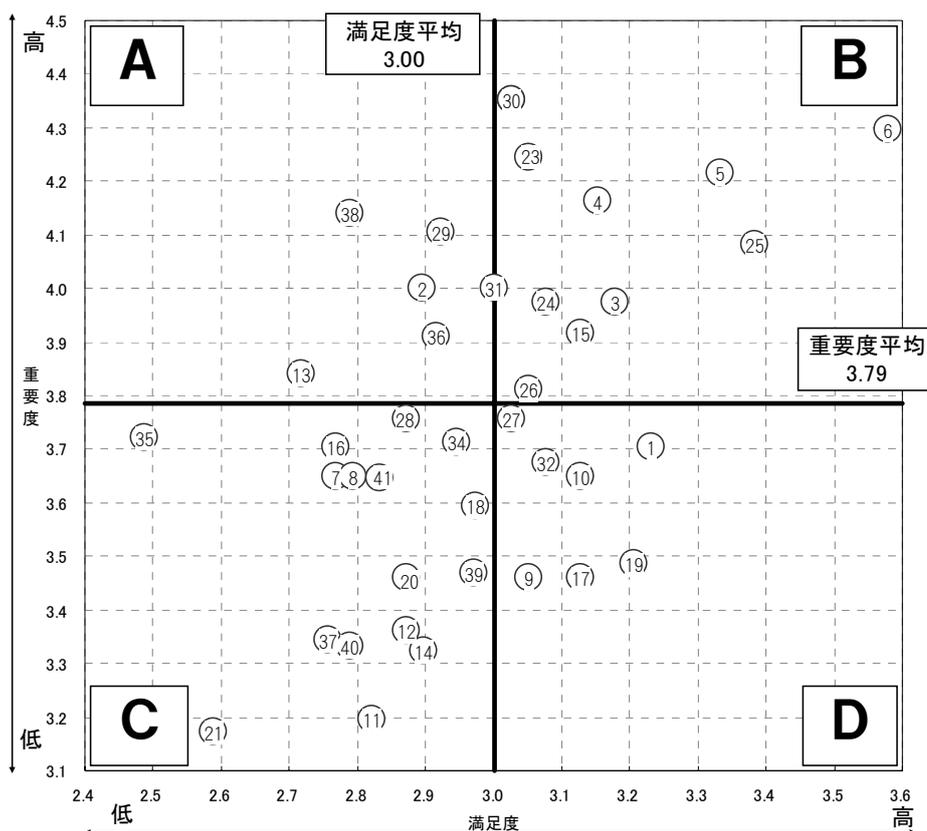
重要度

- ・市全体の重要度に比べ、今之浦地区の重要度が「0.1以上」上回っている施策
 - 35 商業・サービス業の振興 (+0.55)、29 子育て環境の整備 (+0.42)、28 地域福祉システムの充実 (+0.32)、8 市街地整備の推進 (+0.29)、37 観光・交流の振興 (+0.29)、21 男女共同参画の推進 (+0.28)、7 計画的な土地利用の推進 (+0.26)、3 環境教育の推進 (+0.23)、1 環境保全の推進 (+0.21)、4 生活環境の向上 (+0.16)、34 農林水産業の振興 (+0.13)、27 消費生活対策の充実 (+0.11)、18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 (+0.10)、22 地域防災対策・体制の強化 (+0.10)
- ・市全体の重要度に比べ、今之浦地区の重要度が「0.1以上」下回っている施策
 - 38 雇用環境の充実 (-0.75)、33 地域医療体制の充実 (-0.75)、6 上下水道の整備 (-0.48)、10 緑豊かなまちづくり (-0.45)、19 スポーツの振興 (-0.35)、41 行政の力を高める (-0.30)、16 健全な青少年育成 (-0.16)、15 子どもの教育の充実 (-0.15)、36 工業・新産業の育成・振興 (-0.13)、24 交通安全対策の充実 (-0.13)

(市全体と今之浦地区における満足度・重要度の比較)



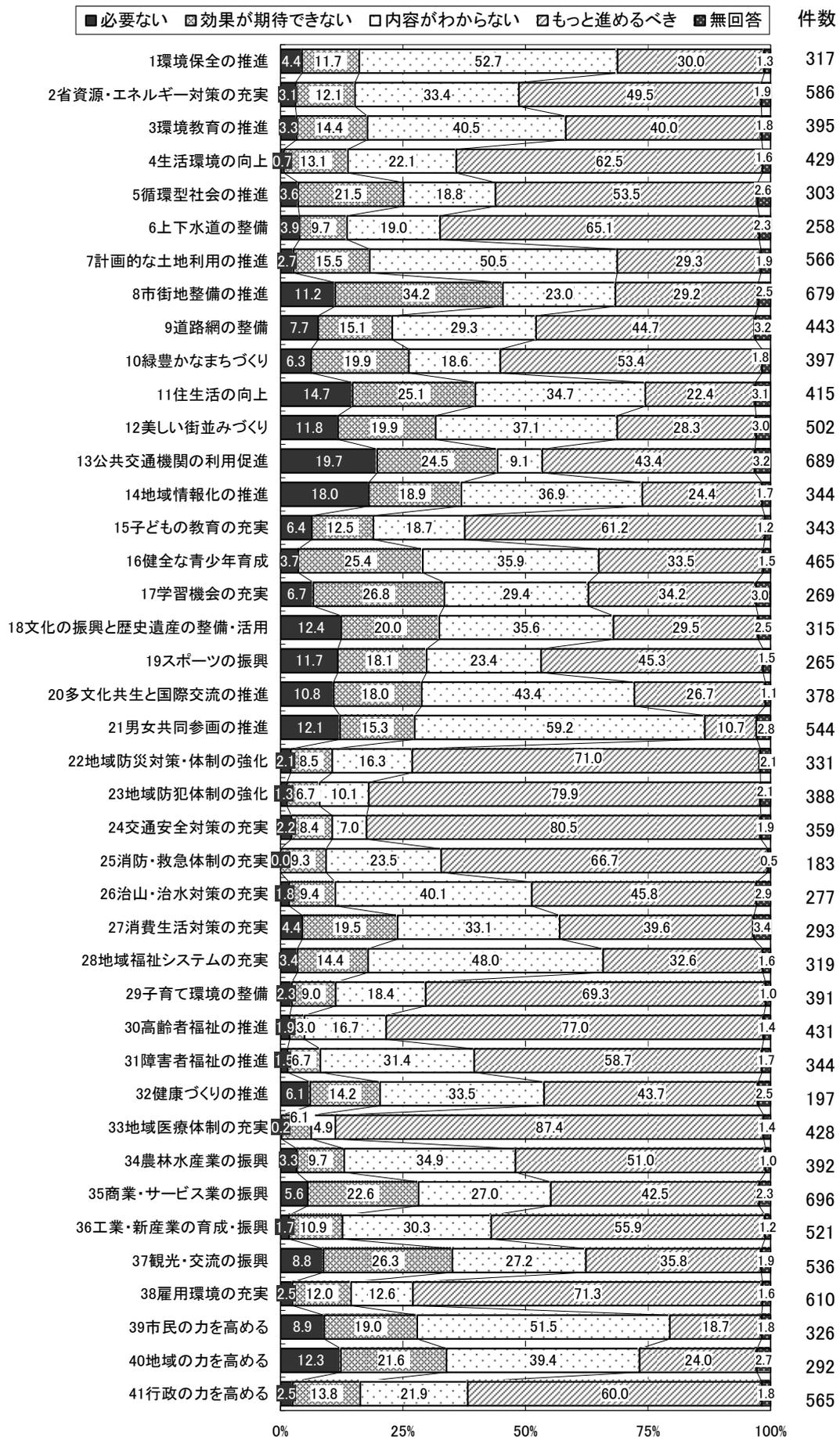
(今之浦地区の満足度・重要度の分布状況)



(41 施策の領域分類)

	A 優先的改善施策	B 継続維持施策	C 検討課題施策	D 成果検証施策
1 環境にやさしい	2 省資源・エネルギー対策の充実	3 環境教育の推進 4 生活環境の向上 5 循環型社会の推進 6 上下水道の整備		1 環境保全の推進
2 住んで良かった	13 公共交通機関の利用促進		7 計画的な土地利用の推進 8 市街地整備の推進 11 住生活の向上 12 美しい街並みづくり 14 地域情報化の推進	9 道路網の整備 10 緑豊かなまちづくり
3 豊かな心を育み		15 子どもの教育の充実	16 健全な青少年育成 18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 20 多文化共生と国際交流の推進 21 男女共同参画の推進	17 学習機会の充実 19 スポーツの振興
4 安全・安心		22 地域防災対策・体制の強化 23 地域防犯体制の強化 24 交通安全対策の充実 25 消防・救急体制の充実 26 治山・治水対策の充実		27 消費生活対策の充実
5 やさしさ、ふれあい、	29 子育て環境の整備 33 地域医療体制の充実	30 高齢者福祉の推進 31 障害者福祉の推進	28 地域福祉システムの充実	32 健康づくりの推進
6 交流と活力	36 工業・新産業の育成・振興 38 雇用環境の充実		34 農林水産業の振興 35 商業・サービス業の振興 37 観光・交流の振興	
計画推進			39 市民の力を高める 40 地域の力を高める 41 行政の力を高める	

不満の理由



◆ 岩田・大藤・向笠地区

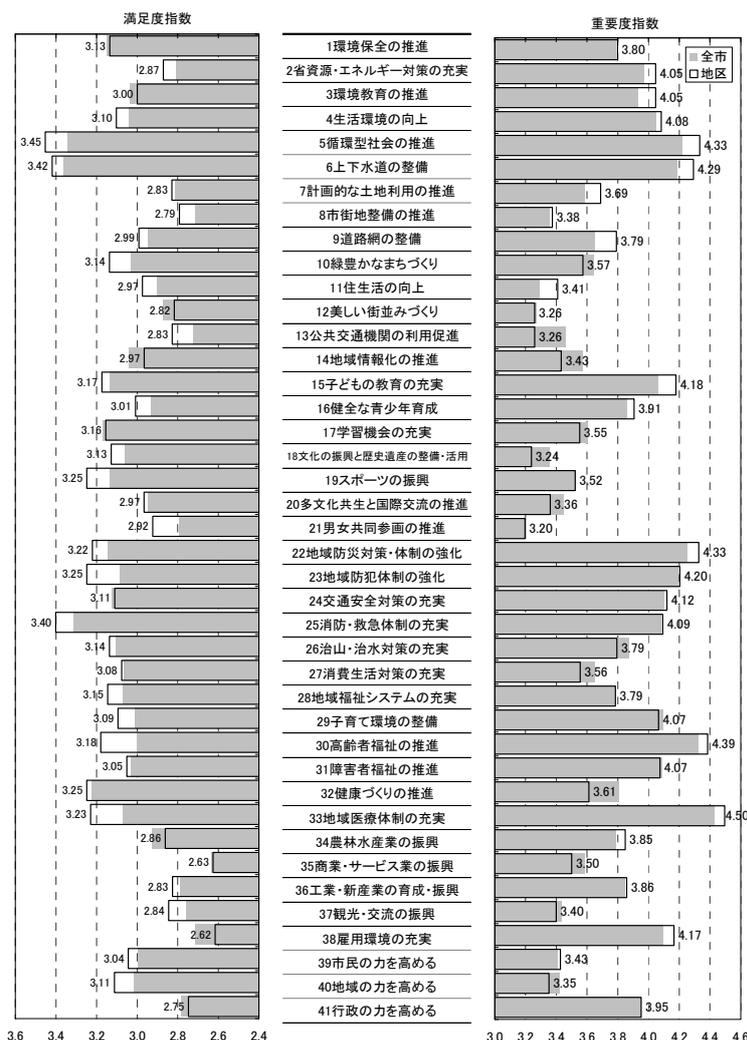
満足度

- 市全体の満足度に比べ、岩田・大藤・向笠地区の満足度が「0.1以上」上回っている施策
 30 高齢者福祉の推進 (+0.18)、23 地域防犯体制の強化 (+0.16)、33 地域医療体制の充実 (+0.16)、21 男女共同参画の推進 (+0.13)、19 スポーツの振興 (+0.11)、5 循環型社会の推進 (+0.11)、10 緑豊かなまちづくり (+0.11)、13 公共交通機関の利用促進 (+0.10)
- 市全体の満足度に比べ、岩田・大藤・向笠地区の満足度が「0.1以上」下回っている施策
 38 雇用環境の充実 (-0.10)

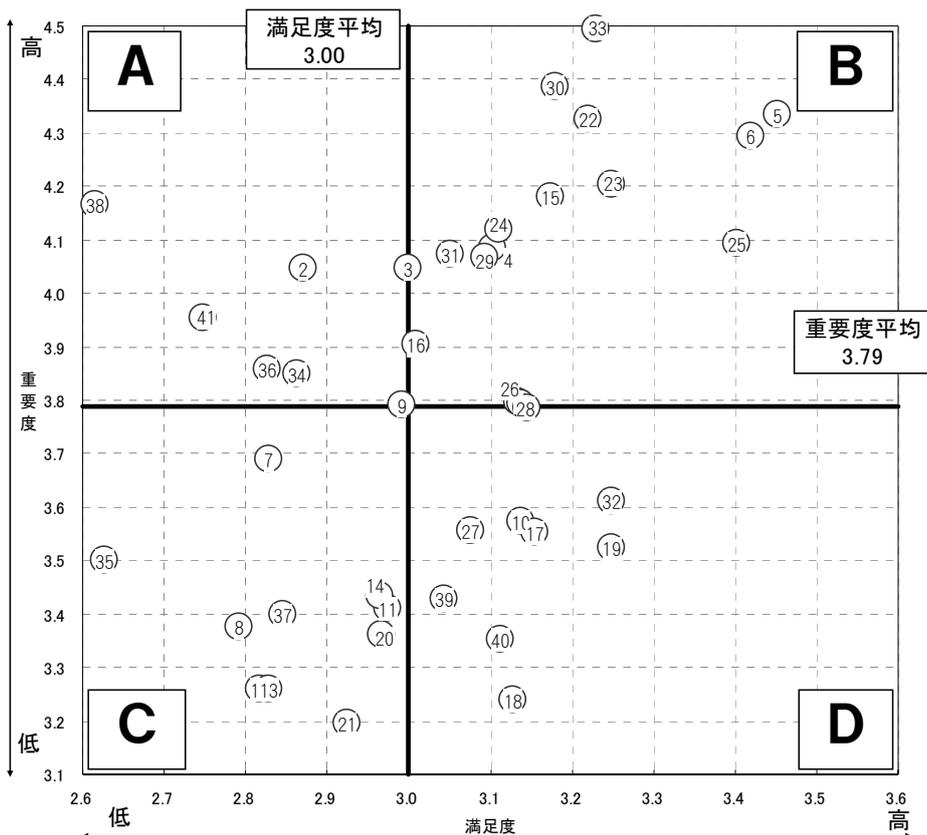
重要度

- 市全体の重要度に比べ、岩田・大藤・向笠地区の重要度が「0.1以上」上回っている施策
 9 道路網の整備 (+0.14)、11 住生活の向上 (+0.12)、3 環境教育の推進 (+0.12)、5 循環型社会の推進 (+0.12)、15 子どもの教育の充実 (+0.11)、6 上下水道の整備 (+0.11)、7 計画的な土地利用の推進 (+0.10)
- 市全体の重要度に比べ、岩田・大藤・向笠地区の重要度が「0.1以上」下回っている施策
 13 公共交通機関の利用促進 (-0.20)、32 健康づくりの推進 (-0.19)、14 地域情報化の推進 (-0.14)、18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 (-0.12)

(市全体と岩田・大藤・向笠地区における満足度・重要度の比較)



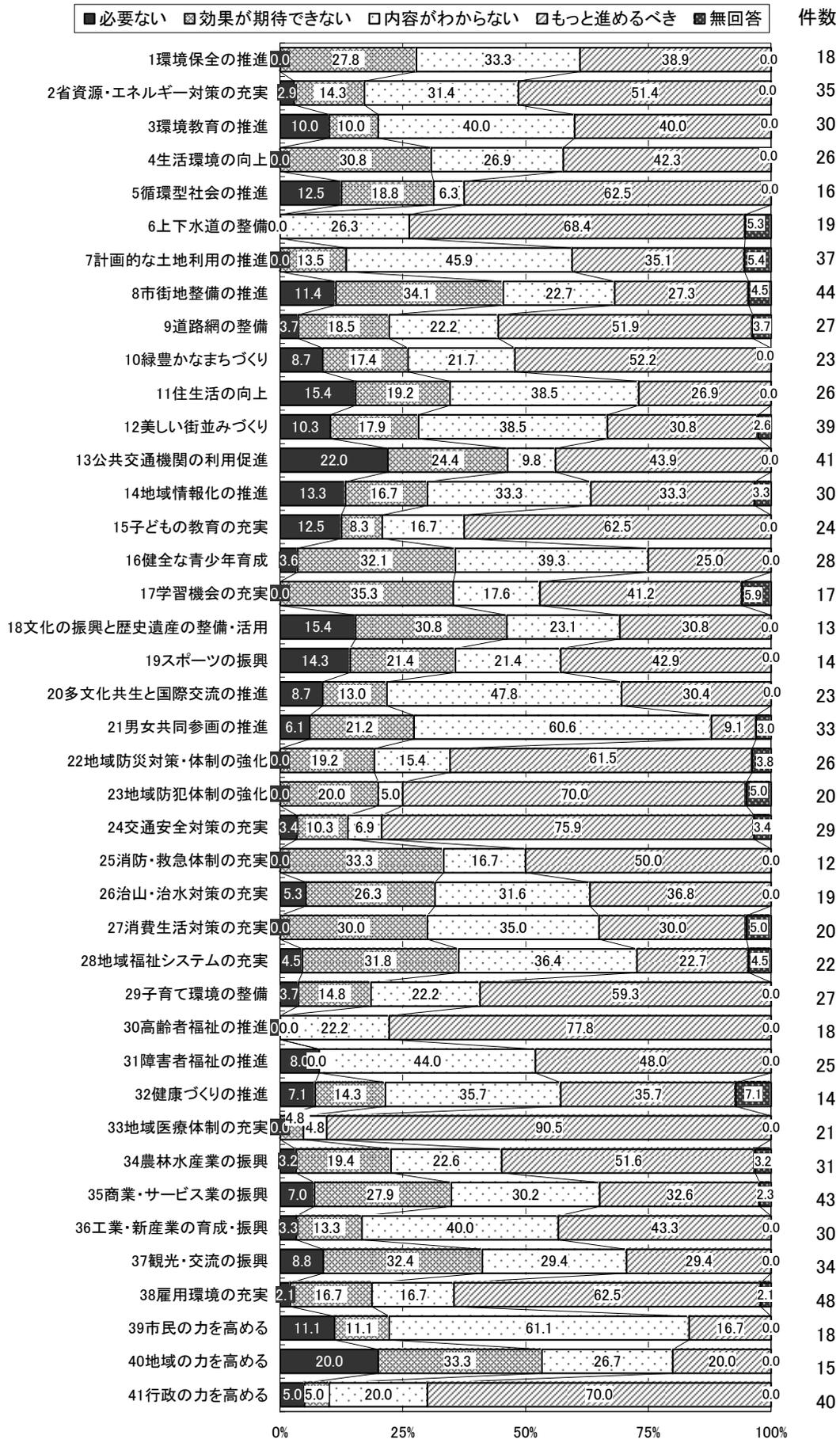
(岩田・大藤・向笠地区の満足度・重要度の分布状況)



(41 施策の領域分類)

	A 優先的改善施策	B 継続維持施策	C 検討課題施策	D 成果検証施策
1 環境にやさしい	2 省資源・エネルギー対策の充実	1 環境保全の推進 3 環境教育の推進 4 生活環境の向上 5 循環型社会の推進 6 上下水道の整備		
2 住んで良かった	9 道路網の整備		7 計画的な土地利用の推進 8 市街地整備の推進 11 住生活の向上 12 美しい街並みづくり 13 公共交通機関の利用促進 14 地域情報化の推進	10 緑豊かなまちづくり
3 豊かな心を育み		15 子どもの教育の充実 16 健全な青少年育成	20 多文化共生と国際交流の推進 21 男女共同参画の推進	17 学習機会の充実 18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 19 スポーツの振興
4 安全・安心		22 地域防災対策・体制の強化 23 地域防犯体制の強化 24 交通安全対策の充実 25 消防・救急体制の充実 26 治山・治水対策の充実		27 消費生活対策の充実
5 やさしさ、ふれあい、		29 子育て環境の整備 30 高齢者福祉の推進 31 障害者福祉の推進 33 地域医療体制の充実		28 地域福祉システムの充実 32 健康づくりの推進
6 交流と活力	34 農林水産業の振興 36 工業・新産業の育成・振興 38 雇用環境の充実		35 商業・サービス業の振興 37 観光・交流の振興	
計画推進	41 行政の力を高める 39 市民の力を高める			40 地域の力を高める

不満の理由



◆ 西貝・御厨・南御厨・田原地区

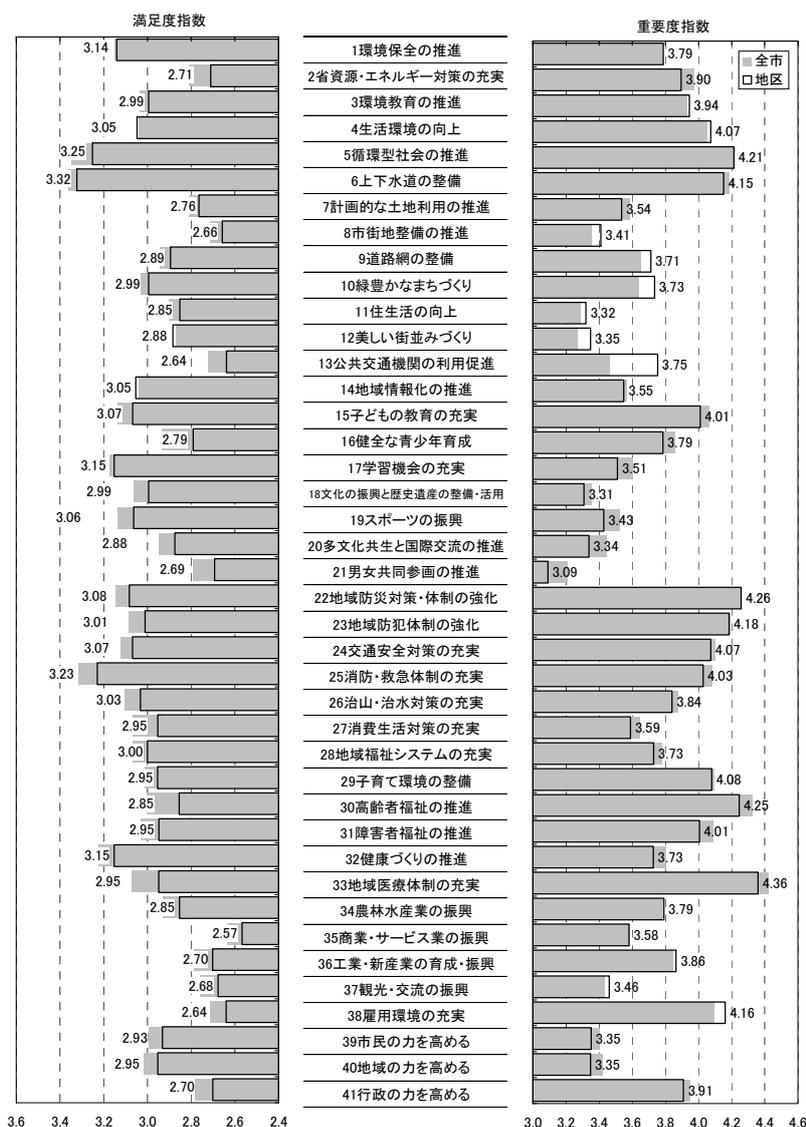
満足度

- ・市全体の満足度に比べ、西貝・御厨・南御厨・田原地区の満足度が「0.1以上」上回っている施策 該当施策なし。
- ・市全体の満足度に比べ、西貝・御厨・南御厨・田原地区の満足度が「0.1以上」下回っている施策 30 高齢者福祉の推進 (-0.15)、16 健全な青少年育成 (-0.14)、33 地域医療体制の充実 (-0.12)、27 消費生活対策の充実 (-0.11)、21 男女共同参画の推進 (-0.10)、2 省資源・エネルギー対策の充実 (-0.10)

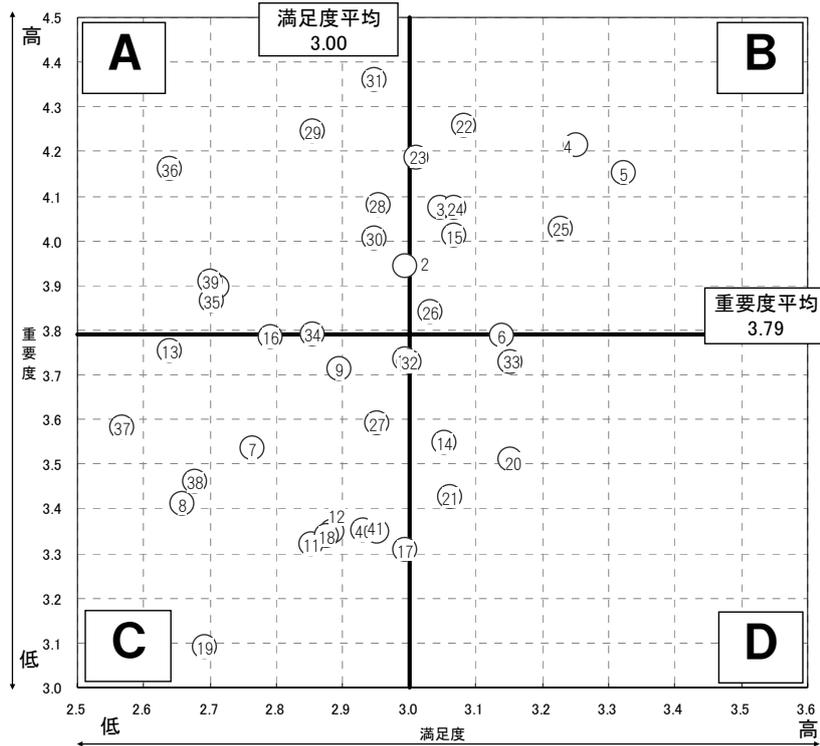
重要度

- ・市全体の重要度に比べ、西貝・御厨・南御厨・田原地区の重要度が「0.1以上」上回っている施策 13 公共交通機関の利用促進 (+0.29)
- ・市全体の重要度に比べ、西貝・御厨・南御厨・田原地区の重要度が「0.1以上」下回っている施策 21 男女共同参画の推進 (+ -0.12)、20 多文化共生と国際交流の推進 (+ -0.11)、19 スポーツの振興 (+ -0.10)

(市全体と西貝・御厨・南御厨・田原地区における満足度・重要度の比較)



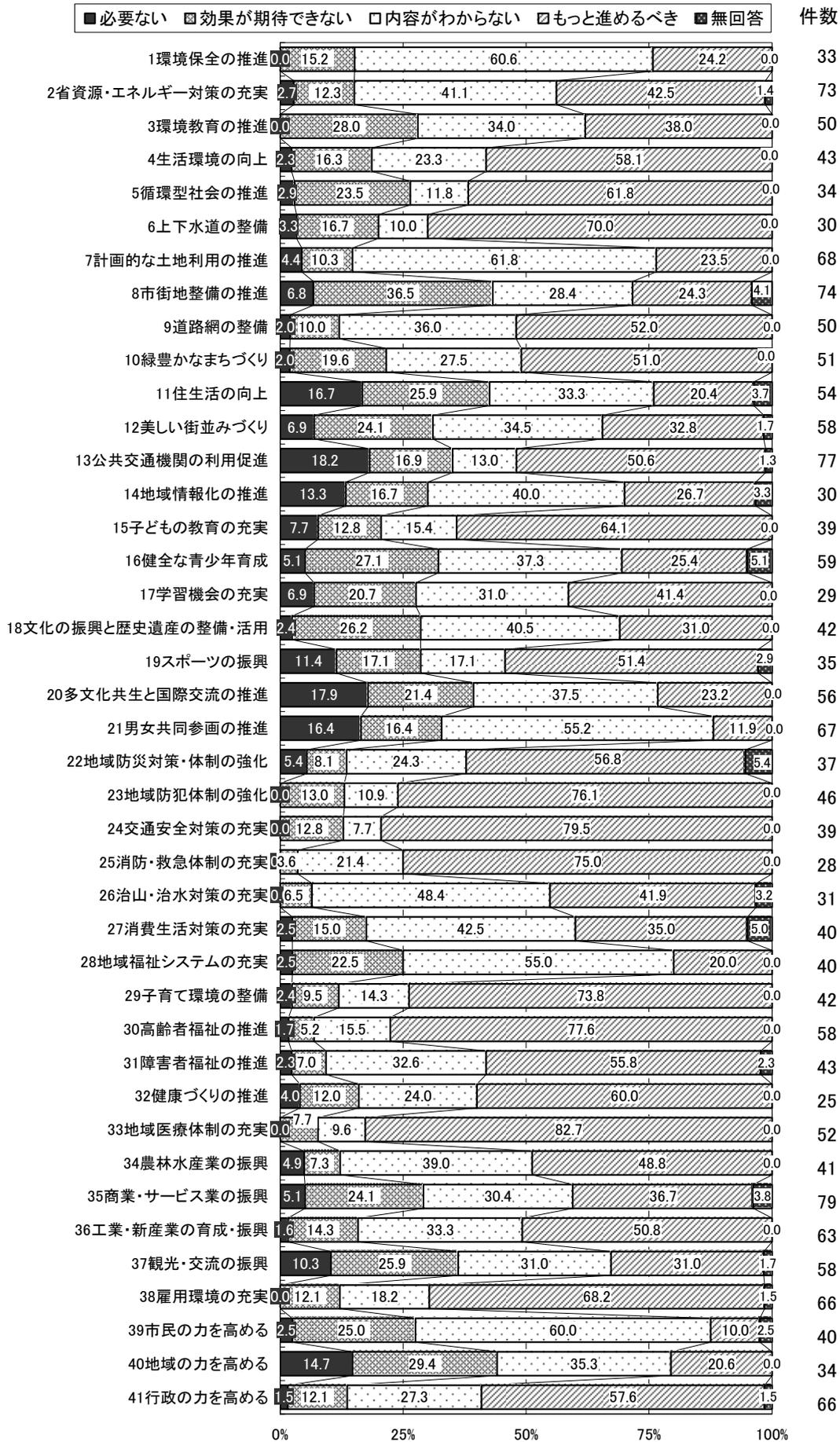
(西貝・御厨・南御厨・田原地区の満足度・重要度の分布状況)



(41 施策の領域分類)

	A 優先的改善施策	B 継続維持施策	C 検討課題施策	D 成果検証施策
1 環境にやさしい	2 省資源・エネルギー対策の充実 3 環境教育の推進	4 生活環境の向上 5 循環型社会の推進 6 上下水道の整備		1 環境保全の推進
2 住んで良かった			7 計画的な土地利用の推進 8 市街地整備の推進 9 道路網の整備 10 緑豊かなまちづくり 11 住生活の向上 12 美しい街並みづくり 13 公共交通機関の利用促進	14 地域情報化の推進
3 豊かな心を育み		15 子どもの教育の充実	16 健全な青少年育成 18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 20 多文化共生と国際交流の推進 21 男女共同参画の推進	17 学習機会の充実 19 スポーツの振興
4 安全・安心		22 地域防災対策・体制の強化 23 地域防犯体制の強化 24 交通安全対策の充実 25 消防・救急体制の充実 26 治山・治水対策の充実	27 消費生活対策の充実	
5 やさしさ、ふれあい、	29 子育て環境の整備 30 高齢者福祉の推進 31 障害者福祉の推進 33 地域医療体制の充実			28 地域福祉システムの充実 32 健康づくりの推進
6 交流と活力	34 農林水産業の振興 36 工業・新産業の育成・振興 38 雇用環境の充実		35 商業・サービス業の振興 37 観光・交流の振興	
計画推進	41 行政の力を高める		39 市民の力を高める 40 地域の力を高める	

不満の理由



◆ 天竜・長野・於保地区

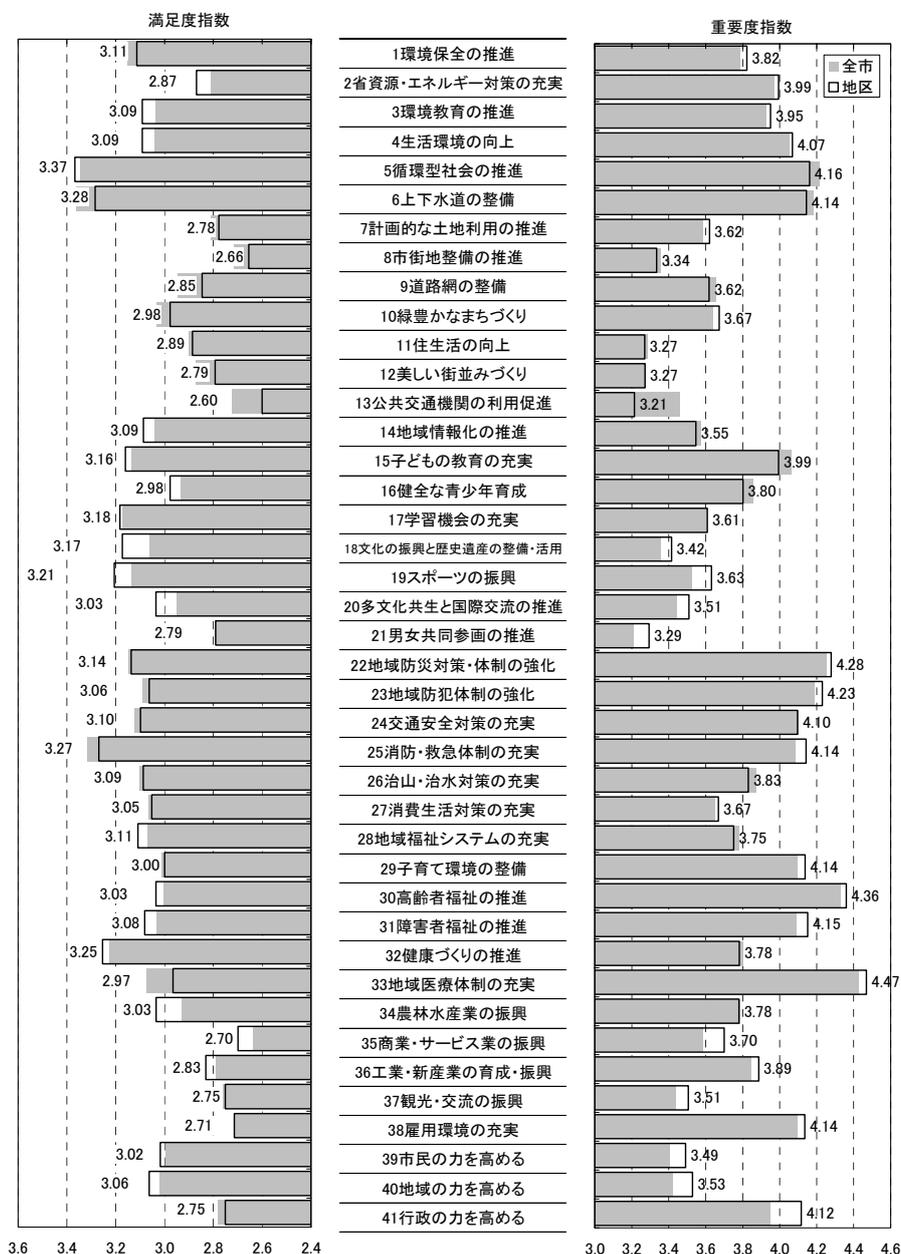
満足度

- ・市全体の満足度に比べ、天竜・長野・於保地区の満足度が「0.1以上」上回っている施策
18文化の振興と歴史遺産の整備・活用 (+0.11)、34農林水産業の振興 (+0.11)
- ・市全体の満足度に比べ、天竜・長野・於保地区の満足度が「0.1以上」下回っている施策
13公共交通機関の利用促進 (-0.12)、33地域医療体制の充実 (-0.11)、9道路網の整備 (-0.10)

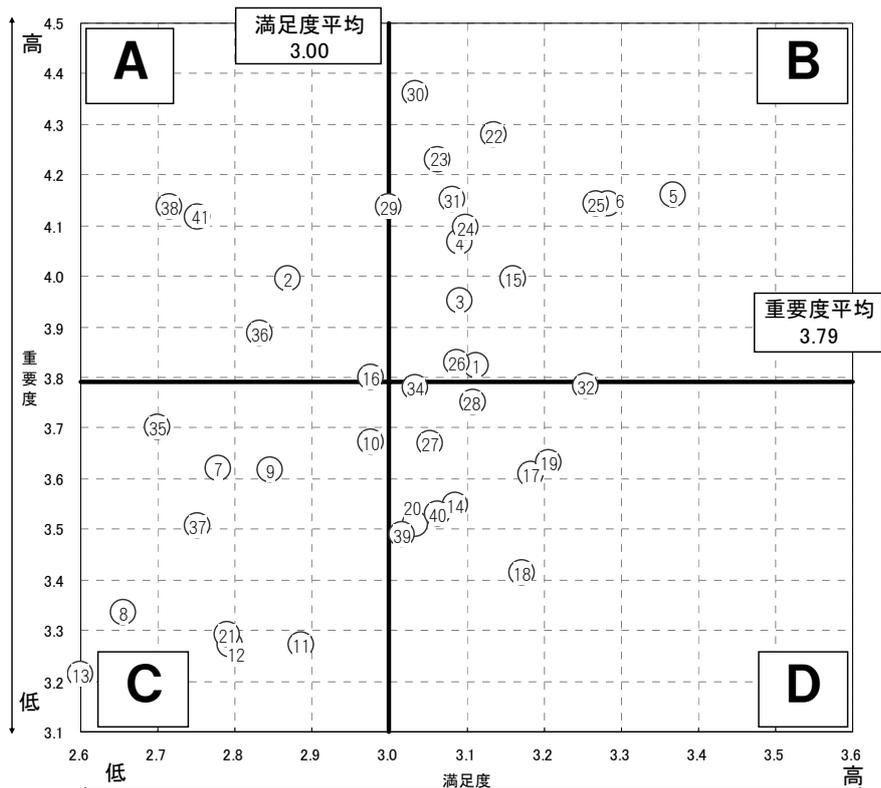
重要度

- ・市全体の重要度に比べ、天竜・長野・於保地区の重要度が「0.1以上」上回っている施策
41行政の力を高める (+0.17)、35商業・サービス業の振興 (+0.12)、19スポーツの振興 (+0.11)、40地域の力を高める (+0.11)
- ・市全体の重要度に比べ、天竜・長野・於保地区の重要度が「0.1以上」下回っている施策
13公共交通機関の利用促進 (-0.25)

(市全体と天竜・長野・於保地区における満足度・重要度の比較)



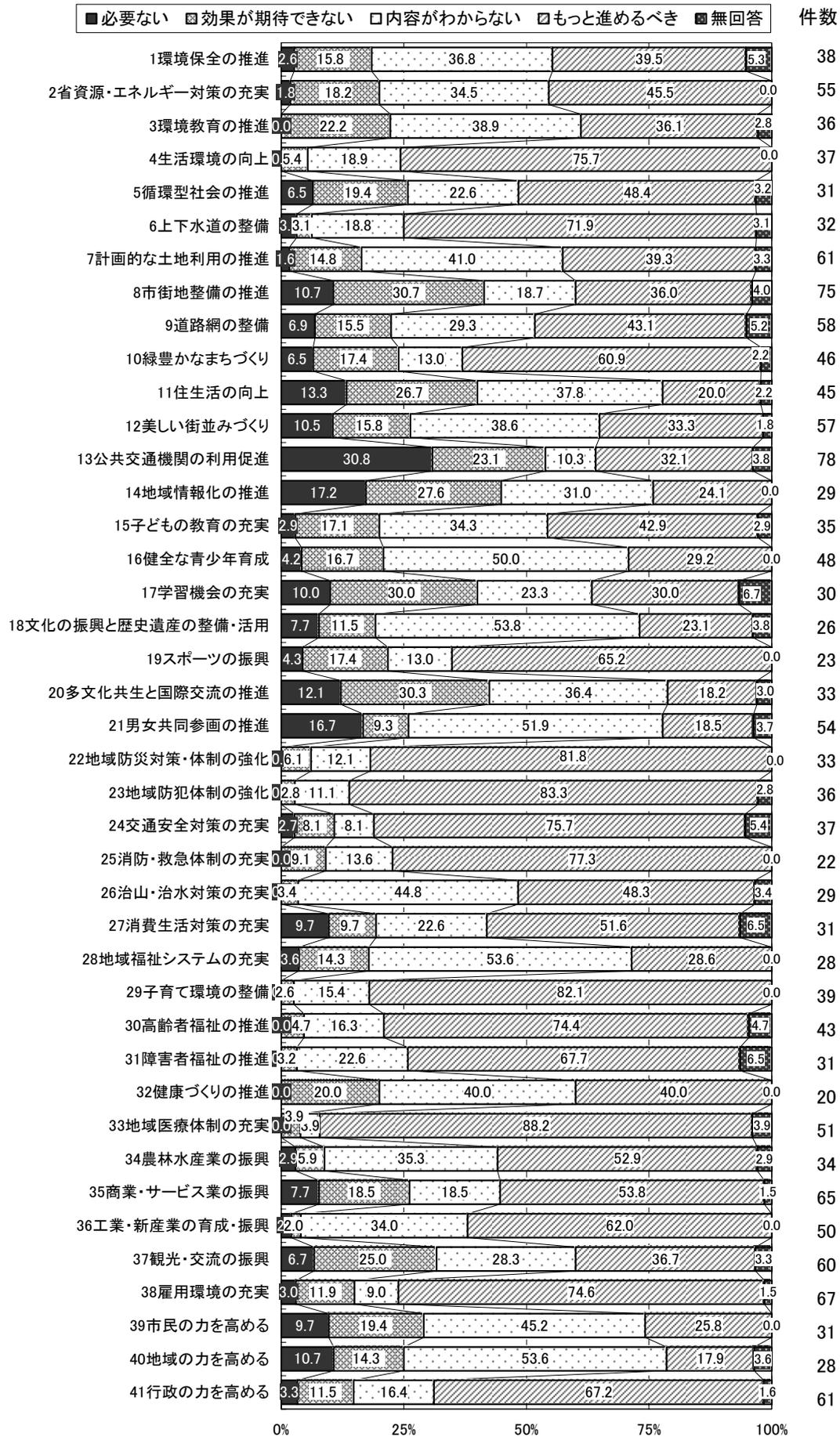
(天竜・長野・於保地区の満足度・重要度の分布状況)



(41 施策の領域分類)

	A 優先的改善施策	B 継続維持施策	C 検討課題施策	D 成果検証施策
1 環境にやさしい	2 省資源・エネルギー対策の充実	1 環境保全の推進 3 環境教育の推進 4 生活環境の向上 5 循環型社会の推進 6 上下水道の整備		
2 住んで良かった			7 計画的な土地利用の推進 8 市街地整備の推進 9 道路網の整備 10 緑豊かなまちづくり 11 住生活の向上 12 美しい街並みづくり 13 公共交通機関の利用促進	14 地域情報化の推進
3 豊かな心を育み	16 健全な青少年育成	15 子どもの教育の充実	21 男女共同参画の推進	17 学習機会の充実 18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 19 スポーツの振興 20 多文化共生と国際交流の推進
4 安全・安心		22 地域防災対策・体制の強化 23 地域防犯体制の強化 24 交通安全対策の充実 25 消防・救急体制の充実 26 治山・治水対策の充実		27 消費生活対策の充実
5 やさしさ、ふれあい、	33 地域医療体制の充実	29 子育て環境の整備 30 高齢者福祉の推進 31 障害者福祉の推進		28 地域福祉システムの充実 32 健康づくりの推進
6 交流と活力	36 工業・新産業の育成・振興 38 雇用環境の充実		35 商業・サービス業の振興 37 観光・交流の振興	34 農林水産業の振興
計画推進	41 行政の力を高める			39 市民の力を高める 40 地域の力を高める

不満の理由



◆ 福田地区

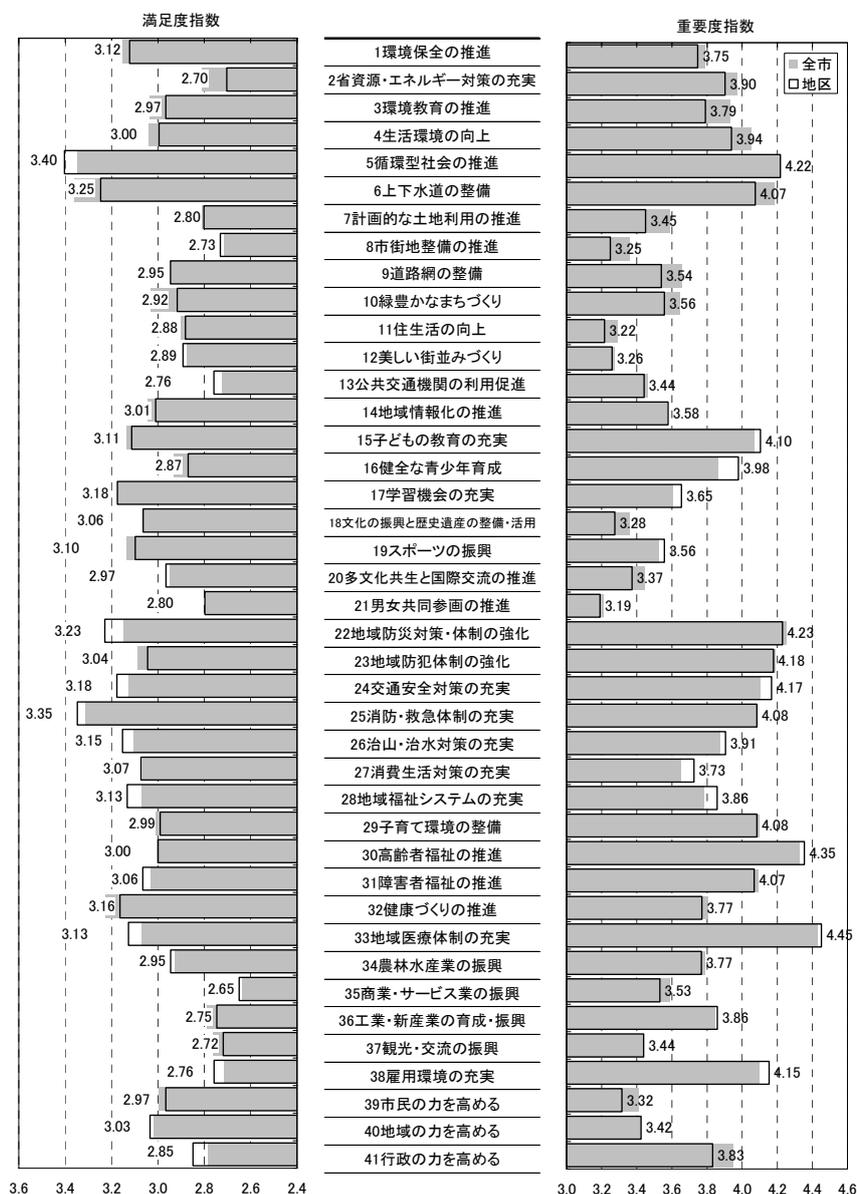
満足度

- ・市全体の満足度に比べ、福田地区の満足度が「0.1以上」上回っている施策
該当施策なし。
- ・市全体の満足度に比べ、福田地区の満足度が「0.1以上」下回っている施策
6 上下水道の整備 (-0.11)、10 緑豊かなまちづくり (-0.11)、2 省資源・エネルギー対策の充実 (-0.11)

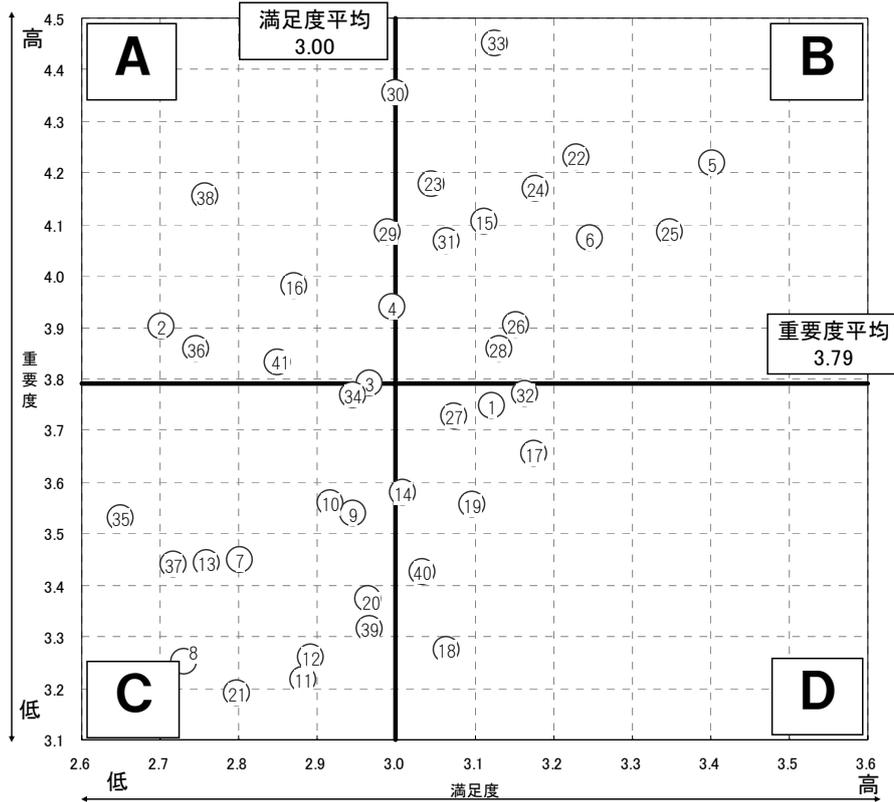
重要度

- ・市全体の重要度に比べ、福田地区の重要度が「0.1以上」上回っている施策
16 健全な青少年育成 (+0.12)
- ・市全体の重要度に比べ、福田地区の重要度が「0.1以上」下回っている施策
3 環境教育の推進 (-0.14)、7 計画的な土地利用の推進 (-0.14)、41 行政の力を高める (-0.12)、9 道路網の整備 (-0.11)、4 生活環境の向上 (-0.11)、6 上下水道の整備 (-0.11)、8 市街地整備の推進 (-0.11)

(市全体と福田地区における満足度・重要度の比較)



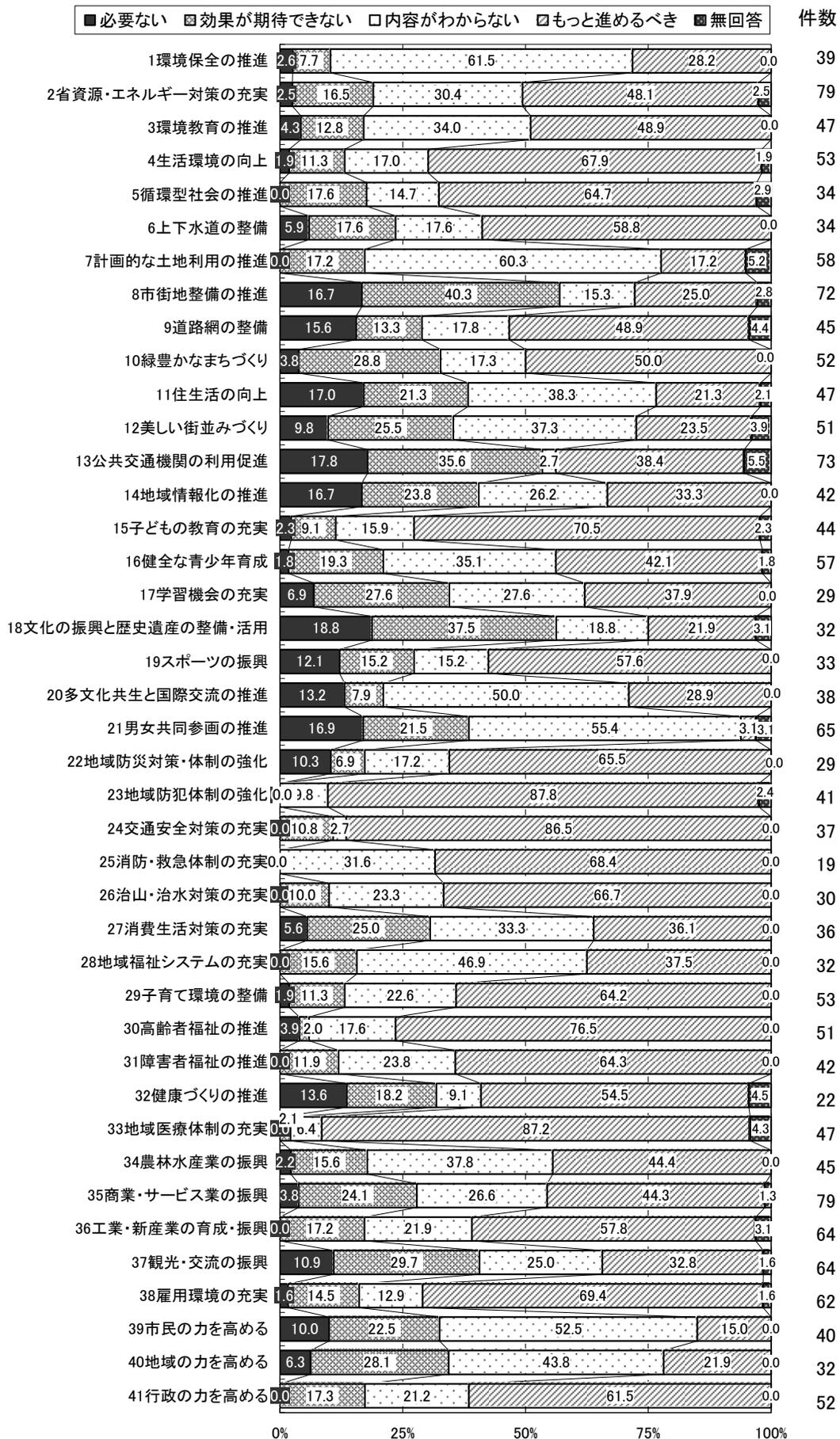
(福田地区の満足度・重要度の分布状況)



(41 施策の領域分類)

	A 優先的改善施策	B 継続維持施策	C 検討課題施策	D 成果検証施策
1 環境にやさしい	2 省資源・エネルギー対策の充実 3 環境教育の推進 4 生活環境の向上	5 循環型社会の推進 6 上下水道の整備		1 環境保全の推進
2 住んで良かった			7 計画的な土地利用の推進 8 市街地整備の推進 9 道路網の整備 10 緑豊かなまちづくり 11 住生活の向上 12 美しい街並みづくり 13 公共交通機関の利用促進	14 地域情報化の推進
3 豊かな心を育み	16 健全な青少年育成	15 子どもの教育の充実	20 多文化共生と国際交流の推進 21 男女共同参画の推進	17 学習機会の充実 18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 19 スポーツの振興
4 安全・安心		22 地域防災対策・体制の強化 23 地域防犯体制の強化 24 交通安全対策の充実 25 消防・救急体制の充実 26 治山・治水対策の充実		27 消費生活対策の充実
5 やさしさ、ふれあい、	29 子育て環境の整備	28 地域福祉システムの充実 30 高齢者福祉の推進 31 障害者福祉の推進 33 地域医療体制の充実		32 健康づくりの推進
6 交流と活力	36 工業・新産業の育成・振興 38 雇用環境の充実		34 農林水産業の振興 35 商業・サービス業の振興 37 観光・交流の振興	
計画推進	41 行政の力を高める		39 市民の力を高める	40 地域の力を高める

不満の理由



◆ 竜洋地区

満足度

- ・市全体の満足度に比べ、竜洋地区の満足度が「0.1以上」上回っている施策
該当施策なし。

- ・市全体の満足度に比べ、竜洋地区の満足度が「0.1以上」下回っている施策

33 地域医療体制の充実 (-0.21)、13 公共交通機関の利用促進 (-0.19)、36 工業・新産業の育成・振興 (-0.17)、30 高齢者福祉の推進 (-0.14)、39 市民の力を高める (-0.13)、41 行政の力を高める (-0.13)、9 道路網の整備 (-0.13)、4 生活環境の向上 (-0.13)、22 地域防災対策・体制の強化 (-0.12)、34 農林水産業の振興 (-0.12)、1 環境保全の推進 (-0.12)、38 雇用環境の充実 (-0.12)、29 子育て環境の整備 (-0.12)、40 地域の力を高める (-0.12)、24 交通安全対策の充実 (-0.11)、35 商業・サービス業の振興 (-0.11)、15 子どもの教育の充実 (-0.11)

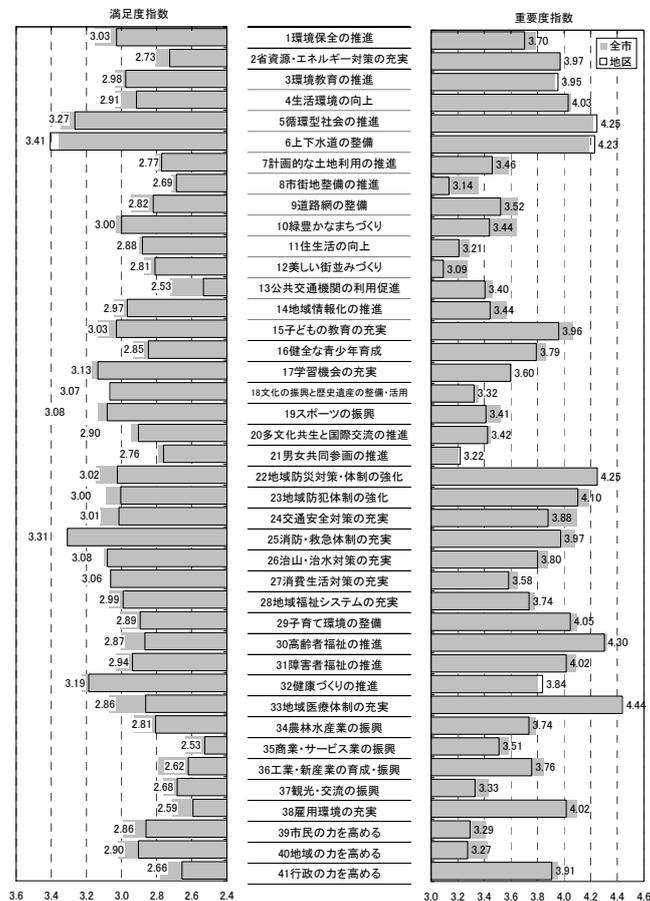
重要度

- ・市全体の重要度に比べ、竜洋地区の重要度が「0.1以上」上回っている施策
該当施策なし。

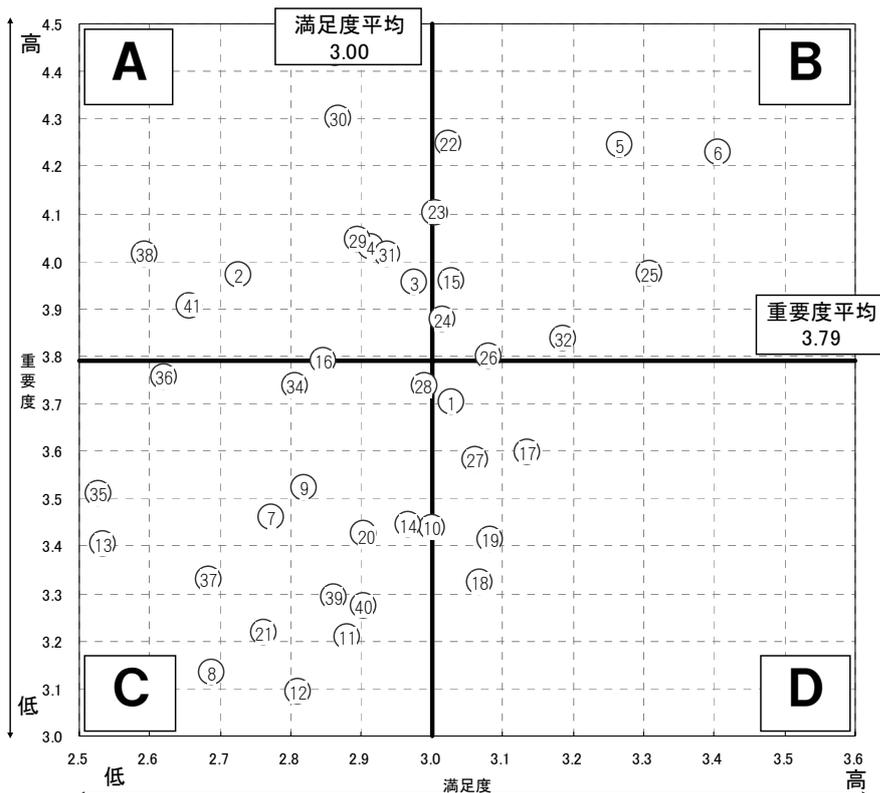
- ・市全体の重要度に比べ、竜洋地区の重要度が「0.1以上」下回っている施策

24 交通安全対策の充実 (-0.22)、8 市街地整備の推進 (-0.22)、10 緑豊かなまちづくり (-0.20)、12 美しい街並みづくり (-0.18)、40 地域の力を高める (-0.15)、9 道路網の整備 (-0.13)、14 地域情報化の推進 (-0.13)、7 計画的な土地利用の推進 (-0.13)、39 市民の力を高める (-0.11)、19 スポーツの振興 (-0.11)、25 消防・救急体制の充実 (-0.11)、15 子どもの教育の充実 (-0.11)、37 観光・交流の振興 (-0.11)

(市全体と竜洋地区における満足度・重要度の比較)



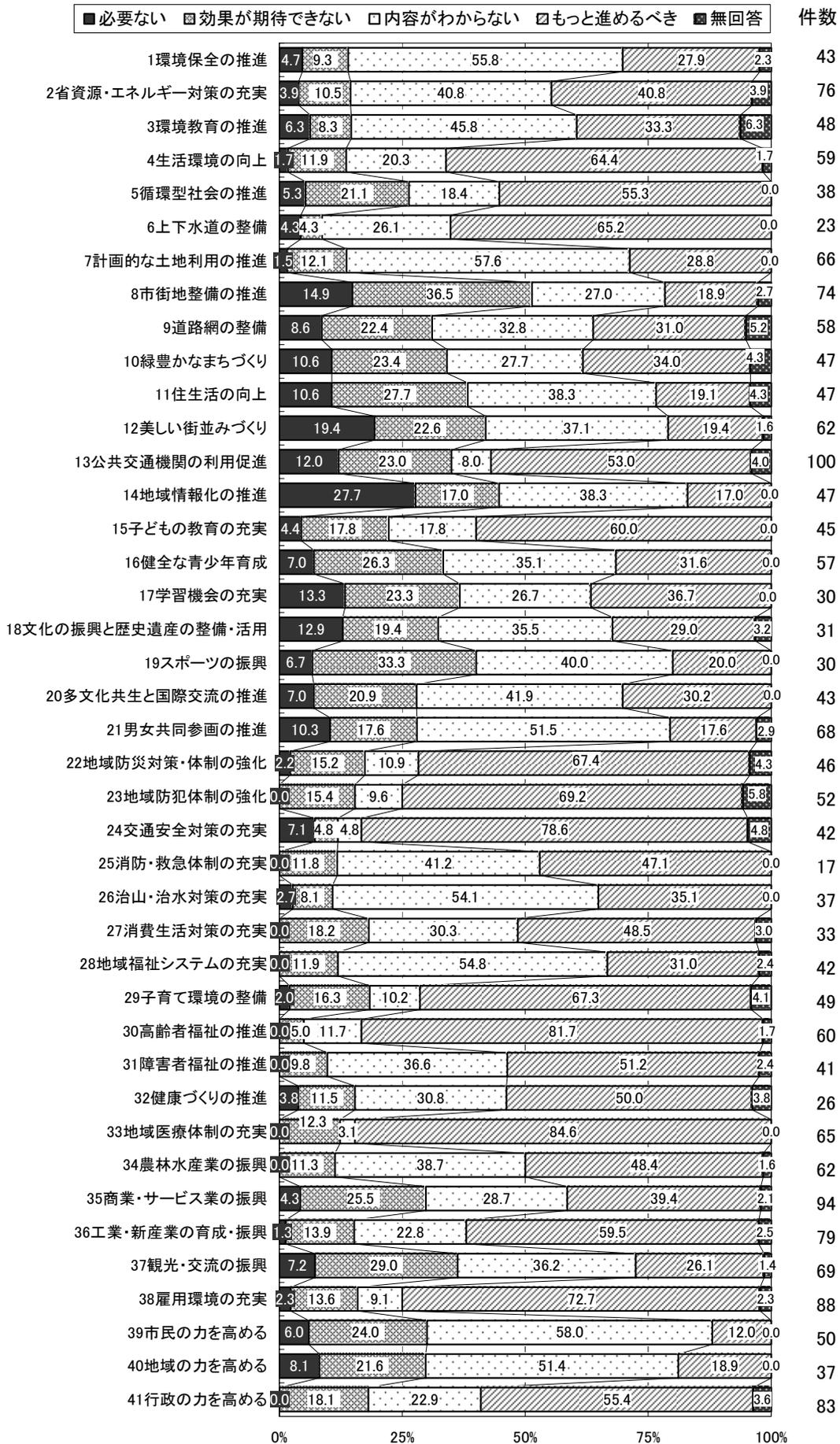
(竜洋地区の満足度・重要度の分布状況)



(41 施策の領域分類)

	A 優先的改善施策	B 継続維持施策	C 検討課題施策	D 成果検証施策
1 環境にやさしい	2 省資源・エネルギー対策の充実 3 環境教育の推進 4 生活環境の向上	5 循環型社会の推進 6 上下水道の整備		1 環境保全の推進
2 住んで良かった			7 計画的な土地利用の推進 8 市街地整備の推進 9 道路網の整備 11 住生活の向上 12 美しい街並みづくり 13 公共交通機関の利用促進 14 地域情報化の推進	10 緑豊かなまちづくり
3 豊かな心を育み	16 健全な青少年育成	15 子どもの教育の充実	20 多文化共生と国際交流の推進 21 男女共同参画の推進	17 学習機会の充実 18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 19 スポーツの振興
4 安全・安心		22 地域防災対策・体制の強化 23 地域防犯体制の強化 24 交通安全対策の充実 25 消防・救急体制の充実 26 治山・治水対策の充実		27 消費生活対策の充実
5 やさしさ、ふれあい、	29 子育て環境の整備 30 高齢者福祉の推進 31 障害者福祉の推進 33 地域医療体制の充実	32 健康づくりの推進	28 地域福祉システムの充実	
6 交流と活力	38 雇用環境の充実		34 農林水産業の振興 35 商業・サービス業の振興 36 工業・新産業の育成・振興 37 観光・交流の振興	
計画推進	41 行政の力を高める		39 市民の力を高める 40 地域の力を高める	

不満の理由



◆ 豊田地区

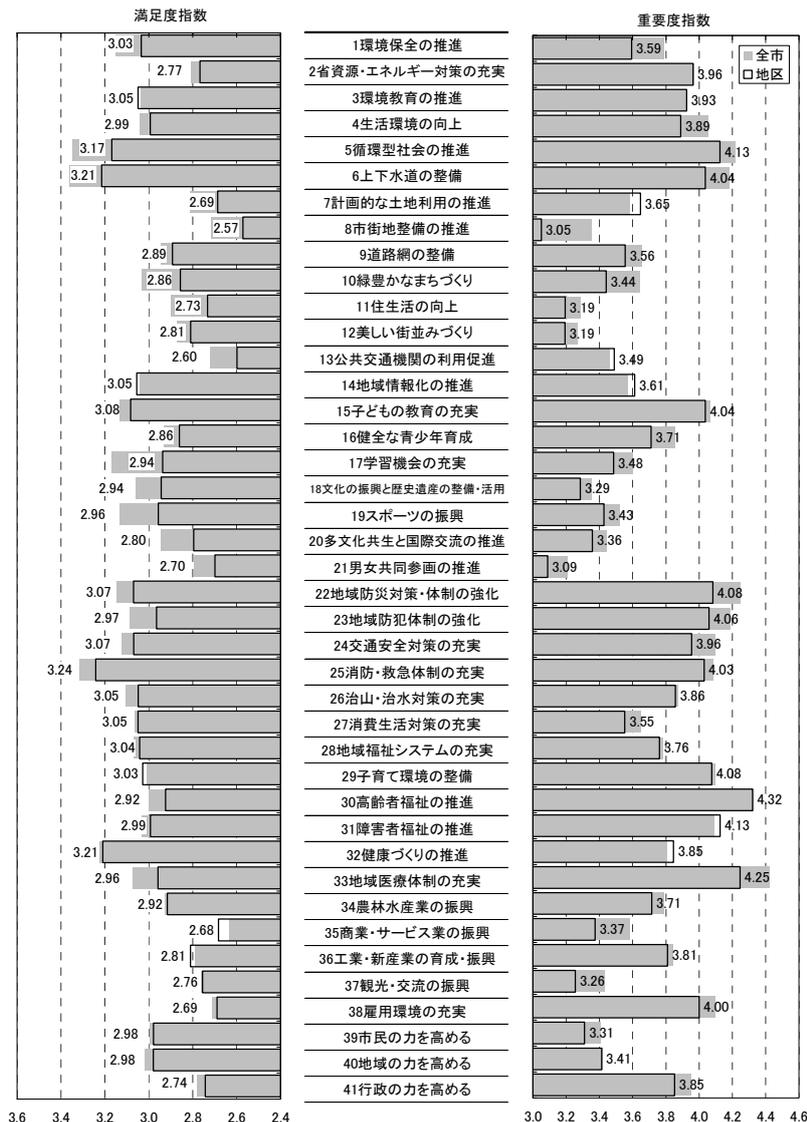
満足度

- ・市全体の満足度に比べ、豊田地区の満足度が「0.1以上」上回っている施策
 16 健全な青少年育成 (+0.13)、2 省資源・エネルギー対策の充実 (+0.12)、33 地域医療体制の充実 (+0.12)、7 計画的な土地利用の推進 (+0.12)、36 工業・新産業の育成・振興 (+0.10)、35 商業・サービス業の振興 (+0.10)、13 公共交通機関の利用促進 (+0.10)
- ・市全体の満足度に比べ、豊田地区の満足度が「0.1以上」下回っている施策
 該当施策なし。

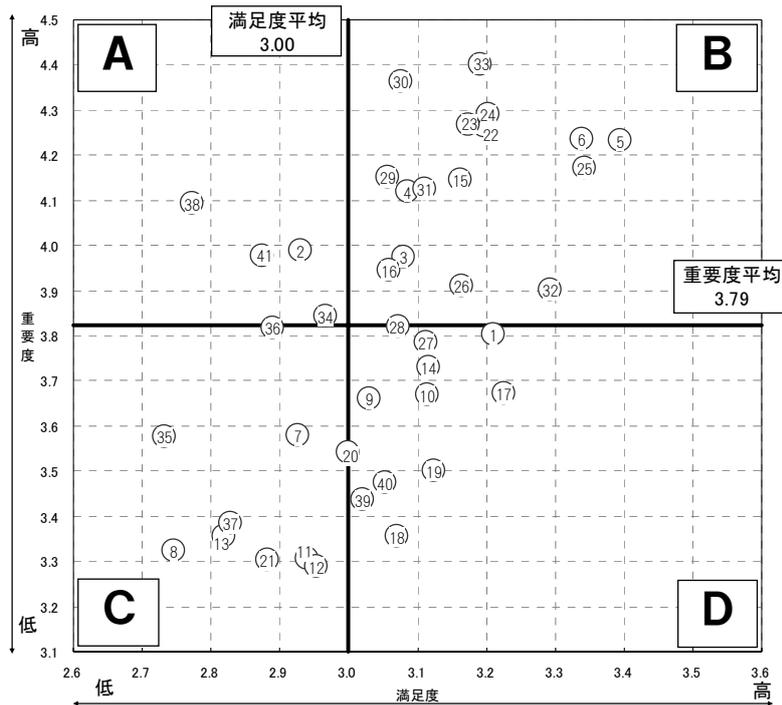
重要度

- ・市全体の重要度に比べ、豊田地区の重要度が「0.1以上」上回っている施策
 24 交通安全対策の充実 (+0.19)、14 地域情報化の推進 (+0.16)、27 消費生活対策の充実 (+0.14)、20 多文化共生と国際交流の推進 (+0.10)、32 健康づくりの推進 (+0.10)、21 男女共同参画の推進 (+0.10)
- ・市全体の重要度に比べ、豊田地区の重要度が「0.1以上」下回っている施策
 13 公共交通機関の利用促進 (-0.11)

(市全体と豊田地区における満足度・重要度の比較)



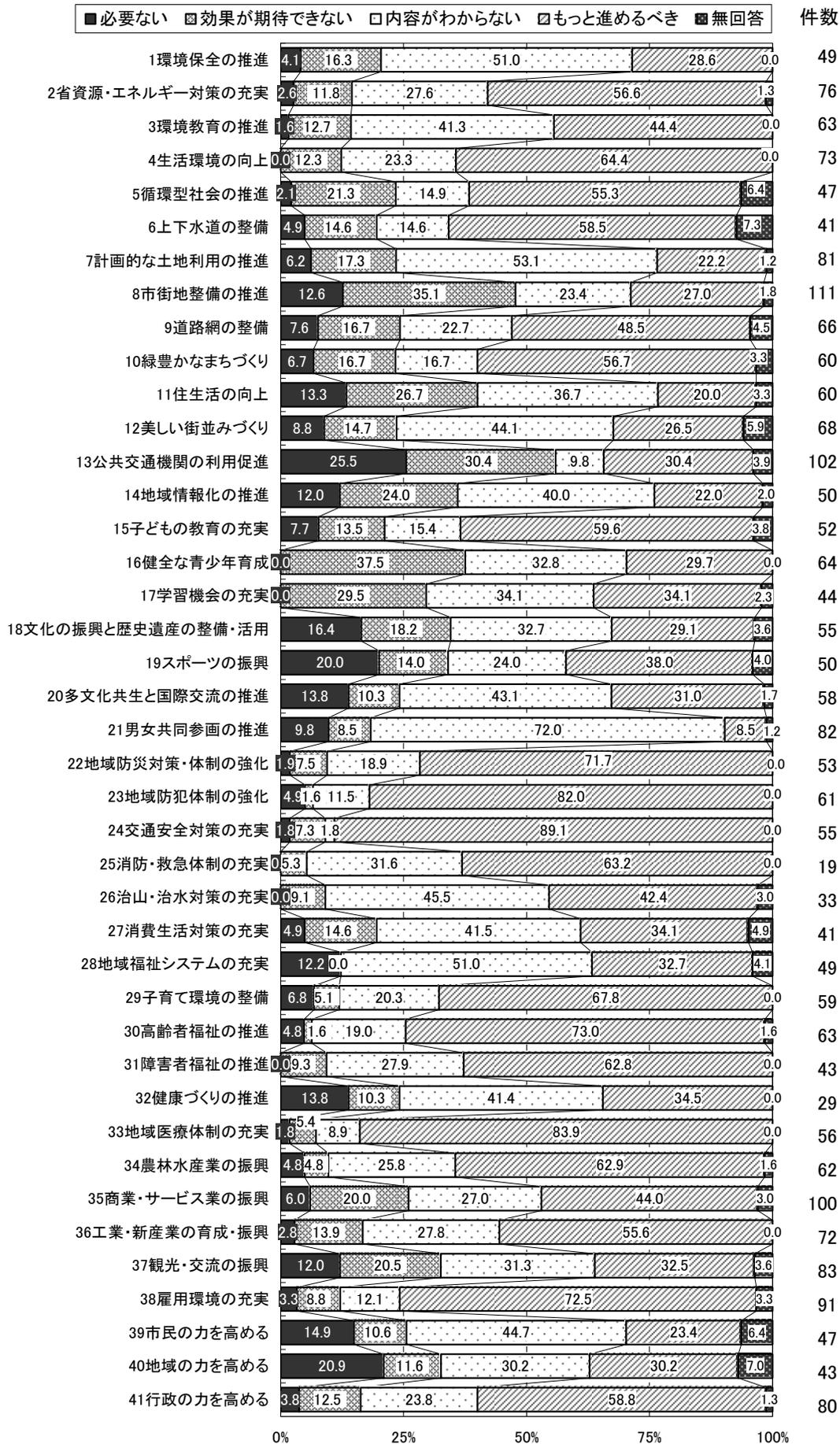
(豊田地区の満足度・重要度の分布状況)



(41 施策の領域分類)

	A 優先的改善施策	B 継続維持施策	C 検討課題施策	D 成果検証施策
1 環境にやさしい	2 省資源・エネルギー対策の充実 3 環境教育の推進 4 生活環境の向上 5 循環型社会の推進 6 上下水道の整備			1 環境保全の推進
2 住んで良かった			7 計画的な土地利用の推進 8 市街地整備の推進 11 住生活の向上 12 美しい街並みづくり 13 公共交通機関の利用促進	9 道路網の整備 10 緑豊かなまちづくり 14 地域情報化の推進
3 豊かな心を育み		15 子どもの教育の充実 16 健全な青少年育成	21 男女共同参画の推進	17 学習機会の充実 18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 19 スポーツの振興 20 多文化共生と国際交流の推進
4 安全・安心		22 地域防災対策・体制の強化 23 地域防犯体制の強化 24 交通安全対策の充実 25 消防・救急体制の充実 26 治山・治水対策の充実		27 消費生活対策の充実
5 やさしさ、ふれあい、		29 子育て環境の整備 30 高齢者福祉の推進 31 障害者福祉の推進 32 健康づくりの推進 33 地域医療体制の充実		28 地域福祉システムの充実
6 交流と活力	34 農林水産業の振興 38 雇用環境の充実		35 商業・サービス業の振興 36 工業・新産業の育成・振興 37 観光・交流の振興	
計画推進	41 行政の力を高める			39 市民の力を高める 40 地域の力を高める

不満の理由



◆ 豊岡地区

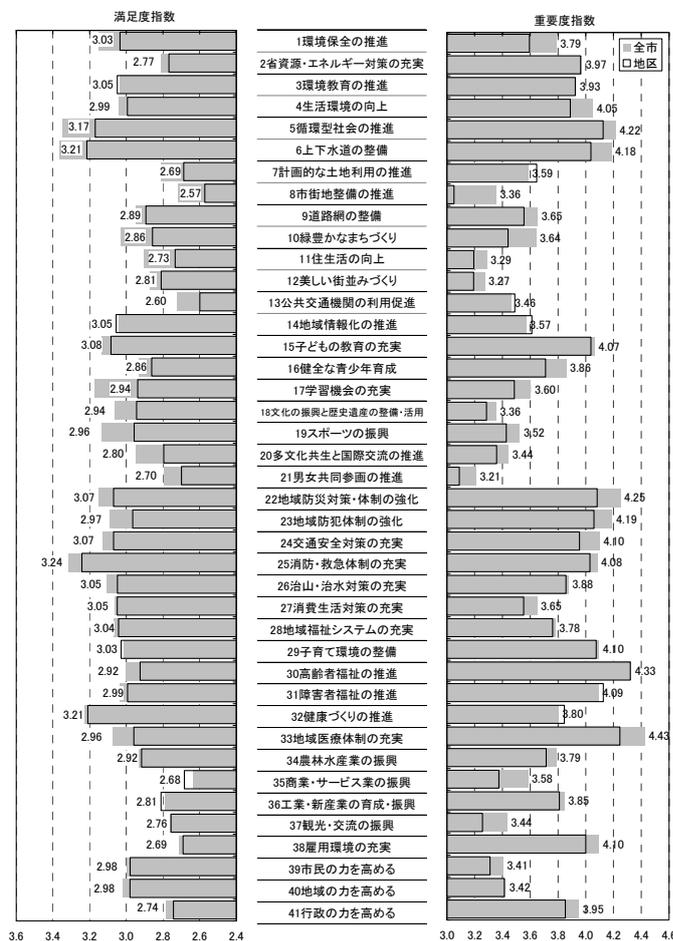
満足度

- ・市全体の満足度に比べ、豊岡地区の満足度が「0.1以上」上回っている施策
該当施策なし。
- ・市全体の満足度に比べ、豊岡地区の満足度が「0.1以上」下回っている施策
17 学習機会の充実 (-0.23)、19 スポーツの振興 (-0.18)、5 循環型社会の推進 (-0.18)、
10 緑豊かなまちづくり (-0.17)、11 住生活の向上 (-0.17)、20 多文化共生と国際交流の
推進 (-0.15)、6 上下水道の整備 (-0.15)、8 市街地整備の推進 (-0.14)、13 公共交通
機関の利用促進 (-0.12)、7 計画的な土地利用の推進 (-0.12)、23 地域防犯体制の強化 (-0.12)、
18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 (-0.12)、1 環境保全の推進 (-0.12)、33 地域医
療体制の充実 (-0.11)

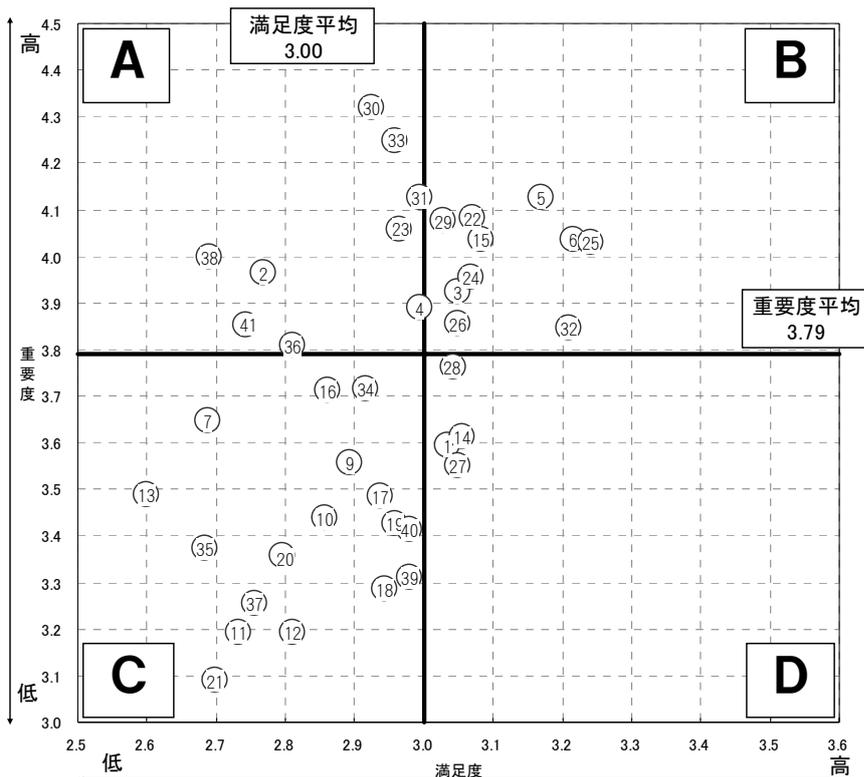
重要度

- ・市全体の重要度に比べ、豊岡地区の重要度が「0.1以上」上回っている施策
該当施策なし。
- ・市全体の重要度に比べ、豊岡地区の重要度が「0.1以上」下回っている施策
8 市街地整備の推進 (-0.30)、35 商業・サービス業の振興 (-0.21)、10 緑豊かなまちづく
り (-0.20)、1 環境保全の推進 (-0.19)、37 観光・交流の振興 (-0.18)、33 地域医療体制
の充実 (-0.18)、22 地域防災対策・体制の強化 (-0.17)、4 生活環境の向上 (-0.16)、
16 健全な青少年育成 (-0.15)、6 上下水道の整備 (-0.15)、24 交通安全対策の充実 (-0.14)、
23 地域防犯体制の強化 (-0.13)、17 学習機会の充実 (-0.12)、21 男女共同参画の推進 (-0.12)、
9 道路網の整備 (-0.10)、41 行政の力を高める (-0.10)、19 スポーツの振興 (-0.10)、
27 消費生活対策の充実 (-0.10)、39 市民の力を高める (-0.10)、38 雇用環境の充実 (-0.10)

(市全体と豊岡地区における満足度・重要度の比較)



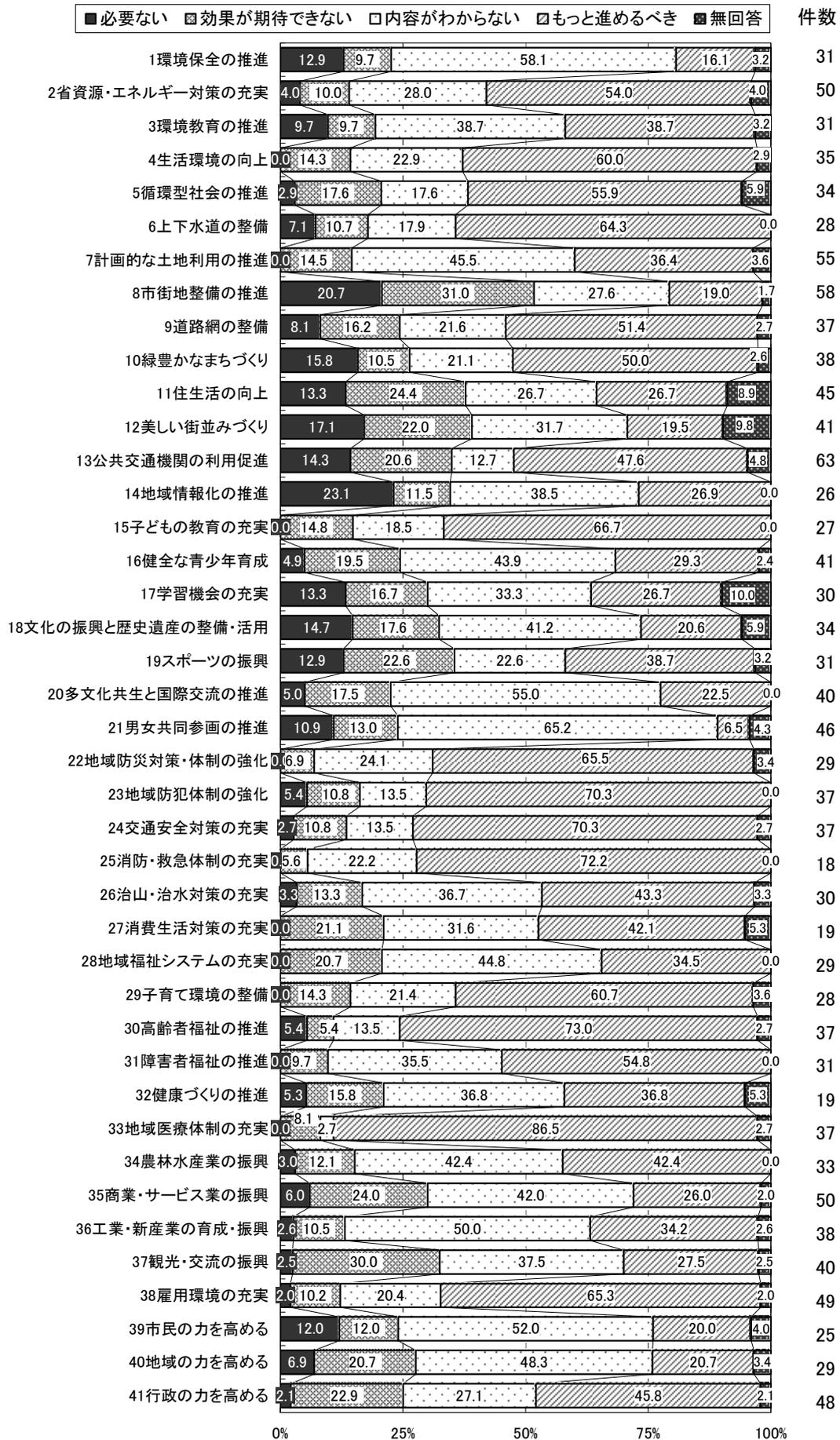
(豊岡地区の満足度・重要度の分布状況)



(41 施策の領域分類)

	A 優先的改善施策	B 継続維持施策	C 検討課題施策	D 成果検証施策
1 環境にやさしい	2 省資源・エネルギー対策の充実 4 生活環境の向上	3 環境教育の推進 5 循環型社会の推進 6 上下水道の整備		1 環境保全の推進
2 住んで良かった			7 計画的な土地利用の推進 8 市街地整備の推進 9 道路網の整備 10 緑豊かなまちづくり 11 住生活の向上 12 美しい街並みづくり 13 公共交通機関の利用促進	14 地域情報化の推進
3 豊かな心を育み		15 子どもの教育の充実	16 健全な青少年育成 17 学習機会の充実 18 文化の振興と歴史遺産の整備・活用 19 スポーツの振興 20 多文化共生と国際交流の推進 21 男女共同参画の推進	
4 安全・安心	23 地域防犯体制の強化	22 地域防災対策・体制の強化 24 交通安全対策の充実 25 消防・救急体制の充実 26 治山・治水対策の充実		27 消費生活対策の充実
5 やさしさ、ふれあい、	30 高齢者福祉の推進 31 障害者福祉の推進 33 地域医療体制の充実	29 子育て環境の整備 32 健康づくりの推進		28 地域福祉システムの充実
6 交流と活力	36 工業・新産業の育成・振興 38 雇用環境の実		34 農林水産業の振興 35 商業・サービス業の振興 37 観光・交流の振興	
計画推進	41 行政の力を高める		39 市民の力を高める 40 地域の力を高める	

不満の理由



問 11 の 41 の取り組み（施策）のうち、今後、特に重要であると思うものはどれですか。重要だと思うものを 5 つまで選んでください。

(1) 全体

- ・分野別（前期基本計画における基本目標別）にみると、今後、特に重要であるものベスト 10 に、「やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり」関連施策が 3 つ（高齢者福祉の推進、地域医療体制の充実、子育て環境の整備）入っており、市民の子育て、健康、福祉等に対するニーズの高さが伺える。また、「交流と活力のあるまちづくり」及び「安全・安心なまちづくり」関連施策が 2 つずつ入っており、市民生活に直接的な影響を与える、雇用、地域経済、防犯・防災体制等に対するニーズも高くなっている。
- ・具体的な取り組み別（前期基本計画における基本施策別）にみると、今後、特に重要なものベスト 5 は、「高齢者福祉の推進」、「地域医療体制の充実」、「子育て環境の整備」、「雇用環境の充実」、「子どもの教育の充実」となっている。

（選択率の高い上位 10 位）

順位	基本目標	基本施策	選択率
1	やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり	30 高齢者福祉の推進	33.7%
2	やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり	33 地域医療体制の充実	28.0%
3	やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり	29 子育て環境の整備	23.5%
4	交流と活力のあるまちづくり	38 雇用環境の充実	23.0%
5	豊かな心を育み活躍できるまちづくり	15 子どもの教育の充実	21.6%
6	安全・安心なまちづくり	22 地域防災対策・体制の強化	19.9%
7	計画推進のために	41 行政の力を高める	19.7%
8	安全・安心なまちづくり	23 地域防犯体制の強化	13.1%
9	環境にやさしいまちづくり	5 循環型社会の推進	12.5%
10	交流と活力のあるまちづくり	36 工業・新産業の育成・振興	11.3%

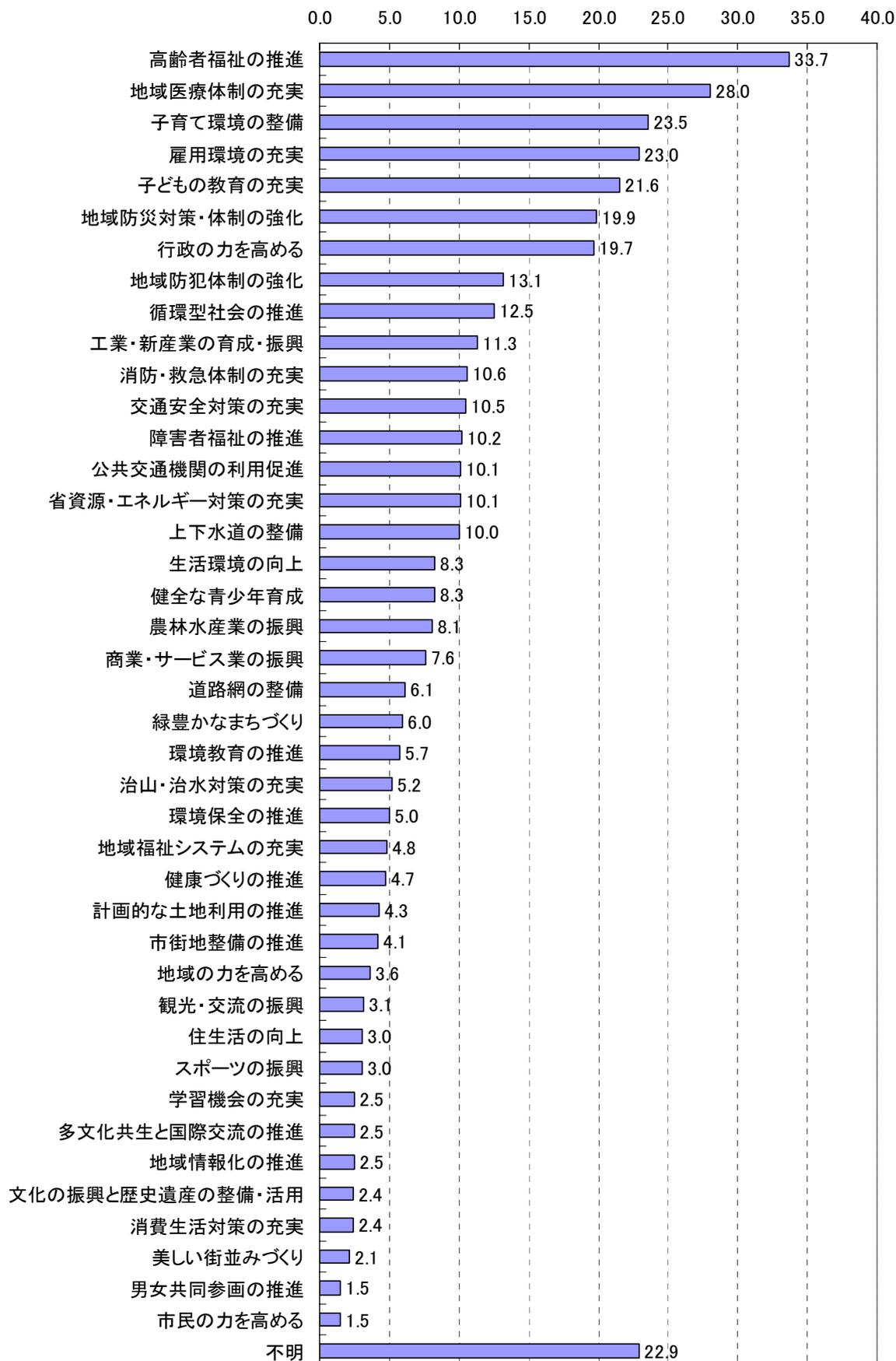
- ・選択率の高い施策と、要望度の高い施策（29 ページ参照）を比較すると、順位は若干変動しているものの、「子どもの教育の充実」（選択率 5 位、要望度 15 位）及び「循環型社会の推進」（選択率 9 位、要望度 21 位）を除き、同じ施策が含まれており、ほぼ同様の傾向を示している。

（選択率の高い施策と要望度の高い施策の比較）

順位	選択率の高い施策		要望度	
	施策	選択率	施策	要望度
1	30 高齢者福祉の推進	33.7%	38 雇用環境の充実	13.47
2	33 地域医療体制の充実	28.0%	30 高齢者福祉の推進	12.97
3	29 子育て環境の整備	23.5%	33 地域医療体制の充実	12.96
4	38 雇用環境の充実	23.0%	41 行政の力を高める	12.71
5	15 子どもの教育の充実	21.6%	2 省資源・エネルギー対策の充実	12.67
6	22 地域防災対策・体制の強化	19.9%	36 工業・新産業の育成・振興	12.35
7	41 行政の力を高める	19.7%	29 子育て環境の整備	12.24
8	23 地域防犯体制の強化	13.1%	23 地域防犯体制の強化	12.20
9	5 循環型社会の推進	12.5%	31 障害者福祉の推進	12.14
10	36 工業・新産業の育成・振興	11.3%	22 地域防災対策・体制の強化	12.13

(41 施策の選択率)

(%)



(2) 年齢別

20～29歳

- ・20～29歳の年齢層では、「29 子育て環境の整備」37.5%、「30 高齢者福祉の推進」33.5%、「38 雇用環境の充実」29.5%、「22 地域防災対策・体制の強化」21.6%、「33 地域医療体制の充実」21.0%が、重要な施策として選択率の高いもの（上位5つ）となっている。
- ・市全体と比較すると、「29 子育て環境の整備」や「38 雇用環境の充実」の選択率が高くなっている。

（選択率の高い上位10施策）

順位	20～29歳		市全体	
	施策	選択率	施策	選択率
1	29 子育て環境の整備	37.5%	30 高齢者福祉の推進	33.7%
2	30 高齢者福祉の推進	33.5%	33 地域医療体制の充実	28.0%
3	38 雇用環境の充実	29.5%	29 子育て環境の整備	23.5%
4	22 地域防災対策・体制の強化	21.6%	38 雇用環境の充実	23.0%
5	33 地域医療体制の充実	21.0%	15 子どもの教育の充実	21.6%
6	15 子どもの教育の充実	20.5%	22 地域防災対策・体制の強化	19.9%
7	23 地域防犯体制の強化	16.5%	41 行政の力を高める	19.7%
8	24 交通安全対策の充実	14.8%	23 地域防犯体制の強化	13.1%
9	31 障害者福祉の推進	13.6%	5 循環型社会の推進	12.5%
10	41 行政の力を高める	12.5%	36 工業・新産業の育成・振興	11.3%

30～39歳

- ・30～39歳の年齢層では、「29 子育て環境の整備」36.4%、「15 子どもの教育の充実」29.1%、「33 地域医療体制の充実」25.4%、「30 高齢者福祉の推進」25.1%、「22 地域防災対策・体制の強化」20.2%が、重要な施策として選択率の高いもの（上位5つ）となっている。
- ・市全体と比較すると、「29 子育て環境の整備」や「15 子どもの教育の充実」の選択率が高くなっている。

（選択率の高い上位10施策）

順位	30～39歳		市全体	
	施策	選択率	施策	選択率
1	29 子育て環境の整備	36.4%	30 高齢者福祉の推進	33.7%
2	15 子どもの教育の充実	29.1%	33 地域医療体制の充実	28.0%
3	33 地域医療体制の充実	25.4%	29 子育て環境の整備	23.5%
4	30 高齢者福祉の推進	25.1%	38 雇用環境の充実	23.0%
5	22 地域防災対策・体制の強化	20.2%	15 子どもの教育の充実	21.6%
6	38 雇用環境の充実	18.7%	22 地域防災対策・体制の強化	19.9%
7	24 交通安全対策の充実	16.5%	41 行政の力を高める	19.7%
8	41 行政の力を高める	15.0%	23 地域防犯体制の強化	13.1%
9	23 地域防犯体制の強化	14.1%	5 循環型社会の推進	12.5%
10	5 循環型社会の推進	12.5%	36 工業・新産業の育成・振興	11.3%

40～49歳

- ・40～49歳の年齢層では、「30 高齢者福祉の推進」36.3%、「33 地域医療体制の充実」33.1%、「15 子どもの教育の充実」26.9%、「29 子育て環境の整備」22.5%、「38 雇用環境の充実」22.2%が、重要な施策として選択率の高いもの（上位5つ）となっている。
- ・市全体と比較すると、「15 子どもの教育の充実」の選択率が高くなっている。

（選択率の高い上位10施策）

順位	40～49歳		市全体	
	施策	選択率	施策	選択率
1	30 高齢者福祉の推進	36.3%	30 高齢者福祉の推進	33.7%
2	33 地域医療体制の充実	33.1%	33 地域医療体制の充実	28.0%
3	15 子どもの教育の充実	26.9%	29 子育て環境の整備	23.5%
4	29 子育て環境の整備	22.5%	38 雇用環境の充実	23.0%
5	38 雇用環境の充実	22.2%	15 子どもの教育の充実	21.6%
6	22 地域防災対策・体制の強化	18.8%	22 地域防災対策・体制の強化	19.9%
7	5 循環型社会の推進	15.3%	41 行政の力を高める	19.7%
8	23 地域防犯体制の強化	15.0%	23 地域防犯体制の強化	13.1%
9	41 行政の力を高める	13.8%	5 循環型社会の推進	12.5%
10	31 障害者福祉の推進	13.4%	36 工業・新産業の育成・振興	11.3%

50～59歳

- ・50～59歳の年齢層では、「30 高齢者福祉の推進」38.1%、「33 地域医療体制の充実」31.5%、「38 雇用環境の充実」27.0%、「22 地域防災対策・体制の強化」22.5%、「41 行政の力を高める」20.9%が、重要な施策として選択率の高いもの（上位5つ）となっている。
- ・市全体と比較すると、「30 高齢者福祉の推進」、「38 雇用環境の充実」の選択率が高くなっている。

（選択率の高い上位10施策）

順位	50～59歳		市全体	
	施策	選択率	施策	選択率
1	30 高齢者福祉の推進	38.1%	30 高齢者福祉の推進	33.7%
2	33 地域医療体制の充実	31.5%	33 地域医療体制の充実	28.0%
3	38 雇用環境の充実	27.0%	29 子育て環境の整備	23.5%
4	22 地域防災対策・体制の強化	22.5%	38 雇用環境の充実	23.0%
5	41 行政の力を高める	20.9%	15 子どもの教育の充実	21.6%
6	29 子育て環境の整備	20.1%	22 地域防災対策・体制の強化	19.9%
7	15 子どもの教育の充実	18.8%	41 行政の力を高める	19.7%
8	5 循環型社会の推進	14.8%	23 地域防犯体制の強化	13.1%
9	23 地域防犯体制の強化	14.3%	5 循環型社会の推進	12.5%
10	6 上下水道の整備	11.9%	36 工業・新産業の育成・振興	11.3%

60～69歳

- ・60～69歳の年齢層では、「30 高齢者福祉の推進」34.4%、「33 地域医療体制の充実」29.9%、「41 行政の力を高める」27.3%、「38 雇用環境の充実」21.7%、22 地域防災対策・体制の強化」18.0%が、重要な施策として選択率の高いもの（上位5つ）となっている。
- ・市全体と比較すると、「41 行政の力を高める」の選択率が高くなっている。

（選択率の高い上位10施策）

順位	60～69歳		市全体	
	施策	選択率	施策	選択率
1	30 高齢者福祉の推進	34.4%	30 高齢者福祉の推進	33.7%
2	33 地域医療体制の充実	29.9%	33 地域医療体制の充実	28.0%
3	41 行政の力を高める	27.3%	29 子育て環境の整備	23.5%
4	38 雇用環境の充実	21.7%	38 雇用環境の充実	23.0%
5	22 地域防災対策・体制の強化	18.0%	15 子どもの教育の充実	21.6%
6	29 子育て環境の整備	16.0%	22 地域防災対策・体制の強化	19.9%
7	15 子どもの教育の充実	14.6%	41 行政の力を高める	19.7%
8	36 工業・新産業の育成・振興	13.3%	23 地域防犯体制の強化	13.1%
9	23 地域防犯体制の強化	12.9%	5 循環型社会の推進	12.5%
10	6 上下水道の整備	11.8%	36 工業・新産業の育成・振興	11.3%

70以上

- ・70歳以上の年齢層では、「30 高齢者福祉の推進」34.8%、「41 行政の力を高める」24.4%、「15 子どもの教育の充実」22.9%、「38 雇用環境の充実」20.9%、「33 地域医療体制の充実」19.9%が、重要な施策として選択率の高いもの（上位5つ）となっている。
- ・市全体と比較すると、「41 行政の力を高める」の選択率が高くなっている。

（選択率の高い上位10施策）

順位	70歳以上		市全体	
	施策	選択率	施策	選択率
1	30 高齢者福祉の推進	34.8%	30 高齢者福祉の推進	33.7%
2	41 行政の力を高める	24.4%	33 地域医療体制の充実	28.0%
3	15 子どもの教育の充実	22.9%	29 子育て環境の整備	23.5%
4	38 雇用環境の充実	20.9%	38 雇用環境の充実	23.0%
5	33 地域医療体制の充実	19.9%	15 子どもの教育の充実	21.6%
6	22 地域防災対策・体制の強化	19.4%	22 地域防災対策・体制の強化	19.9%
7	29 子育て環境の整備	15.9%	41 行政の力を高める	19.7%
8	36 工業・新産業の育成・振興	11.9%	23 地域防犯体制の強化	13.1%
9	25 消防・救急体制の充実	11.9%	5 循環型社会の推進	12.5%
10	6 上下水道の整備	11.4%	36 工業・新産業の育成・振興	11.3%

(3) 地区別

見付地区

- ・見付地区では、「30 高齢者福祉の推進」34.0 %、「33 地域医療体制の充実」28.5 %、「29 子育て環境の整備」24.2 %、「38 雇用環境の充実」21.5 %、「22 地域防災対策・体制の強化」21.5 %が、重要な施策として選択率が高くなっている。
- ・市全体と比較して、「37 観光・交流の振興」「9 道路網の整備」、「40 地域の力を高める」の選択率が高くなっている。

(選択率の高い上位 10 施策)

順位	見付地区		市全体	
	施策	選択率	施策	選択率
1	30 高齢者福祉の推進	34.0 %	30 高齢者福祉の推進	33.7%
2	33 地域医療体制の充実	28.5 %	33 地域医療体制の充実	28.0%
3	29 子育て環境の整備	24.2 %	29 子育て環境の整備	23.5%
4	38 雇用環境の充実	21.5 %	38 雇用環境の充実	23.0%
5	22 地域防災対策・体制の強化	21.5 %	15 子どもの教育の充実	21.6%
6	41 行政の力を高める	21.5 %	22 地域防災対策・体制の強化	19.9%
7	15 子どもの教育の充実	20.7 %	41 行政の力を高める	19.7%
8	23 地域防犯体制の強化	14.5 %	23 地域防犯体制の強化	13.1%
9	5 循環型社会の推進	11.3 %	5 循環型社会の推進	12.5%
10	24 交通安全対策の充実	11.3 %	36 工業・新産業の育成・振興	11.3%

中泉地区

- ・中泉地区では、「30 高齢者福祉の推進」30.6 %、「33 地域医療体制の充実」26.5 %、「38 雇用環境の充実」22.9 %、「41 行政の力を高める」21.8 %、「22 地域防災対策・体制の強化」20.6 %が、重要な施策として選択率が高くなっている。
- ・市全体と比較すると、「8 市街地整備の推進」「35 商業・サービス業の振興」「25 消防・救急体制の充実」の選択率が高くなっている。

(選択率の高い上位 10 施策)

順位	中泉地区		市全体	
	施策	選択率	施策	選択率
1	30 高齢者福祉の推進	30.6 %	30 高齢者福祉の推進	33.7%
2	33 地域医療体制の充実	26.5 %	33 地域医療体制の充実	28.0%
3	38 雇用環境の充実	22.9 %	29 子育て環境の整備	23.5%
4	41 行政の力を高める	21.8 %	38 雇用環境の充実	23.0%
5	22 地域防災対策・体制の強化	20.6 %	15 子どもの教育の充実	21.6%
6	15 子どもの教育の充実	19.4 %	22 地域防災対策・体制の強化	19.9%
7	29 子育て環境の整備	17.1 %	41 行政の力を高める	19.7%
8	23 地域防犯体制の強化	15.3 %	23 地域防犯体制の強化	13.1%
9	5 循環型社会の推進	14.7 %	5 循環型社会の推進	12.5%
10	25 消防・救急体制の充実	14.7 %	36 工業・新産業の育成・振興	11.3%

今之浦地区

- ・今之浦地区では、「30 高齢者福祉の推進」25.6%、「29 子育て環境の整備」25.6%、「38 雇用環境の充実」25.6%、「33 地域医療体制の充実」23.1%、「15 子どもの教育の充実」17.9%が、重要な施策として選択率が高くなっている。
- ・市全体と比較すると、「26 治山・治水対策の充実」、「41 行政の力を高める」、「28 地域福祉システムの充実」の選択率が高くなっている。

(選択率の高い上位 10 施策)

順位	今之浦地区		市全体	
	施策	選択率	施策	選択率
1	30 高齢者福祉の推進	25.6 %	30 高齢者福祉の推進	33.7 %
2	29 子育て環境の整備	25.6 %	33 地域医療体制の充実	28.0 %
3	38 雇用環境の充実	25.6 %	29 子育て環境の整備	23.5 %
4	33 地域医療体制の充実	23.1 %	38 雇用環境の充実	23.0 %
5	15 子どもの教育の充実	17.9 %	15 子どもの教育の充実	21.6 %
6	22 地域防災対策・体制の強化	17.9 %	22 地域防災対策・体制の強化	19.9 %
7	5 循環型社会の推進	12.8 %	41 行政の力を高める	19.7 %
8	25 消防・救急体制の充実	12.8 %	23 地域防犯体制の強化	13.1 %
9	16 健全な青少年育成	12.8 %	5 循環型社会の推進	12.5 %
10	26 治山・治水対策の充実	12.8 %	36 工業・新産業の育成・振興	11.3 %

岩田・大藤・向笠地区

- ・岩田・大藤・向笠地区では、「30 高齢者福祉の推進」30.0%、「33 地域医療体制の充実」27.5%、「29 子育て環境の整備」23.3%、「41 行政の力を高める」21.7%、「38 雇用環境の充実」20.8%が、重要な施策として選択率が高くなっている。
- ・市全体と比較すると、「34 農林水産業の振興」、「6 上下水道の整備」、「24 交通安全対策の充実」の選択率が高くなっている。

(選択率の高い上位 10 施策)

順位	岩田・大藤・向笠地区		市全体	
	施策	選択率	施策	選択率
1	30 高齢者福祉の推進	30.0 %	30 高齢者福祉の推進	33.7 %
2	33 地域医療体制の充実	27.5 %	33 地域医療体制の充実	28.0 %
3	29 子育て環境の整備	23.3 %	29 子育て環境の整備	23.5 %
4	41 行政の力を高める	21.7 %	38 雇用環境の充実	23.0 %
5	38 雇用環境の充実	20.8 %	15 子どもの教育の充実	21.6 %
6	15 子どもの教育の充実	20.8 %	22 地域防災対策・体制の強化	19.9 %
7	22 地域防災対策・体制の強化	19.2 %	41 行政の力を高める	19.7 %
8	5 循環型社会の推進	15.0 %	23 地域防犯体制の強化	13.1 %
9	24 交通安全対策の充実	15.0 %	5 循環型社会の推進	12.5 %
10	6 上下水道の整備	15.0 %	36 工業・新産業の育成・振興	11.3 %

西貝・御厨・南御厨・田原地区

- ・西貝・御厨・南御厨・田原地区では、「30 高齢者福祉の推進」31.1%、「38 雇用環境の充実」29.1%、「29 子育て環境の整備」28.6%、「33 地域医療体制の充実」28.1%、「15 子どもの教育の充実」21.4%が、重要な施策として選択率が高くなっている。
- ・市全体と比較すると、「13 公共交通機関の利用促進」、「38 雇用環境の充実」、「29 子育て環境の整備」の選択率が高くなっている。

(選択率の高い上位 10 施策)

順位	西貝・御厨・南御厨・田原地区		市全体	
	施策	選択率	施策	選択率
1	30 高齢者福祉の推進	31.1 %	30 高齢者福祉の推進	33.7 %
2	38 雇用環境の充実	29.1 %	33 地域医療体制の充実	28.0 %
3	29 子育て環境の整備	28.6 %	29 子育て環境の整備	23.5 %
4	33 地域医療体制の充実	28.1 %	38 雇用環境の充実	23.0 %
5	15 子どもの教育の充実	21.4 %	15 子どもの教育の充実	21.6 %
6	41 行政の力を高める	19.4 %	22 地域防災対策・体制の強化	19.9 %
7	13 公共交通機関の利用促進	19.4 %	41 行政の力を高める	19.7 %
8	22 地域防災対策・体制の強化	17.3 %	23 地域防犯体制の強化	13.1 %
9	23 地域防犯体制の強化	14.8 %	5 循環型社会の推進	12.5 %
10	24 交通安全対策の充実	10.2 %	36 工業・新産業の育成・振興	11.3 %

天竜・長野・於保地区

- ・天竜・長野・於保地区では、「30 高齢者福祉の推進」36.0%、「33 地域医療体制の充実」33.7%、「38 雇用環境の充実」22.5%、「41 行政の力を高める」21.9%、「29 子育て環境の整備」19.1%が、重要な施策として選択率が高くなっている。
- ・市全体と比較すると、「33 地域医療体制の充実」の選択率が高くなっている。

(選択率の高い上位 10 施策)

順位	天竜・長野・於保地区		市全体	
	施策	選択率	施策	選択率
1	30 高齢者福祉の推進	36.0 %	30 高齢者福祉の推進	33.7 %
2	33 地域医療体制の充実	33.7 %	33 地域医療体制の充実	28.0 %
3	38 雇用環境の充実	22.5 %	29 子育て環境の整備	23.5 %
4	41 行政の力を高める	21.9 %	38 雇用環境の充実	23.0 %
5	29 子育て環境の整備	19.1 %	15 子どもの教育の充実	21.6 %
6	15 子どもの教育の充実	18.0 %	22 地域防災対策・体制の強化	19.9 %
7	23 地域防犯体制の強化	15.2 %	41 行政の力を高める	19.7 %
8	22 地域防災対策・体制の強化	14.6 %	23 地域防犯体制の強化	13.1 %
9	35 商業・サービス業の振興	11.8 %	5 循環型社会の推進	12.5 %
10	5 循環型社会の推進	11.2 %	36 工業・新産業の育成・振興	11.3 %

福田地区

- ・福田地区では、「30 高齢者福祉の推進」33.3 %、「33 地域医療体制の充実」31.0 %、「29 子育て環境の整備」27.7 %、「22 地域防災対策・体制の強化」22.5 %、「15 子どもの教育の充実」22.1 %が、重要な施策として選択率が高くなっている。
- ・市全体と比較すると、「29 子育て環境の整備」の選択率が高くなっている。

(選択率の高い上位 10 施策)

順位	福田地区		市全体	
	施策	選択率	施策	選択率
1	30 高齢者福祉の推進	33.3 %	30 高齢者福祉の推進	33.7%
2	33 地域医療体制の充実	31.0 %	33 地域医療体制の充実	28.0%
3	29 子育て環境の整備	27.7 %	29 子育て環境の整備	23.5%
4	22 地域防災対策・体制の強化	22.5 %	38 雇用環境の充実	23.0%
5	15 子どもの教育の充実	22.1 %	15 子どもの教育の充実	21.6%
6	38 雇用環境の充実	20.7 %	22 地域防災対策・体制の強化	19.9%
7	41 行政の力を高める	16.0 %	41 行政の力を高める	19.7%
8	5 循環型社会の推進	16.0 %	23 地域防犯体制の強化	13.1%
9	24 交通安全対策の充実	13.6 %	5 循環型社会の推進	12.5%
10	31 障害者福祉の推進	12.7 %	36 工業・新産業の育成・振興	11.3%

竜洋地区

- ・竜洋地区では、「30 高齢者福祉の推進」36.2 %、「33 地域医療体制の充実」33.3 %、「15 子どもの教育の充実」24.9 %、「38 雇用環境の充実」24.4 %、「29 子育て環境の整備」23.5 %が、重要な施策として選択率が高くなっている。
- ・市全体と比較すると、「33 地域医療体制の充実」、「36 工業・新産業の育成・振興」の選択率が高くなっている。

(選択率の高い上位 10 施策)

順位	竜洋地区		市全体	
	施策	選択率	施策	選択率
1	30 高齢者福祉の推進	36.2 %	30 高齢者福祉の推進	33.7%
2	33 地域医療体制の充実	33.3 %	33 地域医療体制の充実	28.0%
3	15 子どもの教育の充実	24.9 %	29 子育て環境の整備	23.5%
4	38 雇用環境の充実	24.4 %	38 雇用環境の充実	23.0%
5	29 子育て環境の整備	23.5 %	15 子どもの教育の充実	21.6%
6	22 地域防災対策・体制の強化	22.1 %	22 地域防災対策・体制の強化	19.9%
7	41 行政の力を高める	18.3 %	41 行政の力を高める	19.7%
8	36 工業・新産業の育成・振興	16.4 %	23 地域防犯体制の強化	13.1%
9	5 循環型社会の推進	12.2 %	5 循環型社会の推進	12.5%
10	23 地域防犯体制の強化	11.7 %	36 工業・新産業の育成・振興	11.3%

豊田地区

- ・豊田地区では、「30 高齢者福祉の推進」38.8 %、「33 地域医療体制の充実」25.0 %、「15 子どもの教育の充実」23.7 %、「22 地域防災対策・体制の強化」23.4 %、「29 子育て環境の整備」23.1 %が、重要な施策として選択率が高くなっている。
- ・市全体と比較すると、「30 高齢者福祉の推進」の選択率が高くなっている。

(選択率の高い上位 10 施策)

順位	豊田地区		市全体	
	施策	選択率	施策	選択率
1	30 高齢者福祉の推進	38.8 %	30 高齢者福祉の推進	33.7%
2	33 地域医療体制の充実	25.0 %	33 地域医療体制の充実	28.0%
3	15 子どもの教育の充実	23.7 %	29 子育て環境の整備	23.5%
4	22 地域防災対策・体制の強化	23.4 %	38 雇用環境の充実	23.0%
5	29 子育て環境の整備	23.1 %	15 子どもの教育の充実	21.6%
6	38 雇用環境の充実	21.8 %	22 地域防災対策・体制の強化	19.9%
7	41 行政の力を高める	19.2 %	41 行政の力を高める	19.7%
8	23 地域防犯体制の強化	14.1 %	23 地域防犯体制の強化	13.1%
9	5 循環型社会の推進	12.8 %	5 循環型社会の推進	12.5%
10	24 交通安全対策の充実	11.9 %	36 工業・新産業の育成・振興	11.3%

豊岡地区

- ・豊岡地区では、「30 高齢者福祉の推進」29.5 %、「29 子育て環境の整備」22.8 %、「38 雇用環境の充実」22.8 %、「15 子どもの教育の充実」21.5 %、「41 行政の力を高める」21.5 %が、重要な施策として選択率が高くなっている。
- ・市全体と比較すると、「24 交通安全対策の充実」の選択率が高くなっている。

(選択率の高い上位 10 施策)

順位	豊岡地区		市全体	
	施策	選択率	施策	選択率
1	30 高齢者福祉の推進	29.5 %	30 高齢者福祉の推進	33.7%
2	29 子育て環境の整備	22.8 %	33 地域医療体制の充実	28.0%
3	38 雇用環境の充実	22.8 %	29 子育て環境の整備	23.5%
4	15 子どもの教育の充実	21.5 %	38 雇用環境の充実	23.0%
5	41 行政の力を高める	21.5 %	15 子どもの教育の充実	21.6%
6	33 地域医療体制の充実	18.1 %	22 地域防災対策・体制の強化	19.9%
7	24 交通安全対策の充実	14.8 %	41 行政の力を高める	19.7%
8	25 消防・救急体制の充実	13.4 %	23 地域防犯体制の強化	13.1%
9	22 地域防災対策・体制の強化	12.8 %	5 循環型社会の推進	12.5%
10	23 地域防犯体制の強化	10.7 %	36 工業・新産業の育成・振興	11.3%

問 13

問 12 で選択した 5 つのうち、現在の厳しい経済情勢の中での限られた予算において、特に優先すべきものはどれですか。優先すべきだと思うものを 3 つまで選んでください。

(1) 市全体

- ・分野別（前期基本計画における基本目標別）にみると、今後、特に優先すべきもののベスト 10 に、「やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり」及び「安全・安心なまちづくり」関連施策が 3 つずつ入っており、市民の健康、福祉、防災、防犯等に対するニーズが高くなっている。また、「交流と活力のあるまちづくり」関連施策が 2 つ入っており、市民生活に直結する、雇用、地域経済等に対するニーズも高くなっている。
- ・具体的な取り組み別（前期基本計画における基本施策別）にみると、今後、特に優先すべきもののベスト 3 は、「高齢者福祉の推進」、「地域医療体制の充実」、「子育て環境の整備」となっている。

（選択率の高い上位 10 位）

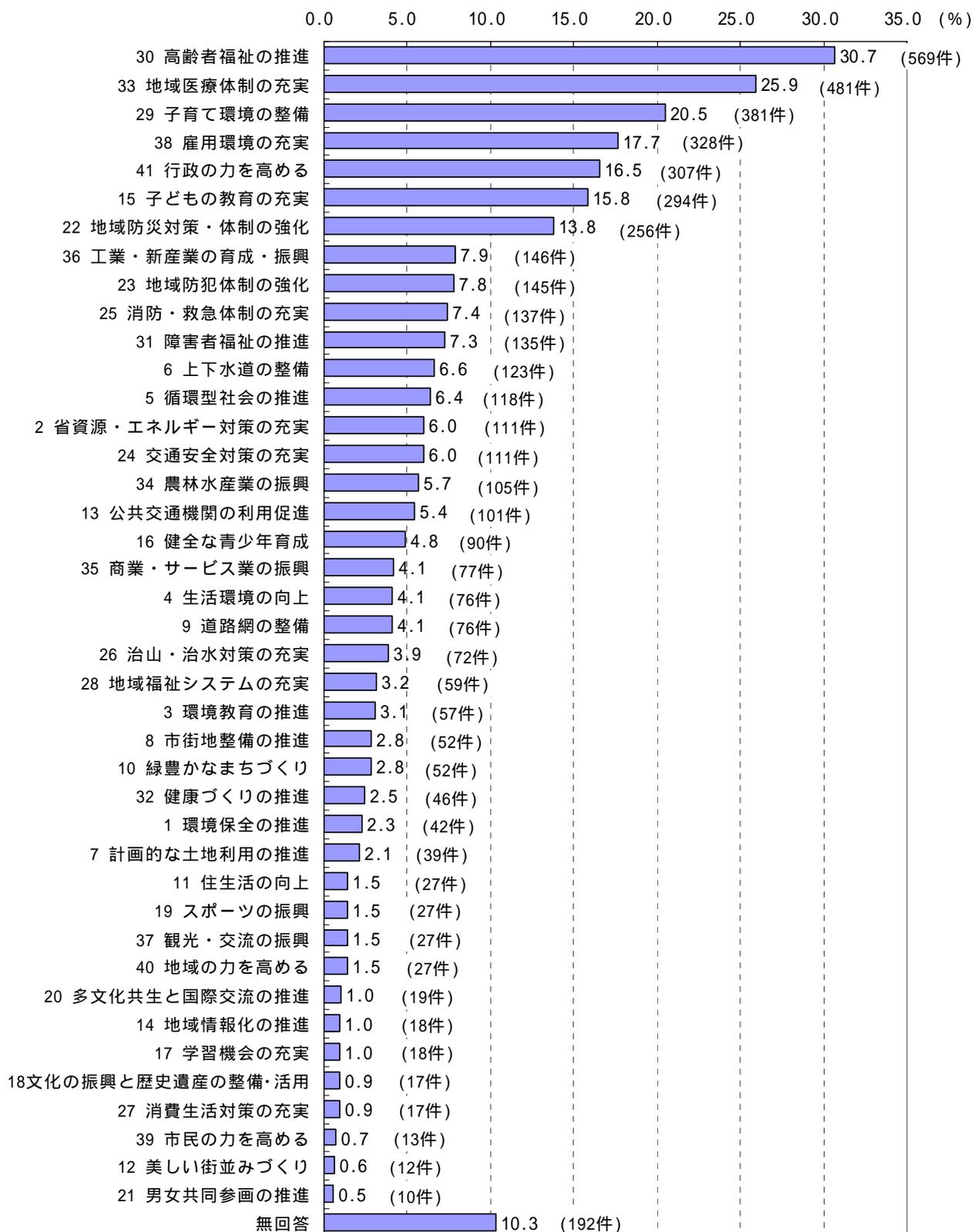
順位	基本目標	基本施策	選択率
1	やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり	30 高齢者福祉の推進	30.7%
2	やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり	33 地域医療体制の充実	25.9%
3	やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり	29 子育て環境の整備	20.5%
4	交流と活力のあるまちづくり	38 雇用環境の充実	17.7%
5	計画推進のために	41 行政の力を高める	16.5%
6	豊かな心を育み活躍できるまちづくり	15 子どもの教育の充実	15.8%
7	安全・安心なまちづくり	22 地域防災対策・体制の強化	13.8%
8	交流と活力のあるまちづくり	36 工業・新産業の育成・振興	7.9%
9	安全・安心なまちづくり	23 地域防犯体制の強化	7.8%
10	安全・安心なまちづくり	25 消防・救急体制の充実	7.4%

- ・問 12、13 で選択率の高い上位 5 施策を比較すると、1 位～4 位までは同じ施策（1 位「高齢者福祉の推進」、2 位「地域医療体制の充実」、3 位「子育て環境の整備」、4 位「雇用環境の充実」）となっているが、問 12 では 7 位の「行政の力を高める」が、問 13 で 5 位となっていることから、環境変化や市民ニーズに対応したまちづくりの推進には、行政全体（組織、職員）の力を向上させることが必要と考えている市民が多くなっている。

（問 12 と問 13 で選択率の高かった施策の比較）

順位	問 13（問 12 で選択した中から優先する施策を 3 つ選択）		問 12（41 施策の中から重要な施策を 5 つ選択）	
	施策	選択率	施策	選択率
1	30 高齢者福祉の推進	30.7%	30 高齢者福祉の推進	33.7%
2	33 地域医療体制の充実	25.9%	33 地域医療体制の充実	28.0%
3	29 子育て環境の整備	20.5%	29 子育て環境の整備	23.5%
4	38 雇用環境の充実	17.7%	38 雇用環境の充実	23.0%
5	41 行政の力を高める	16.5%	15 子どもの教育の充実	21.6%
6	15 子どもの教育の充実	15.8%	22 地域防災対策・体制の強化	19.9%
7	22 地域防災対策・体制の強化	13.8%	41 行政の力を高める	19.7%
8	36 工業・新産業の育成・振興	7.9%	23 地域防犯体制の強化	13.1%
9	23 地域防犯体制の強化	7.8%	5 循環型社会の推進	12.5%
10	25 消防・救急体制の充実	7.4%	36 工業・新産業の育成・振興	11.3%

(市全体)



(2) 年齢別

- ・すべての年代で、「子育て環境の整備」、「高齢者福祉の推進」、「雇用環境の充実」、「地域医療体制の充実」は、上位5位以内に含まれている。
- ・「高齢者福祉の推進」が、40歳以上の4つの年代（40～49歳が34.1%、50～59歳が31.2%、60～69歳が34.6%、70歳以上が32.8%）で最多となっている。
- ・「子育て環境の整備」は、子育て世代（20～29歳が30.7%、30～39歳が33.9%）で最多となっている。
- ・「行政の力を高める」が、50歳以上において上位（50～59歳で4位、60～69歳及び70歳以上で3位）となっている。
- ・市全体と比較しても、上位5位までに含まれる施策については大きな違いはなかった。

（年齢別：上位5件のみ）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳	29 子育て環境の整備 54件 30.70%	30 高齢者福祉の推進 48件 27.30%	38 雇用環境の充実 44件 25.00%	33 地域医療体制の充実 37件 21.00%	22 地域防災対策・体制の強化 31件 17.60%
30～39歳	29 子育て環境の整備 111件 33.90%	33 地域医療体制の充実 82件 25.10%	15 子どもの教育の充実 73件 22.30%	30 高齢者福祉の推進 72件 22.00%	38 雇用環境の充実 46件 14.10%
40～49歳	30 高齢者福祉の推進 109件 34.10%	33 地域医療体制の充実 101件 31.60%	15 子どもの教育の充実 67件 20.90%	29 子育て環境の整備 60件 18.80%	38 雇用環境の充実 58件 18.10%
50～59歳	30 高齢者福祉の推進 118件 31.20%	33 地域医療体制の充実 107件 28.30%	38 雇用環境の充実 85件 22.50%	41 行政の力を高める 69件 18.30%	29 子育て環境の整備 63件 16.70%
60～69歳	30 高齢者福祉の推進 156件 34.60%	33 地域医療体制の充実 117件 25.90%	41 行政の力を高める 102件 22.60%	38 雇用環境の充実 67件 14.90%	29 子育て環境の整備 65件 14.40%
70歳以上	30 高齢者福祉の推進 66件 32.80%	33 地域医療体制の充実 37件 18.40%	41 行政の力を高める 37件 18.40%	29 子育て環境の整備 28件 13.90%	38 雇用環境の充実 28件 13.90%

（性別：上位5件のみ）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	30 高齢者福祉の推進 228件 26.80%	33 地域医療体制の充実 193件 22.70%	41 行政の力を高める 184件 21.60%	38 雇用環境の充実 148件 17.40%	29 子育て環境の整備 146件 17.20%
女性	30 高齢者福祉の推進 340件 34.00%	33 地域医療体制の充実 287件 28.70%	29 子育て環境の整備 235件 23.50%	38 雇用環境の充実 179件 17.90%	15 子どもの教育の充実 172件 17.20%

(3) 地区別

- ・すべての地区で、「高齢者福祉の推進」、「地域医療体制の充実」、「子育て環境の整備」は、上位5位以内に含まれている。
- ・「高齢者福祉の推進」が、西貝・御厨・南御厨・田原を除く9地区（見付 31.3%、中泉 25.3%、今之浦 28.2%、岩田・大藤・向笠 26.7%、西貝・御厨・南御厨・田原 27.6%、天竜・長野・於保 34.4%、福田 31.0%、竜洋 30.5%、豊田 35.3%、豊岡 32.2%）で最多となっている。
- ・「子育て環境の整備」は、子育て世代（20～29歳が 30.7%、30～39歳が 33.9%）で最多となっている。
- ・「行政の力を高める」が、50歳以上において上位（50～59歳で4位、60～69歳及び70歳以上で3位）となっている。
- ・市全体と比較しても、上位5位までに含まれる施策については大きな違いはなかった。

（地区別：上位5件のみ）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付	30 高齢者福祉の推進 80件 31.30%	33 地域医療体制の充実 68件 26.60%	41 行政の力を高める 50件 19.50%	29 子育て環境の整備 46件 18.00%	38 雇用環境の充実 22 地域防災対策・体制の強化 39件 15.20%
中泉	30 高齢者福祉の推進 43件 25.30%	33 地域医療体制の充実 42件 24.70%	41 行政の力を高める 32件 18.80%	38 雇用環境の充実 30件 17.60%	29 子育て環境の整備 28件 16.50%
今之浦	30 高齢者福祉の推進 11件 28.20%	33 地域医療体制の充実 11件 28.20%	29 子育て環境の整備 10件 25.60%	38 雇用環境の充実 10件 25.60%	41 行政の力を高める 5件 12.80%
岩田・大藤・向笠	30 高齢者福祉の推進 32件 26.70%	33 地域医療体制の充実 28件 23.30%	29 子育て環境の整備 26件 21.70%	41 行政の力を高める 24件 20.00%	15 子どもの教育の充実 21件 17.50%
西貝・御厨・南御厨・田原	33 地域医療体制の充実 54件 27.60%	30 高齢者福祉の推進 52件 26.50%	38 雇用環境の充実 48件 24.50%	29 子育て環境の整備 38件 19.40%	41 行政の力を高める 15 子どもの教育の充実 34件 17.30%
天竜・長野・於保	30 高齢者福祉の推進 61件 34.30%	33 地域医療体制の充実 56件 31.50%	41 行政の力を高める 34件 19.10%	29 子育て環境の整備 33件 18.50%	38 雇用環境の充実 31件 17.40%
福田	30 高齢者福祉の推進 66件 31.00%	33 地域医療体制の充実 64件 30.00%	29 子育て環境の整備 49件 23.00%	15 子どもの教育の充実 35件 16.40%	38 雇用環境の充実 34件 16.00%
竜洋	30 高齢者福祉の推進 65件 30.50%	33 地域医療体制の充実 62件 29.10%	29 子育て環境の整備 45件 21.10%	38 雇用環境の充実 45件 21.10%	15 子どもの教育の充実 37件 17.40%
豊田	30 高齢者福祉の推進 110件 35.30%	33 地域医療体制の充実 72件 23.10%	29 子育て環境の整備 70件 22.40%	15 子どもの教育の充実 54件 17.30%	38 雇用環境の充実 48件 15.40%
豊岡	30 高齢者福祉の推進 48件 32.20%	29 子育て環境の整備 30件 20.10%	15 子どもの教育の充実 29件 19.5%	33 地域医療体制の充実 26件 17.40%	38 雇用環境の充実 24件 16.10%

2 まちへの思いについて

問 14 あなたは磐田市に愛着を感じていますか？

全体

市全体では、71.8%の人（おおいに感じている 35.5%・少し感じている 36.3%）が、市に愛着を感じている。一方、9.4%の人（あまり感じていない 7.5%・まったく感じていない 1.9%）が、市への愛着を感じていなかった。

（全体集計）

項目	件数	割合
1 おおいに感じている	659	35.5%
2 少し感じている	674	36.3%
3 どちらとも言えない	319	17.2%
4 あまり感じていない	139	7.5%
5 まったく感じていない	36	1.9%
6 無回答	29	1.6%
計	1,856	100.0%

性別

市への愛着を性別で見ると、男性の74%（おおいに感じている 39.5%・少し感じている 34.5%）、女性の70.2%（おおいに感じている 32.1%・少し感じている 38.1%）が、市への愛着を感じている。「おおいに感じている」については、男性が女性より7.4ポイント高くなっている。

一方、男性の22.2%（あまり感じていない 14.9%・まったく感じていない 7.3%）、女性の26.7%（あまり感じていない 19.1%・まったく感じていない 7.6%）が、市に愛着を感じていなかった。

年齢別

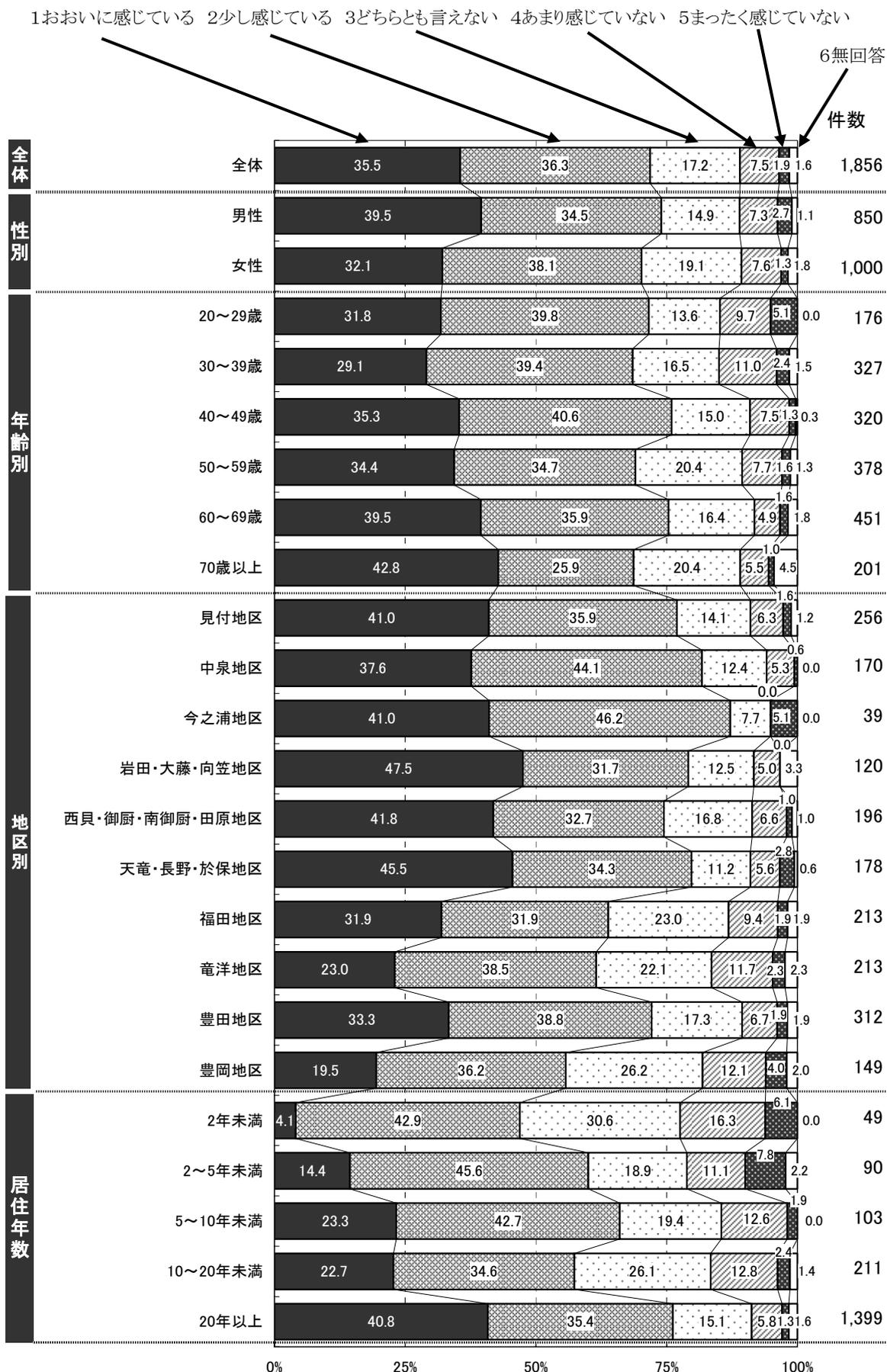
「おおいに感じている」の割合は、高齢になるにしたがって徐々に高く（60歳代が39.5%、70歳以上が42.8%）なっている。

40歳代及び60歳代は、愛着を感じている人の割合が、他の世代より若干高くなっている。一方、50歳代及び70歳以上は、愛着を感じていない人の割合が、他の世代より若干高くなっている。

地区別

愛着を感じている人は、今之浦が最多で87.2%、次いで、中泉（81.7%）、天竜・長野・於保（79.8%）となっている。一方、愛着を感じていない人の割合が3地区（豊岡が38.3%、竜洋が33.8%、福田が32.4%）で30%を超えている。

(属性別)



問 15 磐田市は、住みやすい町だと思いますか？

全体

市全体では、70.6%の人(たいへん住みやすい12.2%・どちらかといえば、住みやすい58.4%)が住みやすいと感じている。一方、8.4%の人(どちらかといえば、住みにくい7.1%・たいへん住みにくい1.3%)が住みにくいと感じている。

(全体集計)

項目	件数(件)	割合
1 たいへん住みやすい	227	12.2%
2 どちらかといえば、住みやすい	1,083	58.4%
3 どちらとも言えない	369	19.9%
4 どちらかといえば、住みにくい	132	7.1%
5 たいへん住みにくい	24	1.3%
6 無回答	21	1.1%
計	1,856	100.0%

性別

住みやすいと感じている人は、男性が71.7%、女性が69.8%となっている。

住みにくいと感じている人は、男性が8.5%、女性が8.3%となっており、住みやすさについて性別による差は、ほとんどない。

年齢別

住みやすいと感じている人は、40歳代が75.3%と最も高くなっており、70歳代が65.7%と最も低くなっており、この世代については9.6ポイントの差がある。

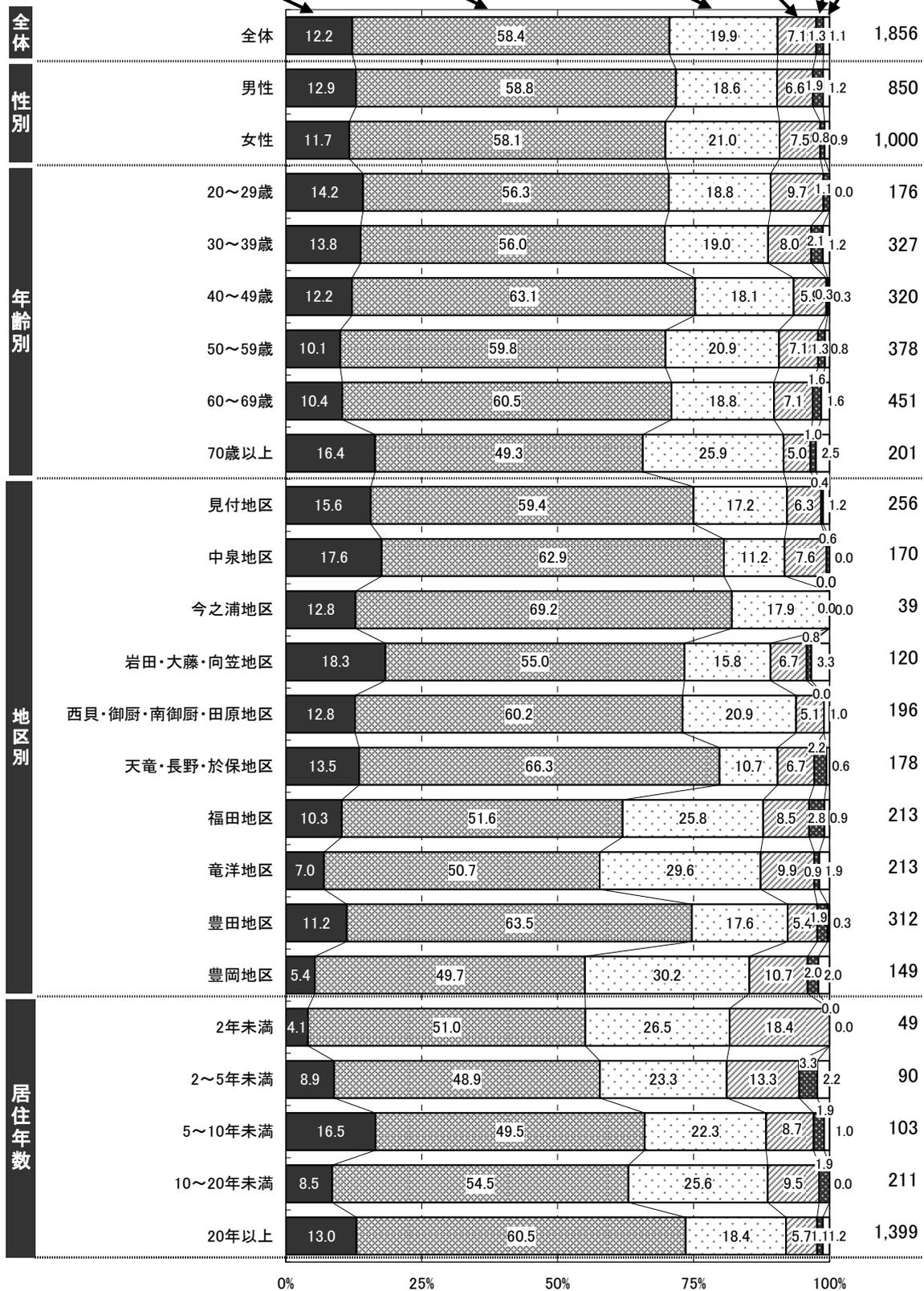
住みにくいと感じている人は、他の世代と比較し、20歳代(10.8%)及び30歳代(10.1%)で、若干高くなっている。

地区別

住みやすいと感じている人は、今之浦が最多で82%、次いで、中泉(80.5%)、天竜・長野・於保(79.8%)となっている。一方、住みにくいと感じている人の割合が3地区で10%(豊岡が12.7%、竜洋が10.8%、福田が11.3%)を超えている。

(属性別)

1大変住みやすい 2どちらかと言えば住みやすい 3どちらとも言えない 4どちらかと言えば住みにくい 5たいへん住みにくい 6無回答



問 16 これからも磐田市に住み続けたいと思いますか？

全体

市全体では、75.5%の人（ずっと住み続けたい 48.8%・当分の間、住み続けたい 26.7%）が住み続けたいと感じている。一方、5.9%の人（できれば転出したい 4.7%・市外に転出したい 1.2%）が転出したいと考えている。

（全体集計）

項目	件数（件）	割合
1 ずっと住み続けたい	905	48.8%
2 当分の間、住み続けたい	496	26.7%
3 どちらとも言えない	320	17.2%
4 できれば市外に転出したい	87	4.7%
5 市外に転出したい	23	1.2%
6 無回答	25	1.3%
計	1,856	100.0%

性別

住み続けたいと考えている人は、男性が 77%、女性が 74.4%となっている。
転出したいと考えている人は、男性が 5.7%、女性が 6.2%となっている。

年齢別

住み続けたいと考えている人は、40 歳代以上は 75%以上となっている。20 歳代は 65.4%、30 歳代は 69.7%と他の世代と比較し、低くなっている。

地区別

住み続けたいと考えている人は、5 地区（今之浦 82.1%、中泉 80.6%、天竜・長野・於保 80.4%、西貝・御厨・南御厨・田原 80.1%、岩田・大藤・岩田 80%）で、80%を超えている。一方、転出したいと考えている人の割合が、3 地区で 7%以上（豊岡が 8.0%、天竜・長野・於保が 7.3%、竜洋が 7.0%）となっている。

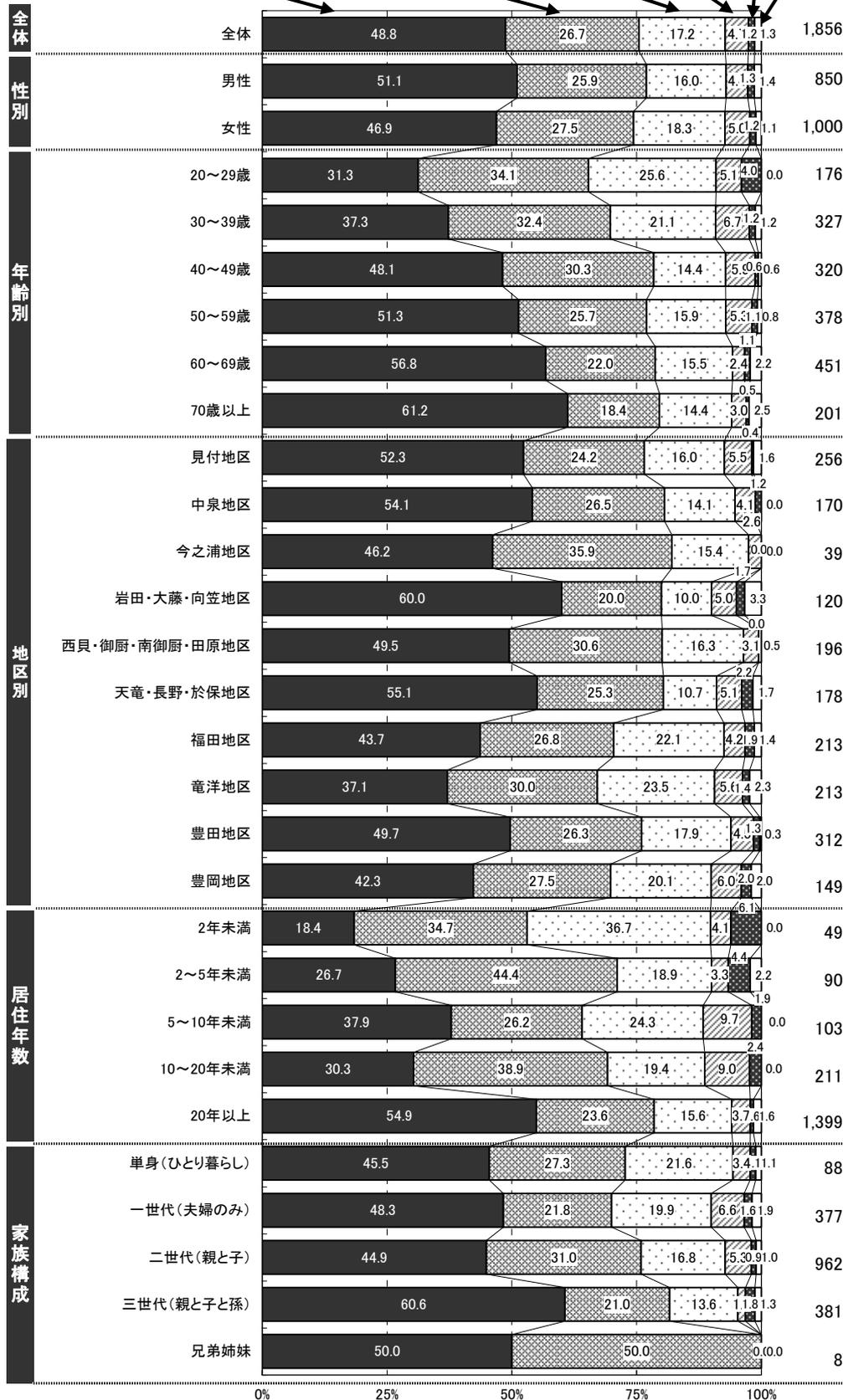
住み続けたいと考えている人の割合が最小であるのは、豊岡地区で 69.8%、次いで竜洋地区、福田地区となっている。

(属性別)

1 ずっと住み続けたい 2 当分の間住み続けたい 3 どちらとも言えない 4 できれば市外に転出したい 5 市外に転出したい

6 無回答

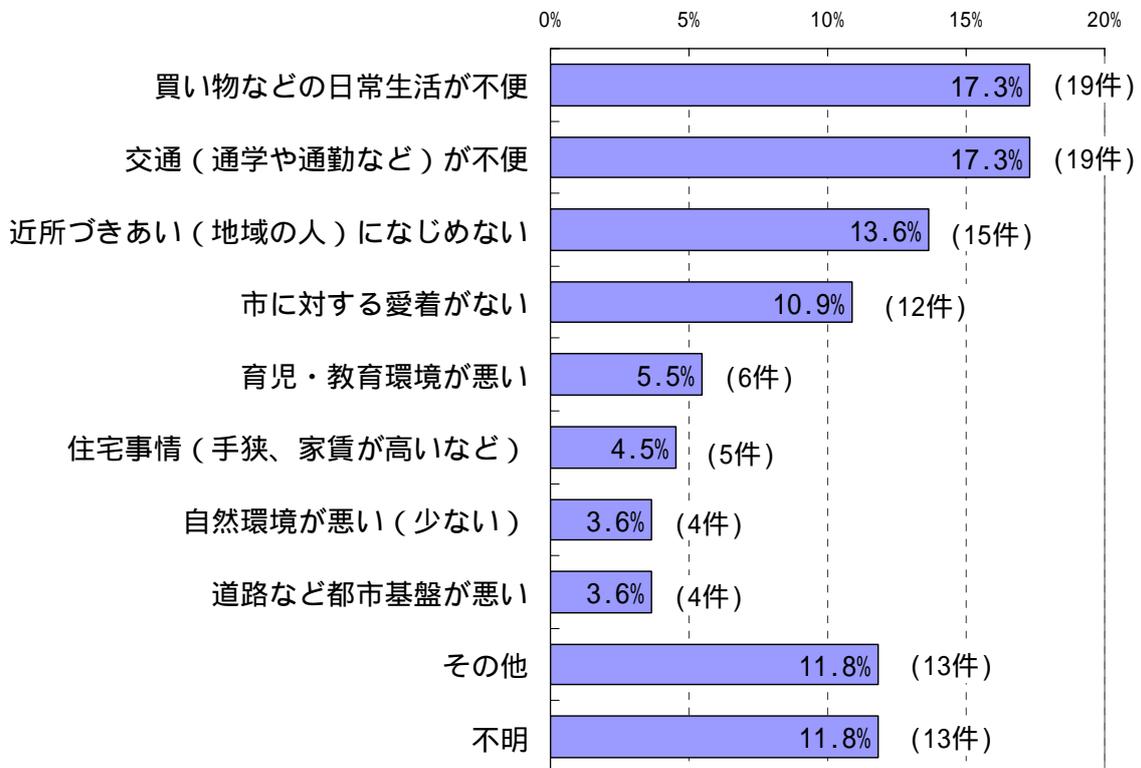
件数



問 17 転出したい一番の理由は何ですか？

全体

「買い物などの日常生活が不便」及び「交通（通学や通勤など）が不便」が最多で 17.3%、次いで、「近所づきあい（地域の人）になじめない」が 13.6%、「市に対する愛着がない」が 10.9% となっている。



性別

男性では、「近所づきあい（地域の人）になじめない」が最多で 18.8%、次いで、「交通（通学や通勤など）が不便」及び「市に対する愛着がない」となっている。

女性では、「買い物などの日常生活が不便」が最多で 25.8%、次いで、「交通（通学や通勤など）が不便」となっている。

（性別：上位 5 位のみ。ただし、選択数 1 件の場合は除く。）

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
男性 (基数:23)	7 近所づきあい(地域の人)になじめない 9件 18.8%	4 交通(通学や通勤など)が不便 8件 16.7%	8 市に対する愛着がない 8件 16.7%	6 住宅事情(手狭、家賃が高いなど) 4件 8.3%	1 買い物などの日常生活が不便 3 育児・教育環境が悪い 5 道路など都市基盤が悪い 3件 6.3%
女性 (基数:21)	1 買い物などの日常生活が不便 16件 25.8%	4 交通(通学や通勤など)が不便 11件 17.7%	7 近所づきあい(地域の人)になじめない 6件 9.7%	8 市に対する愛着がない 3件 4.8%	2 自然環境が悪い 3 育児・教育環境が悪い 3件 4.8%

年齢別

40歳代、50歳代及び70歳代では、「買い物などの日常生活が不便」が最多で、20歳代及び60歳代が「交通（通学や通勤など）が不便」、30歳代が「近所づきあい（地域の人）になじめない」と考えている。

（年齢別：上位5位のみ。ただし、選択数1件の場合は除く）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳 (基数:16)	4 交通(通学や通勤など)が不便 5件 31.3%	8 市に対する愛着がない 2件 12.5%			
30～39歳 (基数:26)	7 近所づきあい(地域の人)になじめない 5件 19.2%	3 育児・教育環境が悪い 4件 15.4%	1 買い物などの日常生活が不便 3件 11.5%	2 自然環境が悪い 4 交通(通学や通勤など)が不便 2件 7.7%	
40～49歳 (基数:21)	1 買い物などの日常生活が不便 5件 23.8%	7 近所づきあい(地域の人)になじめない 4件 19.0%	8 市に対する愛着がない 3件 14.3%	4 交通(通学や通勤など)が不便 2件 9.5%	
50～59歳 (基数:24)	1 買い物などの日常生活が不便 5件 20.8%	4 交通(通学や通勤など)が不便 4件 16.7%	7 近所づきあい(地域の人)になじめない 3件 12.5%	5 道路など都市基盤が悪い 2件 8.3%	8 市に対する愛着がない 2件 8.3%
60～69歳 (基数:16)	4 交通(通学や通勤など)が不便 8 市に対する愛着がない 5件 31.3%	1 買い物などの日常生活が不便 2件 12.5%			
70歳以上 (基数:7)	1 買い物などの日常生活が不便 4件 57.1%				

地区別

見付、西貝・御厨・南御厨・田原及び竜洋は、「買い物などの日常生活が不便」、福田、豊田及び豊岡は、「交通(通学や通勤など)が不便」、中泉、岩田・大藤・向笠及び天竜・長野・於保は「近所づきあい(地域の人)になじめない」と考えている。

(地区別：上位5位のみ。選択数1件の場合は除く。)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:15)	1 買い物などの日常生活が不便 4件 26.7%	4 交通(通学や通勤など)が不便 3件 20.0%	8 市に対する愛着がない 3件 20.0%	3 育児・教育環境が悪い 2件 13.3%	
中泉 (基数:9)	7 近所づきあい(地域の人)になじめない 2件 22.2%	8 市に対する愛着がない 2件 22.2%			
今之浦 (基数:1)					
岩田・大藤・向笠 (基数:8)	7 近所づきあい(地域の人)になじめない 3件 37.5%	1 買い物などの日常生活が不便 2件 25.0%			
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:6)	1 買い物などの日常生活が不便 2件 33.3%	6 住宅事情(手狭、家賃が高いなど) 2件 33.3%			
天竜・長野・於保 (基数:13)	2 自然環境が悪い 2件 15.4%	5 道路など都市基盤が悪い 2件 15.4%	7 近所づきあい(地域の人)になじめない 2件 15.4%		
福田 (基数:13)	4 交通(通学や通勤など)が不便 4件 30.8%	3 育児・教育環境が悪い 2件 15.4%			
竜洋 (基数:15)	1 買い物などの日常生活が不便 4件 26.7%	7 近所づきあい(地域の人)になじめない 3件 20.0%	5 道路など都市基盤が悪い 2件 13.3%	8 市に対する愛着がない 2件 13.3%	
豊田 (基数:18)	4 交通(通学や通勤など)が不便 4件 22.2%	7 近所づきあい(地域の人)になじめない 3件 16.7%	8 市に対する愛着がない 3件 16.7%		
豊岡 (基数:12)	4 交通(通学や通勤など)が不便 5件 41.7%	1 買い物などの日常生活が不便 3件 25.0%	8 市に対する愛着がない 2件 16.7%		

問 18 磐田市の魅力的な資源は何だと思いますか？

全体

「遠州灘や天竜川をはじめとする水資源」が最多で 32.5%、次いで「ジュビロ磐田などのスポーツクラブ」、「メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品」となっている。

(全体集計)

	項目	件数(件)	割合
2	遠州灘や天竜川をはじめとする水資源	603	32.5%
8	ジュビロ磐田などのスポーツクラブ	497	26.8%
6	メロンやお茶、シラスやふぐなどの特産品	485	26.1%
5	輸送用機器や楽器、繊維業などの産業	299	16.1%
4	桶ヶ谷沼などの自然環境	257	13.8%
1	国分寺跡や旧見付学校などの歴史資産	256	13.8%
7	掛塚屋台まつりや見付天神裸祭等の伝統文化	245	13.2%
3	山や森などの森林資源	124	6.7%
9	住んでいる人や出身者などの人	122	6.6%
10	特にない	154	8.3%
11	その他	35	1.9%
12	無回答	110	5.2%
合計		1,856	100.0%

性別

「遠州灘や天竜川をはじめとする水資源」について、男性が 303 人 (35.6%)、女性が 299 人 (29.9%) で、いずれも最多となっている。また、第 2 位及び第 3 位に挙げているものについて、男性及び女性いずれも、「メロンやお茶、シラスやふぐなどの特産品」、「ジュビロ磐田などのスポーツクラブ」を挙げている。

(性別：上位 5 位のみ)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
男性 (基数:850)	2 遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 303 件 35.6%	6 メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品 210 件 24.7%	8 ジュビロ磐田などのスポーツクラブ 202 件 23.8%	5 輸送用機器や楽器、繊維業などの産業 162 件 19.1%	4 桶ヶ谷沼などの自然環境 110 件 12.9%
女性 (基数:1,000)	2 遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 299 件 29.9%	8 ジュビロ磐田などのスポーツクラブ 293 件 29.3%	6 メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品 275 件 27.5%	1 国分寺跡や旧見付学校などの歴史資産 152 件 15.2%	4 桶ヶ谷沼などの自然環境 147 件 14.7%

年齢別

40歳代以下の世代では、「ジュピロ磐田などのスポーツクラブ」が最多となっており、次いで「メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品」、「遠州灘や天竜川をはじめとする水資源」となっている。

一方、50歳台以上の世代では、「遠州灘や天竜川をはじめとする水資源」が最多となっている。50歳台では、「ジュピロ磐田などのスポーツクラブ」、「メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品」が続き、60歳代以上では、「メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品」、「輸送用機器や楽器、繊維業などの産業」が続いている。

(年齢別：上位5位のみ。ただし、選択数1件の場合は除く)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳 (基数:176)	8 ジュピロ磐田などのスポーツクラブ 74件 42.0%	6 メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品 52件 29.5%	2 遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 30件 17.0%	5 輸送用機器や楽器、繊維業などの産業 30件 17.0%	7 掛塚屋台まつりや見付天神裸祭等の伝統文化 30件 17.0%
30～39歳 (基数:327)	8 ジュピロ磐田などのスポーツクラブ 123件 37.6%	6 メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品 90件 27.5%	2 遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 68件 20.8%	7 掛塚屋台まつりや見付天神裸祭等の伝統文化 64件 19.6%	5 輸送用機器や楽器、繊維業などの産業 46件 14.1%
40～49歳 (基数:320)	8 ジュピロ磐田などのスポーツクラブ 103件 32.2%	6 メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品 91件 28.4%	2 遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 80件 25.0%	5 輸送用機器や楽器、繊維業などの産業 52件 16.3%	1 国分寺跡や旧見付学校などの歴史資産 48件 15.0%
50～59歳 (基数:378)	2 遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 131件 34.7%	8 ジュピロ磐田などのスポーツクラブ 90件 23.8%	6 メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品 89件 23.5%	5 輸送用機器や楽器、繊維業などの産業 59件 15.6%	4 桶ヶ谷沼などの自然環境 56件 14.8%
60～69歳 (基数:451)	2 遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 210件 46.6%	6 メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品 118件 26.2%	5 輸送用機器や楽器、繊維業などの産業 76件 16.9%	8 ジュピロ磐田などのスポーツクラブ 75件 16.6%	4 桶ヶ谷沼などの自然環境 68件 15.1%
70歳以上 (基数:201)	2 遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 84件 41.8%	6 メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品 45件 22.4%	5 輸送用機器や楽器、繊維業などの産業 35件 17.4%	4 桶ヶ谷沼などの自然環境 34件 16.9%	1 国分寺跡や旧見付学校などの歴史資産 8 ジュピロ磐田などのスポーツクラブ 31件 15.4%

地区別

地区別に魅力的な資源をみると、6地区（見付、中泉、今之浦、岩田・大藤・向笠、西貝・御厨・南御厨・田原、天竜・長野・於保）で、「ジュピロ磐田などのスポーツクラブ」が最多となっており、次いで、「遠州灘や天竜川をはじめとする水資源」が3地区（竜洋、豊田、豊岡）、福田は「メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品」となっている。

（年齢別：上位5位のみ。ただし、選択数1件の場合は除く）

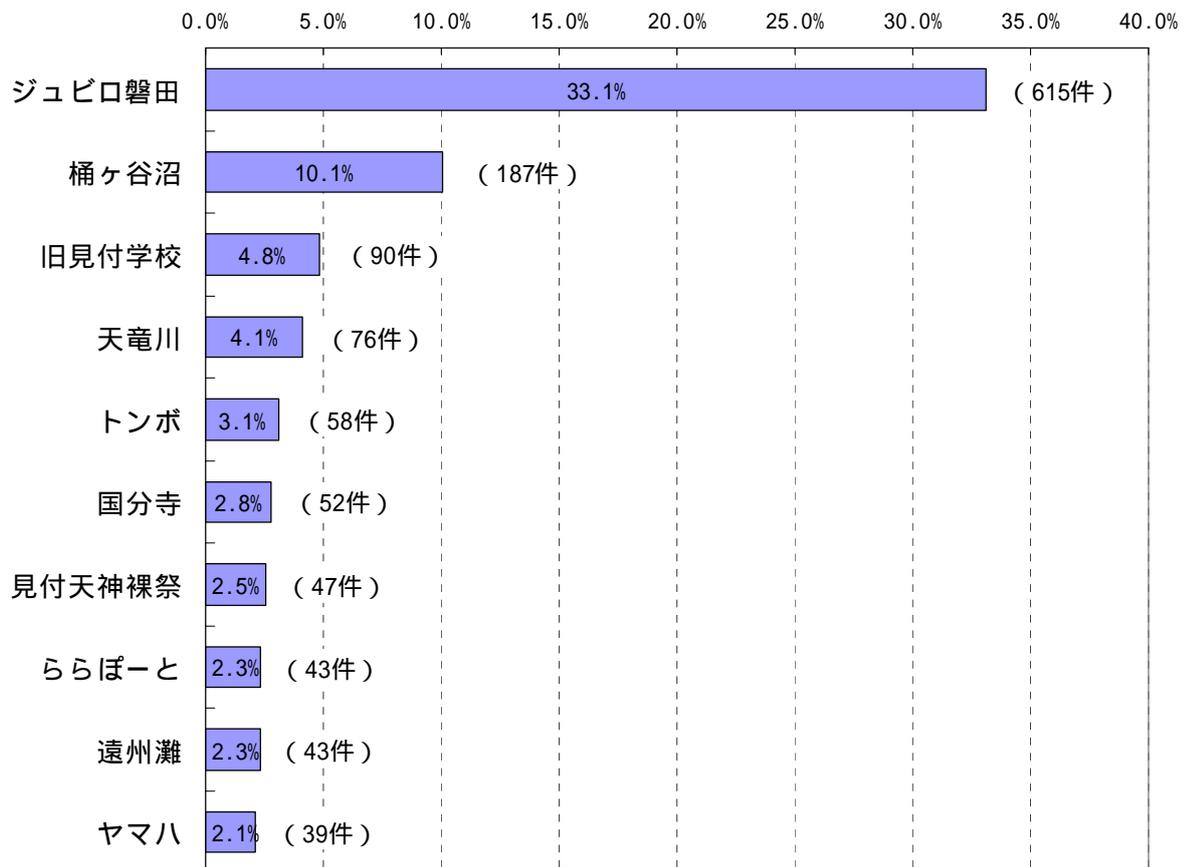
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:256)	8 ジュピロ磐田などのスポーツクラブ 74件 28.9%	1 国分寺跡や旧見付学校などの歴史資産 64件 25.0%	2 遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 56件 21.9%	5 輸送用機器や楽器、繊維業などの産業 49件 19.1%	7 掛塚屋台まつりや見付天神裸祭等の伝統文化 45件 17.6%
中泉 (基数:170)	8 ジュピロ磐田などのスポーツクラブ 60件 35.3%	6 メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品 42件 24.7%	2 遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 40件 23.5%	1 国分寺跡や旧見付学校などの歴史資産 38件 22.4%	4 桶ヶ谷沼などの自然環境 32件 18.8%
今之浦 (基数:39)	8 ジュピロ磐田などのスポーツクラブ 14件 35.9%	1 国分寺跡や旧見付学校などの歴史資産 9件 23.1%	2 遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 8件 20.5%	7 掛塚屋台まつりや見付天神裸祭等の伝統文化 7件 17.9%	5 輸送用機器や楽器、繊維業などの産業 6件 15.4%
岩田・大藤・向笠 (基数:120)	8 ジュピロ磐田などのスポーツクラブ 36件 30.0%	2 遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 32件 26.7%	6 メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品 32件 26.7%	4 桶ヶ谷沼などの自然環境 22件 18.3%	5 輸送用機器や楽器、繊維業などの産業 19件 15.8%
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:196)	8 ジュピロ磐田などのスポーツクラブ 59件 30.1%	2 遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 51件 26.0%	4 桶ヶ谷沼などの自然環境 46件 23.5%	6 メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品 43件 21.9%	5 輸送用機器や楽器、繊維業などの産業 39件 19.9%
天竜・長野・於保 (基数:178)	8 ジュピロ磐田などのスポーツクラブ 61件 34.3%	2 遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 49件 27.5%	6 メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品 47件 26.4%	5 輸送用機器や楽器、繊維業などの産業 33件 18.5%	1 国分寺跡や旧見付学校などの歴史資産 31件 17.4%
福田 (基数:213)	6 メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品 107件 50.2%	2 遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 79件 37.1%	8 ジュピロ磐田などのスポーツクラブ 42件 19.7%	5 輸送用機器や楽器、繊維業などの産業 26件 12.2%	4 桶ヶ谷沼などの自然環境 25件 11.7%
竜洋 (基数:213)	2 遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 98件 46.0%	7 掛塚屋台まつりや見付天神裸祭等の伝統文化 60件 28.2%	6 メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品 53件 24.9%	8 ジュピロ磐田などのスポーツクラブ 44件 20.7%	5 輸送用機器や楽器、繊維業などの産業 30件 14.1%
豊田 (基数:312)	2 遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 125件 40.1%	6 メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品 81件 26.0%	8 ジュピロ磐田などのスポーツクラブ 77件 24.7%	5 輸送用機器や楽器、繊維業などの産業 47件 15.1%	7 掛塚屋台まつりや見付天神裸祭等の伝統文化 40件 12.8%
豊岡 (基数:149)	2 遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 63件 42.3%	6 メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品 32件 21.5%	3 山や森などの森林資源 29件 19.5%	8 ジュピロ磐田などのスポーツクラブ 28件 18.8%	5 輸送用機器や楽器、繊維業などの産業 24件 16.1%

問 19

磐田市のシンボル（自然、歴史、人物、施設など）と思うもの（こと）は何ですか？自由にお書きください。（複数回答可）

全体

「ジュピロ磐田」が最多で 33.1%、次いで「桶ヶ谷沼」が、「旧見付学校」となっている。全体の 3 割強の人が「ジュピロ磐田」を磐田市のシンボルであると考えている。



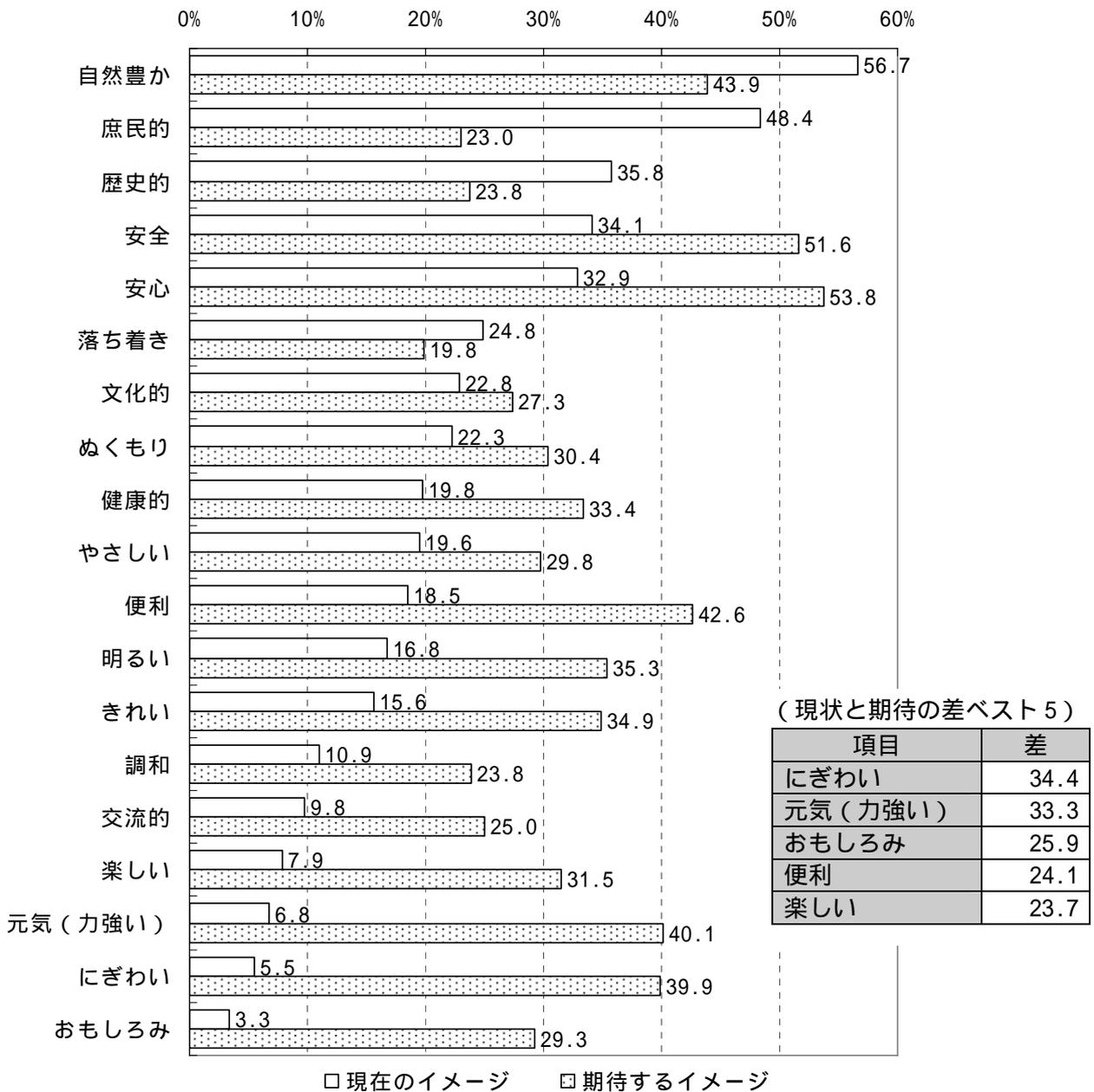
問 20

磐田市の「現在のイメージ」として当てはまるものを選択し、併せて、これから磐田市に「期待するイメージ」として当てはまるものを選択し、「」を記入してください。(複数回答可)

ここでは、磐田市の「現在のイメージ」と、今後の磐田市に「期待するイメージ」を比較し、市民が期待するイメージがどこにあるのかを、現状と期待度の乖離（現状ポイント - 期待ポイント）から確認する。（上位5位のみを記載する）

全体

現在と期待の差が大きいものとして、「にぎわい」が最大で 34.4 ポイント、次いで、「元気（力強い）」、「おもしろみ」、「便利」、「楽しさ」となっている。



性別（上位5位まで）

現在のイメージと期待するイメージの差の大きいものとして、男女とも、「にぎわい」が最大となっており、次いで「元気（力強い）」となっている。

（単位：ポイント）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	7 にぎわい 33.2	2 元気（力強い） 32.0	16 楽しい 23.4	10 安心 18.7	14 明るい 4 安全 1 きれい 17.3
女性	7 にぎわい 35.6	2 元気（力強い） 34.4	5 便利 30.7	16 楽しい 23.8	10 安心 22.7

年齢別（上位5位まで）

現在のイメージと期待するイメージの差の大きいものとして、20歳代及び50歳代が「にぎわい」、40歳代及び60歳代以上が「元気（力強い）」、30歳代が「安全」が最大となっている。また、第2位では、30歳代、40歳代及び60歳代以上が「にぎわい」の差が大きくなっている。

（単位：ポイント）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳	7 にぎわい 39.8	5 便利 39.2	2 元気（力強い） 33.0	4 安全 33.0	1 きれい 19 おもしろみ 30.7
30～39歳	4 安全 34.3	7 にぎわい 33.6	5 便利 33.0	10 安心 32.1	19 おもしろみ 2 元気（力強い） 30.9
40～49歳	2 元気（力強い） 36.9	7 にぎわい 36.6	19 おもしろみ 30.0	5 便利 29.7	16 楽しい 25.3
50～59歳	7 にぎわい 36.8	2 元気（力強い） 34.4	16 楽しい 25.1	19 おもしろみ 22.8	5 便利 21.7
60～69歳	2 元気（力強い） 35.7	7 にぎわい 34.8	19 おもしろみ 24.2	16 楽しい 20.2	1 きれい 16.4
70歳以上	2 元気（力強い） 24.4	7 にぎわい 22.4	19 おもしろみ 16.9	5 便利 15.4	18 交流的 13.9

地域別

現在のイメージと期待するイメージの差の大きいものとして、見付地区、中泉地区、今之浦地区、天竜・長野・於保地区及び竜洋地区が「にぎわい」、岩田・大藤・向笠地区、西貝・御厨・南御厨・田原地区、福田地区及び豊田地区が「元気（力強い）」、豊岡地区が「5便利」が最大となっている。

(地区別：上位5位のみ)

(単位：ポイント)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付	7 にぎわい 39.1	2 元気(力強い) 34.8	16 楽しい 25.0	10 安心 22.3	14 明るい 21.5
中泉	7 にぎわい 45.9	2 元気(力強い) 41.8	16 楽しい 25.3	14 明るい 19.4	12 調和 18 交流的 18.2
今之浦	7 にぎわい 48.7	2 元気(力強い) 30.8	14 明るい 23.1	16 楽しい 23.1	4 安全 5 便利 20.5
岩田・大藤・ 向笠	2 元気(力強い) 34.2	7 にぎわい 30.0	5 便利 26.7	10 安心 24.2	1 きれい 23.3
西貝・御厨・ 南御厨・田原	2 元気(力強い) 31.6	5 便利 30.6	7 にぎわい 29.1	4 安全 26.0	10 安心 26.0
天竜・長野・ 於保	7 にぎわい 41.6	2 元気(力強い) 41.0	16 楽しい 34.3	5 便利 29.2	1 きれい 28.7
福田	2 元気(力強い) 32.9	10 安心 29.1	7 にぎわい 26.8	1 きれい 19.2	4 安全 18.3
竜洋	7 にぎわい 40.4	2 元気(力強い) 33.8	5 便利 33.8	16 楽しい 31.5	10 安心 1 きれい 18.8
豊田	2 元気(力強い) 27.9	7 にぎわい 27.6	16 楽しい 20.2	10 安心 19.9	1 きれい 19.6
豊岡	5 便利 37.6	7 にぎわい 28.2	2 元気(力強い) 26.2	16 楽しい 22.8	14 明るい 15.4

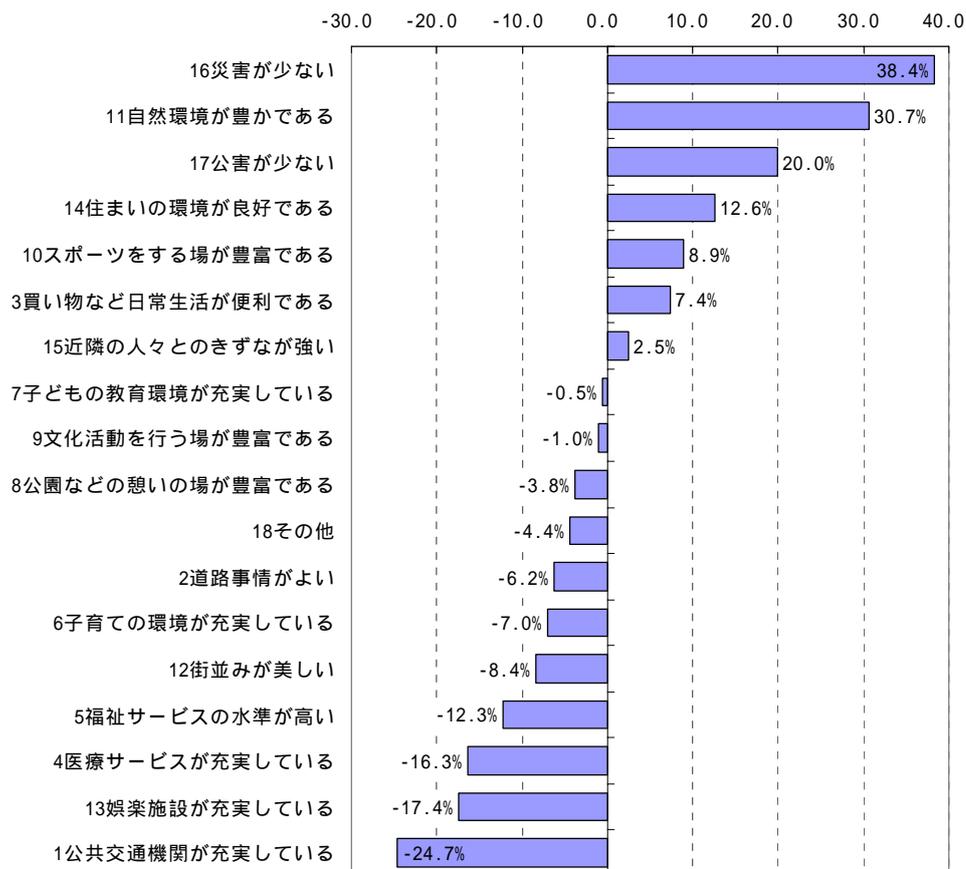
問 21

あなたが思う磐田市の良いところ（好きなどころ）、良くないところ（嫌いなどころ）はどこだと思いますか？（3つまで選択可）

ここでは、磐田市の「良いところ（好きなどころ）」と、磐田市の「良くないところ（嫌いなどころ）」を比較し、市民が磐田市のどこが良くなって欲しいのを見ることとする。

全体

「嫌いなどころ」と「好きなどころ」の差の大きなものとして、「公共交通機関」が最大となっており、次いで、「娯楽施設」、「医療サービス」がとなっている。



性別

「嫌いなどころ」と「好きなどころ」の差の大きなものとして、男女とも「公共交通機関」が最大となっている。次いで、男性は、「娯楽施設」、「医療サービス」となっており、女性は、「医療サービス」、「娯楽施設」となっている。

(性別：上位5位まで)

(単位：ポイント)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性	1 公共交通機関 20.2	13 娯楽施設 18.2	4 医療サービス 14.4	5 福祉サービスの水準 12.9	12 街並み 8.6
女性	1 公共交通機関 28.5	4 医療サービス 18.0	13 娯楽施設 16.8	5 福祉サービスの水準 11.8	12 街並み 8.3

年齢別（上位5位まで）

「嫌いなところ」と「好きなところ」の差の大きなものとして、30歳代以下は「6子育ての環境」、40歳代以上は「16災害」が最大となっている。次いで30歳代以下は「16災害」、「17公害」となり、40歳代から60歳代までは「17公害」、「6子育ての環境」となり、70歳台以上は「14住まいの環境」、「6子育ての環境」となっている。

（年齢別：上位5位まで）

（単位：ポイント）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳	6 子育ての環境 25.0	16 災害 24.4	17 公害 19.3	11 自然環境 12.5	14 住まいの環境 12.5
30～39歳	6 子育ての環境 26.6	16 災害 23.2	17 公害 19.6	10 スポーツをする場 11.6	11 自然環境 10.4
40～49歳	16 災害 29.1	17 公害 23.4	6 子育ての環境 20.0	14 住まいの環境 9.7	11 自然環境 9.4
50～59歳	16 災害 27.5	17 公害 16.9	6 子育ての環境 14.6	14 住まいの環境 14.3	9 文化活動を行う場 8.2
60～69歳	16 災害 22.2	17 公害 14.2	6 子育ての環境 12.0	14 住まいの環境 16.0	9 文化活動を行う場 10.9
70歳以上	16 災害 21.4	14 住まいの環境 13.4	6 子育ての環境 9.5	9 文化活動を行う場 6.5	3 買い物など日常生活 6.5

地域別（上位5位まで）

「嫌いなところ」と「好きなところ」の差の大きなものとして、今之浦地区、岩田・大藤・向笠地区、西貝・御厨・南御厨・田原地区、竜洋地区、豊田地区及び豊岡地区は「公共交通機関」、天竜・長野・於保地区及び福田地区は「医療サービス」、見付地区は「娯楽施設」、中泉地区は「街並み」が最大となっている。

（地区別：上位5位まで）

（単位：ポイント）

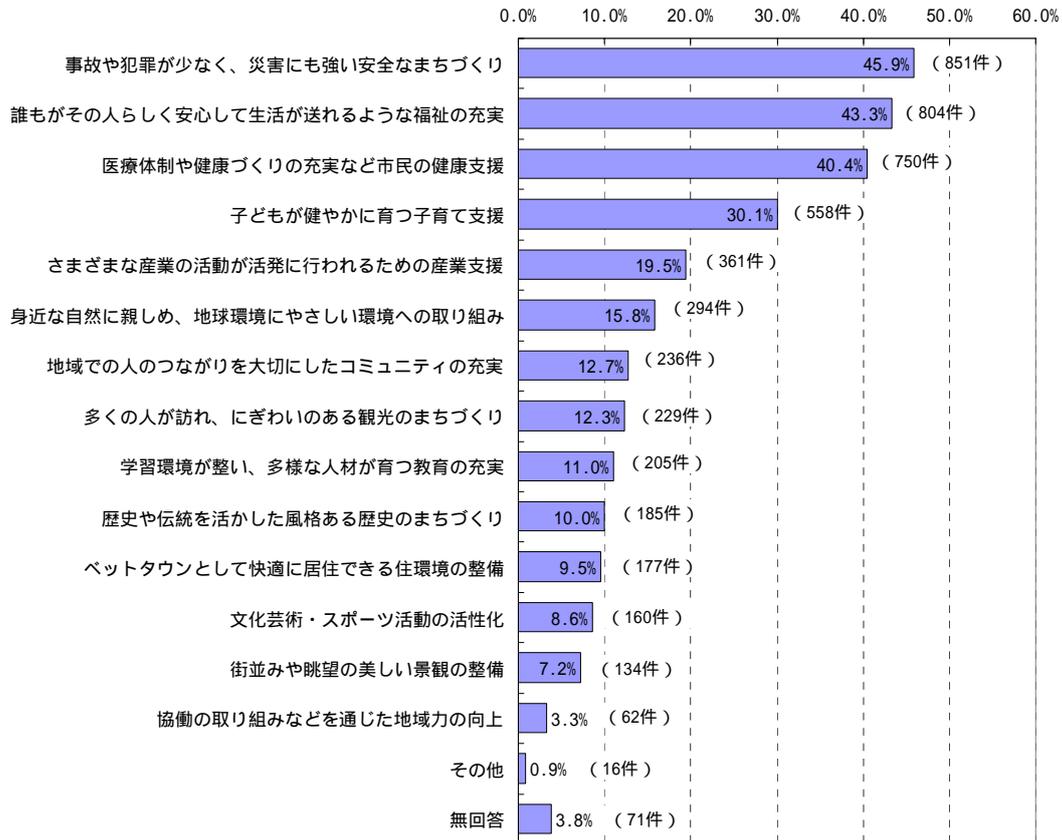
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付	娯楽施設 18.0	公共交通機関 17.6	福祉サービスの水準 11.7	医療サービス 10.9	街並み 9.8
中泉	街並み 17.6	娯楽施設 17.6	道路事情 12.4	公共交通機関 11.8	福祉サービスの水準 9.4
今之浦	公共交通機関 33.3	医療サービス 30.8	福祉サービスの水準 15.4	娯楽施設 15.4	子育ての環境 12.8
岩田・大藤・向笠	公共交通機関 33.3	買い物など日常生活 19.2	医療サービス 13.3	福祉サービスの水準 12.5	娯楽施設 11.7
西貝・御厨・南御厨・田原	公共交通機関 27.6	娯楽施設 20.4	医療サービス 17.3	福祉サービスの水準 12.8	街並み 6.6
天竜・長野・於保	医療サービス 29.2	公共交通機関 24.7	娯楽施設 19.7	公園などの憩いの場 19.1	道路事情 14.0
福田	医療サービス 19.7	娯楽施設 16.9	公共交通機関 16.0	公園などの憩いの場 15.5	福祉サービスの水準 13.6
竜洋	公共交通機関 40.4	医療サービス 24.4	娯楽施設 19.7	道路事情 9.9	福祉サービス 9.4
豊田	公共交通機関 18.9	福祉サービス 16.0	娯楽施設 14.7	医療サービス 9.0	街並み 7.4
豊岡	公共交通機関 42.3	買い物など日常生活 26.2	娯楽施設 18.8	医療サービス 17.4	公園などの憩いの場 10.7

3 まちづくりについて

問 22 磐田市を魅力あるまちにしていくためには、何を優先すべきだと思いますか？（3つまで選択可）

全体

「事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり」が最多で 45.9%、次いで「誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実」、「医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援」となっている。



性別

男女とも、「事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり」が最多となっています。次いで、男性では「医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援」、「誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実」となり、女性では「誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実」、「医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援」となっている。

（性別：上位5位まで）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (基数:850)	11 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり 382件 44.9%	3 医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援 357件 42.0%	1 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実 354件 41.6%	2 子どもが健やかに育つ子育て支援 243件 28.6%	10 さまざまな産業の活動が活発に行われるための産業支援 178件 20.9%
女性 (基数:1,000)	11 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり 466件 46.6%	1 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実 446件 44.6%	3 医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援 391件 39.1%	2 子どもが健やかに育つ子育て支援 315件 31.5%	10 さまざまな産業の活動が活発に行われるための産業支援 182件 18.2%

年齢別

40歳代以下は「11 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり」、50歳代以上は「1 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実」が最多となっている。

(年齢別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳 (基数:176)	11 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり 84件 47.7%	1 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実 66件 37.5%	2 子どもが健やかに育つ子育て支援 64件 36.4%	3 医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援 59件 33.5%	10 さまざまな産業の活動が活発に行われるための産業支援 32件 18.2%
20～29歳 (基数:176)	11 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり 175件 53.5%	2 子どもが健やかに育つ子育て支援 166件 50.8%	3 医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援 116件 35.5%	1 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実 104件 31.8%	10 さまざまな産業の活動が活発に行われるための産業支援 51件 15.6%
30～39歳 (基数:327)	11 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり 150件 46.9%	3 医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援 134件 41.9%	1 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実 120件 37.5%	2 子どもが健やかに育つ子育て支援 109件 34.1%	10 さまざまな産業の活動が活発に行われるための産業支援 58件 18.1%
40～49歳 (基数:320)	1 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実 173件 45.8%	11 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり 163件 43.1%	3 医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援 160件 42.3%	10 さまざまな産業の活動が活発に行われるための産業支援 82件 21.7%	2 子どもが健やかに育つ子育て支援 80件 21.2%
50～59歳 (基数:378)	1 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実 232件 51.4%	3 医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援 190件 42.1%	11 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり 185件 41.0%	2 子どもが健やかに育つ子育て支援 104件 23.1%	5 身近な自然に親しめ、地球環境にやさしい環境への取り組み 100件 22.2%
60～69歳 (基数:451)	1 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実 108件 53.7%	11 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり 92件 45.8%	3 医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援 90件 44.8%	10 さまざまな産業の活動が活発に行われるための産業支援 41件 20.4%	2 子どもが健やかに育つ子育て支援 35件 17.4%
70歳以上 (基数:201)	11 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり 175件 53.5%	2 子どもが健やかに育つ子育て支援 166件 50.8%	3 医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援 116件 35.5%	1 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実 104件 31.8%	10 さまざまな産業の活動が活発に行われるための産業支援 51件 15.6%

地区別

見付地区、中泉地区、西貝・御厨・南御厨・田原地区及び豊岡地区では「11 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり」、今之浦地区、天竜・長野・於保地区及び竜洋地区では「3 医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援」、岩田・大藤・向笠地区及び福田地区では「1 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実」となっている。

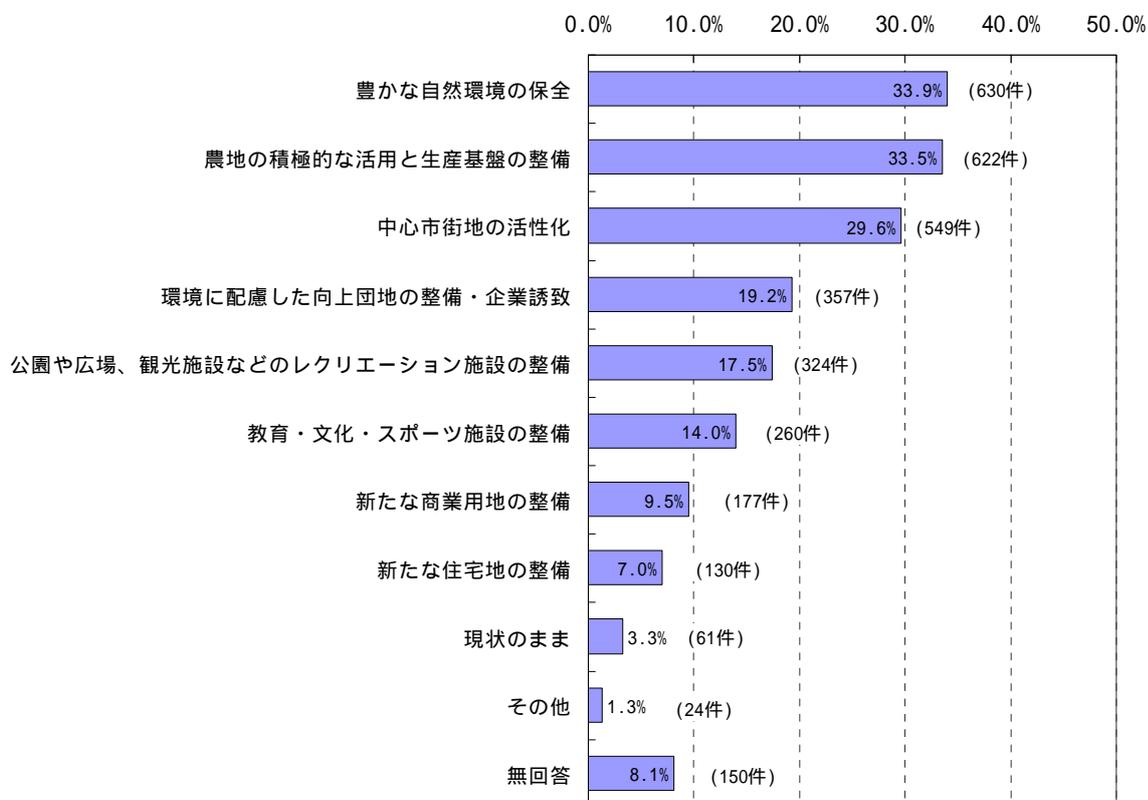
(地区別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:256)	11 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり 115件 44.9%	1 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実 96件 37.5%	3 医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援 95件 37.1%	2 子どもが健やかに育つ子育て支援 66件 25.8%	10 さまざまな産業の活動が活発に行われるための産業支援 43件 16.8%
中泉 (基数:170)	11 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり 80件 47.1%	1 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実 72件 42.4%	3 医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援 54件 31.8%	2 子どもが健やかに育つ子育て支援 48件 28.2%	9 多くの人が訪れ、にぎわいのある観光のまちづくり 33件 19.4%
今之浦 (基数:39)	3 医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援 22件 56.4%	1 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実 16件 41.0%	2 子どもが健やかに育つ子育て支援 16件 41.0%	11 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり 15件 38.5%	10 さまざまな産業の活動が活発に行われるための産業支援 9件 23.1%
岩田・大藤・向笠 (基数:120)	1 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実 51件 42.5%	11 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり 48件 40.0%	3 医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援 46件 38.3%	2 子どもが健やかに育つ子育て支援 42件 35.0%	10 さまざまな産業の活動が活発に行われるための産業支援 30件 25.0%
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:196)	11 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり 104件 53.1%	3 医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援 73件 37.2%	1 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実 69件 35.2%	2 子どもが健やかに育つ子育て支援 69件 35.2%	5 身近な自然に親しみ、地球環境にやさしい環境への取り組み 41件 20.9%
天竜・長野・於保 (基数:178)	3 医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援 83件 46.6%	1 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実 82件 46.1%	11 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり 73件 41.0%	2 子どもが健やかに育つ子育て支援 40件 22.5%	5 身近な自然に親しみ、地球環境にやさしい環境への取り組み 37件 20.8%
福田 (基数:213)	1 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実 93件 43.7%	3 医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援 90件 42.3%	11 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり 85件 39.9%	2 子どもが健やかに育つ子育て支援 63件 29.6%	10 さまざまな産業の活動が活発に行われるための産業支援 57件 26.8%
竜洋 (基数:213)	3 医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援 105件 49.3%	11 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり 101件 47.4%	1 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実 95件 44.6%	2 子どもが健やかに育つ子育て支援 58件 27.2%	10 さまざまな産業の活動が活発に行われるための産業支援 44件 20.7%
豊田 (基数:312)	1 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実 153件 49.0%	11 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり 147件 47.1%	3 医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援 117件 37.5%	2 子どもが健やかに育つ子育て支援 101件 32.4%	10 さまざまな産業の活動が活発に行われるための産業支援 56件 17.9%
豊岡 (基数:149)	11 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり 77件 51.7%	1 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実 73件 49.0%	3 医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援 61件 40.9%	2 子どもが健やかに育つ子育て支援 52件 34.9%	5 身近な自然に親しみ、地球環境にやさしい環境への取り組み 23件 15.4%

問 23 将来の土地利用（土地の使い方）に関して、何を優先すべきだと思いますか。（2つまで選択可）

全体

「豊かな自然環境の保全」が最多で33.9%、次いで「農地の積極的な活用と生産基盤の整備」、
「中心市街地の活性化」となっている。



性別

男性では「2 農地の積極的な活用と生産基盤の整備」が最多で35.4%、次いで「1 豊かな自然環境の保全」、「8 中心市街地の活性化」となっている。女性では「1 豊かな自然環境の保全」が最多で「35.0%」、次いで「8 中心市街地の活性化」、「2 農地の積極的な活用と生産基盤の整備」となっている。

（性別：上位5位まで）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (基数:850)	2 農地の積極的な活用と生産基盤の整備 301件 35.4%	1 豊かな自然環境の保全 280件 32.9%	8 中心市街地の活性化 216件 25.4%	6 環境に配慮した向上団地の整備・企業誘致 199件 23.4%	3 公園や広場、観光施設などのレクリエーション施設の整備 146件 17.2%
女性 (基数:1,000)	1 豊かな自然環境の保全 350件 35.0%	8 中心市街地の活性化 331件 33.1%	2 農地の積極的な活用と生産基盤の整備 319件 31.9%	3 公園や広場、観光施設などのレクリエーション施設の整備 178件 17.8%	6 環境に配慮した向上団地の整備・企業誘致 157件 15.7%

年齢別

40歳代以下は「1 豊かな自然環境の保全」、50歳代以上は「2 農地の積極的な活用と生産基盤の整備」が最多となっている。第2位で顕著なのは、30歳代以下、50歳代及び70歳代以上で「8 中心市街地の活性化」である。

(年齢別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳 (基数:176)	1 豊かな自然環境の保全 67件 38.1%	8 中心市街地の活性化 53件 30.1%	2 農地の積極的な活用と生産基盤の整備 40件 22.7%	3 公園や広場、観光施設などのレクリエーション施設の整備 38件 21.6%	5 新たな商業用地の整備 31件 17.6%
30～39歳 (基数:327)	1 豊かな自然環境の保全 99件 30.3%	8 中心市街地の活性化 97件 29.7%	3 公園や広場、観光施設などのレクリエーション施設の整備 91件 27.8%	2 農地の積極的な活用と生産基盤の整備 81件 24.8%	4 教育・文化・スポーツ施設の整備 54件 16.5%
40～49歳 (基数:320)	1 豊かな自然環境の保全 115件 35.9%	2 農地の積極的な活用と生産基盤の整備 94件 29.4%	8 中心市街地の活性化 86件 26.9%	4 教育・文化・スポーツ施設の整備 66件 20.6%	3 公園や広場、観光施設などのレクリエーション施設の整備 56件 17.5%
50～59歳 (基数:378)	2 農地の積極的な活用と生産基盤の整備 139件 36.8%	8 中心市街地の活性化 125件 33.1%	1 豊かな自然環境の保全 115件 30.4%	6 環境に配慮した向上団地の整備・企業誘致 77件 20.4%	3 公園や広場、観光施設などのレクリエーション施設の整備 53件 14.0%
60～69歳 (基数:451)	2 農地の積極的な活用と生産基盤の整備 191件 42.4%	1 豊かな自然環境の保全 172件 38.1%	8 中心市街地の活性化 121件 26.8%	6 環境に配慮した向上団地の整備・企業誘致 112件 24.8%	3 公園や広場、観光施設などのレクリエーション施設の整備 64件 14.2%
70歳以上 (基数:201)	2 農地の積極的な活用と生産基盤の整備 75件 37.3%	8 中心市街地の活性化 67件 33.3%	1 豊かな自然環境の保全 62件 30.8%	6 環境に配慮した向上団地の整備・企業誘致 43件 21.4%	4 教育・文化・スポーツ施設の整備 23件 11.4%

地区別

見付、今之浦、福田及び豊岡は、「豊かな自然環境の保全」、岩田・大藤・向笠、天竜・長野・於保、竜洋及び豊田は、「農地の積極的な活用と生産基盤の整備」、中泉及び西貝・御厨・南御厨・田原は、「中心市街地の活性化」となっている。

(地区別：上位5位まで)

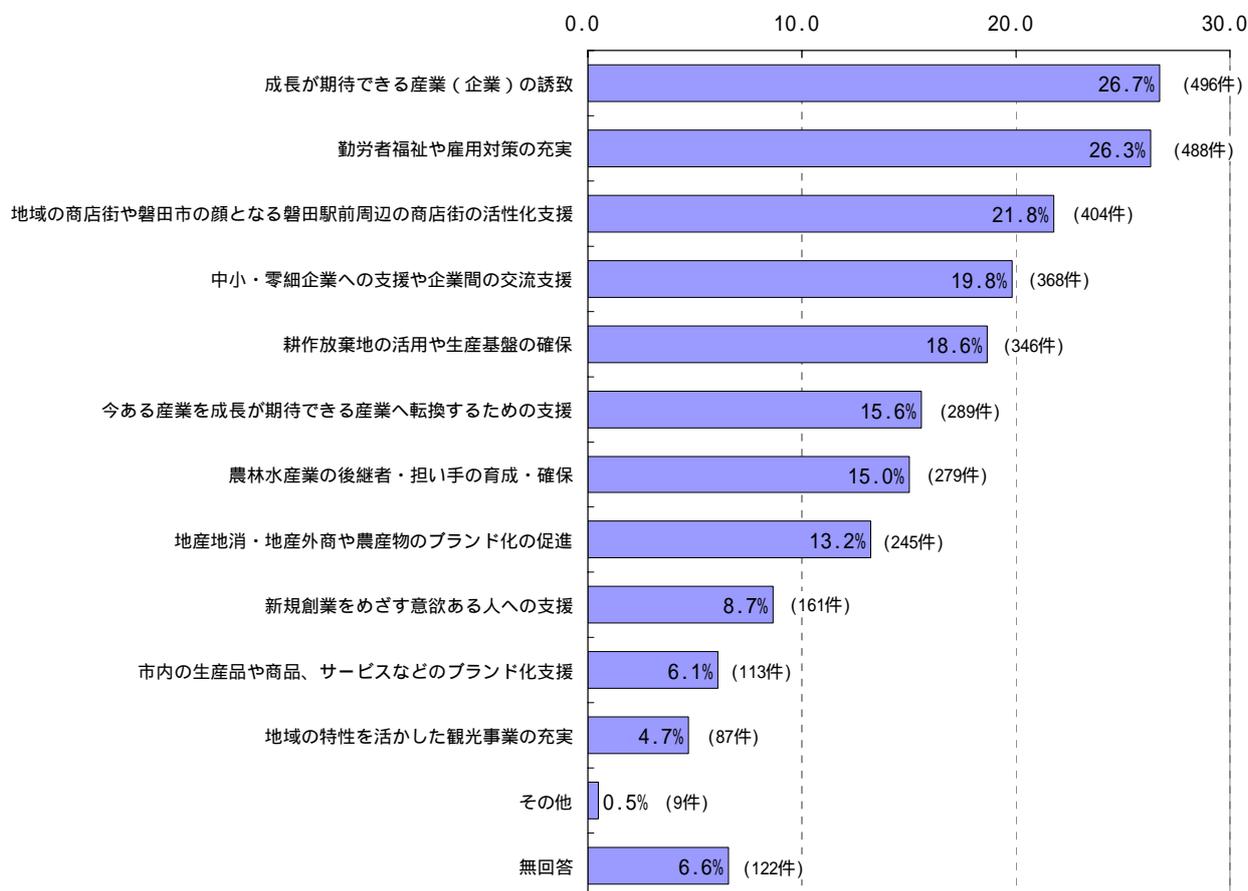
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:256)	1 豊かな自然環境の保全 82件 32.0%	2 農地の積極的な活用と生産基盤の整備 57件 22.3%	8 中心市街地の活性化 93件 36.3%	6 環境に配慮した向上団地の整備・企業誘致 43件 16.8%	3 公園や広場、観光施設などのレクリエーション施設の整備 44件 17.2%
中泉 (基数:170)	8 中心市街地の活性化 88件 51.8%	1 豊かな自然環境の保全 55件 32.4%	2 農地の積極的な活用と生産基盤の整備 45件 26.5%	3 公園や広場、観光施設などのレクリエーション施設の整備 29件 17.1%	6 環境に配慮した向上団地の整備・企業誘致 28件 16.5%
今之浦 (基数:39)	1 豊かな自然環境の保全 16件 41.0%	2 農地の積極的な活用と生産基盤の整備 10件 25.6%	8 中心市街地の活性化 10件 25.6%	6 環境に配慮した向上団地の整備・企業誘致 8件 20.5%	4 教育・文化・スポーツ施設の整備 6件 15.4%
岩田・大藤・向笠 (基数:120)	2 農地の積極的な活用と生産基盤の整備 58件 48.3%	1 豊かな自然環境の保全 34件 28.3%	3 公園や広場、観光施設などのレクリエーション施設の整備 27件 22.5%	6 環境に配慮した向上団地の整備・企業誘致 22件 18.3%	8 中心市街地の活性化 19件 15.8%
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:196)	8 中心市街地の活性化 76件 38.8%	1 豊かな自然環境の保全 73件 37.2%	2 農地の積極的な活用と生産基盤の整備 56件 28.6%	6 環境に配慮した向上団地の整備・企業誘致 36件 18.4%	4 教育・文化・スポーツ施設の整備 33件 16.8%
天竜・長野・於保 (基数:178)	2 農地の積極的な活用と生産基盤の整備 74件 41.6%	8 中心市街地の活性化 61件 34.3%	1 豊かな自然環境の保全 55件 30.9%	3 公園や広場、観光施設などのレクリエーション施設の整備 35件 19.7%	6 環境に配慮した向上団地の整備・企業誘致 35件 19.7%
福田 (基数:213)	1 豊かな自然環境の保全 79件 37.1%	2 農地の積極的な活用と生産基盤の整備 64件 30.0%	8 中心市街地の活性化 54件 25.4%	6 環境に配慮した向上団地の整備・企業誘致 48件 22.5%	3 公園や広場、観光施設などのレクリエーション施設の整備 38件 17.8%
竜洋 (基数:213)	2 農地の積極的な活用と生産基盤の整備 83件 39.0%	1 豊かな自然環境の保全 78件 36.6%	8 中心市街地の活性化 48件 22.5%	6 環境に配慮した向上団地の整備・企業誘致 44件 20.7%	3 公園や広場、観光施設などのレクリエーション施設の整備 36件 16.9%
豊田 (基数:312)	2 農地の積極的な活用と生産基盤の整備 122件 39.1%	1 豊かな自然環境の保全 99件 31.7%	8 中心市街地の活性化 79件 25.3%	3 公園や広場、観光施設などのレクリエーション施設の整備 58件 18.6%	6 環境に配慮した向上団地の整備・企業誘致 53件 17.0%
豊岡 (基数:149)	1 豊かな自然環境の保全 56件 37.6%	2 農地の積極的な活用と生産基盤の整備 50件 33.6%	6 環境に配慮した向上団地の整備・企業誘致 38件 25.5%	3 公園や広場、観光施設などのレクリエーション施設の整備 25件 16.8%	7 新たな住宅地の整備 8 中心市街地の活性化 18件 12.1%

4 産業（商業・工業・農林水産業）について

問 24 今後、市内の産業をさらに活性化するためには、何を優先すべきだと思いますか？（2 つまで選択可）

全体

「成長が期待できる産業（企業）の誘致」で 26.7%、次いで「勤労者福祉や雇用対策の充実」、
「地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援」となっている。



性別

男性では、「成長が期待できる産業（企業）の誘致」が最多で 29.5%、次いで、「勤労者福祉や雇用対策の充実」、「中小・零細企業への支援や企業間の交流支援」となっている。女性では、「勤労者福祉や雇用対策の充実」が最多で 28.3%、次いで、「地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援」、「成長が期待できる産業（企業）の誘致」となっている。

（性別：上位 5 位まで）

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
男性 (基数:850)	1 成長が期待できる産業（企業）の誘致 251 件 29.5 %	5 勤労者福祉や雇用対策の充実 202 件 23.8 %	3 中小・零細企業への支援や企業間の交流支援 179 件 21.1 %	6 耕作放棄地の活用や生産基盤の確保 172 件 20.2 %	9 地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援 158 件 18.6 %
女性 (基数:1,000)	5 勤労者福祉や雇用対策の充実 283 件 28.3 %	9 地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援 245 件 24.5 %	1 成長が期待できる産業（企業）の誘致 243 件 24.3 %	3 中小・零細企業への支援や企業間の交流支援 189 件 18.9 %	6 耕作放棄地の活用や生産基盤の確保 173 件 17.3 %

年齢別

50 歳代以下は、「勤労者福祉や雇用対策の充実」、60 歳代以上は、「成長が期待できる産業（企業）の誘致」が最多となっている。次いで、30 歳代以下は、「地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援」、40 歳代及び 50 歳代は、「成長が期待できる産業（企業）の誘致」、70 歳代以上は、「耕作放棄地の活用や生産基盤の確保」となっている。

（年齢別：上位 5 位まで）

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
20～29 歳 (基数:176)	5 勤労者福祉や雇用対策の充実 59 件 33.5 %	9 地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援 40 件 22.7 %	1 成長が期待できる産業(企業)の誘致 39 件 22.2 %	3 中小・零細企業への支援や企業間の交流支援 39 件 22.2 %	7 農林水産業の後継者・担い手の育成・確保 27 件 15.3 %
30～39 歳 (基数:327)	5 勤労者福祉や雇用対策の充実 80 件 24.5 %	9 地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援 77 件 23.5 %	3 中小・零細企業への支援や企業間の交流支援 74 件 22.6 %	1 成長が期待できる産業(企業)の誘致 71 件 21.7 %	2 今ある産業を成長が期待できる産業へ転換するための支援 62 件 19.0 %
40～49 歳 (基数:320)	5 勤労者福祉や雇用対策の充実 90 件 28.1 %	1 成長が期待できる産業(企業)の誘致 84 件 26.3 %	9 地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援 68 件 21.3 %	3 中小・零細企業への支援や企業間の交流支援 66 件 20.6 %	2 今ある産業を成長が期待できる産業へ転換するための支援 55 件 17.2 %
50～59 歳 (基数:378)	5 勤労者福祉や雇用対策の充実 110 件 29.1 %	1 成長が期待できる産業(企業)の誘致 90 件 23.8 %	6 耕作放棄地の活用や生産基盤の確保 84 件 22.2 %	9 地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援 80 件 21.2 %	3 中小・零細企業への支援や企業間の交流支援 68 件 18.0 %
60～69 歳 (基数:451)	1 成長が期待できる産業(企業)の誘致 152 件 33.7 %	5 勤労者福祉や雇用対策の充実 105 件 23.3 %	6 耕作放棄地の活用や生産基盤の確保 95 件 21.1 %	9 地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援 92 件 20.4 %	3 中小・零細企業への支援や企業間の交流支援 86 件 19.1 %
70 歳以上 (基数:201)	1 成長が期待できる産業(企業)の誘致 59 件 29.4 %	6 耕作放棄地の活用や生産基盤の確保 46 件 22.9 %	5 勤労者福祉や雇用対策の充実 46 件 22.9 %	9 地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援 44 件 21.9 %	3 中小・零細企業への支援や企業間の交流支援 35 件 17.4 %

地区別

見付、天竜・長野・於保、福田、竜洋及び豊田は、「成長が期待できる産業（企業）の誘致」、岩田・大藤・向笠、西貝・御厨・南御厨・田原及び豊岡は、「勤労者福祉や雇用対策の充実」、中泉は、「地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援」、今之浦は「今ある産業を成長が期待できる産業へ転換するための支援」が最多となっている。

（地区別：上位5位まで）

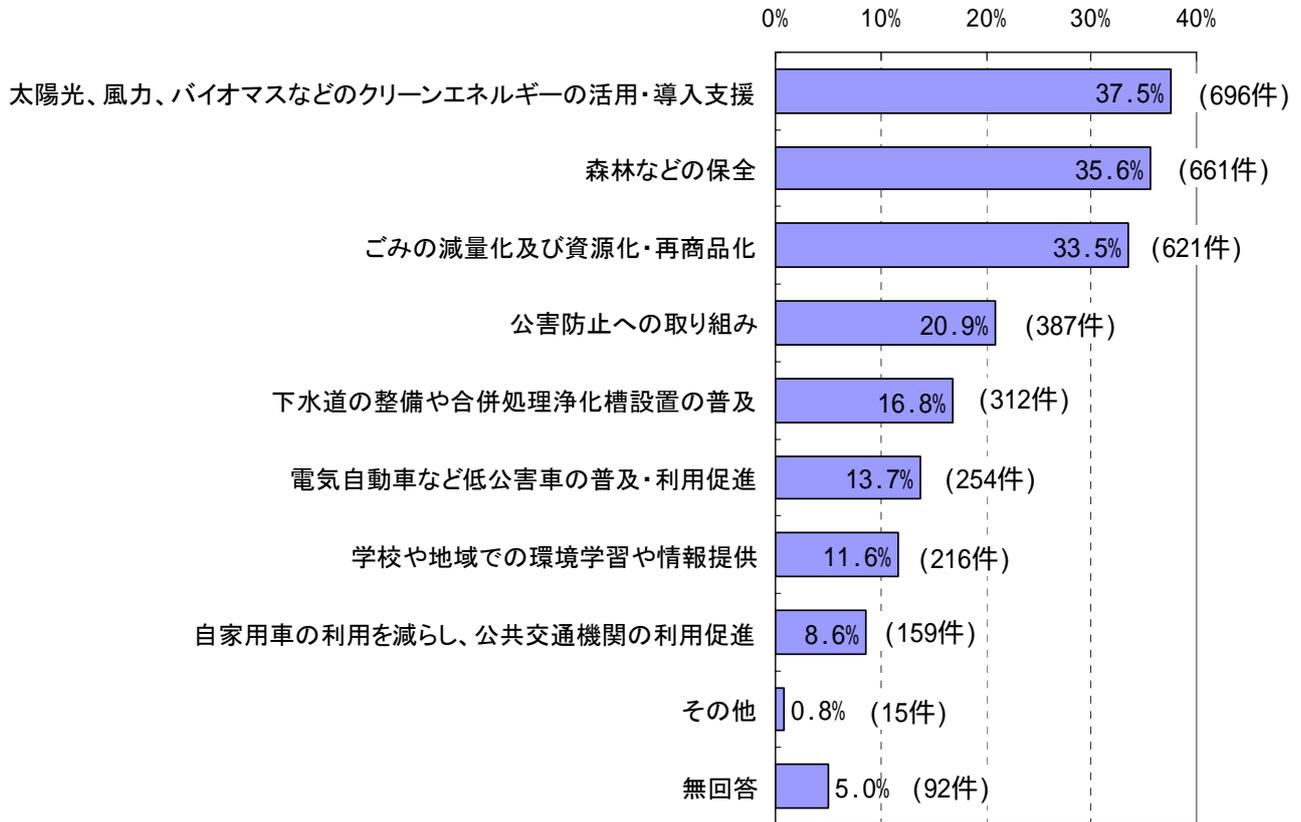
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:256)	1 成長が期待できる産業(企業)の誘致 65件 25.4%	5 勤労者福祉や雇用対策の充実 57件 22.3%	9 地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援 78件 30.5%	3 中小・零細企業への支援や企業間の交流支援 49件 19.1%	6 耕作放棄地の活用や生産基盤の確保 43件 16.8%
中泉 (基数:170)	9 地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援 66件 38.8%	5 勤労者福祉や雇用対策の充実 46件 27.1%	1 成長が期待できる産業(企業)の誘致 40件 23.5%	3 中小・零細企業への支援や企業間の交流支援 32件 18.8%	2 今ある産業を成長が期待できる産業へ転換するための支援 28件 16.5%
今之浦 (基数:39)	2 今ある産業を成長が期待できる産業へ転換するための支援 11件 28.2%	1 成長が期待できる産業(企業)の誘致 10件 25.6%	5 勤労者福祉や雇用対策の充実 8件 20.5%	9 地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援 7件 17.9%	3 中小・零細企業への支援や企業間の交流支援 6 耕作放棄地の活用や生産基盤の確保 8 地産物産・地産外貨や農産物のブランド化の促進 10 市の生産者・産品・サービスなどのファン化支援 5件 12.8%
岩田・大藤・向笠 (基数:120)	5 勤労者福祉や雇用対策の充実 34件 28.3%	6 耕作放棄地の活用や生産基盤の確保 30件 25.0%	7 農林水産業の後継者・担い手の育成・確保 27件 22.5%	9 地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援 25件 20.8%	1 成長が期待できる産業(企業)の誘致 2 今ある産業を成長が期待できる産業へ転換するための支援 22件 18.3%
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:196)	5 勤労者福祉や雇用対策の充実 56件 28.6%	1 成長が期待できる産業(企業)の誘致 51件 26.0%	9 地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援 51件 26.0%	2 今ある産業を成長が期待できる産業へ転換するための支援 39件 19.9%	3 中小・零細企業への支援や企業間の交流支援 7 農林水産業の後継者・担い手の育成・確保 35件 17.9%
天竜・長野・於保 (基数:178)	1 成長が期待できる産業(企業)の誘致 48件 27.0%	9 地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援 47件 26.4%	3 中小・零細企業への支援や企業間の交流支援 40件 22.5%	6 耕作放棄地の活用や生産基盤の確保 40件 22.5%	5 勤労者福祉や雇用対策の充実 34件 19.1%
福田 (基数:213)	1 成長が期待できる産業(企業)の誘致 66件 31.0%	5 勤労者福祉や雇用対策の充実 65件 30.5%	3 中小・零細企業への支援や企業間の交流支援 46件 21.6%	6 耕作放棄地の活用や生産基盤の確保 35件 16.4%	9 地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援 35件 16.4%
竜洋 (基数:213)	1 成長が期待できる産業(企業)の誘致 69件 32.4%	5 勤労者福祉や雇用対策の充実 65件 30.5%	6 耕作放棄地の活用や生産基盤の確保 52件 24.4%	3 中小・零細企業への支援や企業間の交流支援 46件 21.6%	2 今ある産業を成長が期待できる産業へ転換するための支援 34件 16.0%
豊田 (基数:312)	1 成長が期待できる産業(企業)の誘致 84件 26.9%	5 勤労者福祉や雇用対策の充実 78件 25.0%	6 耕作放棄地の活用や生産基盤の確保 65件 20.8%	3 中小・零細企業への支援や企業間の交流支援 63件 20.2%	9 地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援 52件 16.7%
豊岡 (基数:149)	5 勤労者福祉や雇用対策の充実 42件 28.2%	1 成長が期待できる産業(企業)の誘致 36件 24.2%	6 耕作放棄地の活用や生産基盤の確保 33件 22.1%	3 中小・零細企業への支援や企業間の交流支援 31件 20.8%	7 農林水産業の後継者・担い手の育成・確保 8 地産物産・地産外貨や農産物のブランド化の促進 24件 16.1%

5 環境について

問 25 地球環境を守るためには、何を優先すべきだと思いますか？（2つまで選択可）

全体

「太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援」が最多で 37.5%、次いで、「森林などの保全」、「ごみの減量化及び資源化・再商品化」となっている。



性別

男性では「太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援」が最多で 40.5%、次いで、「森林などの保全」、「ごみの減量化及び資源化・再商品化」となっている。女性では、「ごみの減量化及び資源化・再商品化」が最多で 36.6%、次いで、「太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援」、「森林などの保全」となっている。

（性別：上位 5 位まで）

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
男性 (基数:850)	3 太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援 344 件 40.5 %	1 森林などの保全 312 件 36.7 %	6 ごみの減量化及び資源化・再商品化 254 件 29.9 %	2 公害防止への取り組み 187 件 22.0 %	5 下水道の整備や合併処理浄化槽設置の普及 151 件 17.8 %
女性 (基数:1,000)	6 ごみの減量化及び資源化・再商品化 366 件 36.6 %	3 太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援 351 件 35.1 %	1 森林などの保全 347 件 34.7 %	2 公害防止への取り組み 199 件 19.9 %	5 下水道の整備や合併処理浄化槽設置の普及 160 件 16.0 %

年齢別

20歳代は「ごみの減量化及び資源化・再商品化」、30歳代から50歳代は「太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援」、60歳代以上は「森林などの保全」が最多となっている。30歳代から50歳代は「森林などの保全」、20歳代と70歳代は「太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援」、60歳代は「ごみの減量化及び資源化・再商品化」が第2位となっている。

(年齢別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳 (基数:176)	6 ごみの減量化及び資源化・再商品化 68件 38.6%	3 太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援 65件 36.9%	1 森林などの保全 60件 34.1%	2 公害防止への取り組み 34件 19.3%	4 学校や地域での環境学習や情報提供 27件 15.3%
30～39歳 (基数:327)	3 太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援 144件 44.0%	1 森林などの保全 112件 34.3%	6 ごみの減量化及び資源化・再商品化 98件 30.0%	8 電気自動車など低公害車の普及・利用促進 57件 17.4%	2 公害防止への取り組み 52件 15.9%
40～49歳 (基数:320)	3 太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援 143件 44.7%	1 森林などの保全 110件 34.4%	6 ごみの減量化及び資源化・再商品化 108件 33.8%	2 公害防止への取り組み 63件 19.7%	5 下水道の整備や合併処理浄化槽設置の普及 48件 15.0%
50～59歳 (基数:378)	3 太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援 139件 36.8%	1 森林などの保全 138件 36.5%	6 ごみの減量化及び資源化・再商品化 120件 31.7%	2 公害防止への取り組み 79件 20.9%	5 下水道の整備や合併処理浄化槽設置の普及 59件 15.6%
60～69歳 (基数:451)	1 森林などの保全 166件 36.8%	6 ごみの減量化及び資源化・再商品化 164件 36.4%	3 太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援 132件 29.3%	2 公害防止への取り組み 109件 24.2%	5 下水道の整備や合併処理浄化槽設置の普及 96件 21.3%
70歳以上 (基数:201)	1 森林などの保全 74件 36.8%	3 太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援 73件 36.3%	6 ごみの減量化及び資源化・再商品化 61件 30.3%	2 公害防止への取り組み 50件 24.9%	5 下水道の整備や合併処理浄化槽設置の普及 39件 19.4%

地区別

見付、中泉、豊田及び豊岡は「森林などの保全」、今之浦、西貝・御厨・南御厨・田原、天竜・長野・於保及び竜洋は「太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援」、岩田・大藤・向笠及び福田は「ごみの減量化及び資源化・再商品化」が最多となっている。

(地区別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:256)	1 森林などの保全 102件 39.8%	3 太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援 90件 35.2%	6 ごみの減量化及び資源化・再商品化 80件 31.3%	2 公害防止への取り組み 52件 20.3%	4 学校や地域での環境学習や情報提供 5 下水道の整備や合併処理浄化槽設置の普及 35件 13.7%
中泉 (基数:170)	1 森林などの保全 70件 41.2%	3 太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援 62件 36.5%	6 ごみの減量化及び資源化・再商品化 59件 34.7%	2 公害防止への取り組み 40件 23.5%	5 下水道の整備や合併処理浄化槽設置の普及 26件 15.3%
今之浦 (基数:39)	3 太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援 15件 38.5%	1 森林などの保全 14件 35.9%	8 電気自動車など低公害車の普及・利用促進 9件 23.1%	6 ごみの減量化及び資源化・再商品化 8件 20.5%	5 下水道の整備や合併処理浄化槽設置の普及 7件 17.9%
岩田・大藤・向笠 (基数:120)	6 ごみの減量化及び資源化・再商品化 48件 40.0%	3 太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援 45件 37.5%	1 森林などの保全 37件 30.8%	5 下水道の整備や合併処理浄化槽設置の普及 25件 20.8%	2 公害防止への取り組み 21件 17.5%
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:196)	3 太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援 83件 42.3%	1 森林などの保全 70件 35.7%	6 ごみの減量化及び資源化・再商品化 60件 30.6%	2 公害防止への取り組み 36件 18.4%	5 下水道の整備や合併処理浄化槽設置の普及 35件 17.9%
天竜・長野・於保 (基数:178)	3 太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援 66件 37.1%	1 森林などの保全 56件 31.5%	6 ごみの減量化及び資源化・再商品化 54件 30.3%	5 下水道の整備や合併処理浄化槽設置の普及 53件 29.8%	2 公害防止への取り組み 41件 23.0%
福田 (基数:213)	6 ごみの減量化及び資源化・再商品化 91件 42.7%	3 太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援 75件 35.2%	1 森林などの保全 69件 32.4%	2 公害防止への取り組み 42件 19.7%	4 学校や地域での環境学習や情報提供 33件 15.5%
竜洋 (基数:213)	3 太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援 98件 46.0%	6 ごみの減量化及び資源化・再商品化 74件 34.7%	1 森林などの保全 68件 31.9%	2 公害防止への取り組み 56件 26.3%	8 電気自動車など低公害車の普及・利用促進 30件 14.1%
豊田 (基数:312)	1 森林などの保全 114件 36.5%	3 太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援 108件 34.6%	6 ごみの減量化及び資源化・再商品化 106件 34.0%	2 公害防止への取り組み 58件 18.6%	8 電気自動車など低公害車の普及・利用促進 47件 15.1%
豊岡 (基数:149)	1 森林などの保全 57件 38.3%	3 太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援 52件 34.9%	6 ごみの減量化及び資源化・再商品化 38件 25.5%	2 公害防止への取り組み 34件 22.8%	5 下水道の整備や合併処理浄化槽設置の普及 25件 16.8%

6 公共交通について

問 26 今後の公共交通（自主運行バス）についてどう思いますか？（1つ選択）

全体

「自主運行バスは廃止し、高齢者や障害者など対象を特定したタクシーチケット交付などの運賃補助に切り替えるべき」の 30.5%（566 件）が最も多く、次いで「財政負担の大きい自主運行バスはやめ、デマンド型タクシーなど別のやり方に変えるべき」の 29.6%（549 件）、「財政負担の大小にかかわらず利用者のある限り、現状のまま続けるべき」の 14.2%（264 件）となり、自主運行バスの存続より、代替措置を望む方が多い結果である。

（全体集計）

	件数 (件)	割合
5 自主運行バスは廃止し、高齢者や障害者など対象を特定したタクシーチケット交付などの運賃補助に切り替えるべき	566	30.5%
4 財政負担の大きい自主運行バスはやめ、デマンド型タクシーなど別のやり方に変えるべき	549	29.6%
2 財政負担の大小にかかわらず利用者のある限り、現状のまま続けるべき	264	14.2%
3 便数・路線の縮小、運賃の値上げなどの大幅な見直しを行っても続けるべき	178	9.6%
1 財政負担が大きくなっても、さらに公共交通の充実を図るべき	104	5.6%
6 その他	55	3.0%
無回答	140	7.5%

性別

男性は、「財政負担の大きい自主運行バスはやめ、デマンド型タクシーなど別のやり方に変えるべき」の割合が最も高く、次いで、「自主運行バスは廃止し、高齢者や障害者など対象を特定したタクシーチケット交付などの運賃補助に切り替えるべき」、女性は、「自主運行バスは廃止し、高齢者や障害者など対象を特定したタクシーチケット交付などの運賃補助に切り替えるべき」の割合が最も高く、次いで、「財政負担の大きい自主運行バスはやめ、デマンド型タクシーなど別のやり方に変えるべき」となっている。

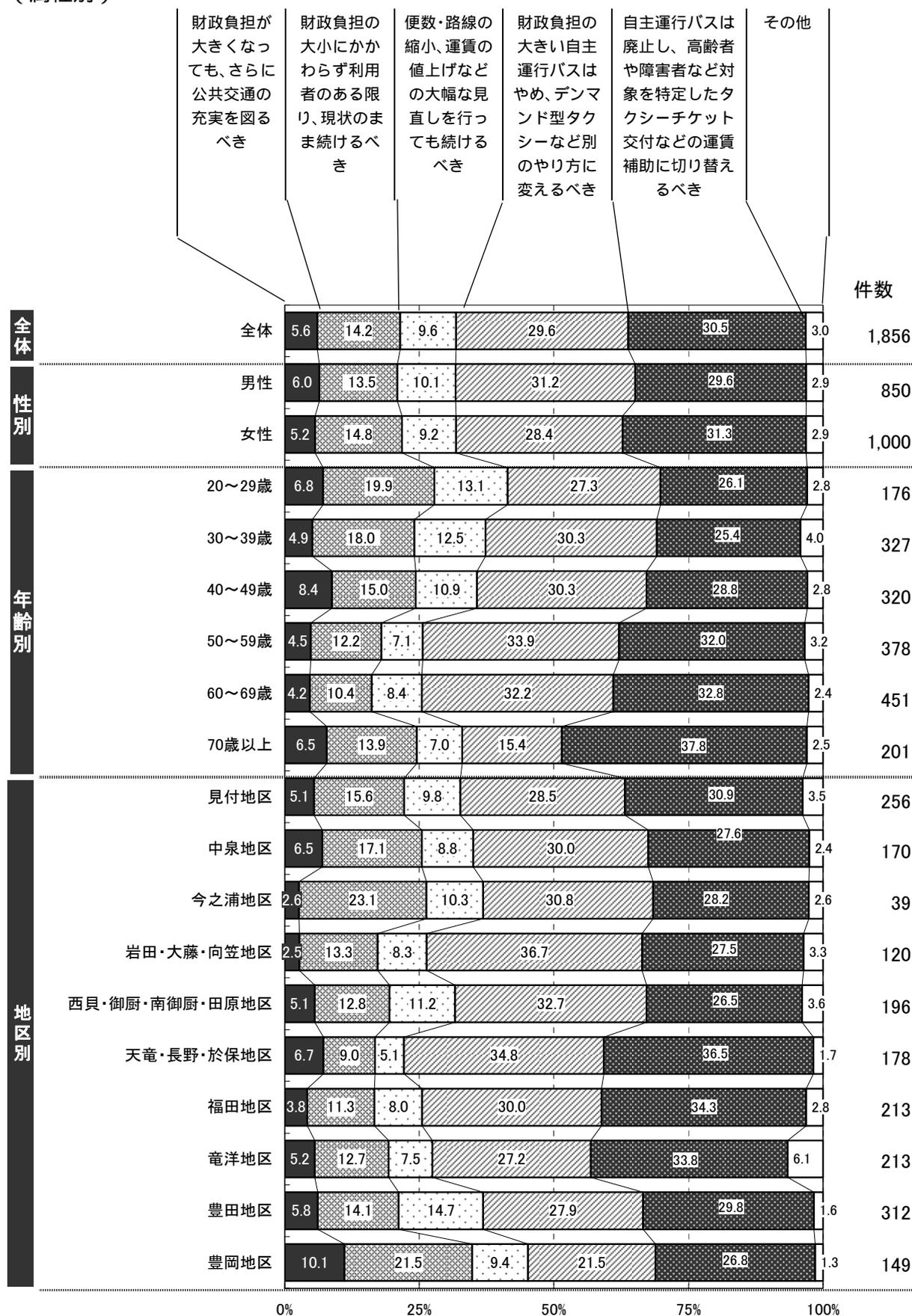
年齢別

「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」の世代では、「財政負担の大きい自主運行バスはやめ、デマンド型タクシーなど別のやり方に変えるべき」の割合が高く、「60～69歳」「70歳以上」の世代では、「自主運行バスは廃止し、高齢者や障害者など対象を特定したタクシーチケット交付などの運賃に切り替えるべき」の割合が高くなっている。

地区別

「見付地区」「天竜・長野・於保地区」「福田地区」「竜洋地区」「豊田地区」「豊岡地区」「豊岡地区」では、「自主運行バスは廃止し、高齢者や障害者など対象を特定したタクシーチケット交付などの運賃に切り替えるべき」の割合が高く、「中泉地区」「今之浦地区」「岩田・大藤・向笠地区」「西貝・御厨・南御厨・田原地区」では、「財政負担の大きい自主運行バスはやめ、デマンド型タクシーなど別のやり方に変えるべき」の割合が高くなっている。

(属性別)

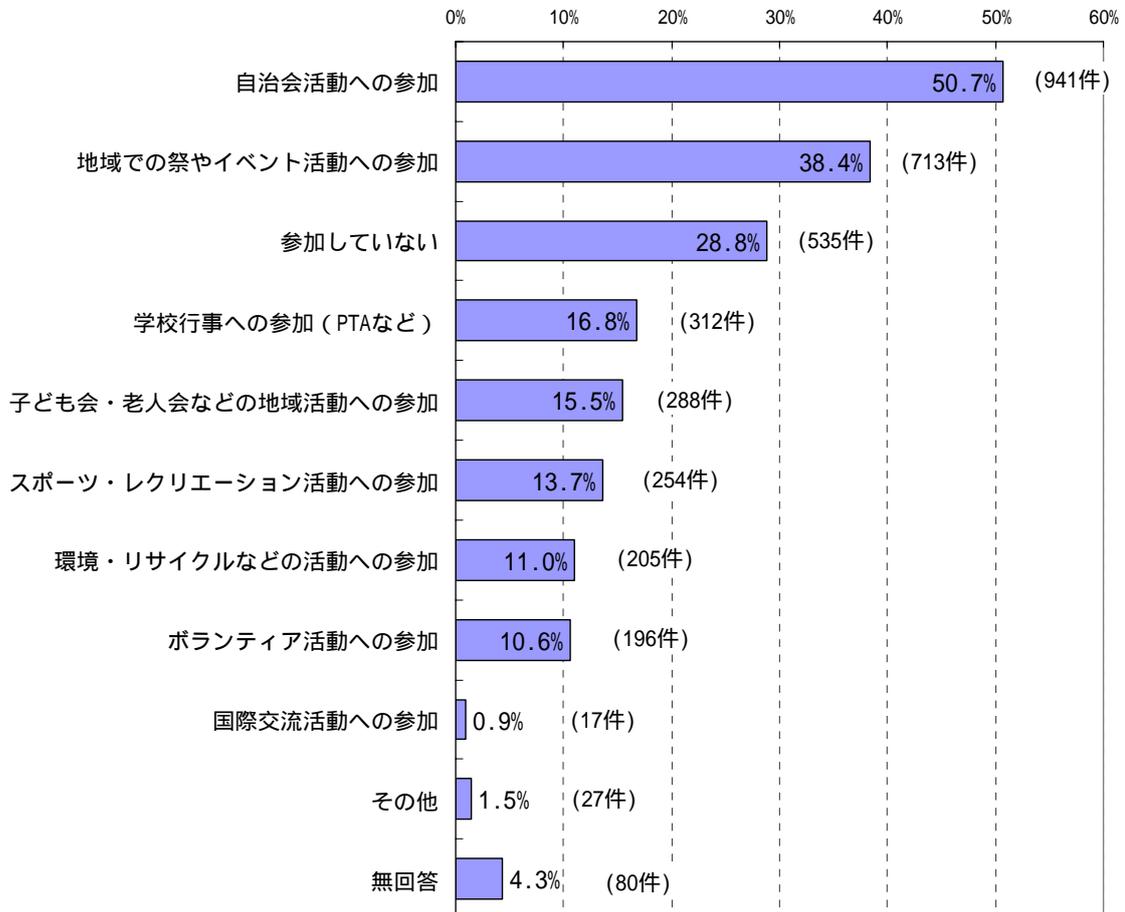


7 コミュニティについて

問 27 あなたは地域活動に参加していますか？（該当するものすべて選択）

全体

「自治会活動への参加」の 50.7%（941 件）が最も多く、次いで「地域での祭やイベント活動への参加」38.4%（713 件）、「参加していない」28.8%（535 件）となっている。



性別

男女とも「自治会活動への参加」の割合が高く、次いで「地域での祭やイベント活動への参加」、「参加していない」の順となっている。

（性別：上位 5 位まで）

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
男性 (基数:850)	1 自治会活動への参加 473 件 55.6 %	3 地域での祭やイベント活動への参加 337 件 39.6 %	9 参加していない 234 件 27.5 %	7 スポーツ・レクリエーション活動への参加 135 件 15.9 %	2 学校行事への参加（PTA など） 108 件 12.7 %
女性 (基数:1,000)	1 自治会活動への参加 467 件 46.7 %	3 地域での祭やイベント活動への参加 375 件 37.5 %	9 参加していない 300 件 30.0 %	2 学校行事への参加（PTA など） 204 件 20.4 %	5 子ども会・老人会などの地域活動への参加 181 件 18.1 %

年齢別

「20～29歳」「30～39歳」では、「参加していない」の割合が最も高く、「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」「70歳以上」では「自治会活動への参加」の割合が最も高くなっている。

(年齢別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳 (基数:176)	9 参加していない 104件 59.1%	3 地域での祭やイベント活動への参加 46件 26.1%	1 自治会活動への参加 27件 15.3%	7 スポーツ・レクリエーション活動への参加 23件 13.1%	4 ボランティア活動への参加 11件 6.3%
30～39歳 (基数:327)	9 参加していない 132件 40.4%	3 地域での祭やイベント活動への参加 128件 39.1%	1 自治会活動への参加 121件 37.0%	2 学校行事への参加(PTAなど) 86件 26.3%	5 子ども会・老人会などの地域活動への参加 70件 21.4%
40～49歳 (基数:320)	1 自治会活動への参加 184件 57.5%	2 学校行事への参加(PTAなど) 151件 47.2%	3 地域での祭やイベント活動への参加 151件 47.2%	5 子ども会・老人会などの地域活動への参加 102件 31.9%	9 参加していない 65件 20.3%
50～59歳 (基数:378)	1 自治会活動への参加 231件 61.1%	3 地域での祭やイベント活動への参加 147件 38.9%	9 参加していない 90件 23.8%	7 スポーツ・レクリエーション活動への参加 49件 13.0%	4 ボランティア活動への参加 38件 10.1%
60～69歳 (基数:451)	1 自治会活動への参加 279件 61.9%	3 地域での祭やイベント活動への参加 177件 39.2%	9 参加していない 91件 20.2%	6 環境・リサイクルなどの活動への参加 71件 15.7%	4 ボランティア活動への参加 69件 15.3%
70歳以上 (基数:201)	1 自治会活動への参加 98件 48.8%	3 地域での祭やイベント活動への参加 63件 31.3%	9 参加していない 53件 26.4%	5 子ども会・老人会などの地域活動への参加 44件 21.9%	4 ボランティア活動への参加 35件 17.4%

地区別

いずれも「自治会活動への参加」の割合が高いが、「見付地区」「今之浦地区」では、「参加していない」が2番目に高くなっている。

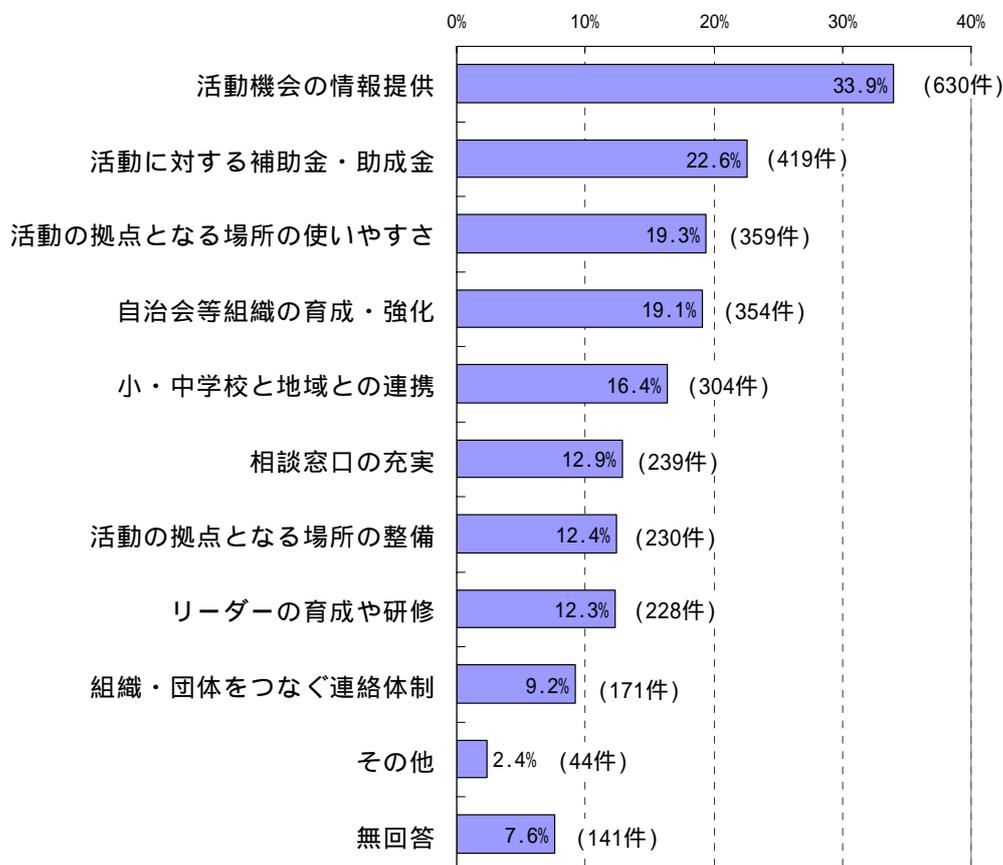
(地区別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:256)	1 自治会活動への参加 118件 46.1%	9 参加していない 74件 28.9%	3 地域での祭やイベント活動への参加 66件 25.8%	2 学校行事への参加(PTAなど) 48件 18.8%	7 スポーツ・レクリエーション活動への参加 39件 15.2%
中泉 (基数:170)	1 自治会活動への参加 79件 46.5%	3 地域での祭やイベント活動への参加 60件 35.3%	9 参加していない 59件 34.7%	7 スポーツ・レクリエーション活動への参加 23件 13.5%	2 学校行事への参加(PTAなど) 22件 12.9%
今之浦 (基数:39)	1 自治会活動への参加 17件 43.6%	9 参加していない 16件 41.0%	3 地域での祭やイベント活動への参加 12件 30.8%	2 学校行事への参加(PTAなど) 5件 12.8%	5 子ども会・老人会などの地域活動への参加 5件 12.8%
岩田・大藤・向笠 (基数:120)	1 自治会活動への参加 77件 64.2%	3 地域での祭やイベント活動への参加 66件 55.0%	2 学校行事への参加(PTAなど) 29件 24.2%	7 スポーツ・レクリエーション活動への参加 28件 23.3%	5 子ども会・老人会などの地域活動への参加 24件 20.0%
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:196)	1 自治会活動への参加 101件 51.5%	3 地域での祭やイベント活動への参加 80件 40.8%	9 参加していない 62件 31.6%	5 子ども会・老人会などの地域活動への参加 45件 23.0%	2 学校行事への参加(PTAなど) 40件 20.4%
天竜・長野・於保 (基数:178)	1 自治会活動への参加 80件 44.9%	3 地域での祭やイベント活動への参加 65件 36.5%	9 参加していない 47件 26.4%	7 スポーツ・レクリエーション活動への参加 27件 15.2%	2 学校行事への参加(PTAなど) 21件 11.8%
福田 (基数:213)	1 自治会活動への参加 103件 48.4%	3 地域での祭やイベント活動への参加 78件 36.6%	9 参加していない 65件 30.5%	2 学校行事への参加(PTAなど) 34件 16.0%	5 子ども会・老人会などの地域活動への参加 29件 13.6%
竜洋 (基数:213)	1 自治会活動への参加 103件 48.4%	3 地域での祭やイベント活動への参加 95件 44.6%	9 参加していない 64件 30.0%	2 学校行事への参加(PTAなど) 35件 16.4%	5 子ども会・老人会などの地域活動への参加 34件 16.0%
豊田 (基数:312)	1 自治会活動への参加 165件 52.9%	3 地域での祭やイベント活動への参加 120件 38.5%	9 参加していない 86件 27.6%	5 子ども会・老人会などの地域活動への参加 55件 17.6%	2 学校行事への参加(PTAなど) 48件 15.4%
豊岡 (基数:149)	1 自治会活動への参加 97件 65.1%	3 地域での祭やイベント活動への参加 71件 47.7%	9 参加していない 32件 21.5%	2 学校行事への参加(PTAなど) 30件 20.1%	6 環境・リサイクルなどの活動への参加 30件 20.1%

問 28 地域活動をより活発にするための支援策として、何を優先すべきだと思いますか？（2つまで選択）

全体

「活動機会の情報提供」の 33.9%（630 件）が最も多く、次いで「活動に対する補助金・助成金」22.6%（419 件）、「活動の拠点となる場所の使いやすさ」19.3%（359 件）となっている。



性別

男女とも「活動機会の情報提供」の割合が高く、次いで「活動に対する補助金・助成金」であるが、3番目は、男性は「自治会等組織の育成・強化」、女性は「活動の拠点となる場所の使いやすさ」となっている。

（性別：上位5位まで）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (基数:850)	1 活動機会の情報提供 279件 32.8%	7 活動に対する補助金・助成金 198件 23.3%	8 自治会等組織の育成・強化 195件 22.9%	5 活動の拠点となる場所の使いやすさ 166件 19.5%	4 小・中学校と地域との連携 132件 15.5%
女性 (基数:1,000)	1 活動機会の情報提供 351件 35.1%	7 活動に対する補助金・助成金 220件 22.0%	5 活動の拠点となる場所の使いやすさ 190件 19.0%	4 小・中学校と地域との連携 172件 17.2%	8 自治会等組織の育成・強化 158件 15.8%

年齢別

「60～69歳」以下の世代では、「活動機会の情報提供」の割合が最も高く、「70歳以上」では、「自治会等組織の育成・強化」の割合が最も高くなっている。

「40～49歳」以下の世代では、「小・中学校と地域との連携」が、「50～59歳」では、「活動に対する補助金・助成金」が、「60～69歳」では、「自治会等組織の育成・強化」が、「70歳以上」では、「活動機会の情報提供」の割合が2番目に高くなっている。

(年齢別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳 (基数:176)	1 活動機会の情報提供 67件 38.1%	4 小・中学校と地域との連携 44件 25.0%	5 活動の拠点となる場所の使いやすさ 32件 18.2%	7 活動に対する補助金・助成金 32件 18.2%	9 組織・団体をつなぐ連絡体制 24件 13.6%
30～39歳 (基数:327)	1 活動機会の情報提供 119件 36.4%	4 小・中学校と地域との連携 87件 26.6%	7 活動に対する補助金・助成金 83件 25.4%	5 活動の拠点となる場所の使いやすさ 56件 17.1%	2 相談窓口の充実 36件 11.0%
40～49歳 (基数:320)	1 活動機会の情報提供 102件 31.9%	4 小・中学校と地域との連携 81件 25.3%	7 活動に対する補助金・助成金 79件 24.7%	2 相談窓口の充実 53件 16.6%	5 活動の拠点となる場所の使いやすさ 53件 16.6%
50～59歳 (基数:378)	1 活動機会の情報提供 123件 32.5%	7 活動に対する補助金・助成金 92件 24.3%	5 活動の拠点となる場所の使いやすさ 79件 20.9%	8 自治会党組織の育成・強化 72件 19.0%	6 活動の拠点となる場所の整備 55件 14.6%
60～69歳 (基数:451)	1 活動機会の情報提供 165件 36.6%	8 自治会党組織の育成・強化 123件 27.3%	5 活動の拠点となる場所の使いやすさ 100件 22.2%	7 活動に対する補助金・助成金 99件 22.0%	3 リーダーの育成や研修 70件 15.5%
70歳以上 (基数:201)	8 自治会党組織の育成・強化 59件 29.4%	1 活動機会の情報提供 54件 26.9%	3 リーダーの育成や研修 39件 19.4%	5 活動の拠点となる場所の使いやすさ 37件 18.4%	7 活動に対する補助金・助成金 34件 16.9%

地区別

「豊岡地区」以外の地区では、「活動機会の情報提供」の割合が最も高く、「豊岡地区」では、「活動に対する補助金・助成金」の割合が最も高くなっている。

(地区別：上位5位まで)

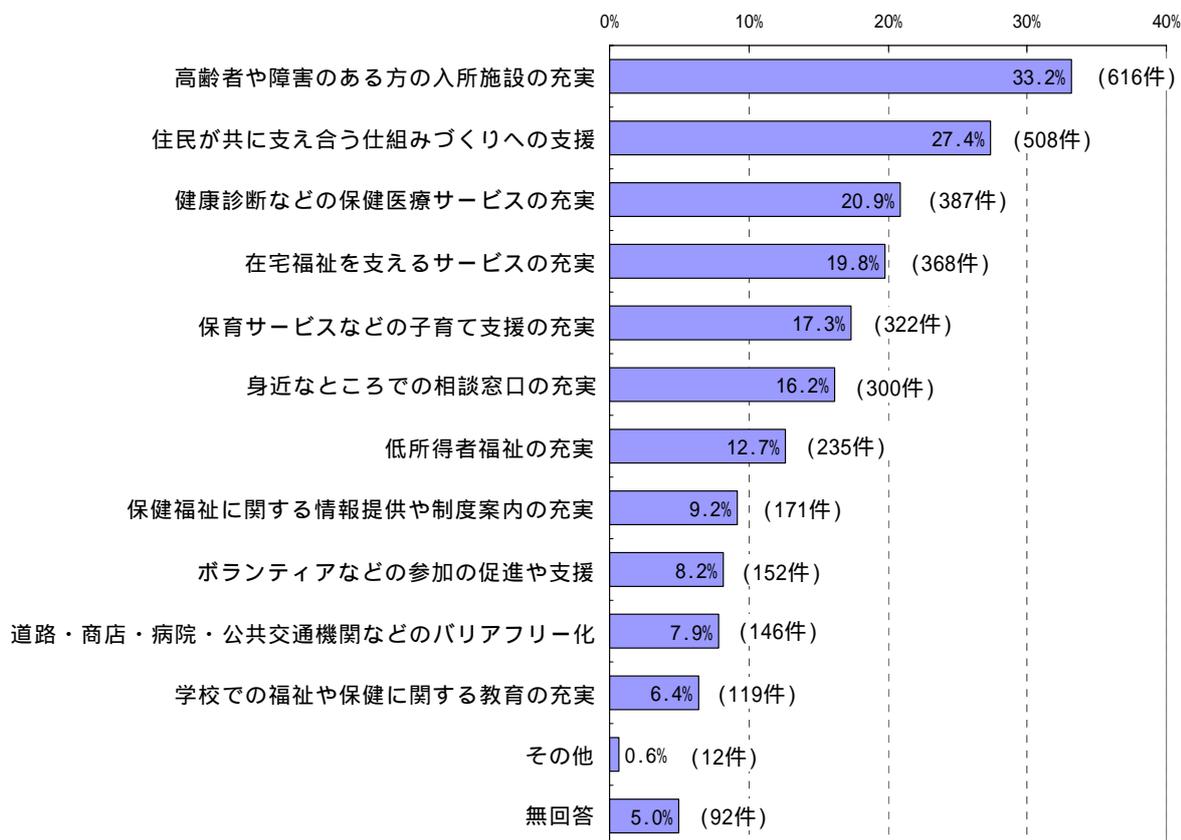
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:256)	1 活動機会の情報提供 93件 36.3%	5 活動の拠点となる場所の使いやすさ 53件 20.7%	8 自治会党組織の育成・強化 53件 20.7%	7 活動に対する補助金・助成金 48件 18.8%	4 小・中学校と地域との連携 44件 17.2%
中泉 (基数:170)	1 活動機会の情報提供 68件 40.0%	5 活動の拠点となる場所の使いやすさ 42件 24.7%	7 活動に対する補助金・助成金 31件 18.2%	2 相談窓口の充実 29件 17.1%	8 自治会党組織の育成・強化 26件 15.3%
今之浦 (基数:39)	1 活動機会の情報提供 16件 41.0%	2 相談窓口の充実 9件 23.1%	7 活動に対する補助金・助成金 7件 17.9%	4 小・中学校と地域との連携 6件 15.4%	8 自治会党組織の育成・強化 6件 15.4%
岩田・大藤・向笠 (基数:120)	1 活動機会の情報提供 36件 30.0%	7 活動に対する補助金・助成金 32件 26.7%	5 活動の拠点となる場所の使いやすさ 26件 21.7%	4 小・中学校と地域との連携 22件 18.3%	8 自治会党組織の育成・強化 21件 17.5%
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:196)	1 活動機会の情報提供 66件 33.7%	7 活動に対する補助金・助成金 42件 21.4%	5 活動の拠点となる場所の使いやすさ 36件 18.4%	8 自治会党組織の育成・強化 34件 17.3%	4 小・中学校と地域との連携 32件 16.3%
天竜・長野・於保 (基数:178)	1 活動機会の情報提供 63件 35.4%	7 活動に対する補助金・助成金 44件 24.7%	8 自治会党組織の育成・強化 36件 20.2%	4 小・中学校と地域との連携 34件 19.1%	5 活動の拠点となる場所の使いやすさ 33件 18.5%
福田 (基数:213)	1 活動機会の情報提供 65件 30.5%	8 自治会党組織の育成・強化 56件 26.3%	7 活動に対する補助金・助成金 47件 22.1%	5 活動の拠点となる場所の使いやすさ 42件 19.7%	4 小・中学校と地域との連携 31件 14.6%
竜洋 (基数:213)	1 活動機会の情報提供 74件 34.7%	7 活動に対する補助金・助成金 50件 23.5%	4 小・中学校と地域との連携 42件 19.7%	8 自治会党組織の育成・強化 41件 19.2%	5 活動の拠点となる場所の使いやすさ 37件 17.4%
豊田 (基数:312)	1 活動機会の情報提供 105件 33.7%	7 活動に対する補助金・助成金 70件 22.4%	5 活動の拠点となる場所の使いやすさ 54件 17.3%	8 自治会党組織の育成・強化 53件 17.0%	4 小・中学校と地域との連携 50件 16.0%
豊岡 (基数:149)	7 活動に対する補助金・助成金 46件 30.9%	1 活動機会の情報提供 42件 28.2%	5 活動の拠点となる場所の使いやすさ 31件 20.8%	8 自治会党組織の育成・強化 26件 17.4%	2 相談窓口の充実 21件 14.1%

8 福祉について

問 29 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、何を優先すべきだと思いますか？（2つまで選択）

全体

「高齢者や障害のある方の入所施設の充実」で 33.2%（616 件）と最も多く、次いで「住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援」27.4%（508 件）、「健康診断などの保健医療サービスの充実」20.9%（387 件）となっている。



性別

男女とも、「高齢者や障害のある方の入所施設の充実」の割合が最も高く、次いで「住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援」であるが、男性は、「健康診断などの保健医療サービスの充実」が、女性では「在宅福祉を支えるサービスの充実」が3番目に高くなっている。

（性別：上位5位まで）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (基数:850)	7 高齢者や障害のある方の入所施設の充実 273 件 32.1 %	2 住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援 254 件 29.9 %	6 健康診断などの保健医療サービスの充実 176 件 20.7 %	4 在宅福祉を支えるサービスの充実 153 件 18.0 %	3 身近なところでの相談窓口の充実 135 件 15.9 %
女性 (基数:1,000)	7 高齢者や障害のある方の入所施設の充実 342 件 34.2 %	2 住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援 254 件 25.4 %	4 在宅福祉を支えるサービスの充実 215 件 21.5 %	6 健康診断などの保健医療サービスの充実 211 件 21.1 %	9 保育サービスなどの子育て支援の充実 197 件 19.7 %

年齢別

「20～29歳」「30～39歳」では、「保育サービスなどの子育て支援の充実」が、「40～49歳」以上の世代では、「高齢者や障害のある方の入所施設の充実」の割合が最も高く、子育て世代の顕著な結果となっている。

(年齢別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳 (基数:176)	9 保育サービスなどの 子育て支援の充実 48件 27.3%	7 高齢者や障害のある 方の入所施設の充実 46件 26.1%	2 住民が共に支え合う仕 組みづくりへの支援 44件 25.0%	6 健康診断などの保健 医療サービスの充実 44件 25.0%	3 身近なところでの 相談窓口の充実 28件 15.9%
30～39歳 (基数:327)	9 保育サービスなどの 子育て支援の充実 110件 33.6%	6 健康診断などの保健 医療サービスの充実 84件 25.7%	2 住民が共に支え合う仕 組みづくりへの支援 69件 21.1%	7 高齢者や障害のある 方の入所施設の充実 68件 20.8%	4 在宅福祉を支える サービスの充実 57件 17.4%
40～49歳 (基数:320)	7 高齢者や障害のある 方の入所施設の充実 98件 30.6%	2 住民が共に支え合う仕 組みづくりへの支援 73件 22.8%	4 在宅福祉を支える サービスの充実 73件 22.8%	6 健康診断などの保健 医療サービスの充実 70件 21.9%	3 身近なところでの 相談窓口の充実 61件 19.1%
50～59歳 (基数:378)	7 高齢者や障害のある 方の入所施設の充実 131件 34.7%	2 住民が共に支え合う仕 組みづくりへの支援 109件 28.8%	4 在宅福祉を支える サービスの充実 84件 22.2%	6 健康診断などの保健 医療サービスの充実 71件 18.8%	3 身近なところでの 相談窓口の充実 66件 17.5%
60～69歳 (基数:451)	7 高齢者や障害のある 方の入所施設の充実 184件 40.8%	2 住民が共に支え合う仕 組みづくりへの支援 151件 33.5%	4 在宅福祉を支える サービスの充実 88件 19.5%	6 健康診断などの保健 医療サービスの充実 83件 18.4%	10 低所得者福祉の 充実 68件 15.1%
70歳以上 (基数:201)	7 高齢者や障害のある 方の入所施設の充実 89件 44.3%	2 住民が共に支え合う仕 組みづくりへの支援 61件 30.3%	4 在宅福祉を支える サービスの充実 41件 20.4%	6 健康診断などの保健 医療サービスの充実 35件 17.4%	3 身近なところでの 相談窓口の充実 32件 15.9%

地区別

全ての地区について「高齢者や障害のある方の入所施設の充実」の割合が最も高いが、「中泉地区」では、「住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援」や「岩田・大藤・向笠地区」では「健康診断などの保健医療サービスの充実」の割合も最も高くなっている。

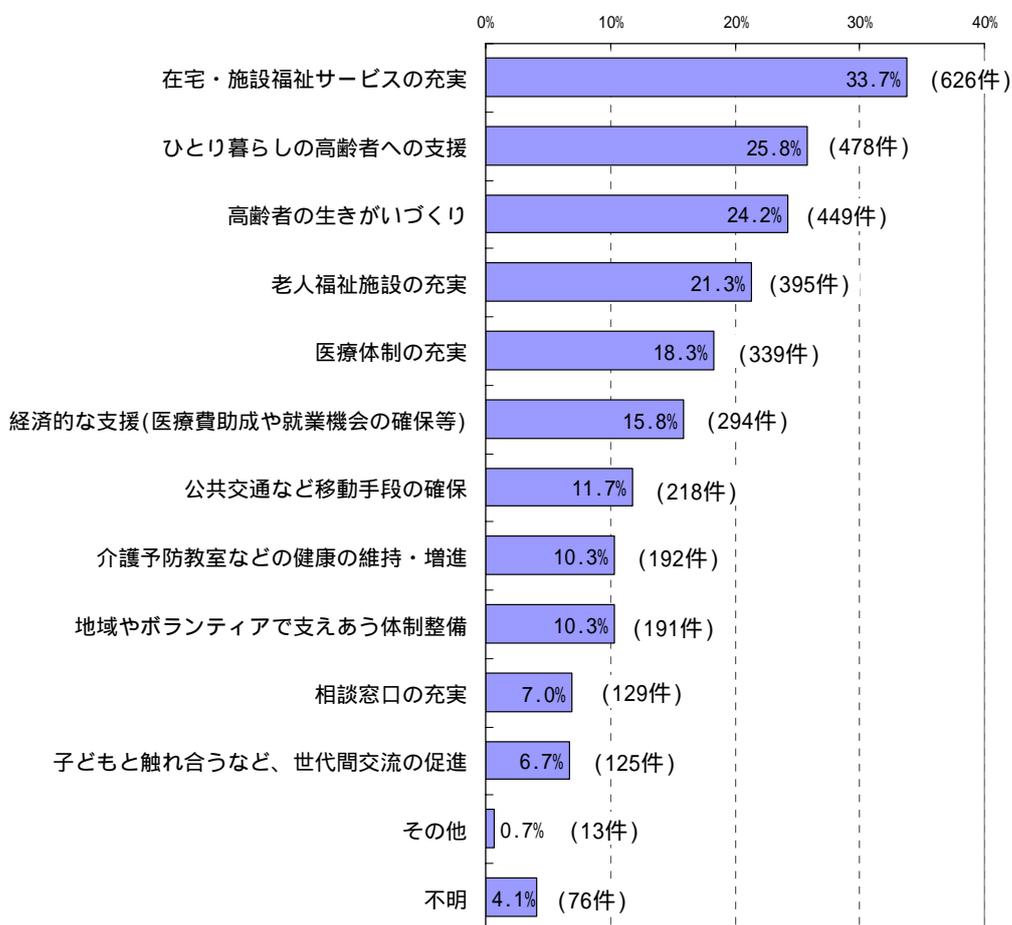
(地区別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:256)	7 高齢者や障害のある方の入所施設の充実 80件 31.3%	2 住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援 72件 28.1%	6 健康診断などの保健医療サービスの充実 49件 19.1%	3 身近なところでの相談窓口の充実 43件 16.8%	4 在宅福祉を支えるサービスの充実 43件 16.8%
中泉 (基数:170)	2 住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援 53件 31.2%	7 高齢者や障害のある方の入所施設の充実 53件 31.2%	6 健康診断などの保健医療サービスの充実 34件 20.0%	3 身近なところでの相談窓口の充実 27件 15.9%	4 在宅福祉を支えるサービスの充実 25件 14.7%
今之浦 (基数:39)	7 高齢者や障害のある方の入所施設の充実 17件 43.6%	6 健康診断などの保健医療サービスの充実 10件 25.6%	9 保育サービスなどの子育て支援の充実 10件 25.6%	4 在宅福祉を支えるサービスの充実 8件 20.5%	2 住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援 7件 17.9%
岩田・大藤・向笠 (基数:120)	6 健康診断などの保健医療サービスの充実 34件 28.3%	7 高齢者や障害のある方の入所施設の充実 34件 28.3%	2 住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援 30件 25.0%	9 保育サービスなどの子育て支援の充実 21件 17.5%	10 低所得者福祉の充実 20件 16.7%
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:196)	7 高齢者や障害のある方の入所施設の充実 65件 33.2%	2 住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援 55件 28.1%	4 在宅福祉を支えるサービスの充実 45件 23.0%	9 保育サービスなどの子育て支援の充実 39件 19.9%	6 健康診断などの保健医療サービスの充実 38件 19.4%
天竜・長野・於保 (基数:178)	7 高齢者や障害のある方の入所施設の充実 64件 36.0%	2 住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援 54件 30.3%	6 健康診断などの保健医療サービスの充実 37件 20.8%	9 保育サービスなどの子育て支援の充実 33件 18.5%	4 在宅福祉を支えるサービスの充実 26件 14.6%
福田 (基数:213)	7 高齢者や障害のある方の入所施設の充実 67件 31.5%	4 在宅福祉を支えるサービスの充実 49件 23.0%	2 住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援 47件 22.1%	3 身近なところでの相談窓口の充実 40件 18.8%	6 健康診断などの保健医療サービスの充実 39件 18.3%
竜洋 (基数:213)	7 高齢者や障害のある方の入所施設の充実 74件 34.7%	2 住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援 62件 29.1%	6 健康診断などの保健医療サービスの充実 56件 26.3%	4 在宅福祉を支えるサービスの充実 43件 20.2%	3 身近なところでの相談窓口の充実 36件 16.9%
豊田 (基数:312)	7 高齢者や障害のある方の入所施設の充実 107件 34.3%	2 住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援 85件 27.2%	4 在宅福祉を支えるサービスの充実 71件 22.8%	9 保育サービスなどの子育て支援の充実 66件 21.2%	6 健康診断などの保健医療サービスの充実 64件 20.5%
豊岡 (基数:149)	7 高齢者や障害のある方の入所施設の充実 54件 36.2%	2 住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援 41件 27.5%	4 在宅福祉を支えるサービスの充実 31件 20.8%	6 健康診断などの保健医療サービスの充実 26件 17.4%	3 身近なところでの相談窓口の充実 24件 16.1%

問 30 本格的な高齢社会を迎えるにあたって、何を優先すべきだと思いますか？(2つまで選択)

全体

「在宅・施設福祉サービスの充実」で 33.7% (626 件) と最も高い割合で、次いで「ひとり暮らしの高齢者への支援」の 25.8% (478 件)、「高齢者の生きがいがづくり」の 24.2% (449 件) の順となっている。



性別

全体と同様に、「在宅・施設福祉サービスの充実」が最も高い割合で、次いで「ひとり暮らしの高齢者への支援」、「高齢者の生きがいがづくり」となっている。

(性別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (基数:850)	1 在宅・施設福祉サービスの充実 284件 33.4%	7 ひとり暮らしの高齢者への支援 230件 27.1%	3 高齢者の生きがいがづくり 222件 26.1%	9 老人福祉施設の充実 197件 23.2%	10 医療体制の充実 148件 17.4%
女性 (基数:1,000)	1 在宅・施設福祉サービスの充実 341件 34.1%	7 ひとり暮らしの高齢者への支援 248件 24.8%	3 高齢者の生きがいがづくり 225件 22.5%	9 老人福祉施設の充実 197件 19.7%	10 医療体制の充実 191件 19.1%

年齢別

「20～29歳」では、「ひとり暮らしの高齢者への支援」が、「30～39歳」では、「在宅・施設福祉サービスの充実」と「ひとり暮らしの高齢者への支援」が、「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」では、「在宅・施設福祉サービスの充実」が、「70歳以上」では、「老人福祉施設の充実」が最も高い割合となっている。

(年齢別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳 (基数:176)	7 ひとり暮らしの高齢者への支援 63件 35.8%	1 在宅・施設福祉サービスの充実 47件 26.7%	3 高齢者の生きがいづくり 40件 22.7%	9 老人福祉施設の充実 37件 21.0%	10 医療体制の充実 27件 15.3%
30～39歳 (基数:327)	1 在宅・施設福祉サービスの充実 104件 31.8%	7 ひとり暮らしの高齢者への支援 104件 31.8%	3 高齢者の生きがいづくり 70件 21.4%	9 老人福祉施設の充実 68件 20.8%	11 経済的な支援(医療費助成・就業機会確保等) 52件 15.9%
40～49歳 (基数:320)	1 在宅・施設福祉サービスの充実 131件 40.9%	7 ひとり暮らしの高齢者への支援 79件 24.7%	10 医療体制の充実 66件 20.6%	9 老人福祉施設の充実 61件 19.1%	3 高齢者の生きがいづくり 58件 18.1%
50～59歳 (基数:378)	1 在宅・施設福祉サービスの充実 135件 35.7%	3 高齢者の生きがいづくり 96件 25.4%	7 ひとり暮らしの高齢者への支援 91件 24.1%	9 老人福祉施設の充実 76件 20.1%	10 医療体制の充実 69件 18.3%
60～69歳 (基数:451)	1 在宅・施設福祉サービスの充実 154件 34.1%	3 高齢者の生きがいづくり 137件 30.4%	9 老人福祉施設の充実 97件 21.5%	7 ひとり暮らしの高齢者への支援 94件 20.8%	10 医療体制の充実 90件 20.0%
70歳以上 (基数:201)	9 老人福祉施設の充実 56件 27.9%	1 在宅・施設福祉サービスの充実 55件 27.4%	3 高齢者の生きがいづくり 47件 23.4%	7 ひとり暮らしの高齢者への支援 47件 23.4%	10 医療体制の充実 36件 17.9%

地区別

「在宅・施設福祉サービスの充実」は、すべての地区で最多となっている。

「在宅・施設福祉サービスの充実」、「ひとり暮らしの高齢者への支援」、「高齢者の生きがいづくり」は、ほとんど地区で上位3位までに挙げられている。

(地区別：上位5位まで)

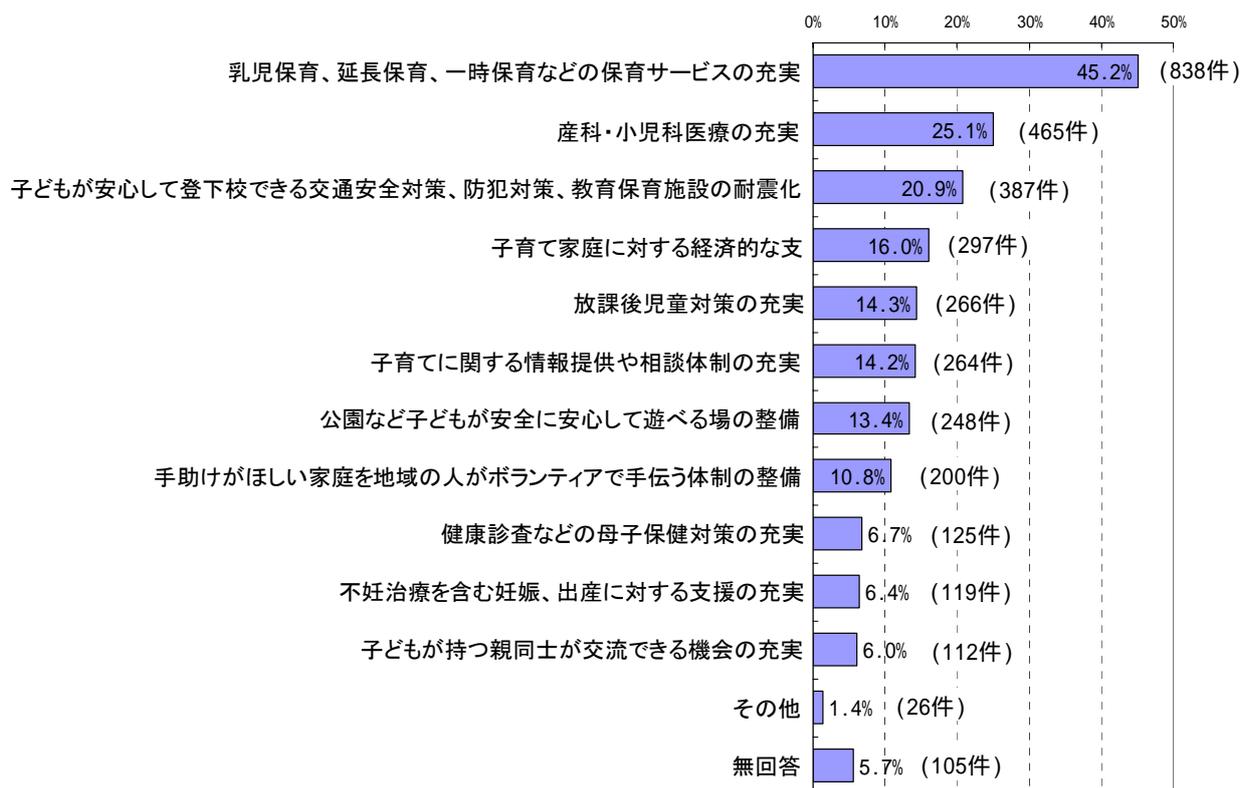
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:256)	1 在宅・施設福祉サービスの充実 76件 29.7%	7 ひとり暮らしの高齢者への支援 72件 28.1%	3 高齢者の生きがいづくり 62件 24.2%	9 老人福祉施設の充実 48件 18.8%	10 医療体制の充実 45件 17.6%
中泉 (基数:170)	1 在宅・施設福祉サービスの充実 68件 40.0%	9 老人福祉施設の充実 42件 24.7%	3 高齢者の生きがいづくり 36件 21.2%	7 ひとり暮らしの高齢者への支援 30件 17.6%	10 医療体制の充実 26件 15.3%
今之浦 (基数:39)	1 在宅・施設福祉サービスの充実 17件 43.6%	7 ひとり暮らしの高齢者への支援 15件 38.5%	9 老人福祉施設の充実 10件 25.6%	10 医療体制の充実 8件 20.5%	3 高齢者の生きがいづくり 6件 15.4%
岩田・大藤・向笠 (基数:120)	1 在宅・施設福祉サービスの充実 37件 30.8%	11 経済的な支援(医療費助成・就業機会確保等) 28件 23.3%	9 老人福祉施設の充実 27件 22.5%	7 ひとり暮らしの高齢者への支援 25件 20.8%	3 高齢者の生きがいづくり 23件 19.2%
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:196)	1 在宅・施設福祉サービスの充実 63件 32.1%	3 高齢者の生きがいづくり 57件 29.1%	7 ひとり暮らしの高齢者への支援 49件 25.0%	9 老人福祉施設の充実 42件 21.4%	11 経済的な支援(医療費助成・就業機会確保等) 33件 16.8%
天竜・長野・於保 (基数:178)	1 在宅・施設福祉サービスの充実 59件 33.1%	3 高齢者の生きがいづくり 47件 26.4%	7 ひとり暮らしの高齢者への支援 42件 23.6%	10 医療体制の充実 38件 21.3%	9 老人福祉施設の充実 36件 20.2%
福田 (基数:213)	1 在宅・施設福祉サービスの充実 84件 39.4%	7 ひとり暮らしの高齢者への支援 50件 23.5%	3 高齢者の生きがいづくり 45件 21.1%	9 老人福祉施設の充実 43件 20.2%	10 医療体制の充実 43件 20.2%
竜洋 (基数:213)	1 在宅・施設福祉サービスの充実 66件 31.0%	7 ひとり暮らしの高齢者への支援 59件 27.7%	10 医療体制の充実 53件 24.9%	9 老人福祉施設の充実 51件 23.9%	3 高齢者の生きがいづくり 45件 21.1%
豊田 (基数:312)	1 在宅・施設福祉サービスの充実 106件 34.0%	3 高齢者の生きがいづくり 93件 29.8%	7 ひとり暮らしの高齢者への支援 89件 28.5%	9 老人福祉施設の充実 58件 18.6%	11 経済的な支援(医療費助成・就業機会確保等) 55件 17.6%
豊岡 (基数:149)	1 在宅・施設福祉サービスの充実 48件 32.2%	3 高齢者の生きがいづくり 39件 26.2%	7 ひとり暮らしの高齢者への支援 38件 25.5%	9 老人福祉施設の充実 36件 24.2%	10 医療体制の充実 26件 17.4%

9 子育て・教育について

問 31 安心して子どもを生み育てるためには、何を優先すべきだと思いますか？（2 つまで選択）

全体

「乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」が45.2%（838件）と最も多く、次いで「産科・小児科医療の充実」25.1%（465件）、「子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化」20.9%（387件）となっている。



性別

市全体と同様に「乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」の割合が最も高く、次いで「産科・小児科医療の充実」、「子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化」となっている。

（性別：上位5位まで）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (基数:850)	1 乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実 390件 45.9%	10 産科・小児科医療の充実 191件 22.5%	6 子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化 189件 22.2%	8 子育て家庭に対する経済的な支援 176件 20.7%	2 子育てに関する情報提供や相談体制の充実 124件 14.6%
女性 (基数:1,000)	1 乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実 447件 44.7%	10 産科・小児科医療の充実 272件 27.2%	6 子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化 197件 19.7%	4 放課後児童対策の充実 162件 16.2%	5 公園など子どもが安全に安心して遊べる場の整備 142件 14.2%

年齢別

全ての世代について「乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」の割合が最も高くなっている。また、「20～29歳」「30～39歳」の世代は、「子育て家庭に対する経済的な支援」も上位となっている。

(年齢別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳 (基数:176)	1 乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実 71件 40.3%	10 産科・小児科医療の充実 48件 27.3%	8 子育て家庭に対する経済的な支援 44件 25.0%	6 子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化 35件 19.9%	2 子育てに関する情報提供や相談体制の充実 22件 12.5%
30～39歳 (基数:327)	1 乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実 120件 36.7%	8 子育て家庭に対する経済的な支援 89件 27.2%	10 産科・小児科医療の充実 86件 26.3%	6 子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化 67件 20.5%	5 公園など子どもが安全に安心して遊べる場の整備 49件 15.0%
40～49歳 (基数:320)	1 乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実 136件 42.5%	10 産科・小児科医療の充実 87件 27.2%	6 子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化 69件 21.6%	4 放課後児童対策の充実 58件 18.1%	5 公園など子どもが安全に安心して遊べる場の整備 55件 17.2%
50～59歳 (基数:378)	1 乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実 182件 48.1%	10 産科・小児科医療の充実 110件 29.1%	6 子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化 68件 18.0%	2 子育てに関する情報提供や相談体制の充実 54件 14.3%	4 放課後児童対策の充実 54件 14.3%
60～69歳 (基数:451)	1 乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実 235件 52.1%	10 産科・小児科医療の充実 99件 22.0%	6 子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化 88件 19.5%	2 子育てに関する情報提供や相談体制の充実 72件 16.0%	4 放課後児童対策の充実 69件 15.3%
70歳以上 (基数:201)	1 乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実 93件 46.3%	6 子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化 60件 29.9%	10 産科・小児科医療の充実 34件 16.9%	2 子育てに関する情報提供や相談体制の充実 33件 16.4%	4 放課後児童対策の充実 26件 12.9%

地区別

全ての地区について「乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」の割合が最も高くなっている。また、「今之浦地区」「岩田・大藤・向笠地区」「豊田地区」「豊岡地区」は、「子育て家庭に対する経済的な支援」も上位になっている。

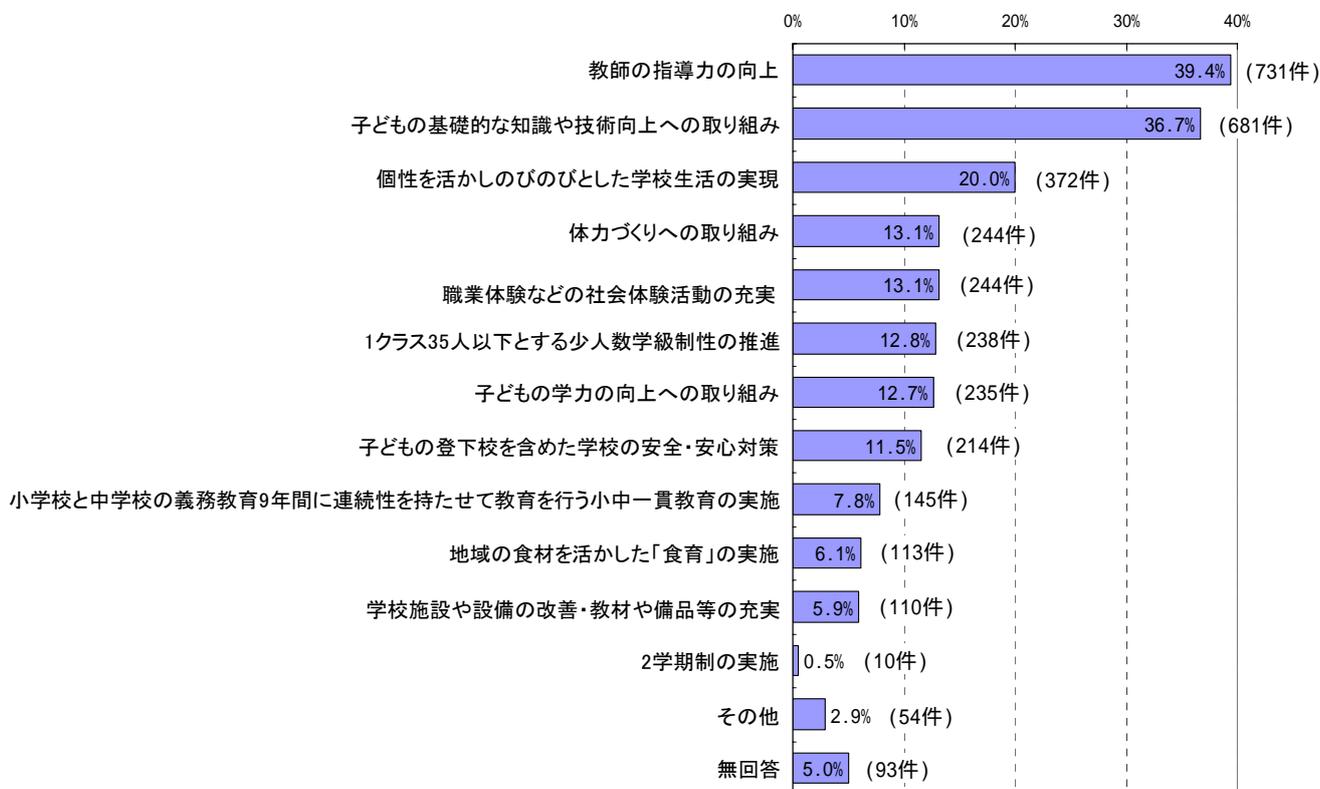
(地区別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:256)	1 乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実 118件 46.1%	10 産科・小児科医療の充実 67件 26.2%	6 子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化 53件 20.7%	2 子育てに関する情報提供や相談体制の充実 46件 18.0%	4 放課後児童対策の充実 44件 17.2%
中泉 (基数:170)	1 乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実 84件 49.4%	10 産科・小児科医療の充実 43件 25.3%	6 子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化 41件 24.1%	5 公園など子どもが安全に安心して遊べる場の整備 23件 13.5%	8 子育て家庭に対する経済的な支援 21件 12.4%
今之浦 (基数:39)	1 乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実 19件 48.7%	10 産科・小児科医療の充実 13件 33.3%	8 子育て家庭に対する経済的な支援 9件 23.1%	2 子育てに関する情報提供や相談体制の充実 6件 15.4%	5 公園など子どもが安全に安心して遊べる場の整備 6 子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化 6件 15.4%
岩田・大藤・向笠 (基数:120)	1 乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実 60件 50.0%	6 子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化 27件 22.5%	8 子育て家庭に対する経済的な支援 27件 22.5%	4 放課後児童対策の充実 20件 16.7%	10 産科・小児科医療の充実 20件 16.7%
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:196)	1 乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実 82件 41.8%	10 産科・小児科医療の充実 54件 27.6%	6 子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化 40件 20.4%	2 子育てに関する情報提供や相談体制の充実 35件 17.9%	4 放課後児童対策の充実 34件 17.3%
天竜・長野・於保 (基数:178)	1 乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実 79件 44.4%	10 産科・小児科医療の充実 45件 25.3%	6 子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化 37件 20.8%	2 子育てに関する情報提供や相談体制の充実 33件 18.5%	8 子育て家庭に対する経済的な支援 27件 15.2%
福田 (基数:213)	1 乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実 94件 44.1%	10 産科・小児科医療の充実 60件 28.2%	6 子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化 51件 23.9%	5 公園など子どもが安全に安心して遊べる場の整備 38件 17.8%	4 放課後児童対策の充実 30件 14.1%
竜洋 (基数:213)	1 乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実 97件 45.5%	10 産科・小児科医療の充実 49件 23.0%	6 子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化 44件 20.7%	8 子育て家庭に対する経済的な支援 38件 17.8%	4 放課後児童対策の充実 34件 16.0%
豊田 (基数:312)	1 乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実 130件 41.7%	10 産科・小児科医療の充実 69件 22.1%	8 子育て家庭に対する経済的な支援 60件 19.2%	6 子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化 58件 18.6%	4 放課後児童対策の充実 47件 15.1%
豊岡 (基数:149)	1 乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実 72件 48.3%	10 産科・小児科医療の充実 40件 26.8%	8 子育て家庭に対する経済的な支援 28件 18.8%	6 子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化 28件 18.8%	2 子育てに関する情報提供や相談体制の充実 20件 13.4%

問 32 子どもたちに対する教育を充実させるためには、何を優先すべきだとおもいますか？（2つまで選択）

全体

「教師の指導力の向上」が 39.4%（731 件）と最も多く、次いで「子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み」36.7%（681 件）、「個性を活かしのびのびとした学校生活の実現」20.0%（372 件）となっている。



性別

市全体と同様に「教師の指導力の向上」が最も多く、次いで「子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み」、「個性を活かしのびのびとした学校生活の実現」となっている。

（性別：上位5位まで）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (基数:850)	1 教師の指導力の向上 338件 39.8%	5 子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み 295件 34.7%	6 個性を活かしのびのびとした学校生活の実現 174件 20.5%	10 職業体験などの社会体験活動の充実 130件 15.3%	4 子どもの学力の向上への取り組み 111件 13.1%
女性 (基数:1,000)	1 教師の指導力の向上 391件 39.1%	5 子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み 385件 38.5%	6 個性を活かしのびのびとした学校生活の実現 195件 19.5%	9 1クラス35人以下とする少人数学級制性の推進 146件 14.6%	8 体力づくりへの取り組み 135件 13.5%

年齢別

「20～29歳」「30～39歳」の世代は、「子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み」が最も多くなっている。また、「30～39歳」は、「職業体験などの社会体験活動の充実」が、「40～49歳」は、「1クラス35人以下とする少人数学級制の推進」が3番目となっている。

(年齢別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳 (基数:176)	5 子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み 70件 39.8%	1 教師の指導力の向上 54件 30.7%	6 個性を活かしのびのびとした学校生活の実現 40件 22.7%	3 子どもの登下校を含めた学校の安全・安心対策 30件 17.0%	10 職業体験などの社会体験活動の充実 29件 16.5%
30～39歳 (基数:327)	5 子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み 116件 35.5%	1 教師の指導力の向上 111件 33.9%	10 職業体験などの社会体験活動の充実 67件 20.5%	3 子どもの登下校を含めた学校の安全・安心対策 57件 17.4%	4 子どもの学力の向上への取り組み 53件 16.2%
40～49歳 (基数:320)	1 教師の指導力の向上 142件 44.4%	5 子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み 113件 35.3%	9 1クラス35人以下とする少人数学級制性の推進 60件 18.8%	6 個性を活かしのびのびとした学校生活の実現 48件 15.0%	4 子どもの学力の向上への取り組み 46件 14.4%
50～59歳 (基数:378)	1 教師の指導力の向上 157件 41.5%	5 子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み 145件 38.4%	6 個性を活かしのびのびとした学校生活の実現 76件 20.1%	9 1クラス35人以下とする少人数学級制性の推進 55件 14.6%	10 職業体験などの社会体験活動の充実 51件 13.5%
60～69歳 (基数:451)	1 教師の指導力の向上 182件 40.4%	5 子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み 178件 39.5%	6 個性を活かしのびのびとした学校生活の実現 116件 25.7%	8 体力づくりへの取り組み 66件 14.6%	4 子どもの学力の向上への取り組み 53件 11.8%
70歳以上 (基数:201)	1 教師の指導力の向上 83件 41.3%	5 子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み 59件 29.4%	6 個性を活かしのびのびとした学校生活の実現 46件 22.9%	8 体力づくりへの取り組み 36件 17.9%	3 子どもの登下校を含めた学校の安全・安心対策 23件 11.4%

地区別

「今之浦地区」「岩田・大藤・向笠地区」「福田地区」では、「子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み」が最も多くなっている。

(地区別：上位5位まで)

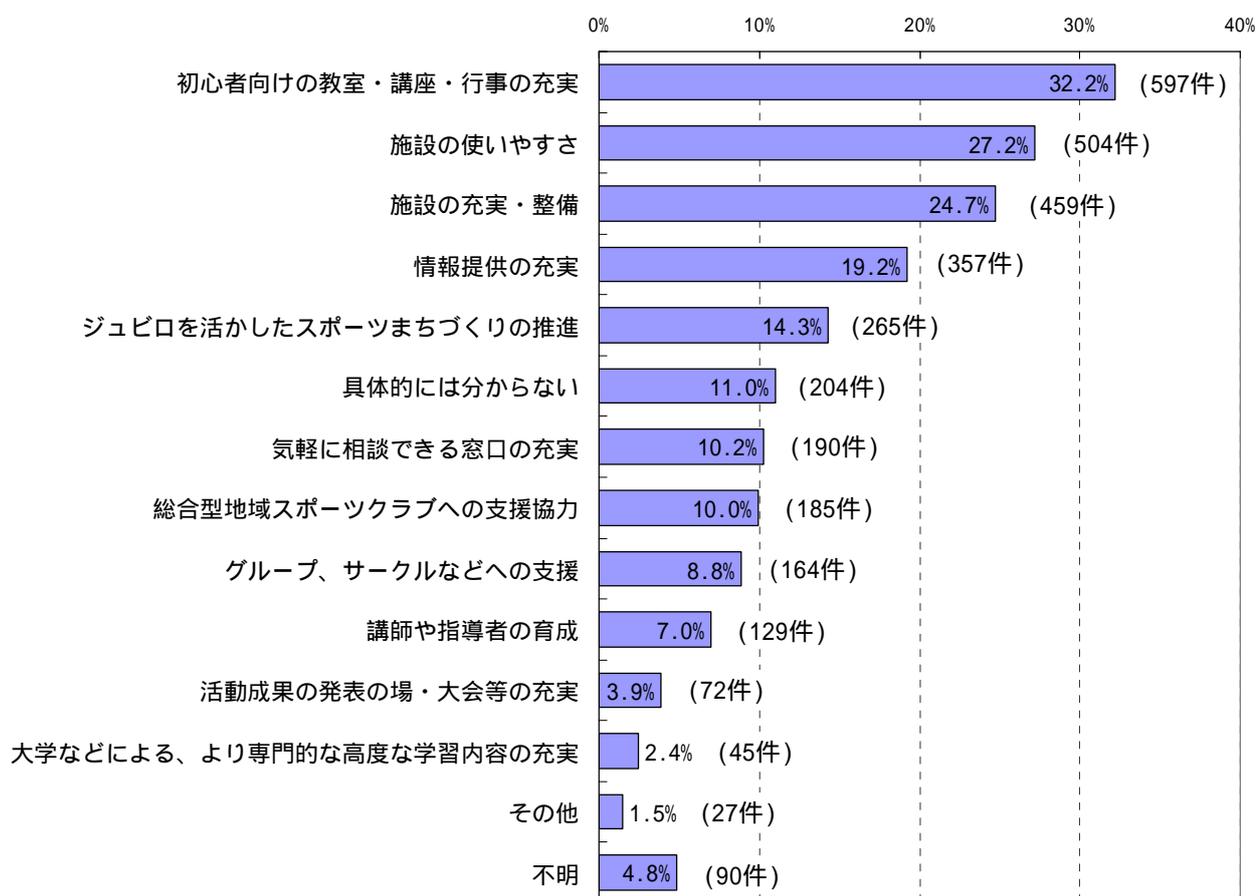
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:256)	1 教師の指導力の向上 107件 41.8%	5 子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み 83件 32.4%	6 個性を活かしのびのびとした学校生活の実現 49件 19.1%	4 子どもの学力の向上への取り組み 40件 15.6%	8 体力づくりへの取り組み 38件 14.8%
中泉 (基数:170)	1 教師の指導力の向上 71件 41.8%	5 子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み 69件 40.6%	6 個性を活かしのびのびとした学校生活の実現 34件 20.0%	8 体力づくりへの取り組み 25件 14.7%	4 子どもの学力の向上への取り組み 24件 14.1%
今之浦 (基数:39)	5 子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み 16件 41.0%	1 教師の指導力の向上 13件 33.3%	4 子どもの学力の向上への取り組み 7件 17.9%	6 個性を活かしのびのびとした学校生活の実現 7件 17.9%	7 地域の食材を活かした「食育」の実施 7件 17.9%
岩田・大藤・向笠 (基数:120)	5 子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み 46件 38.3%	1 教師の指導力の向上 37件 30.8%	10 職業体験などの社会体験活動の充実 25件 20.8%	6 個性を活かしのびのびとした学校生活の実現 20件 16.7%	4 子どもの学力の向上への取り組み 14件 11.7%
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:196)	1 教師の指導力の向上 74件 37.8%	5 子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み 73件 37.2%	6 個性を活かしのびのびとした学校生活の実現 38件 19.4%	4 子どもの学力の向上への取り組み 31件 15.8%	9 1クラス35人以下とする少人数学級制性の推進 31件 15.8%
天竜・長野・於保 (基数:178)	1 教師の指導力の向上 75件 42.1%	5 子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み 70件 39.3%	6 個性を活かしのびのびとした学校生活の実現 42件 23.6%	8 体力づくりへの取り組み 26件 14.6%	10 職業体験などの社会体験活動の充実 23件 12.9%
福田 (基数:213)	5 子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み 91件 42.7%	1 教師の指導力の向上 77件 36.2%	6 個性を活かしのびのびとした学校生活の実現 43件 20.2%	8 体力づくりへの取り組み 30件 14.1%	9 1クラス35人以下とする少人数学級制性の推進 29件 13.6%
竜洋 (基数:213)	1 教師の指導力の向上 82件 38.5%	5 子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み 76件 35.7%	6 個性を活かしのびのびとした学校生活の実現 47件 22.1%	10 職業体験などの社会体験活動の充実 37件 17.4%	8 体力づくりへの取り組み 26件 12.2%
豊田 (基数:312)	1 教師の指導力の向上 132件 42.3%	5 子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み 110件 35.3%	6 個性を活かしのびのびとした学校生活の実現 61件 19.6%	8 体力づくりへの取り組み 47件 15.1%	4 子どもの学力の向上への取り組み 45件 14.4%
豊岡 (基数:149)	1 教師の指導力の向上 60件 40.3%	5 子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み 46件 30.9%	6 個性を活かしのびのびとした学校生活の実現 29件 19.5%	9 1クラス35人以下とする少人数学級制性の推進 27件 18.1%	10 職業体験などの社会体験活動の充実 23件 15.4%

10 生涯学習・スポーツ振興について

問 33 生涯学習・スポーツ振興を充実させていくためには、何を優先すべきだと思いますか？（2つまで選択）

全体

「初心者向けの教室・講座・行事の充実」が 32.2%（597 件）と最も多く、次いで「施設の使いやすさ」27.2%（504 件）、「施設の充実・整備」24.7%（459 件）となっている。



性別

男性は「施設の使いやすさ」が、女性は、「初心者向けの教室・講座・行事の充実」が最も多くなっている。

（性別：上位5位まで）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (基数:850)	1 施設の使いやすさ 232件 27.3%	2 施設の充実・整備 230件 27.1%	6 初心者向けの教室・講座・行事の充実 230件 27.1%	3 情報提供の充実 168件 19.8%	11 ジュピロを活かしたスポーツまちづくりの推進 129件 15.2%
女性 (基数:1,000)	6 初心者向けの教室・講座・行事の充実 365件 36.5%	1 施設の使いやすさ 271件 27.1%	2 施設の充実・整備 228件 22.8%	3 情報提供の充実 189件 18.9%	11 ジュピロを活かしたスポーツまちづくりの推進 135件 13.5%

年齢別

市全体と同様に、「初心者向けの教室・講座・行事の充実」が最も多くなっている。また、「20歳～29歳」は、「施設の充実」が、「70歳以上」は、「具体的には分からない」が2番目に多くなっており、「30～39歳」は、「情報提供の充実」が、3番目に多くなっている。

(年齢別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳 (基数:176)	6 初心者向けの教室・講座・行事の充実 58件 33.0%	2 施設の充実・整備 52件 29.5%	1 施設の使いやすさ 48件 27.3%	11 ジュピロを活かしたスポーツまちづくりの推進 38件 21.6%	3 情報提供の充実 34件 19.3%
30～39歳 (基数:327)	6 初心者向けの教室・講座・行事の充実 93件 28.4%	1 施設の使いやすさ 89件 27.2%	3 情報提供の充実 81件 24.8%	2 施設の充実・整備 73件 22.3%	11 ジュピロを活かしたスポーツまちづくりの推進 71件 21.7%
40～49歳 (基数:320)	6 初心者向けの教室・講座・行事の充実 99件 30.9%	1 施設の使いやすさ 97件 30.3%	2 施設の充実・整備 95件 29.7%	3 情報提供の充実 65件 20.3%	11 ジュピロを活かしたスポーツまちづくりの推進 53件 16.6%
50～59歳 (基数:378)	6 初心者向けの教室・講座・行事の充実 133件 35.2%	1 施設の使いやすさ 112件 29.6%	2 施設の充実・整備 93件 24.6%	3 情報提供の充実 83件 22.0%	11 ジュピロを活かしたスポーツまちづくりの推進 47件 12.4%
60～69歳 (基数:451)	6 初心者向けの教室・講座・行事の充実 164件 36.4%	1 施設の使いやすさ 115件 25.5%	2 施設の充実・整備 106件 23.5%	3 情報提供の充実 74件 16.4%	4 気軽に相談できる窓口の充実 66件 14.6%
70歳以上 (基数:201)	6 初心者向けの教室・講座・行事の充実 50件 24.9%	12 具体的には分からない 45件 22.4%	1 施設の使いやすさ 42件 20.9%	2 施設の充実・整備 40件 19.9%	5 グループ、サークルなどへの支援 30件 14.9%

地区別

「見付地区」「中泉地区」「西貝・御厨・南御厨・田原地区」「天竜・長野・於保地区」「福田地区」「豊田地区」は、「初心者向けの教室・講座・行事の充実」が、「今之浦地区」は、「情報提供の充実」が、「岩田・大藤・向笠地区」「豊岡地区」は、「施設の充実・整備」が、「竜洋地区」は「施設の使いやすさ」が最も多くなっている。

(地区別：上位5位まで)

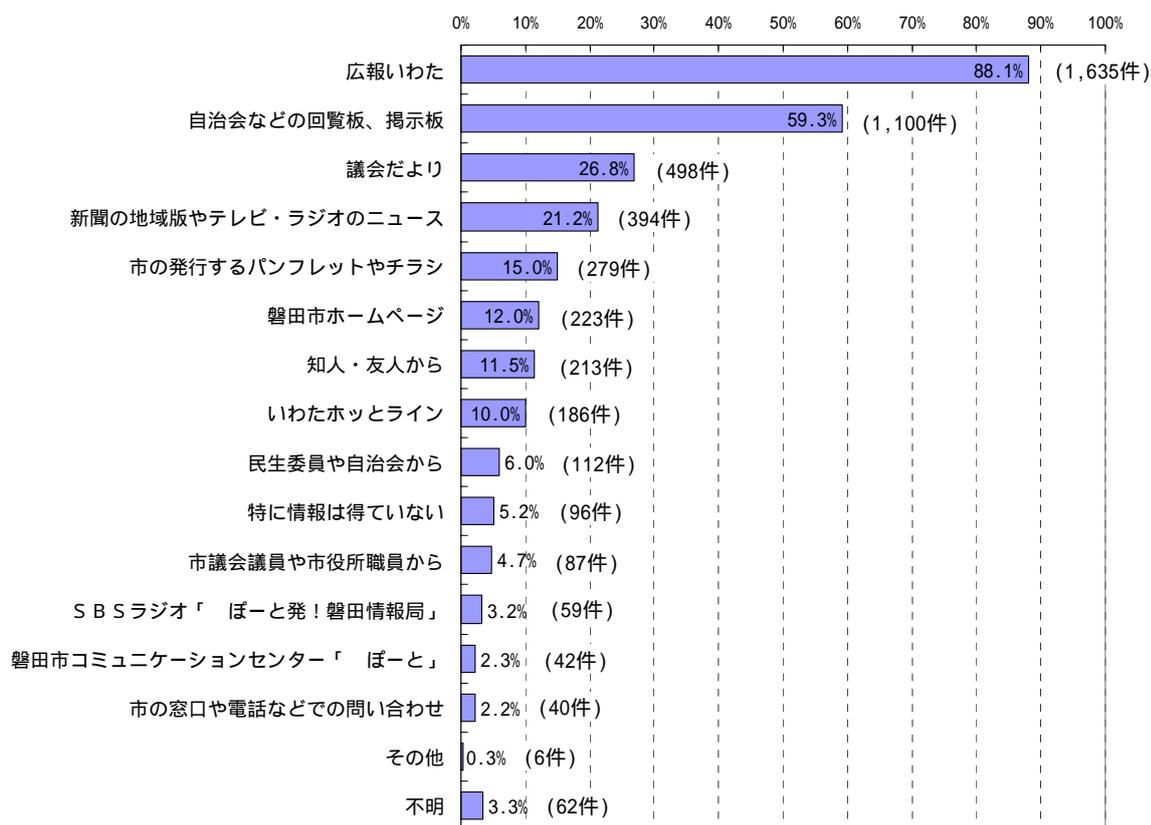
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:256)	6 初心者向けの教室・講座・行事の充実 86件 33.6%	2 施設の充実・整備 71件 27.7%	1 施設の使いやすさ 59件 23.0%	3 情報提供の充実 53件 20.7%	11 ジュピロを活かしたスポーツまちづくりの推進 40件 15.6%
中泉 (基数:170)	6 初心者向けの教室・講座・行事の充実 54件 31.8%	1 施設の使いやすさ 52件 30.6%	2 施設の充実・整備 45件 26.5%	3 情報提供の充実 39件 22.9%	11 ジュピロを活かしたスポーツまちづくりの推進 33件 19.4%
今之浦 (基数:39)	3 情報提供の充実 13件 33.3%	2 施設の充実・整備 10件 25.6%	11 ジュピロを活かしたスポーツまちづくりの推進 10件 25.6%	1 施設の使いやすさ 9件 23.1%	4 気軽に相談できる窓口の充実 6 初心者向けの教室・講座・行事の充実 6件 15.4%
岩田・大藤・向笠 (基数:120)	2 施設の充実・整備 38件 31.7%	6 初心者向けの教室・講座・行事の充実 36件 30.0%	1 施設の使いやすさ 31件 25.8%	3 情報提供の充実 22件 18.3%	11 ジュピロを活かしたスポーツまちづくりの推進 20件 16.7%
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:196)	6 初心者向けの教室・講座・行事の充実 65件 33.2%	1 施設の使いやすさ 52件 26.5%	2 施設の充実・整備 47件 24.0%	12 具体的には分からない 31件 15.8%	3 情報提供の充実 11 ジュピロを活かしたスポーツまちづくりの推進 25件 12.8%
天竜・長野・於保 (基数:178)	6 初心者向けの教室・講座・行事の充実 66件 37.1%	2 施設の充実・整備 46件 25.8%	1 施設の使いやすさ 44件 24.7%	3 情報提供の充実 42件 23.6%	11 ジュピロを活かしたスポーツまちづくりの推進 26件 14.6%
福田 (基数:213)	6 初心者向けの教室・講座・行事の充実 68件 31.9%	1 施設の使いやすさ 61件 28.6%	2 施設の充実・整備 45件 21.1%	3 情報提供の充実 40件 18.8%	12 具体的には分からない 32件 15.0%
竜洋 (基数:213)	1 施設の使いやすさ 66件 31.0%	6 初心者向けの教室・講座・行事の充実 65件 30.5%	2 施設の充実・整備 48件 22.5%	3 情報提供の充実 38件 17.8%	12 具体的には分からない 29件 13.6%
豊田 (基数:312)	6 初心者向けの教室・講座・行事の充実 104件 33.3%	1 施設の使いやすさ 86件 27.6%	3 情報提供の充実 65件 20.8%	2 施設の充実・整備 61件 19.6%	11 ジュピロを活かしたスポーツまちづくりの推進 45件 14.4%
豊岡 (基数:149)	2 施設の充実・整備 47件 31.5%	6 初心者向けの教室・講座・行事の充実 44件 29.5%	1 施設の使いやすさ 43件 28.9%	3 情報提供の充実 20件 13.4%	12 具体的には分からない 18件 12.1%

11 広報広聴について

問 34 あなたは、普段、市からの情報をどのように得ていますか？（該当するもの全て選択）

全体

市からの情報入手方法について尋ねたところ、全体で最も多いのは「広報いわた」で 88.1%、次いで「自治会などの回覧板、掲示板」59.3%、「議会だより」26.8%となっていて、紙媒体から情報を入手するという意見が多い。



性別

性別で見ると、男女とも「広報いわた」が圧倒的に多く、情報を得る媒体についても、男女で目立った差は見受けられない。男女とも、情報の得やすさという点での媒体の認識がほぼ同じであると考えられる。

（性別：上位5位まで）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (基数:850)	1 広報いわた 722件 84.9%	5 自治会などの回覧板、掲示板 498件 58.6%	3 議会だより 234件 27.5%	8 新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース 174件 20.5%	2 磐田市ホームページ 122件 14.4%
女性 (基数:1,000)	1 広報いわた 908件 90.8%	5 自治会などの回覧板、掲示板 599件 59.9%	3 議会だより 262件 26.2%	8 新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース 219件 21.9%	6 市の発行するパンフレットやチラシ 170件 17.0%

年齢別

「20～29歳」では、「特に情報は得ていない」とする割合が高く、市の情報に関心がない若しくは必要としていない人が他世代より多いと考えられる。「30～39歳」「40～49歳」では「いわたホットライン」の割合が高い。子育て世代が、リアルタイムの防犯情報や災害情報、イベント情報等を求めて利用していると考えられる。「50歳～59歳」以上では、「磐田市ホームページ」「いわたホットライン」から情報を得る割合が減り、電子媒体をあまり使わないことが読み取れる。

(年齢別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳 (基数:176)	1 広報いわた 128件 72.7%	5 自治会などの回覧板、掲示板 54件 30.7%	14 特に情報は得ていない 26件 14.8%	2 磐田市ホームページ 25件 14.2%	10 知人・友人から 24件 13.6%
30～39歳 (基数:327)	1 広報いわた 283件 86.5%	5 自治会などの回覧板、掲示板 128件 39.1%	4 いわたホットライン 62件 19.0%	2 磐田市ホームページ 59件 18.0%	3 議会だより 46件 14.1%
40～49歳 (基数:320)	1 広報いわた 295件 92.2%	5 自治会などの回覧板、掲示板 183件 57.2%	4 いわたホットライン 71件 22.2%	3 議会だより 69件 21.6%	2 磐田市ホームページ 52件 16.3%
50～59歳 (基数:378)	1 広報いわた 344件 91.0%	5 自治会などの回覧板、掲示板 256件 67.7%	3 議会だより 102件 27.0%	8 新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース 72件 19.0%	6 市の発行するパンフレットやチラシ 60件 15.9%
60～69歳 (基数:451)	1 広報いわた 409件 90.7%	5 自治会などの回覧板、掲示板 325件 72.1%	3 議会だより 179件 39.7%	8 新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース 144件 31.9%	6 市の発行するパンフレットやチラシ 102件 22.6%
70歳以上 (基数:201)	1 広報いわた 174件 86.6%	5 自治会などの回覧板、掲示板 153件 76.1%	3 議会だより 86件 42.8%	8 新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース 68件 33.8%	6 市の発行するパンフレットやチラシ 43件 21.4%

地区別

地区により情報を得る媒体に大きな差は見られない。「広報いわた」「自治会などの回覧板、掲示板」「議会だより」と自治会を介して配布・回覧する文書がいずれの地区でも情報源として利用されている。

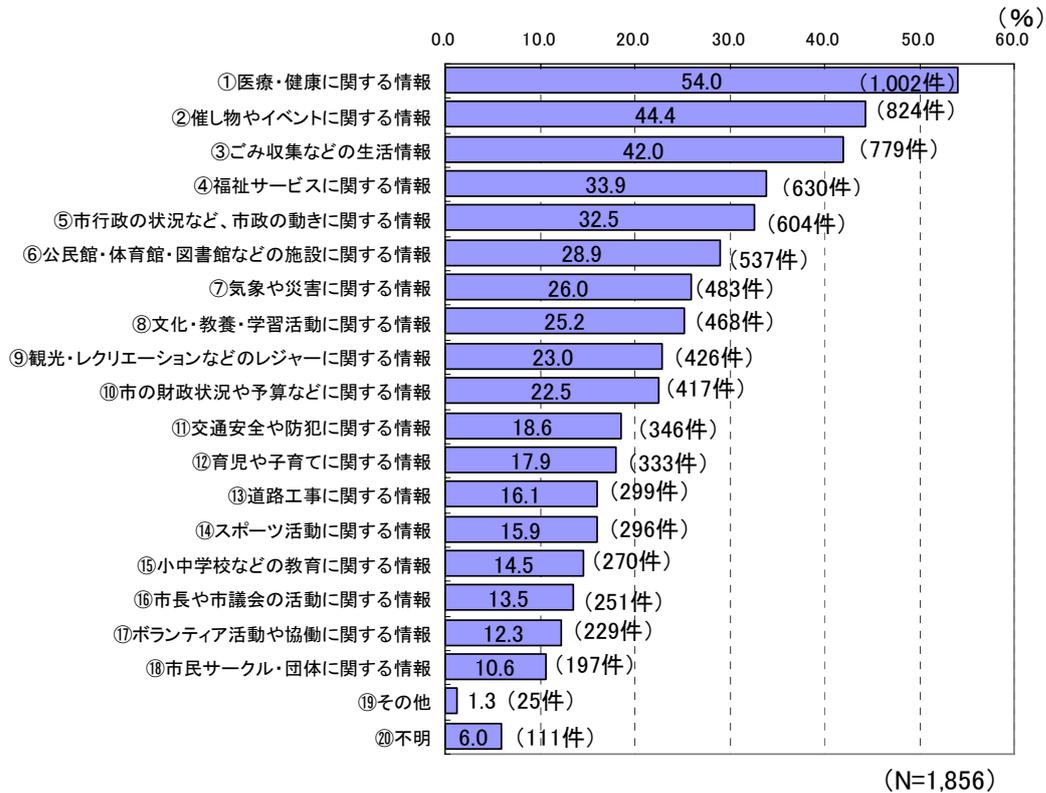
(地区別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:256)	1 広報いわた 228件 89.1%	5 自治会などの回覧板、掲示板 148件 57.8%	8 新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース 62件 24.2%	3 議会だより 61件 23.8%	6 市の発行するパンフレットやチラシ 38件 14.8%
中泉 (基数:170)	1 広報いわた 149件 87.6%	5 自治会などの回覧板、掲示板 109件 64.1%	3 議会だより 51件 30.0%	8 新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース 34件 20.0%	6 市の発行するパンフレットやチラシ 25件 14.7%
今之浦 (基数:39)	1 広報いわた 34件 87.2%	5 自治会などの回覧板、掲示板 18件 46.2%	3 議会だより 9件 23.1%	6 市の発行するパンフレットやチラシ 9件 23.1%	4 いわたホットライン 6件 15.4%
岩田・大藤・向笠 (基数:120)	1 広報いわた 104件 86.7%	5 自治会などの回覧板、掲示板 75件 62.5%	3 議会だより 40件 33.3%	8 新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース 25件 20.8%	6 市の発行するパンフレットやチラシ 19件 15.8%
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:196)	1 広報いわた 176件 89.8%	5 自治会などの回覧板、掲示板 115件 58.7%	3 議会だより 52件 26.5%	8 新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース 43件 21.9%	6 市の発行するパンフレットやチラシ 36件 18.4%
天竜・長野・於保 (基数:178)	1 広報いわた 162件 91.0%	5 自治会などの回覧板、掲示板 109件 61.2%	3 議会だより 53件 29.8%	8 新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース 47件 26.4%	6 市の発行するパンフレットやチラシ 44件 24.7%
福田 (基数:213)	1 広報いわた 179件 84.0%	5 自治会などの回覧板、掲示板 124件 58.2%	3 議会だより 50件 23.5%	8 新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース 48件 22.5%	10 知人・友人から 24件 11.3%
竜洋 (基数:213)	1 広報いわた 187件 87.8%	5 自治会などの回覧板、掲示板 125件 58.7%	3 議会だより 60件 28.2%	8 新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース 47件 22.1%	6 市の発行するパンフレットやチラシ 22件 10.3%
豊田 (基数:312)	1 広報いわた 279件 89.4%	5 自治会などの回覧板、掲示板 183件 58.7%	3 議会だより 84件 26.9%	8 新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース 60件 19.2%	6 市の発行するパンフレットやチラシ 46件 14.7%
豊岡 (基数:149)	1 広報いわた 129件 86.6%	5 自治会などの回覧板、掲示板 89件 59.7%	3 議会だより 37件 24.8%	8 新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース 22件 14.8%	10 知人・友人から 19件 12.8%

問 35 あなたは、市役所からどのような情報を得たいですか？（該当するもの全て選択）

全体

「医療・健康に関する情報」が 54.0%、「ごみ収集などの生活情報」が 42.0%、「福祉サービスに関する情報」が 33.9%と、日常生活に必要な情報の提供を求める声が多い一方、「催し物やイベントに関する情報」44.4%と、市が開催する催しについての情報提供を望む声も多くあります。



性別

性別でみると、男性は「市行政の状況等、姿勢の動きに関する情報」や「市の財政状況や予算などに関する情報」が女性よりそれぞれ 10 ポイントほど大きく、男性のほうが市政に関心があるように推察される。又、女性は「医療、健康に関する情報」や「ごみ収集などの生活情報」が男性を上回り、日常生活に必要な情報に関心があることが伺われる。

(性別：上位 5 位まで)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
男性 (基数:850)	10 医療・健康に関する情報 392 件 46.1 %	7 催し物やイベントに関する情報 341 件 40.1 %	1 市行政の状況など、市政の動きに関する情報 331 件 38.9 %	13 ごみ収集などの生活情報 316 件 37.2 %	11 福祉サービスに関する情報 266 件 31.3 %
女性 (基数:1,000)	10 医療・健康に関する情報 607 件 60.7 %	7 催し物やイベントに関する情報 480 件 48.0 %	13 ごみ収集などの生活情報 462 件 46.2 %	11 福祉サービスに関する情報 364 件 36.4 %	3 公民館・体育館・図書館などの施設に関する情報 314 件 31.4 %

年齢別

年齢別でみると、どの年代でも概ね得たい情報の種類は同じだが、「30～39歳」は、子育ての中心世代ということもあり「育児や子育てに関する情報」を希望する人が多く、「70歳以上」では「福祉サービスに関する情報」を希望する人が多い。又、若年層より高齢層のほうが市政に関する情報提供を求めていることが高いことも伺われる。

(年齢別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳 (基数:176)	10 医療・健康に関する情報 79件 44.9%	7 催し物やイベントに関する情報 78件 44.3%	13 ごみ収集などの生活情報 63件 35.8%	14 育児や子育てに関する情報 54件 30.7%	3 公民館・体育館・図書館などの施設に関する情報 51件 29.0%
30～39歳 (基数:327)	10 医療・健康に関する情報 165件 50.5%	7 催し物やイベントに関する情報 154件 47.1%	14 育児や子育てに関する情報 141件 43.1%	13 ごみ収集などの生活情報 137件 41.9%	3 公民館・体育館・図書館などの施設に関する情報 104件 31.8%
40～49歳 (基数:320)	10 医療・健康に関する情報 178件 55.6%	13 ごみ収集などの生活情報 153件 47.8%	7 催し物やイベントに関する情報 152件 47.5%	3 公民館・体育館・図書館などの施設に関する情報 114件 35.6%	11 福祉サービスに関する情報 112件 35.0%
50～59歳 (基数:378)	10 医療・健康に関する情報 221件 58.5%	7 催し物やイベントに関する情報 177件 46.8%	13 ごみ収集などの生活情報 167件 44.2%	11 福祉サービスに関する情報 140件 37.0%	1 市行政の状況など、市政の動きに関する情報 127件 33.6%
60～69歳 (基数:451)	10 医療・健康に関する情報 247件 54.8%	1 市行政の状況など、市政の動きに関する情報 185件 41.0%	7 催し物やイベントに関する情報 183件 40.6%	13 ごみ収集などの生活情報 172件 38.1%	11 福祉サービスに関する情報 171件 37.9%
70歳以上 (基数:201)	10 医療・健康に関する情報 111件 55.2%	1 市行政の状況など、市政の動きに関する情報 87件 43.3%	11 福祉サービスに関する情報 87件 43.3%	13 ごみ収集などの生活情報 87件 43.3%	7 催し物やイベントに関する情報 79件 39.3%

地区別

地区別でみると、どの地区でも概ね得たい情報の種類は同じになっている。全体傾とともに類似しており、どの地区でも生活に関する情報を中心に幅広い情報の提供を求めている人の割合が多い。

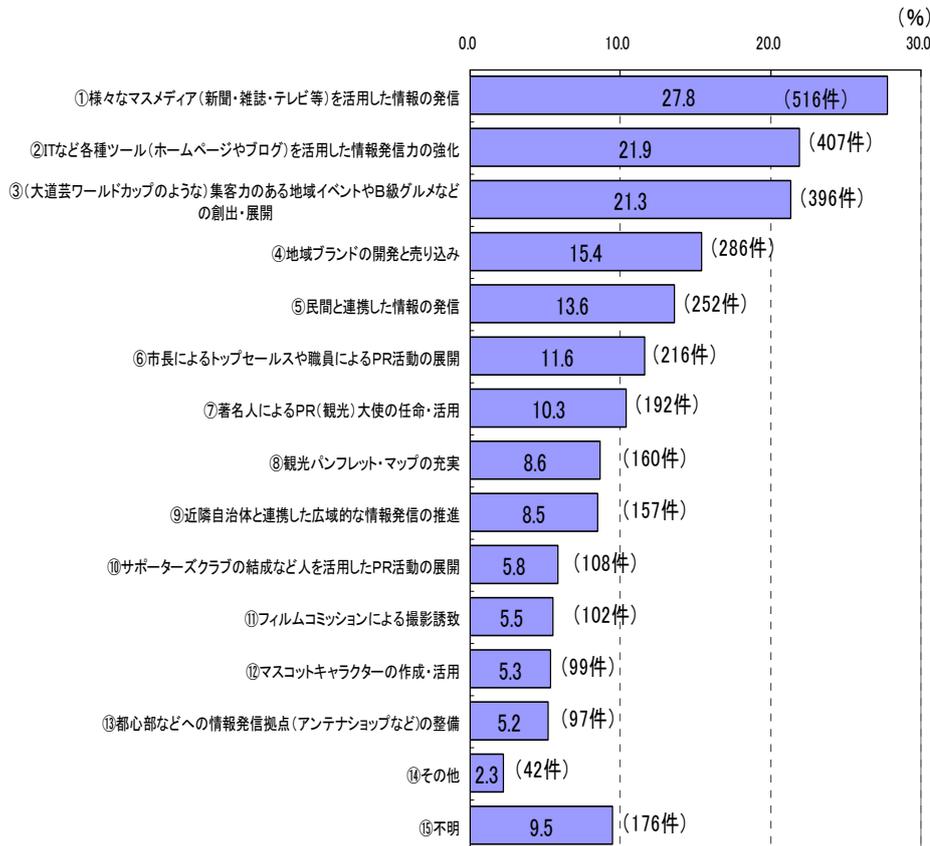
(地区別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:256)	10 医療・健康に関する情報 138件 53.9%	7 催し物やイベントに関する情報 127件 49.6%	13 ごみ収集などの生活情報 119件 46.5%	11 福祉サービスに関する情報 86件 33.6%	1 市行政の状況など、市政の動きに関する情報 91件 35.5%
中泉 (基数:170)	10 医療・健康に関する情報 92件 54.1%	7 催し物やイベントに関する情報 87件 51.2%	13 ごみ収集などの生活情報 78件 45.9%	1 市行政の状況など、市政の動きに関する情報 65件 38.2%	11 福祉サービスに関する情報 56件 32.9%
今之浦 (基数:39)	10 医療・健康に関する情報 22件 56.4%	7 催し物やイベントに関する情報 19件 48.7%	13 ごみ収集などの生活情報 18件 46.2%	11 福祉サービスに関する情報 15件 38.5%	1 市行政の状況など、市政の動きに関する情報 12件 30.8%
岩田・大藤・向笠 (基数:120)	10 医療・健康に関する情報 60件 50.0%	7 催し物やイベントに関する情報 48件 40.0%	13 ごみ収集などの生活情報 48件 40.0%	1 市行政の状況など、市政の動きに関する情報 41件 34.2%	11 福祉サービスに関する情報 39件 32.5%
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:196)	10 医療・健康に関する情報 115件 58.7%	7 催し物やイベントに関する情報 83件 42.3%	13 ごみ収集などの生活情報 82件 41.8%	11 福祉サービスに関する情報 76件 38.8%	3 公民館・体育館・図書館などの施設に関する情報 17 気象や災害に関する情報 61件 31.1%
天竜・長野・於保 (基数:178)	10 医療・健康に関する情報 101件 56.7%	13 ごみ収集などの生活情報 84件 47.2%	7 催し物やイベントに関する情報 80件 44.9%	11 福祉サービスに関する情報 66件 37.1%	1 市行政の状況など、市政の動きに関する情報 65件 36.5%
福田 (基数:213)	10 医療・健康に関する情報 109件 51.2%	7 催し物やイベントに関する情報 82件 38.5%	11 福祉サービスに関する情報 72件 33.8%	13 ごみ収集などの生活情報 72件 33.8%	17 気象や災害に関する情報 60件 28.2%
竜洋 (基数:213)	10 医療・健康に関する情報 125件 58.7%	7 催し物やイベントに関する情報 98件 46.0%	13 ごみ収集などの生活情報 86件 40.4%	1 市行政の状況など、市政の動きに関する情報 72件 33.8%	3 公民館・体育館・図書館などの施設に関する情報 69件 32.4%
豊田 (基数:312)	10 医療・健康に関する情報 175件 56.1%	7 催し物やイベントに関する情報 143件 45.8%	13 ごみ収集などの生活情報 124件 39.7%	11 福祉サービスに関する情報 111件 35.6%	1 市行政の状況など、市政の動きに関する情報 97件 31.1%
豊岡 (基数:149)	13 ごみ収集などの生活情報 64件 43.0%	10 医療・健康に関する情報 61件 40.9%	7 催し物やイベントに関する情報 54件 36.2%	11 福祉サービスに関する情報 43件 28.9%	1 市行政の状況など、市政の動きに関する情報 42件 28.2%

問 36 磐田市の魅力を全国に配信していくためには、何を優先すべきと思いますか。(2つ選択)

全体

磐田市の魅力を全国に発信するための優先施策を尋ねたところ、最も多いのは「様々なマスメディアを活用した情報の発信」で27.8%、次いで「ITなど各種ツールを活用した情報発信力の強化」21.9%となっていて、各種媒体を使った情報の発信が必要と考えられている。又、「集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開」21.3%のように、イベントの開催・参加による情報発信が必要と考える人もいる。



性別

性別でみると、男女とも最も多いのは「様々なマスメディアを活用した情報の発信」だが、2番目に多いのは男性は「ITなど各種ツールを活用した情報発信力の強化」、女性では「集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開」となっており、情報の発信方法の希望に男女で多少の差がみられます。

(性別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (基数:850)	2 様々なマスメディア(新聞・雑誌・テレビ等)を活用した情報の発信 223件 26.2%	1 ITなど各種ツール(ホームページやブログ)を活用した情報発信力の強化 198件 23.3%	12 集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開 174件 20.5%	11 地域ブランドの開発と売り込み 125件 14.7%	5 民間と連携した情報の発信 119件 14.0%
女性 (基数:1,000)	2 様々なマスメディア(新聞・雑誌・テレビ等)を活用した情報の発信 292件 29.2%	12 集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開 221件 22.1%	1 ITなど各種ツール(ホームページやブログ)を活用した情報発信力の強化 209件 20.9%	11 地域ブランドの開発と売り込み 161件 16.1%	5 民間と連携した情報の発信 133件 13.3%

年齢別

年齢別にみると、「20～29歳」「30～39歳」では、「集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開」が最も多くなっているほか、「著名人によるPR（観光）大使の任命・活用」が高い一方、「60～69歳」「70歳以上」では、これらの選択肢は少なく、優先すべきと考える情報発信の施策に明確な差が出ている。

（年齢別：上位5位まで）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳 (基数:176)	2 様々なマスメディア (新聞・雑誌・テレビ等) を活用した情報の発信 45件 25.6%	12 集客力のある地域イ ベントやB級グルメな どの創出・展開 45件 25.6%	1 ITなど各種ツール(ホームペ ージやブログ)を活用した 情報発信力の強化 36件 20.5%	7 著名人による PR(観光)大使の 任命・活用 31件 17.6%	11 地域ブランドの 開発と売り込み 27件 15.3%
30～39歳 (基数:327)	12 集客力のある地域イ ベントやB級グルメな どの創出・展開 93件 28.4%	1 ITなど各種ツール(ホームペ ージやブログ)を活用した 情報発信力の強化 75件 22.9%	2 様々なマスメディア (新聞・雑誌・テレビ等) を活用した情報の発信 74件 22.6%	7 著名人による PR(観光)大使の 任命・活用 56件 17.1%	5 民間と連携した 情報の発信 42件 12.8%
40～49歳 (基数:320)	2 様々なマスメディア (新聞・雑誌・テレビ等) を活用した情報の発信 89件 27.8%	1 ITなど各種ツール(ホームペ ージやブログ)を活用した 情報発信力の強化 77件 24.1%	12 集客力のある地域イ ベントやB級グルメな どの創出・展開 74件 23.1%	11 地域ブランドの 開発と売り込み 50件 15.6%	5 民間と連携した 情報の発信 47件 14.7%
50～59歳 (基数:378)	2 様々なマスメディア (新聞・雑誌・テレビ等) を活用した情報の発信 110件 29.1%	1 ITなど各種ツール(ホームペ ージやブログ)を活用した 情報発信力の強化 84件 22.2%	12 集客力のある地域イ ベントやB級グルメな どの創出・展開 77件 20.4%	11 地域ブランドの 開発と売り込み 65件 17.2%	5 民間と連携した 情報の発信 54件 14.3%
60～69歳 (基数:451)	2 様々なマスメディア (新聞・雑誌・テレビ等) を活用した情報の発信 132件 29.3%	1 ITなど各種ツール(ホームペ ージやブログ)を活用した 情報発信力の強化 95件 21.1%	12 集客力のある地域イ ベントやB級グルメな どの創出・展開 78件 17.3%	11 地域ブランドの 開発と売り込み 77件 17.1%	5 民間と連携した 情報の発信 66件 14.6%
70歳以上 (基数:201)	2 様々なマスメディア (新聞・雑誌・テレビ等) を活用した情報の発信 66件 32.8%	1 ITなど各種ツール(ホームペ ージやブログ)を活用した 情報発信力の強化 40件 19.9%	3 市長によるトップセ ールズや職員による PR活動の展開 29件 14.4%	12 集客力のある地域イ ベントやB級グルメな どの創出・展開 29件 14.4%	5 民間と連携した 情報の発信 26件 12.9%

地区別

地区別にみると、ほとんどの地区で全体結果と似た傾向が見られる。「天竜・長野・於保地区」で「地域ブランドの開発と売り込み」を優先すべきとの意見が多い。

(地区別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:256)	2 様々なマスメディア(新聞・雑誌・テレビ等)を活用した情報の発信 85件 33.2%	12 集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開 59件 23.0%	1 ITなど各種ツール(ホームページやブログ)を活用した情報発信力の強化 54件 21.1%	5 民間と連携した情報の発信 41件 16.0%	11 地域ブランドの開発と売り込み 29件 11.3%
中泉 (基数:170)	2 様々なマスメディア(新聞・雑誌・テレビ等)を活用した情報の発信 56件 32.9%	12 集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開 45件 26.5%	1 ITなど各種ツール(ホームページやブログ)を活用した情報発信力の強化 37件 21.8%	11 地域ブランドの開発と売り込み 25件 14.7%	5 民間と連携した情報の発信 21件 12.4%
今之浦 (基数:39)	1 ITなど各種ツール(ホームページやブログ)を活用した情報発信力の強化 11件 28.2%	12 集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開 10件 25.6%	11 地域ブランドの開発と売り込み 8件 20.5%	2 様々なマスメディア(新聞・雑誌・テレビ等)を活用した情報の発信 6件 15.4%	3 市長によるトップセールスや職員によるPR活動の展開 7 著名人によるPR(観光)大使の任命・活用 5件 12.8%
岩田・大藤・向笠 (基数:120)	12 集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開 27件 22.5%	1 ITなど各種ツール(ホームページやブログ)を活用した情報発信力の強化 26件 21.7%	2 様々なマスメディア(新聞・雑誌・テレビ等)を活用した情報の発信 26件 21.7%	5 民間と連携した情報の発信 10 観光パンフレット・マップの充実 15件 12.5%	3 市長によるトップセールスや職員によるPR活動の展開 11 地域ブランドの開発と売り込み 14件 11.7%
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:196)	2 様々なマスメディア(新聞・雑誌・テレビ等)を活用した情報の発信 57件 29.1%	1 ITなど各種ツール(ホームページやブログ)を活用した情報発信力の強化 45件 23.0%	12 集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開 36件 18.4%	11 地域ブランドの開発と売り込み 31件 15.8%	5 民間と連携した情報の発信 30件 15.3%
天竜・長野・於保 (基数:178)	2 様々なマスメディア(新聞・雑誌・テレビ等)を活用した情報の発信 45件 25.3%	11 地域ブランドの開発と売り込み 39件 21.9%	1 ITなど各種ツール(ホームページやブログ)を活用した情報発信力の強化 37件 20.8%	12 集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開 36件 20.2%	3 市長によるトップセールスや職員によるPR活動の展開 24件 13.5%
福田 (基数:213)	2 様々なマスメディア(新聞・雑誌・テレビ等)を活用した情報の発信 64件 30.0%	12 集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開 39件 18.3%	1 ITなど各種ツール(ホームページやブログ)を活用した情報発信力の強化 38件 17.8%	5 民間と連携した情報の発信 35件 16.4%	11 地域ブランドの開発と売り込み 32件 15.0%
竜洋 (基数:213)	2 様々なマスメディア(新聞・雑誌・テレビ等)を活用した情報の発信 58件 27.2%	1 ITなど各種ツール(ホームページやブログ)を活用した情報発信力の強化 51件 23.9%	12 集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開 47件 22.1%	11 地域ブランドの開発と売り込み 33件 15.5%	5 民間と連携した情報の発信 31件 14.6%
豊田 (基数:312)	2 様々なマスメディア(新聞・雑誌・テレビ等)を活用した情報の発信 80件 25.6%	1 ITなど各種ツール(ホームページやブログ)を活用した情報発信力の強化 74件 23.7%	12 集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開 64件 20.5%	11 地域ブランドの開発と売り込み 53件 17.0%	3 市長によるトップセールスや職員によるPR活動の展開 43件 13.8%
豊岡 (基数:149)	2 様々なマスメディア(新聞・雑誌・テレビ等)を活用した情報の発信 37件 24.8%	1 ITなど各種ツール(ホームページやブログ)を活用した情報発信力の強化 33件 22.1%	12 集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開 32件 21.5%	3 市長によるトップセールスや職員によるPR活動の展開 23件 15.4%	5 民間と連携した情報の発信 11 地域ブランドの開発と売り込み 18件 12.1%

12 協働のまちづくりについて

問 37 あなたは、協働のまちづくりについてどのように思いますか？（1つ選択）

全体

協働について尋ねたところ、「協働」には手間や時間がかかるのであまりやりたくない」と協働について否定的な意見は2.1%と少ないが、「協働」の意味や効果、範囲がわかりにくいので、なんともいえない」が36.3%、「協働」はまちづくりには必要だが、押し付けにならないよう慎重に進めるべき」が34.3%と、協働の周知や実施方法について検討や調整が必要とする意見が多くあがっている。

（全体集計）

項目	件数（件）	割合
「協働」の意味や効果、範囲がわかりにくいので、なんともいえない	673	36.3%
「協働」はまちづくりには必要だが、押し付けにならないよう慎重に進めるべき	636	34.3%
住みよいまちをつくるために「協働」を積極的に推進、充実していくことが望ましい	385	20.7%
協働」には手間や時間がかかるのであまりやりたくない	39	2.1%
その他	19	1.0%
無回答	104	5.6%
計	1,856	100.0%

性別

性別でみると、男性は「協働」はまちづくりには必要だが、押し付けにならないよう慎重に進めるべき」とする割合が高く、協働の実施方法を検討することが求められており、女性では「協働」の意味や効果、範囲がわかりにくいので、なんともいえない」とする割合が高く、協働をより一層周知することが求められている。

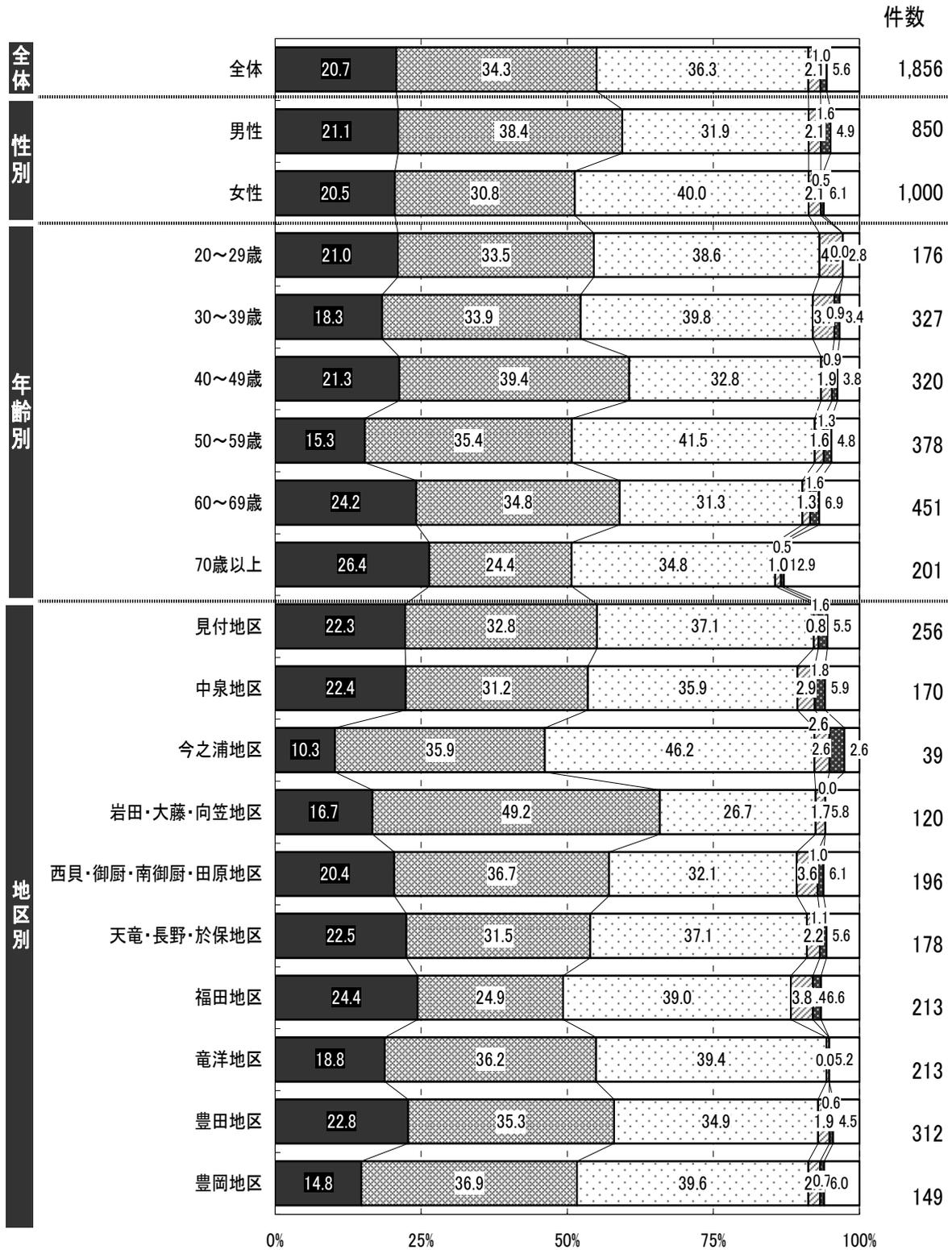
年齢別

年齢別にみると、「60～69歳」「70歳以上」の世代で「住みよいまちをつくるために「協働」を積極的に推進、充実していくことが望ましい」という意見が多く、協働に対し前向きであることが伺われる。「50～59歳」ではこの意見が他世代に較べて最も少なく、又、「協働」の意味や効果、範囲がわかりにくいので、なんともいえない」とする割合も高いため、この世代に対する周知が必要である。

地区別

地区別にみると、「今之浦地区」「豊岡地区」では、「住みよいまちをつくるために「協働」を積極的に推進、充実していくことが望ましい」の割合が他地区に比べ低くなっており、「今之浦地区」「福田地区」「竜洋地区」「豊岡地区」で「協働」の意味や効果、範囲がわかりにくいので、なんともいえない」とする割合がやや高く、地区毎に協働に対する取り組み方が分かれていると思われる。

(属性別)



- 住みよいまちをつくるために「協働」を積極的に推進、充実していくことが望ましい
- ▣ 「協働」はまちづくりには必要だが、押し付けにならないよう慎重に進めるべき
- 「協働」の意味や効果、範囲がわかりにくいので、なんともいえない
- ▣ 「協働」には手間や時間がかかるのであまりやりたくない
- その他
- 不明

問 38 あなたは、協働を推進するためには、何が必要だと思いますか？（1つ選択）

全体

協働を推進するために必要なことについて尋ねたところ、最も多いのは「みんなの意識の変化」で42.2%、次いで「情報の提供や活動に参加しやすい仕組みづくり」31.0%となっており、意識・体制作りの両面でまだまだ不十分だという意見が多かった。

項目	件数(件)	割合
みんなの意識の変化(協働への理解を深める)	783	42.2%
情報の提供や活動に参加しやすい仕組みづくり	576	31.0%
支援制度の充実	97	5.2%
リーダーの育成	79	4.3%
相談窓口の確保	70	3.8%
活動する機会・場所の充実	59	3.2%
その他	37	2.0%
無回答	155	8.4%
合計	1,856	100.0%

性別

性別でみると、女性の方が「みんなの意識の変化」や「情報の提供や活動に参加しやすい仕組みづくり」など、枠組み的な支援を望む割合が高くなっているが、男性は、「リーダーの育成」や「支援制度の充実」など、具体的な支援を望む割合が女性よりも高くなっている。

年齢別

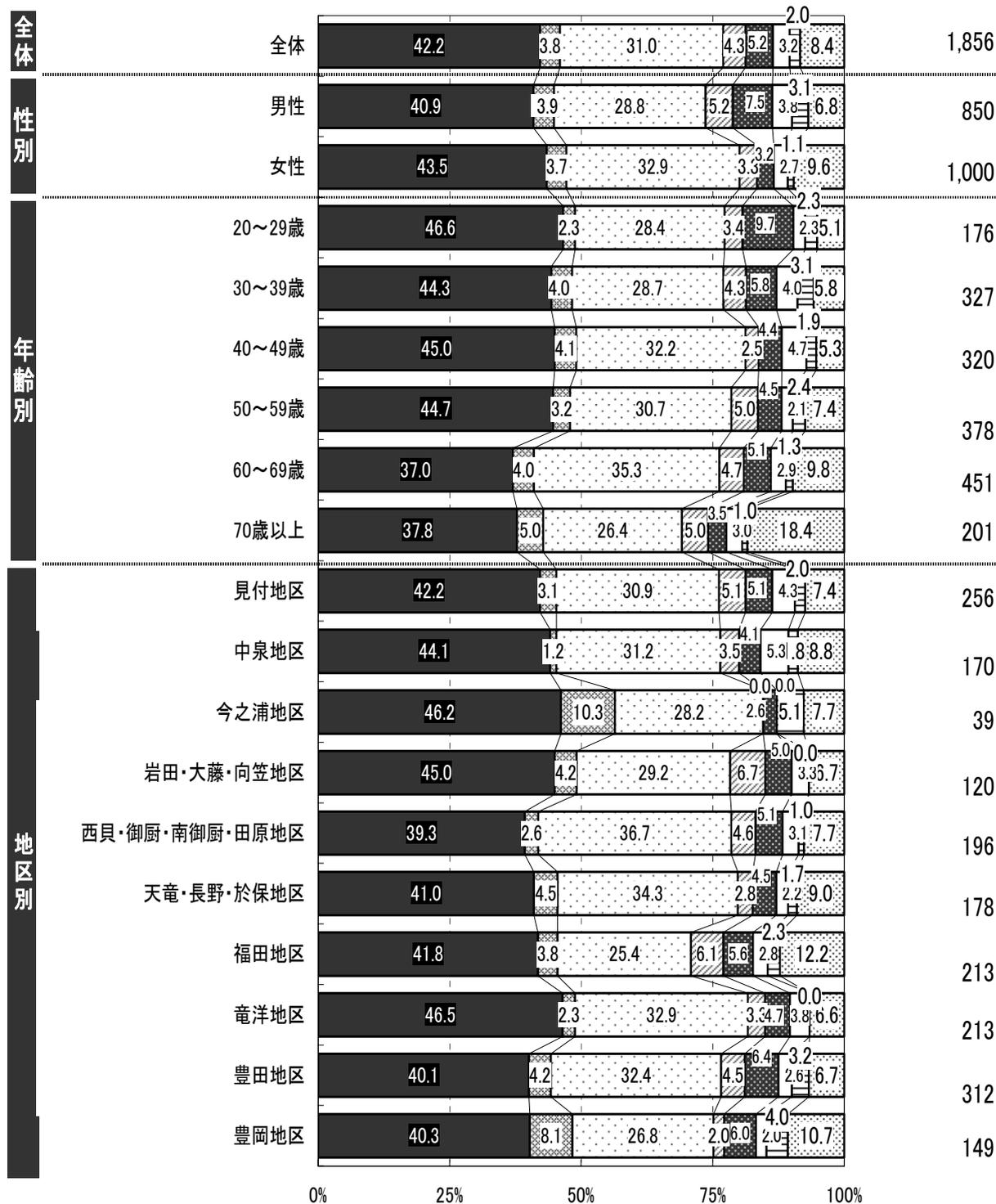
年齢別にみると、「60～69歳」「70歳以上」では、「みんなの意識の変化」の割合が低くなっており、既に協働の意識を持っている人が多いことが分かる。一方、「50～59歳」以下の世代は割合が多く、意識作りを望む割合が高い。

地区別

地区別にみると、全体的には同じような傾向にあるが、「今之浦地区」「豊岡地区」では「相談窓口の確保」の割合が高くなっており、協働の活動について深く知りたいと考える人が多い。

(属性別)

件数



- みんなの意識の変化(協働への理解を深める)
- ▣ 相談窓口の確保
- 情報の提供や活動に参加しやすい仕組みづくり
- ▣ リーダーの育成
- 支援制度の充実
- 活動する機会・場所の充実
- 日 その他
- ▣ 不明

問 39 あなたは、人の役に立ちたいと思いますか？（1つ選択）

全体

人の役に立ちたいと思うかを尋ねたところ、最も多いのは「そう思うが、社会貢献活動への参加など、どうしたらいいかわからない」が54.5%と多く、社会貢献活動へ参加するための情報を必要としていることが分かる。一方、「思わない」が12.9%あり、社会貢献活動への理解を周知する必要もある。

項目	件数（件）	割合
そう思うが、社会貢献活動（ボランティア、NPO等）への参加など、どうしたらいいかわからない	1,011	54.5%
思わない	240	12.9%
そう思い、社会貢献活動（ボランティア・NPO等）を行っている	218	11.7%
その他	266	14.3%
無回答	121	6.5%
合計	1,856	100.0%

性別

性別でみると、男性では「そう思い、社会貢献活動を行っている」の割合が高い一方、「思わない」の割合も高くなっており、社会貢献活動を行っている人とそうでない人に差が出ているが、女性では「そう思うが、社会貢献活動への参加など、どうしたらいいかわからない」が多く、社会貢献活動の情報を必要としていることがわかる。

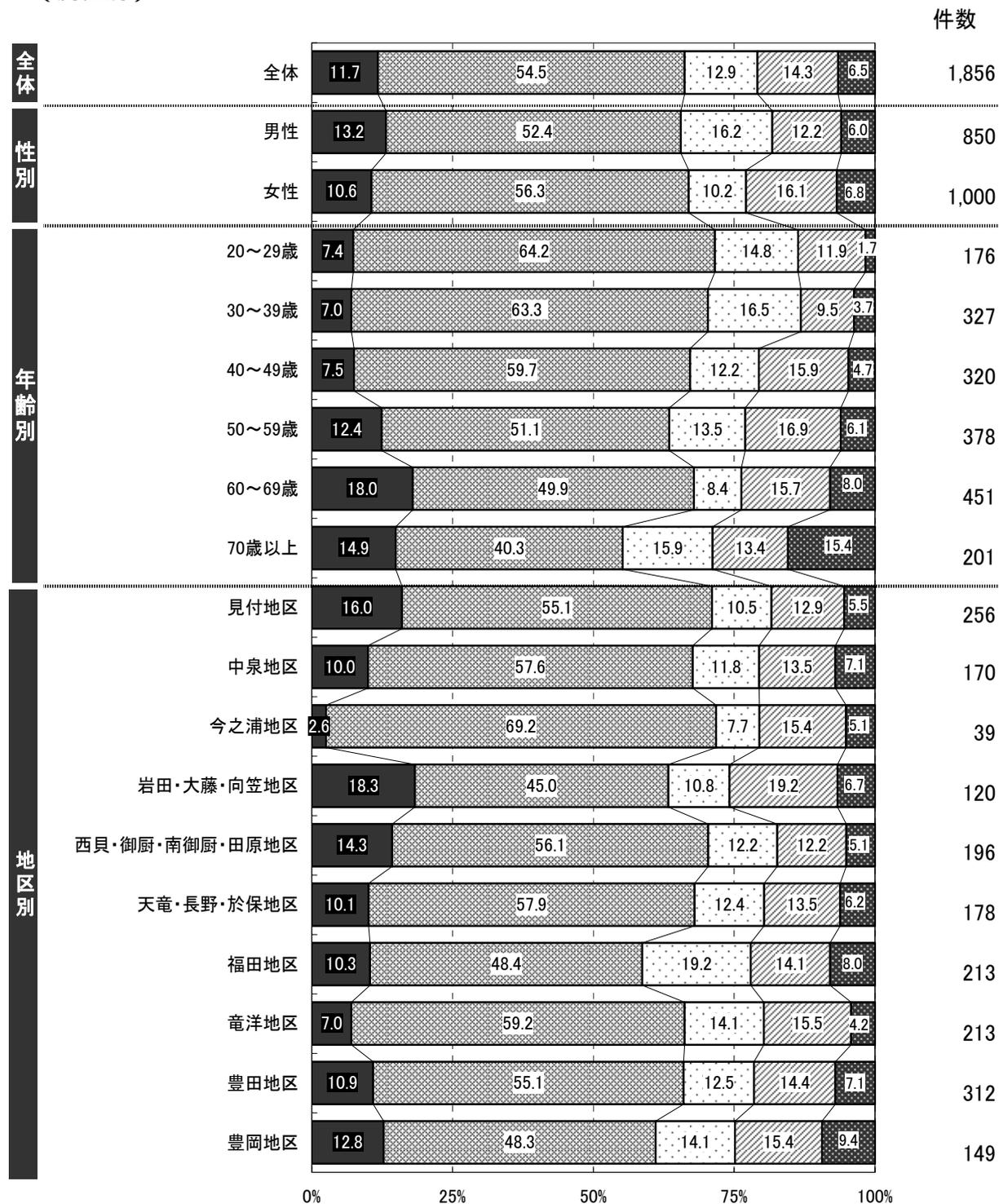
年齢別

年齢別にみると、「40～49歳」以下の働き盛りの世代では、「そう思い、社会貢献活動を行っている」とする割合は7%程度と低くなっている。「60～69歳」「70歳以上」の世代は、定年を迎えたためか、「そう思い、社会貢献活動を行っている」とする割合が高くなっている。

地区別

地区別にみると、「今之浦地区」「竜洋地区」では、「そう思い、社会貢献活動を行っている」の割合が低くなっています。地域によって「そう思い、社会貢献活動を行っている」の割合にばらつきはあるが、いずれの地域も「そう思うが、社会貢献活動への参加など、どうしたらいいかわからない」という意見が圧倒的に多く、社会貢献活動に接する機会等を設けていく必要がある。

(属性別)



- そう思い、社会貢献活動(ボランティア・NPO等)を行っている
- ▨ そう思うが、社会貢献活動(ボランティア・NPO等)への参加など、どうしたらいいかわからない
- 思わない
- ▩ その他
- 不明

13 行政運営について

問 40 これからの行政サービスの水準と市民負担のあり方についてどのように思いますか？（1つ選択）

全体

行政サービスの水準と市民負担のあり方について尋ねたところ、最も多いのは「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい」が44.2%で、収入に見合った行政サービスの執行を望む声が多く、次いで「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」31.5%となっており、行政サービスに対し一定の負担が生じることもやむをえないと考える人もある程度いる。

項目	件数(件)	割合
財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい(これ以上市民の負担は増やすべきではない)	820	44.20%
行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない	584	31.50%
わからない	157	8.50%
行政サービスの維持・充実を優先すべきであり、税など市民の負担が増えることはやむをえない	86	4.60%
その他	77	4.10%
無回答	132	7.10%
合計	1,856	100.00%

性別

性別でみると、男性の方が「行政サービスの維持・充実を優先すべきであり、税など市民の負担が増えることはやむをえない」と考える割合が若干高くなっているが、男女で考え方にあまり差は出ていない。

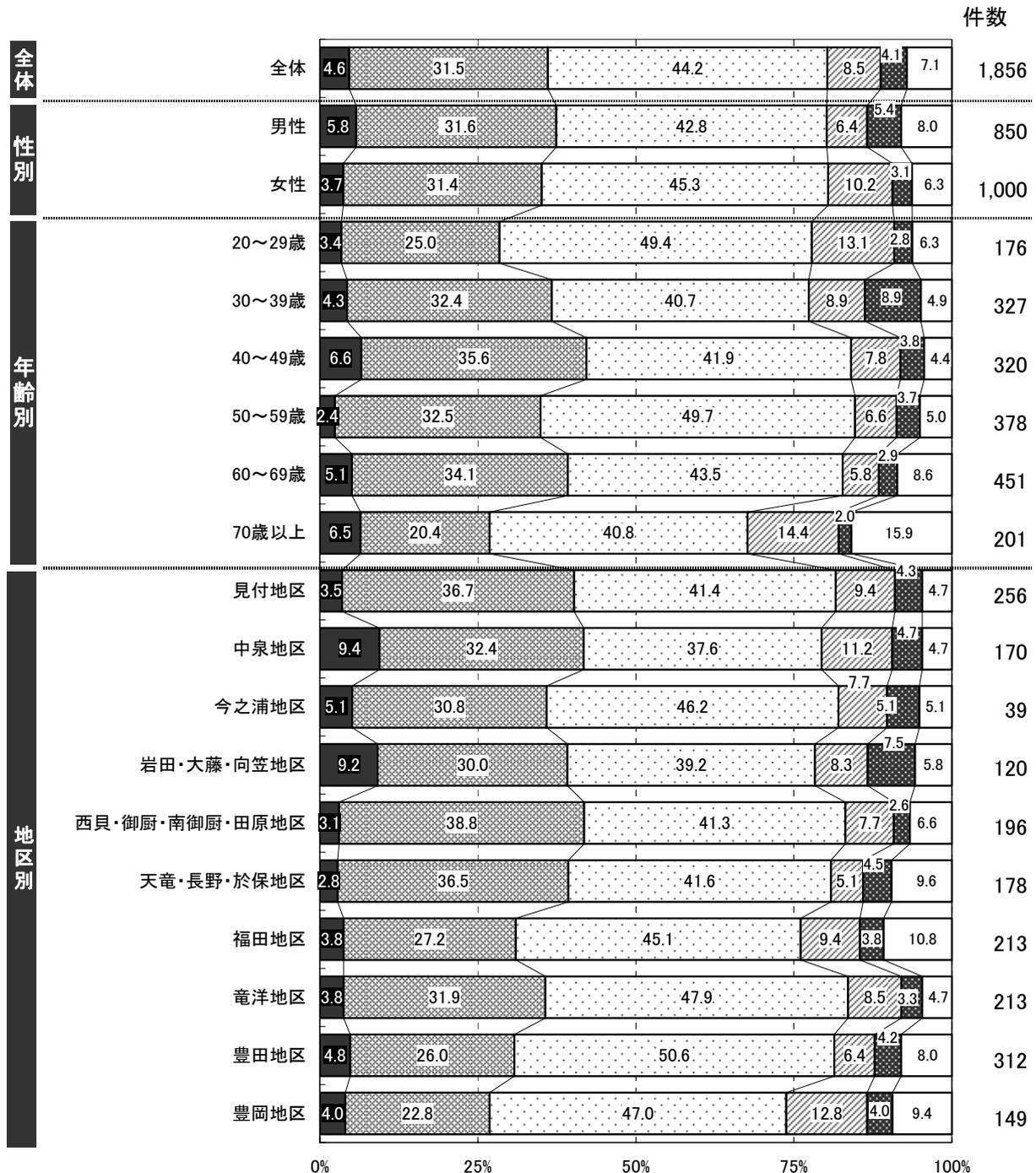
年齢別

年齢別にみると、「70歳以上」で「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない」と考える割合が低く、医療・介護等を受ける機会が多いためと推測される。「20～29歳」「50～59歳」では、「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい」とする割合が他世代に比べ高くなっているが、収入が少ない世代と税の納付が多い世代で負担増に否定的である。

地区別

地区別にみると、「中泉地区」「岩田・大藤・向笠地区」では、「行政サービスの維持・充実を優先すべきであり、税など市民の負担が増えることはやむをえない」の割合が高く、「竜洋地区」「豊田地区」「豊岡地区」では「財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい」とする割合が高くなっており、地区ごとに考え方に違いがみられる。

(属性別)

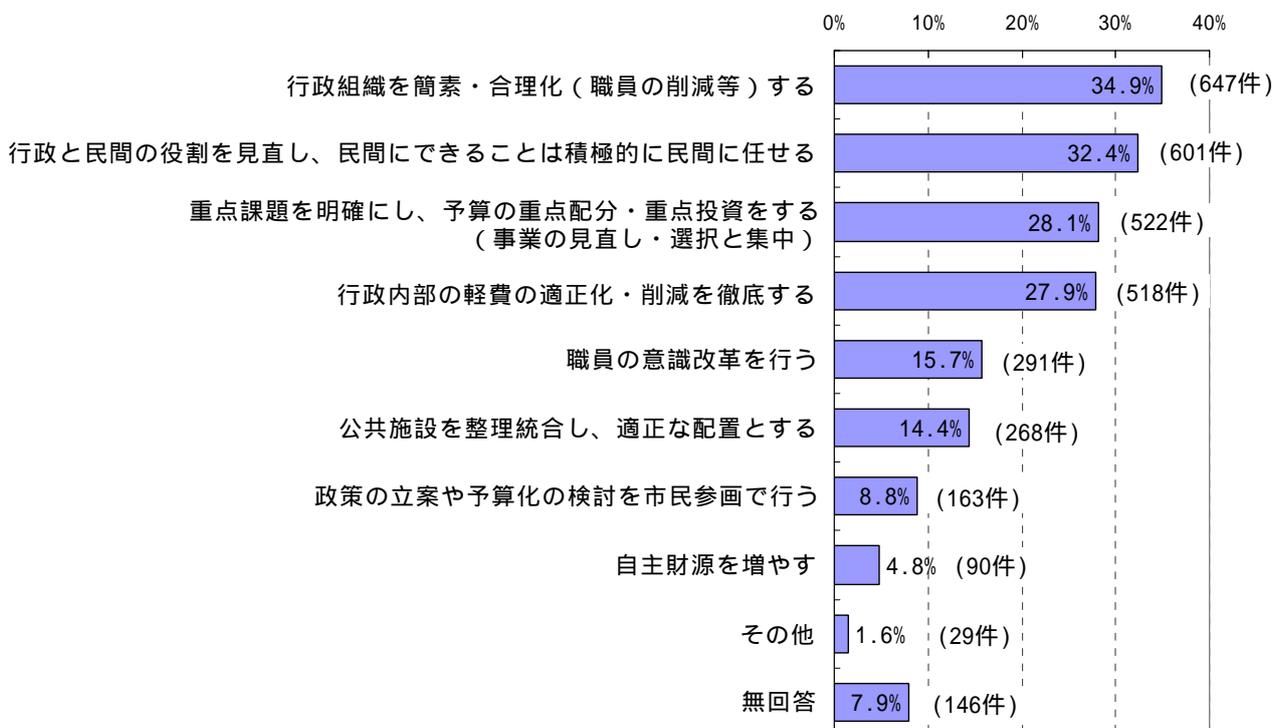


- 行政サービスの維持・充実を優先すべきであり、税など市民の負担が増えることはやむをえない
- ▣ 行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない
- 財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい(これ以上市民の負担は増やすべきではない)
- ▤ わからない
- その他
- 不明

問 41 効率的な行政運営のために、今後さらに進めなければいけないことは何だと思いますか？（2つまで選択）

全体

効率的な行政運営に向け進めなければいけないことを尋ねたところ、最も多いのは「行政組織を簡素・合理化（職員の削減等）する」で34.9%、次いで「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」32.4%と、行政の機構や役割の見直しを求める割合が高い。



性別

性別でみると、男性は「行政組織を簡素・合理化（職員の削減等）する」を望む割合が高くなっており、女性は「行政内部の経費の適正化・削減を徹底する」を望む割合が高い。いずれも経費の削減を目指したもののだが、男女で取り組み方法の重点とするところに違いがみえる。

（性別：上位5位まで）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (基数:850)	1 行政組織を簡素・合理化(職員削減等)する 318件 37.4%	3 行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる 280件 32.9%	4 重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中) 235件 27.6%	6 行政内部の軽費の適正化・削減を徹底する 220件 25.9%	2 公共施設を整理統合し、適正な配置とする 130件 15.3%
女性 (基数:1,000)	1 行政組織を簡素・合理化(職員削減等)する 327件 32.7%	3 行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる 320件 32.0%	6 行政内部の軽費の適正化・削減を徹底する 294件 29.4%	4 重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中) 286件 28.6%	5 職員の意識改革を行う 164件 16.4%

年齢別

年齢別にみると、「20～29歳」では、「重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする」が最も多く、事業の見直しによる行政運営の効率化が必要とみている。「60～69歳」では、「行政組織を簡素・合理化する」「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」が両方高く、民間に事業を任せることで行政組織をスリム化することが必要と考えていることが分かる。

(年齢別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳 (基数:176)	4 重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中) 59件 33.5%	3 行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる 55件 31.3%	6 行政内部の軽費の適正化・削減を徹底する 49件 27.8%	1 行政組織を簡素・合理化(職員削減等)する 45件 25.6%	5 職員の意識改革を行う 27件 15.3%
30～39歳 (基数:327)	1 行政組織を簡素・合理化(職員削減等)する 109件 33.3%	4 重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中) 98件 30.0%	6 行政内部の軽費の適正化・削減を徹底する 93件 28.4%	3 行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる 91件 27.8%	5 職員の意識改革を行う 57件 17.4%
40～49歳 (基数:320)	1 行政組織を簡素・合理化(職員削減等)する 106件 33.1%	4 重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中) 101件 31.6%	3 行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる 98件 30.6%	6 行政内部の軽費の適正化・削減を徹底する 75件 23.4%	2 公共施設を整理統合し、適正な配置とする 58件 18.1%
50～59歳 (基数:378)	3 行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる 132件 34.9%	1 行政組織を簡素・合理化(職員削減等)する 125件 33.1%	6 行政内部の軽費の適正化・削減を徹底する 112件 29.6%	4 重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中) 100件 26.5%	5 職員の意識改革を行う 56件 14.8%
60～69歳 (基数:451)	1 行政組織を簡素・合理化(職員削減等)する 184件 40.8%	3 行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる 165件 36.6%	6 行政内部の軽費の適正化・削減を徹底する 134件 29.7%	4 重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中) 112件 24.8%	5 職員の意識改革を行う 68件 15.1%
70歳以上 (基数:201)	1 行政組織を簡素・合理化(職員削減等)する 76件 37.8%	3 行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる 59件 29.4%	6 行政内部の軽費の適正化・削減を徹底する 54件 26.9%	4 重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中) 52件 25.9%	2 公共施設を整理統合し、適正な配置とする 30件 14.9%

地区別

地区別にみると、「岩田・大藤・向笠地区」「西貝・御厨・南御厨・田原地区」「福田地区」では、「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」が最も多く、「竜洋地区」で「行政組織を簡素・合理化する」の割合が高いが、どの地区も全体結果とほぼ同様の回答の傾向にある。

(地区別：上位5位まで)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
見付 (基数:256)	1 行政組織を簡素・合理化(職員削減等)する 96件 37.5%	3 行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる 79件 30.9%	6 行政内部の軽費の適正化・削減を徹底する 69件 27.0%	4 重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中) 67件 26.2%	2 公共施設を整理統合し、適正な配置とする 45件 17.6%
中泉 (基数:170)	1 行政組織を簡素・合理化(職員削減等)する 64件 37.6%	3 行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる 52件 30.6%	4 重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中) 47件 27.6%	6 行政内部の軽費の適正化・削減を徹底する 41件 24.1%	2 公共施設を整理統合し、適正な配置とする 32件 18.8%
今之浦 (基数:39)	1 行政組織を簡素・合理化(職員削減等)する 11件 28.2%	4 重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中) 11件 28.2%	6 行政内部の軽費の適正化・削減を徹底する 11件 28.2%	3 行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる 9件 23.1%	2 公共施設を整理統合し、適正な配置とする 6件 15.4%
岩田・大藤・向笠 (基数:120)	3 行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる 47件 39.2%	1 行政組織を簡素・合理化(職員削減等)する 38件 31.7%	4 重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中) 38件 31.7%	6 行政内部の軽費の適正化・削減を徹底する 36件 30.0%	7 政策の立案や予算化の検討を市民参画で行う 19件 15.8%
西貝・御厨・南御厨・田原 (基数:196)	3 行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる 64件 32.7%	4 重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中) 58件 29.6%	6 行政内部の軽費の適正化・削減を徹底する 55件 28.1%	1 行政組織を簡素・合理化(職員削減等)する 54件 27.6%	2 公共施設を整理統合し、適正な配置とする 33件 16.8%
天竜・長野・於保 (基数:178)	1 行政組織を簡素・合理化(職員削減等)する 66件 37.1%	3 行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる 65件 36.5%	6 行政内部の軽費の適正化・削減を徹底する 55件 30.9%	4 重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中) 52件 29.2%	5 職員の意識改革を行う 28件 15.7%
福田 (基数:213)	3 行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる 73件 34.3%	1 行政組織を簡素・合理化(職員削減等)する 72件 33.8%	4 重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中) 64件 30.0%	6 行政内部の軽費の適正化・削減を徹底する 61件 28.6%	5 職員の意識改革を行う 30件 14.1%
竜洋 (基数:213)	1 行政組織を簡素・合理化(職員削減等)する 86件 40.4%	6 行政内部の軽費の適正化・削減を徹底する 70件 32.9%	4 重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中) 61件 28.6%	3 行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる 60件 28.2%	5 職員の意識改革を行う 31件 14.6%
豊田 (基数:312)	1 行政組織を簡素・合理化(職員削減等)する 107件 34.3%	3 行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる 106件 34.0%	4 重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中) 84件 26.9%	6 行政内部の軽費の適正化・削減を徹底する 78件 25.0%	2 公共施設を整理統合し、適正な配置とする 52件 16.7%
豊岡 (基数:149)	1 行政組織を簡素・合理化(職員削減等)する 49件 32.9%	3 行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる 45件 30.2%	6 行政内部の軽費の適正化・削減を徹底する 40件 26.8%	4 重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中) 38件 25.5%	5 職員の意識改革を行う 28件 18.8%

14 磐田市のまちづくりへの自由意見

問 42 市民の暮らしを豊かにするための、意見や提案、磐田市の将来像や夢について、自由意見を、お聞かせください。

磐田市総合計画前期計画の施策体系に基づき、市民の意見や提案を整理した。

1 環境にやさしいまちづくり

(1) 環境保全の推進

- ・環境保全の推進と中小河川の清掃と改良の推進。(男,70歳以上,天竜・長野・於保地区)
- ・景観を良くする為だけに、自然の形を変えてしまう事はやめて頂きたい。無駄な税金の使い方をしないでほしい。(女,30歳代,竜洋地区)
- ・桶ヶ谷沼で自然の保全を行っても、その横、その上の台地においてお茶の消毒で農薬をまいている。これは如何なものか。農薬は台地を通して下地の湧き水をも汚染している。一考を必要と考える。(女,70歳以上,中泉地区)
- ・企業と地域が連携して豊かな自然と歴史遺産を生かし子供達、高齢者、市民が安心して暮らせる市になればと思う。(男,60歳代,見付地区)
- ・第2東名の防音対策(防音壁)はどうなっているか。(男,60歳代,豊岡地区)
- ・禁煙化の都市をいかに作るか?(男,40歳代,中泉地区)
- ・自然環境を乱さない。環境の確保。(女,50歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・自然環境が損なわれないよう早急な土地利用などの対策を望む。(女,50歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・ゴミの分別が他市に比べてとても細かく面倒です。何とかならないでしょうか。又、置き場所(捨てに行く所)がとても遠くて不便な思いをしています。このような問題も年老いてくると切実な問題になってきますのでよろしく願います。(女,60歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・ゴミの収集を自治会に任せるのは非常におかしい!改善が必要である。(女,40歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・都市化は望まない、太田川の堤防のコンクリートの所に絵を描いてもらおう。(ボランティアなどネットで募集)(女,50歳代,福田地区)
- ・私は磐田市が好きです。住みやすいいろいろな意味で便もいい。浜松ほどごちゃごちゃしない田舎っぽさが住みやすさだと思う。(女,30歳代,福田地区)
- ・自然の残る磐田で、子ども達が肌で自然を感じてほしい。(女,60歳代,中泉地区)
- ・物質的な豊かさよりも心の豊かさの方が大切だと思う。無理に都会化するよりも自然と調和しつつ、のんびりしたほうがいいと思う。頑張り過ぎない程度に頑張る市であり、市民であるといいですね。(男,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・以前、他県に住んでいたがやはり、自然環境が大切だと磐田に来て、磐田の沢山の自然に触れて、そう思った。磐田はほどよく田舎で住みやすい。本当にそう思う。(男,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・桜は伐採されてしまいました。その開発業者の土地販売折込チラシには、伐採前の桜並木が掲載されていた。(男,70歳以上,岩田・大藤・向笠地区)
- ・豊かな自然を残し、市民一人一人が安心して明るく過ごせるまちになってほしいです。(女,40歳代,竜洋地区)
- ・自然環境を整備し、触れ合う機会を増やし行きすぎた開発には歯止めをかけられる気持ちを市民全体で持つことができればすばらしいと思う。(男,30歳代,竜洋地区)

- ・プラス で磐田をより魅力的にするとしたら未来の子供達に残したい環境の保全と動物保護・愛護・共生を率先して行う事だと思う。他市と同じことをやってもアピールにならないので、誇れることを先駆者として特化して、行わなければいけない。このままでは退屈で何の特徴もなく、自然にも動物にも優しくない、魅力のない磐田のまま。(女,20歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・進歩、発展、成長も必要ではあるが、むしろ歩みを緩やかにまちや人にゆとりのある、落ち着いたまちづくり、昔よき時代に近代性の合わさったまちになると良いのではと思う。(男,40歳代,中泉地区)
- ・公害(悪臭など)規制に関する市独自の条例を整備、制定せよ。(男,70歳以上,天竜・長野・於保地区)
- ・ごみの焼却処分を行っている人が本当に多い!アンケートを行いこのように意見を書かせるならば、焼却することはだめだということをもっとしっかり広報し、焼却施設(焼却用のドラム缶)がある家には注意するなどを行ってもらいたいというこの意見を参考にしてもらい、取り締まりを強くしてもらいたい。(男,30歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・水と緑が豊富で、自然豊かなイメージを持っているので、自然環境を保全をして欲しい。(男,20歳代,竜洋地区)

(2) 省資源・エネルギー対策の充実

- ・風車に続く新エネルギーの導入を促進し、自然環境豊かなだけでなく、自然へ低侵害な都市となる事を望む。(男,20歳代,竜洋地区)

(3) 環境教育の推進

- ・自然環境と文化歴史を大切にしてほしい。(女,20歳代,中泉地区)
- ・孫の転校手続きに行ったところ、玄関先で、タバコを吸っている者がいた。灰皿を撤去した方がいいと感じた。(女,50歳代,豊田地区)

(4) 生活環境の向上

- ・見付の川を鯉が泳げるくらいきれいにする。車は制限して美化に取り組む。(女,40歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・旧中泉交番のとなりが汚い。火事になりやすい。(男,40歳代,中泉地区)
- ・高齢者が河川等の堀さらい等を高齢者が行うのは無理。市が管理して欲しい。(女,70歳以上,天竜・長野・於保地区)
- ・市の中心部だけでなく周辺地域も整備して欲しい。ただし、整備に伴う自然破壊は避けるべき。(女,20歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・耕作放棄地など、市などで優先的に草刈して(市が補助し、シルバー等に委託)、田畑の美観、貯水能力を維持してもらいたい。(男,60歳代,福田地区)
- ・各家庭で家の回りをきれいにできれば、まち全体がきれいになる。すべては、人の道徳心だと思う。(女,50歳代,豊田地区)
- ・合併までは親子で豊田川の草刈を行っていたが、合併後は、業者が行うようになった。しかし、地域やPTAが実施し、そのお金は住民又は学校に必要な物を購入したほうが良い。また、草刈の大変さ、ボランティアを感じる事も必要。(女,60歳代,豊田地区)
- ・身近にある河川の水をこれ以上汚さないように皆で守っていききたい。子供連れが安心して川遊び等できるほどの水質になれば良いと思う。湧き水を利用するなど、常時安定した水量が流れる川にならないのか。(男,60歳代,見付地区)
- ・動物行政の分野が市町とくらべて充実していない。ボランティアに応援を依頼し、動物(愛玩動物)との共生を目指して欲しいと思う。(女,40歳代,中泉地区)
- ・市営墓地の管理費を払ってるのに、ゴミが持ち帰りとなっている。自分達のお墓は自分達で管理するので管理費を取るのをおかしい。(女,70歳以上,西貝・御厨・南御厨・田原地区)

- ・将来若い人達の負担を少なくするために、墓地の土地確保が頭に浮かんだ。(女,60歳代,中泉地区)

(5) 循環型社会の推進

- ・不要になった若葉マークやもみじマークを回収して、上からシールを貼って再利用してはどうか。(男,50歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・リサイクル。(男,30歳代,豊田地区)
- ・家庭でのゴミの焼却はやめて欲しい。燃やしたい時はどうすればいいか、ごみの処分方法をPRして欲しい。(女,40歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・ごみの分別種類を減らして欲しい。分別が多過ぎる。(女,30歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・ごみ処理場の土日利用を検討して欲しい。(男,40歳代,豊岡地区)
- ・プラスチックのゴミ洗浄、デメリットも多い。水が汚れる、水道料がかかる。時間と手間、忙しい人はストレスになる。(女,50歳代,豊田地区)
- ・ごみの分別が厳し過ぎる。(女,30歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・新しい焼却場が出来たので、ごみの分別方法を緩和して欲しい。(女,60歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・ごみの分別は、びん・缶などの資源とその他くらいの簡単な分別でお願いしたいです。(女,50歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・ごみの分別を簡略化して欲しい(やりすぎ)。(男,30歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・ごみの分別は不法投棄を生む。(男,30歳代,豊田地区)
- ・ごみの分別が面倒。(男,30歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・県外から転入してきた時は、ごみの分別がとても苦痛であった。高齢者にとって、ごみ(布団、木くず、金物類)を細かくするのは大変な作業である。(女,60歳代,中泉地区)
- ・空地に散乱している大量のごみは見ると嫌である。(女,50歳代,中泉地区)
- ・自分としては問題ないと思って出したごみが残っていることがある。何が違うのか、何が異物なのかが見当がつかないときがある。理由を明示してほしい。(女,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・福田地域は、河川や道路に、ごみの不法投棄が多く残念である。(男,60歳代,福田地区)
- ・ごみの分別が細かすぎる。収集場所が遠すぎる。(女,30歳代,天竜・長野・於保地区)

(6) 上下水道の整備(上水道)

(意見なし)

(7) 上下水道の整備(下水道)

- ・下水道条例では、排水設備は下水道供用開始の日から6ヶ月以内に設置しなければならないとなっているが、工事完了日から何年も過ぎても接続されていない家庭がある。市は、どの様に対応するのか。(男,70歳以上,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・下水道が完備したのに、蚊が多すぎる。蚊がいては、住みよいまちにはならない。(男,60歳代,見付地区)
- ・下水整備を推進し、環境を良くして欲しい。(女,40歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・小学生の子を持つ親。通学距離が長い子どもにとって、通学途上にトイレがないことを不便に感じる。トイレ設置をお願いしたい。(男,40歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・下水がくさい。(女,20歳代,福田地区)
- ・下水道の充実も住みやすい磐田にするために大切である。(女,60歳代,福田地区)
- ・下水道の普及は文化生活のパロメーターである。(女,60歳代,福田地区)

2 住んで良かったと思えるまちづくり

(1) 計画的な土地利用の推進

- ・美術館と大きな公園をつくる。(女,50歳代,竜洋地区)
- ・施設(建物・公園等)を設置する場合は、中遠地区の中核都市として、周辺市町と連携し、幅広い都市づくりを目指す中で、無駄な投資を避けて推進すべきと思う。(男,60歳代,中泉地区)
- ・古い箱物は消し、整備し検討してほしい。いいものは見直して。(女,70歳以上,豊岡地区)
- ・市街化調整区域を減らし、周辺自治体より家を建てやすくする。人口が増える 購買力が伸びる 商業・産業が増える シャッター通りも減る 税収増 市が豊かになる 皆豊かになる。
- ・天竜川に橋をもう一本掛けて渋滞を解消する。往来がスムーズになると、人も増える。(女,60歳代,竜洋地区)
- ・農地を所有しているが、法令等の規制で、思うように宅地利用できないことに不満を感じる。「自分の土地なのに・・・」という気持ち。(男,50歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・新東名浜北 I.C.と東名磐田 I.C.との間に道路を新設することを提案する。高低差解消のため、河津町のようにループ橋で対応してはどうか。台地に道の駅(展望台)を設置すれば新たな観光資源になるのではないかと。(男,50歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・まだまだ磐田市には土地が豊富にある。もっとインフラ整備を推進し、人口増を考えたい。市民が増加すれば、一層の発展が期待できる。(男,50歳代,竜洋地区)
- ・公共施設は充実しているので、これ以上に増やさなくてもよい。(女,40歳代,豊田地区)
- ・コンパクトで、程よく便利で安全なまちになることを願う。中心市街地や住宅地の近くで、色々な用事を済ませることができれば、高齢者や子ども連れでも、遠くまで出掛けず用事を済ませることが出来ると思う。(女,40歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・市街化調整区域を市街化区域にして、企業誘致を推進する。(男,60歳代,豊田地区)
- ・ベッドタウン的まちではなく、独立的で活発なまちづくりを希望する。(男,60歳代,中泉地区)
- ・具体的アイデアはないが、事業の見直し、選択と集中を行って欲しい。市中心部と周辺部に格差が生じないように配慮することが必要。(男,60歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・市全体に活気がない。近隣の市町にくらべ都市計画の着工が遅い。(男,50歳代,中泉地区)
- ・農地を減らし、企業誘致の推進、宅地化を推進する。(女,70歳以上,竜洋地区)
- ・磐田農高の土地へジュピロスタジアムを作り、駅からスタジアムへの人の流れを作る。今のままだと皆、駅からバスで直行する為、人の流れが中心市街地活性化に全くなっていない。別の場所へ引越しするとか、農大と隣接させるなど、いろいろとっと良い可能性があると思う。(女,30歳代,豊田地区)
- ・市の土地利用が均一でないように感じる。場所によって差があり、不公平を感じる。実行までに時間がかかることがある。また、未回答にされたこともある。(女,50歳代,豊田地区)

(2) 市街地整備の推進

- ・JR新駅の必要性がわからない。わかるように市民に説明してほしい。(女,30歳代,豊田地区)
- ・磐田駅北口広場の整備を早く進めて欲しい。今後の発展のため、必要な事業だと思う。(男,60歳代,見付地区)
- ・JR磐田駅北側に賑わいを取り戻せ。(男,70歳以上,天竜・長野・於保地区)
- ・磐田のまちは今どこにあるのか分かりません。東も南もまちとは思えません。商業地区は、やはり駅から周辺を固め、北、西、東へと発展させることが、理想だと思う。そのための商売しやすい環境(地代、賃料等)、道路の駐車スペースを考え、積極的に入店させる取り組みが必要だと思う。歩いて楽しく買い物出来る環境づくりの推進が、まちの活性化につながると思う。(女,50歳代,中泉地区)
- ・磐田駅前の再開発事業や駐車場の失敗を踏まえ、公共用地を活用するにあたっては、市民との打ち合わせが必要だと感じる。議会だけで箱物が作られてしまい残念に思う。鎌田地区の JR

- 新駅は、必要性を感じない。磐田駅前に大型テナントを誘致すること。市営駐車場を活用すること。（男,40歳代,天竜・長野・於保地区）
- ・磐田駅周辺の商業施設を充実させて欲しい。（女,40歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区）
 - ・磐田駅前商店街を賑やかにしてほしい。子どもや高齢者が楽しく幸せに暮らせるまちが一番。（女,20歳代,中泉地区）
 - ・磐田駅周辺地域は、区画整理や再開発を実施しているのに、無造作にビルが建築されている。何のために数年間、通学・通勤に不自由したのか愕然とした。（女,30歳代,見付地区）
 - ・磐田駅周辺に市内産の食材を使った料理を食べられる施設（道の駅のような）を設置する。磐田駅前通りに昔の活気が戻って欲しい。（女,40歳代,福田地区）
 - ・磐田駅利用者をもっと活用出来たらと思う。学生やビジネスマンを見かける事が多い。（男,30歳代,天竜・長野・於保地区）
 - ・駅前をもっと楽しめるまちにしたい。歩いて買い物や散歩ができるといい。このアンケートは少し難しかったですよ。（女,70歳以上,見付地区）
 - ・磐田駅前をもう少し活性化してほしい。（女,30歳代,豊田地区）
 - ・駅周辺を一体的に整備して欲しい。（女,40歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区）
 - ・磐田駅周辺でイベント等（B級グルメとか、生産者の市場等）を開催し活性化させて欲しい。浜松・掛川の商工会が駅近くでイベント等を開催している。（男,60歳代,竜洋地区）
 - ・駅前が寂しすぎると思う。（男,20歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区）
 - ・磐田駅周辺（北側の）の活性化に期待している。（男,30歳代,竜洋地区）
 - ・ジュピロードを賑やかにしたい。（女,50歳代,豊田地区）
 - ・市役所を中心に、中町から中央町の駅前どおりが淋しい。（廃業の店舗が多い。街灯が消えてしまい夜間は暗い。、歩道・どぶ板の整備（特に中町）ができていない等）来磐者は、淋しく、汚れた感じを受けると思う。（女,70歳以上,中泉地区）
 - ・磐田駅周辺をもっと活性化して欲しい。（女,50歳代,今之浦地区）
 - ・磐田駅前通りの寂しい事。店が少なく、若者達の姿が見られない。少し考えて。（女,60歳代,天竜・長野・於保地区）
 - ・磐田駅周辺にイベント会場（産業館）の設置。（女,70歳以上,見付地区）
 - ・磐田駅北口に、高齢者を対象としたまちづくりを進めて欲しい。（女,50歳代,中泉地区）
 - ・農村部に居住する老夫婦。買物等、日常生活に不便を感じる。公共交通機関が少なく、市総合病院までの通院に苦労している。（女,70歳以上,竜洋地区）
 - ・「磐田市の顔」として、磐田駅の北口広場とジュピロードを早急に整備して欲しい。（女,50歳代,見付地区）
 - ・磐田駅の北口広場を整備して欲しい。駅から出た第一印象が悪い。（男,60歳代,中泉地区）
 - ・駅周辺の活性化を希望する。（女,60歳代,中泉地区）
 - ・まちの中心は駅である。中心市街地への誘客が大事である。中心地が賑わえば、自然とまちは活性化していく。駅周辺を早急に整備しないのか？（男,60歳代,天竜・長野・於保地区）
 - ・磐田駅前がゴーストタウン化している。（男,40歳代,中泉地区）
 - ・磐田駅前にある古い商店街は、区画整理で無くせば良い。（男,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区）
 - ・JR 新駅設置により、磐田駅北口広場の整備が遅れないようにしてほしい。（男,50歳代,中泉地区）
 - ・磐田駅前通りの活性化。（男,60歳代,豊田地区）
 - ・都市の玄関口である磐田駅周辺の整備を推進して欲しい。また、ジュピロ磐田を生かしたまちづくりを進めて欲しい。（男,30歳代,天竜・長野・於保地区）
 - ・ジュピロ磐田が強かった時は、市にも元気があった。最近の低迷により市全体に元気が無くなって来ているように感じる。駅前のジュピロードの寂れ具合は悲しい。ジュピロ磐田でまちをにぎやかにするしかないと思う。（男,20歳代,見付地区）
 - ・磐田駅前を活性化させたほうがいい。（女,20歳代,豊田地区）

- ・磐田駅前が整備されて、人が戻ってきているように感じる。(女,30歳代,見付地区)
- ・磐田駅は市の玄関口。17万都市とは思えないほど駅前がさびしい。田舎町と言う感じ。市民が「ちょっと駅前に」というような場所にしていくなきゃと思う。(男,60歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・磐田駅前が住宅化していくことを残念に感じる。(女,60歳代,豊田地区)
- ・磐田駅周辺にビルを建設するのではなく、アーケード等の中小商店街の実現、推進を望む。(男,70歳以上,今之浦地区)
- ・磐田駅周辺対策。藤枝駅との差が大きい。整備を進めても使い勝手が良くなっていない。(男,30歳代,見付地区)
- ・市の中心部ばかり整備をしないで市全体を平均的に整備して欲しい。交通手段もなく、買物も不便など、年をとると不安になる。(女,60歳代,豊岡地区)
- ・磐田駅北口の商店街がゴースト化していくのが寂しい。活気ある商店街ができると嬉しい。(女,50歳代,豊田地区)
- ・「磐田駅前に繰り出そう」と思えるような雰囲気にして欲しい。(男,30歳代,福田地区)
- ・磐田駅周辺の店舗が中途半端で利用されていない。景観は良くなったが、店が充実していないので、結局無駄になっている。時間待ちで立ち寄りたくなるようなカフェが欲しい。(女,30歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・磐田駅北側には魅力ある施設がない。皆が行きたくなる様な施設や景観を整備して欲しい。(男,40歳代,見付地区)
- ・磐田駅前の活性化。磐田を都会の様にする必要はない。磐田の良さ「自然、歴史、古い物を大切に作る心、人のつながりの強さ」などを生かしたまちづくりが望ましい。(女,50歳代,中泉地区)
- ・JR新駅のうわさを聞いたが本当必要？(女,40歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・新駅いらなと思う。(女,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・新幹線の磐田駅も作って欲しい。(女,50歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・磐田駅周辺は磐田の顔、まちの第一印象が大切。大都会でもまちと自然が一体となり人々に「うるおい」が感じられる。春にはまちの中心地で花見や緑を楽しみ、秋には紅葉が楽しめ、又冬には光のイルミネーションが華やかで人々の表情が明るく輝いている。磐田もそのようなまちになって欲しい。(男,60歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・磐田駅周辺にマンション、アパートを建設し、駅周辺の人口を増やす。また、駅周辺の商店の活性化を図る。(男,60歳代,見付地区)
- ・磐田駅北口の整備を早く進めて欲しい。見付通りがきれいになっている。(女,60歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・磐田駅前の空洞化を減らし、活性化したらいいと思う。(男,30歳代,豊田地区)
- ・磐田駅周辺の駐車場が少ないように思う。(女,50歳代,豊岡地区)
- ・他市から来る友人は、駅周辺に行くことはなく、「ららぽーと」しか行かない。磐田駅周辺が充実していれば、公共交通機関の利用も増え、人も集まると思う。(女,30歳代,見付地区)
- ・県外から転入してきたが、磐田駅周辺がとても寂しく残念。ぜひ活性化して欲しい。(女,50歳代,中泉地区)
- ・磐田駅前(ジュピロード)をなんとかして欲しい。(男,20歳代,中泉地区)
- ・磐田駅周辺の店舗等の集客施設を増やして欲しい。学校、金融機関だけで人は集まらない。(女,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・駅前やインター周辺は、賑やかな方が「活気あるまち」と印象づけられる。先日雪祭りに参加しましたが、スタッフが若く、多数いたので驚いた。若い人が活躍できる場が多いと良い。(女,30歳代,見付地区)
- ・住みやすい市と感じている。財政難など、大変な状況が続くが、税金を運用する市長、市役所、議員を信頼している。(女,30歳代,中泉地区)

- ・ JR 磐田駅前を「磐田の顔」と思っている市民は少ない。JR で訪れる観光客が多いとも思えない。駅周辺に予算を掛け過ぎである。新しいまちの顔はどこか、中心街はどこか、変化を認めて、仕事をしてほしい。旧磐田市ばかりが磐田市ではないのです。(女,40 歳代,豊岡地区)
- ・ 磐田市合併後、中心部ばかりが良くなっていくような気がする。中心部から離れたところにももう少し目を向けて欲しい。(女,70 歳以上,竜洋地区)
- ・ まちの真ん中だけきれいにして金を使ってもだれも集まらない。(男,50 歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・ 磐田のまちがゴーストタウンにならないよう、もう少し、お店屋さんのサービスとか、駐車場を増やせば、磐田にも買い物に行くと思う。(女,50 歳代,竜洋地区)
- ・ 市街地化調整区域を市街化区域に変更し、宅地を増やすなど土地利用の規制緩和を行い、人口増を目指す。(男,30 歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・ 自動車中心の道路でなく、地域環境に見合う、歩行者のための道路を増やすべき。(男,70 歳以上,今之浦地区)
- ・ 磐田市内でも地域差がありすぎる。交通、ショッピングセンター、公園、更に、自治会会員数にも差。今後なんとかする必要を感じる。(男,50 歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・ 歩道に段差が多く、自転車で通りにくい。福田西橋の歩道が狭く、すれ違いがしにくい。(女,60 歳代,福田地区)
- ・ 道路整備にあたり、広い道、広い歩道を作るのではなく、電柱の地中化等により、従来からある道路の幅で整備を実施する。今の道路で充分です。(女,40 歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・ 交通量の多い道路に自転車専用道を作って欲しい。(男,70 歳以上,天竜・長野・於保地区)
- ・ 自転車を利用する機会が多いのですが歩道の有る所は走らせて貰っていますが、無いところには車道を走ります。気が付いた事があります。
- ・ 道路の路側帯の白線が消えているところが多い。自転車で通行すると怖い時があるため、早急に白線を引き直して欲しい。(男,60 歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・ 街灯が少なく、暗い所が多い。歩道が広いと豊かな気持ちになる、狭いと自転車とすれ違いざまに突き飛ばされそうで怖い。(女,70 歳以上,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・ JR 新駅設置より、中心市街地の活性化が必要。(女,30 歳代,豊田地区)
- ・ 市街地の空洞化を何とかせねば。(女,40 歳代,福田地区)
- ・ 浜松市への交通アクセスを良くして欲しい。特に、橋とその周辺道路の整備。早くて便利、そして安全に利用できるように整備して欲しい。(男,40 歳代,豊岡地区)
- ・ 市内の道路は、とにかく道の作り方がおかしい(変な交差点、ボコボコの路面)。県外からの転入者の多数は、同様の意見を持っている。(男,30 歳代,豊田地区)
- ・ 車での移動が主であるため、道路をもっと便利にして欲しい。(男,20 歳代,竜洋地区)
- ・ 中心市街地を整備する必要性は理解できるが、緊急車両の通行が難しいところがあることも忘れられないで欲しい。磐田市全体をよく見てほしい。(女,70 歳以上,竜洋地区)

(3) 道路網の整備

- ・ 天竜川にかかる橋を増やして欲しい。通勤に便利になれば、住宅も増え、企業も活性化するのではないかと。(女,30 歳代,竜洋地区)
- ・ 磐田市は、道路整備に関する知恵がないと思う。まず計画(夢)を作成すべき。その後に実施計画と住民参加で道路作りを行う。(男,50 歳代,竜洋地区)
- ・ 磐田市は近隣の市と比べて交通事情が悪いように思う。バイパスの複線化が進めば改善されると思うが、出来た所から一部使用するという事は出来ないものではないでしょうか?(男,60 歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・ 無駄な道路整備をしないで欲しい。大藤 10 区の県道は両側に歩道が設置されているが、1 日 5 人程度しか通行しない。真に必要な道路整備に予算を使うべき。(男,50 歳代,岩田・大藤・向笠地区)

- ・道路の白線が消えている。高齢者には街路の照明とはっきりと見える白線は大切な標識。街路樹は背が伸び信号機が見にくい。木の高さは信号より下げて欲しい。自転車が車道で走るのは大変危険。自歩道整備を望む。(女,70歳以上,中泉地区)
- ・雨の日に東部小・幼稚園の駐車場への出入が多く、南へ行く道路が渋滞しており、通過に10分以上かかってしまう。(男,60歳代,見付地区)
- ・太田川堤防を活用した道路網を整備し、南北アクセスの充実は図って欲しい。(男,50歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・住みやすい磐田にするため道路の充実も大切。(女,60歳代,福田地区)
- ・渋滞解消のため、右折禁止及び右折レーンの設置(及び一方通行)。(男,30歳代,豊田地区)
- ・交通事故を減らすため、道路の危険箇所対策を考えて欲しい。(男,20歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・事故が多い交差点に信号機を早急に設置して欲しい。(女,30歳代,中泉地区)
- ・道路における歩道の区分け...通学路を含め安全対策として歩道をガードで区別。且つ歩道の色もグリーン色にする等して歩行者の安全確保(児童、高齢者、障害者にやさしい歩道の確保)。(男,60歳代,見付地区)
- ・議員がいない地域では、道路整備・改修が遅れている。市道整備を早く実施して欲しい。(女,70歳以上,見付地区)
- ・通学路(小・中・高)の安全確保を徹底すべき。(女,20歳代,福田地区)
- ・銀行、店、学校などの道がもっと整備されると良い。車のマナーが悪いと思う。(女,30歳代,豊田地区)
- ・通学路に隣接する寺谷用水は、蓋をかけて欲しい。雨が降ると、道路との境が分からなくなり危険である。(女,70歳以上,天竜・長野・於保地区)
- ・旧豊岡村内の道路工事が合併後に中断されてしまった。なぜか。(女,50歳代,豊岡地区)
- ・交通量の多い道路には歩道を整備して欲しい。(女,20歳代,竜洋地区)
- ・道路が凸凹で走りにくい。(特に二輪車時)(男,20歳代,豊田地区)
- ・車優先の道路整備から、歩行者・自転車に優しいものに変更して欲しい。自宅前の道路を規制以上で走る車が多く渡るのが大変。道路を隔てた住民とのコミュニケーションが薄くなっては豊かな暮らしは出来ないと思う。(男,50歳代,見付地区)
- ・市総合病院までの交通の便が悪い。ガタガタ道、道の段差がとても多く、自転車で走っていると危険を感じる人が多い。(女,30歳代,豊田地区)
- ・遠州大橋の無料化を早くして欲しい。(女,50歳代,竜洋地区)

(4) 緑豊かなまちづくり

- ・利用者がいない小さな公園より、現在あるもので真に必要なものをリフォームして欲しい。(女,30歳代,竜洋地区)
- ・磐田の自然を金儲けのために壊さないで欲しい。「ららぼーと」は無駄。以前は茶畑が広がり、環境が良かった。(女,40歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・自然が一杯。自然を生かしたまちづくりを。歩いても明るいまち。(女,50歳代,福田地区)
- ・緑豊かで子どもの声がたくさん聞こえるまちづくりをして欲しい。(女,30歳代,見付地区)
- ・東京から引っ越してきて、海や山や田畑、川や田んぼの鳥や生物にとっても心が癒された。自然豊かな磐田市が持っている素晴らしい風景を大切に発展して欲しい。(女,40歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・緑地や公園などが増えて、気持ちが和らぐ、落ち着いたまちになることを希望する。(男,30歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・自然を身近に感じられるよう、グリーンベルトの設定など、今ある自然の保護。(男,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)

- ・旧豊田町の東側に広がる照葉樹林は見事で大切な自然遺産である。これを損壊すれば、2度と復旧することは出来ない。条例で開発から守って欲しい。(男,70歳以上,岩田・大藤・向笠地区)
- ・市政に望む事は、「良いまち」として磐田をアピールすることではなく、地味で良いから市民が暮らしやすいまちにしてほしいということ。田舎には田舎の良さがある。豊かな自然とあたたかい人柄を活かせるような、まちづくりを望む。(女,40歳代,豊田地区)
- ・天竜川浜北大橋(豊岡沿)北側の川原緑地整備等は出来ないのか。ごみの不法投棄されたごみが散乱している。子供から大人まで楽しめる公園等を望む。(男,70歳以上,豊岡地区)
- ・空き地利用は木や花球根を植える(他の市がやらない珍しいもの)。(女,60歳代,福田地区)
- ・緑の多いまちづくりをして欲しい。(女,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・住みよいまちにしてほしい。係の方が頭を捻ねって地元の人々ともよく話し合っただけで緑多い、つい歩いてゆきたくなる磐田市にしてほしいと願います。駅前の商店街には緑がないので人も寄り付かない。緑が多く歩道の木の下にベンチを置いたりして歩いて出たくなるまちになるといい。(女,60歳代,見付地区)
- ・新しく賑やかなまちより安全で安心して暮らせるまちがいい。今ある自然を大切に、環境を汚さない生活、大人も子供も人と自然を大事に思う生活がしたい。磐田市がそんなまちならみんなに自慢できる。(女,30歳代,見付地区)
- ・磐田市は住みやすいが、最近、住宅建設によって緑が減っているように思える。(女,20歳代,今之浦地区)
- ・人口減が始まっているため、開発志向を改め、空洞化・有給化している場所・施設を再生して欲しい。緑が減って寂しい。自然豊かな磐田であって欲しい。(女,30歳代,見付地区)
- ・一定以上の面積の施設や工場などには芝生や樹木など緑地帯を義務付けるなど希望します。(女,50歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・大きなまちでなくて良い住みやすいまちだねと言われるような方向に成長して欲しい。旧町村の良い面をもっと活用していけば、緑豊かなまちになるのでは。(女,60歳代,豊岡地区)
- ・今残っている自然・緑を減らすのはやめて欲しい。(女,40歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・自然あふれる人々の生活に優しいまちとなることを期待する。(女,40歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・自然を残し、公園を作って欲しい。(男,60歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・他のまちと比べ磐田市はきれいだと思う。緑の多いまちづくりは継続してほしい。(女,30歳代,竜洋地区)
- ・夏場、子供が安全に水遊びをできる公園があると良い。ガーデンパークのような。(女,30歳代,豊田地区)
- ・「松」を剪定して欲しい。保存が優先され、伸び過ぎて形が悪くなっている木がある。(女,30歳代,豊田地区)
- ・公園があって、緑豊かな美しい街並みであったら、皆このまちに住みたいと思う。(女,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・水と緑をテーマに、今之浦川、久保川、大池等に親水公園を作り、花見水遊び魚釣等一年を通して自然と楽しめる市民の憩いの場としたい。(男,60歳代,中泉地区)
- ・子どもが安心して遊ぶ事が出来る公園作り。(男,30歳代,見付地区)
- ・公園整備。(女,30歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・子供が外で安全・安心して遊べるまちづくりをして欲しい。(男,30歳代,中泉地区)
- ・市の北部に住んでいるが、農地はたくさんあるが、散歩したり子供が遊ぶ公園がない。(女,60歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・大きな公園だけでなく、小さい公園が何ヶ所かあると嬉しい。(女,30歳代,豊岡地区)

- ・子供たちが楽しく遊べる公園が各地区にあって欲しい。犬の散歩も出来るような広場。同じ地区にいても、知らない人たちがいたりするための交流の場所になると思う。(女,20歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・自然を生かした公園がもっとほしい。(女,50歳代,中泉地区)
- ・子供と目一杯遊べる(広場・大型遊具がある)公園が欲しい。(女,30歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・公園などはキレイで、増えてきているのは嬉しい。(女,20歳代,中泉地区)

(5) 住生活の向上

- ・マンションのような市営住宅なら地震で古家の自宅が壊れたら、入りたい。(男,見付地区)
- ・温故知新。古くから根付いている物と対極する近代物が同時に存在する飽きない面白い場所。ベルギーの街並みのような意外な所。(女,40歳代,見付地区)
- ・住みやすいまち。(女,30歳代,豊田地区)
- ・代々住み続けたいまちであってほしい。(女,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・住宅地がある程度分散するような施策を行ってほしい。(男,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・磐田市は住環境も良いため、今後もこの状態を保持しつつ、活力あるまちづくりを推進して欲しい。(男,60歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・税金は納めているのに余り生活に変わりがなく、お金が市の中心部などに集中しているような気がする。家が田舎で街灯も少なく、暗くなって帰ってくる子供が心配でならない。もう少し郊外にも目を向けて欲しい。(女,40歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・城之崎在住だが郵便局が遠い。(女,70歳以上,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・誰もが安心して暮らせるまちづくりを希望する。「危険な所」は改善すべきだと思う。(女,20歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・磐田市東大久保団地は大きな住宅団地となったが、開発前には立派な桜並木があった。(男,70歳以上,岩田・大藤・向笠地区)
- ・箱物は一度作ったら100年単位で壊さない。補修・改修等を実施し長期間使用すること。(男,60歳代,中泉地区)

(6) 美しい街並みづくり

- ・景観を壊すような建物が増えた。(男,30歳代,豊岡地区)
- ・道路整備があまり良くない。景観を意識した緑・花などを整備して欲しい。(女,50歳代,豊田地区)
- ・磐田市は、きれいで住みやすいまちだと思われるようになったら良い。若い人達が住みたいと願う、美しいまちをつくって欲しい。(女,40歳代,中泉地区)
- ・旧見付学校を中心とした宿場町らしい景観(街並み)をつくる。(女,40歳代,見付地区)
- ・美化パトロールを、月に3回程度実施する。(男,60歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・家の前の横断歩道の横断旗入れが30年前は黄色できれいだった。今ではサビで汚れている。回収して欲しい。横断旗もない。中部幼稚園の北です。(女,50歳代,中泉地区)

(7) 公共交通機関の利用促進

- ・自主運行バスの乗客数はわずか。無駄だ。他の方法を考えるべき。(女,70歳以上,中泉地区)
- ・県外から引越して来たのでもう少し公共交通を発達させた方がいいと思う。(車がないと生活するのが不便)。(男,30歳代,竜洋地区)
- ・事業所の通勤方法をバスなどに切り替えることは可能か?(男,40歳代,中泉地区)
- ・日常生活に必要な買い物が便利になるよう、民間の交通事業者だけでなく、市も積極的に考えて欲しい。車に乗らなくなった時の事を考える不安。(女,60歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)

- ・公共交通を更に充実させて欲しい。将来は、自然豊かで住みよく、学習、運動に取り組める仕組みが充実して市民が健やかに育つ市になってほしいです。（女,20歳代,竜洋地区）
- ・遠鉄バスのバス停ロケーションシステムを作るべき。（男,30歳代,見付地区）
- ・バスターミナルの見直し。（男,60歳代,見付地区）
- ・自主運行バスは、病院までの移動手段として利用されているが、当地区には市総合病院へのルートがないので、ルートを検討して欲しい。（男,40歳代,豊岡地区）
- ・民間交通機関と連携した各方面へのアクセスの充実。（女,40歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区）
- ・今後も高齢者が増加するため、交通の便を良くして欲しい（車の運転ができなくなるので）。（女,50歳代,今之浦地区）
- ・老人の移動手段の確保を真剣に考えて欲しい。老人だけの問題ではなく車の使用率の減少にもつながると思う。（女,70歳以上,竜洋地区）

(8) 地域情報化の推進

- ・自治会の回覧板などに載せて欲しい。（男,40歳代,豊田地区） 2-8-1
- ・地産地消で、地元のものをもっと使っていただけるように広報でPRしてもらいたい。（女,30歳代,見付地区）
- ・住民が持てる力を出し合い、お互い協力して住みよい地域にしていけたら良いと思います。（女,50歳代,福田地区）
- ・誰もが安心して生活を送れるまちになって欲しいです。（女,40歳代,見付地区）
- ・磐田市はこれが売り！と言うものを1つでも作って欲しい。私は「安全なまち」が良いと思います。全国で一番安全なまちといわれてみたくはないですか。（男,20歳代,見付地区）
- ・磐田市の将来像を考えて住みよい地域を考えて欲しい。合併して良かったと思えるように。旧市町村の垣根をこえて市民一丸となった地域づくりを切望する。（女,60歳代,豊岡地区）
- ・子供から高齢者まで、元気で明るく生活できるように、地域力を強化して欲しい。各地区によって個性があるので画一化することは難しいと思う。自治会・PTAなど各地区で情報交換していけたらよいと思う。身近なことから参加して市全体が明るく元気な住みやすいまちになったらいい。（女,40歳代,見付地区）
- ・市会議員の活動内容がはっきりしない。客観的に判断できるような、材料が欲しい。名古屋市長の発言を聞いているかぎり、大幅な改革が是非必要である。行政側からの観察状況を是非知りたい。市民には全く知らされていない。（男,70歳以上,豊田地区） 2-8-2
- ・質問と異なるが、市民意識調査は必要だと思うが、経費を掛け過ぎている。ホームページの活用等やり様はあると思う。（男,30歳代,天竜・長野・於保地区）
- ・自分の家族（親）と住んでいて（両親は健在）、浜松に勤めているため、ほとんど市政については分からず、親まかせになってしまっているのが現状。しかし、同報無線（火事や気象状況はもちろん、お年寄り、迷子など）は、本当に便利だと思う。（女,40歳代,竜洋地区）
- ・公共施設においてマイパソコンに電源供給するサービス。（男,60歳代,竜洋地区）
- ・同報無線のスピーカーが響きすぎて何をいっているのか良く分からない。緊急時にはパニックになってしまうと思う。（男,70歳以上,福田地区）
- ・福祉サービスや公共施設を、広報いわた等で情報提供すると助かる人もいるのでは。（女,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区）
- ・市がやっていることを知る機会を提供して欲しい。市民意識調査をきっかけに、自ら情報を入力しようという気持ちになった。（女,20歳代,豊岡地区）
- ・同報無線の内容が聞き取れない。（女,70歳以上,天竜・長野・於保地区）
- ・他県での生活と比べて磐田市は色々な面で住みやすいと感じるので、もっとPRが必要だと思う。（女,60歳代,豊田地区）

- ・市役所にドクターマップについて確認したところ、「パソコンで調べてください」と言われ、家にはパソコンがなく、使い方も知らないため。「驚いた。転入前の市では各家庭に配布されていた。（女,50歳代,豊田地区）
- ・水道局より手紙が届き、市役所へ行ったら福田と言われ！？まだまだ知らない人がいる（多い）ので市からの手紙等は大きく「福田支所」と書いてほしいです。（女,50歳代,豊田地区）
- ・「広報いわた」「議会だより」等を廃止し、IT化（ホームページ・メール等）に移行して、資源の節約およびスピード化を望む。（男,60歳代,中泉地区）
- ・子供を産みたくても産めない人（不妊の人）に、情報提供などの援助を充実して欲しい。子どもで一杯の磐田市にしていきたい。（女,20歳代,竜洋地区）
- ・「合併して何が良くなったのかわからない」という声をよく聞く。合併の原点に戻って、何を省き何を進めていくか市民の声を元に進めて欲しい。（女,50歳代,天竜・長野・於保地区）
- ・市発信の情報が一般市民のところ十分に届いていない。関係者やサポーターの範囲に留まっているように感じられる。新しい参加者、協働者を増やすには、情報をもっとオープンに、広く、こまめに発信して欲しい。広報はもっと回数を多く。（男,60歳代,岩田・大藤・向笠地区）
- ・イベントの広報活動として、チラシを作成するが、同報無線を2~3回流した方が効果的だと思う。（男,見付地区）
- ・同報無線が聞き取りにくい。（男,50歳代,見付地区）
- ・同報無線がうまく聞き取れないので、緊急時の対応に遅れが生じてしまう可能性がある。（男,60歳代,竜洋地区）
- ・「市民のために」という気持ちを市職員から感じられないことがある。もっと市職員は市民の中で仕事の大変さを知ることによって日常業務に生きると思う。机上の考えだけでなく、足を使った情報が必要。（男,30歳代,見付地区）
- ・素晴らしい磐田市とするためには素晴らしい市民で構成されなければならない。（男,60歳代,福田地区）
- ・（市民の能力銀行を作る）市民の中には特殊な知識、技術、能力や趣味などを持っている人達を把握して必要とする会社、個人、団体への情報を提供する場所を作る。（男,60歳代,岩田・大藤・向笠地区）

3 .豊かな心を育み活躍できるまちづくり

(1) 子どもの教育の充実

- ・「おはよう、こんにちは、こんばんは」のあいさつで気持ちがほぐれる。見知らぬ人でも、小、中学生からでも、この声を聞くといいもの。(女,50歳代,豊田地区)
- ・福祉とか教育費などに予算を増やしてほしい。皆が安心してくらししていける磐田市になってほしい。(女,40歳代,豊田地区)
- ・教員の負担軽減のため、教員・事務員の増員をお願いしたい。(男,30歳代,豊田地区)
- ・子供がいきいき学べるように、学校のあり方を検討するとともに、教師の質的向上をお願いしたい。(男,50歳代,竜洋地区)
- ・体力を養い、学習で学力をつけて欲しいです。(女,60歳代,中泉地区)
- ・学校に道徳教育を。(女,50歳代,豊田地区)
- ・未来に生きる子どもたちを市の宝と考え、教育に対する先行投資に期待したい。(女,70歳以上,豊田地区)
- ・子どもの教育。自転車でぶつかってきたが、あやまりもせず、笑って逃げて行った。(女,70歳以上,天竜・長野・於保地区)
- ・学校教育で道徳等を強化してほしい。(男,60歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・きちんとした人間を育てていくことが重要。多種多様の価値観では様々なことがまとまりにくく、今後、倫理教育、道徳教育をきちんとしていくことが、まちづくりの礎になると思う。(女,40歳代,今之浦地区)
- ・小学校で英語教育が始まるにあたり、先生をサポートするために、地域の人材を活用する仕組みを取り入れて欲しい。(女,40歳代,見付地区)
- ・バランスの良い子どもの育成(女,60歳代,福田地区)
- ・保育園を増やしてほしい。(女,20歳代,中泉地区)
- ・未来をになう子どもは宝。教育環境の整備、予算のさらなる上積みを期待する。市の予算で、児童がジュビロ磐田の試合を見に行っているが直ぐに中止し、その予算を学校施設の充実に当てて欲しい。(女,40歳代,豊岡地区)
- ・保育園不足は目に余る。(男,70歳以上,天竜・長野・於保地区)
- ・子育て支援センターの充実、保育所整備、予防接種の助成金等期待する。(女,30歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・小学校のトイレ等、設備を更新すべき。(男,60歳代,見付地区)
- ・北幼稚園の整備をお願いしたい。マンモス幼稚園の割に、園舎は老朽化し、更に3歳児は小学校の空き教室を利用している。駐車場が少なく、富士見小学区からの通園者が多いので、近隣の方々に迷惑をかけている。(女,30歳代,見付地区)
- ・学校の芝生化は必要ないと思う。(男,20歳代,今之浦地区)
- ・一部地域における人口増により、学区内の幼稚園に通えない子供たちがいる。幼い子供にとって新しい環境(場所・人々)に慣れることはとても大変であるため、地元の幼稚園に通園できるよう対策して欲しい。(女,30歳代,中泉地区)
- ・小さな子供がいても安心して働く事が出来るように、保育園整備を推進して欲しい。(女,30歳代,天竜・長野・於保地区)

(2) 健全な青少年育成

- ・教育に関してはこれからの人づくりに投資すべき。(男,40歳代,竜洋地区)

(3) 学習機会の充実

- ・磐田検定（男,30 歳代,見付地区）
- ・小学生対象の「子供チャレンジ教室」が財政難で廃止されたのが残念。その他の事業に削減すべきものがあるはず。子どもに幅広い体験させるための講座は続けて欲しい。再開を期待する。（男,30 歳代,天竜・長野・於保地区）
- ・食育（男,30 歳代,豊田地区）
- ・子どもの数が減り、近所の子ども同士で遊ぶことがなくなった。遊びから学ぶことはたくさんあると思う。小学校の低学年のうちには学校で放課後遊ばせて（先生監視の下、一緒に遊ぶ）欲しい。学童保育の見直し。（女,40 歳代,中泉地区）
- ・会社員が参加しやすい夜間のカルチャー教室等を増やして欲しい。田舎の人も利用しやすくして欲しい。（女,20 歳代,豊岡地区）
- ・図書館を充実させてほしい。（女,30 歳代,豊田地区）
- ・図書館のあり方や設備の見直し。インターネットサービスが本当に必要なのか等。（男,30 歳代,見付地区）

(4) 文化の振興と歴史遺産の整備、活用（文化振興）

- ・屋外音楽フェスの開催（女,30 歳代,中泉地区）
- ・文化活動を通し、人付き合いの上手な人間に育ててほしい。（女,60 歳代,中泉地区）
- ・磐田市出身の著名人も多いので、文化芸術的活動に力を入れるのも必要かなと思う。（女,30 歳代,豊岡地区）
- ・地の利に恵まれた所。名所・旧跡が各地にあるが、風化させないような取り組みを。（女,60 歳代,見付地区）
- ・文化的なまちづくり。（女,50 歳代,竜洋地区）

(5) 文化の振興と歴史遺産の整備、活用（歴史遺産）

- ・若い人が減り、お祭り等が年々寂れてきている。ひとつ特長を打ち出し、盛り上げていってはどうか。（女,60 歳代,見付地区）
- ・国分寺をあのままにしておくのは、もったいない。（男,30 歳代,豊田地区）
- ・国分寺の再建を夢んでいる。（女,50 歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区）
- ・企業を誘致し、工業を盛んにしても自治体として尊敬されない。過去の文化的遺産も大切にしながら、新しい文化を創るべく、そのシーズの掘り起こしに傾注し、事業化すべき。国際的に類を見ないシーズ、国際的であるシーズを秘めた文化の発信基地たるべき。そうすれば世界から人が集まってくる。（男,60 歳代,豊岡地区）
- ・国分寺、旧見付学校等、全国に誇れる財産を持ちながらその価値を住民があまり意識していないと思う。CG 等により当時の様子を、子ども達に伝えてはどうか。（女,50 歳代,見付地区）
- ・歴史をもっと楽しく学べる工夫が欲しい。歴史上の人物や戦いとの関係。史跡の発掘。（男,60 歳代,豊田地区）
- ・磐田市のシンボルとして国分寺を再建させる。（男,60 歳代,天竜・長野・於保地区）
- ・自然環境と文化歴史を大切にしてほしい。（女,20 歳代,中泉地区）

(6) スポーツの振興

- ・スポーツを通じ、人付き合いの上手な人間に育ててほしい。（女,60 歳代,中泉地区）
- ・ジュピロ磐田のホームタウンであることを PR し、総合型スポーツクラブの創設などを進めて欲しい。スポーツを通して幸せな人生を考える人が増え、磐田が活性化することを願う。（男,30 歳代,岩田・大藤・向笠地区）
- ・企業におんぶにだっこみたいなことはしない方がいい。市役所がジュピロ、ジュピロと言わないで欲しい。野球、バスケット、水泳、卓球等に頑張っている子ども達がいるでしょ。（男,40 歳代,福田地区）

- ・遠州大名行列は、いつも同じで飽きている人が多い。3年に1度くらいがよい。(女,50歳代,見付地区)
- ・世界的に有名なバイクメーカーがあるので、企業等と連携し、磐田市出身のMOTO GPのワールドチャンピオンを輩出できるようにして欲しい。(男,20歳代,豊田地区)
- ・地域によってスポーツ施設等の整備状況に格差が生じているように感じる。例えば、天竜川サイクリングロード、グラウンド照明や整備、多目的グラウンドはひどい。(男,40歳代,豊岡地区)
- ・皆で運動できる公共施設があると良い。例として浜松の四ツ池公園、山形県甲府の小瀬スポーツ公園など。(女,60歳代,中泉地区)
- ・市民プールを設置して欲しい。かぶと塚にスポーツ施設を集中的に配置して欲しい。(女,40歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・子供から老人まで一緒に出来るスポーツ、遊び等を考えて欲しい。(男,60歳代,福田地区)
- ・スポーツの全国大会の誘致。(女,30歳代,中泉地区)
- ・体育館、公民館の利用者として、職員は使う人の気持ちになって利用しやすさを考えて欲しい。(女,50歳代,見付地区)

(7) 多文化共生と国際交流の推進

- ・外国人市民と地域自治会等コミュニケーションが良くとれて楽しく生活出来、共生社会推進活動が重要だと思う。外国人市民リーダーの育成が重要。(男,60歳代,見付地区)
- ・国際交流協会の活動等を理解し、楽しく住める磐田市の発展を願う。(男,60歳代,見付地区)
- ・外国人のマナーが悪い。コンビニや公園に夜遅くまで集まっているので怖い。生活・文化の違いが在るのは分かるが、市としてしっかり対応をして欲しい。(女,20歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・結婚しない若者が増えているので、市でも出会いの場を提供し、結婚する人を増やさなければ子供の数も増えない。結婚相談もやっているみたいですが、気楽に参加できるもの考えたほうがいい。(女,30歳代,天竜・長野・於保地区)

(8) 男女共同参画の推進

(意見なし)

4 安全・安心なまちづくり

(1) 地域防災対策・体制の強化

- ・三連動地震を想定した津波対策は。(男,70歳以上,豊田地区)
- ・「地震に強い地域に人を住ませ、弱い地域で農業をする」そんなまちづくりが出来たら安心を感じる。市民の生命・財産を守ることが、まちづくりの基本では。(女,60歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・防災が充実し、市民が安心して暮らせる場所が一番大事だと思う。(男,20歳代,豊田地区)
- ・万が一、災害等がおきた時、地域のたすけ合い運動。(男,60歳代,見付地区)
- ・地域防災訓練に参加したとき、アミューズ豊田で市担当者から指導を受けたが、訓練と言えるものではなかった。市行政の防災意識はどうなっているのか、非常に不安を感じる。(男,50歳代,豊田地区)
- ・避難場所の耐震化は全部済んでいるのか?(女,30歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・地域の自主防に入っている。防災活動は災害にあってからの対策ではなく、文字通り防ぐ方策が第一である。地域にたくさんあるブロック塀、石塀への安全対策を強く進めるべき。(男,70歳以上,見付地区)

(2) 地域防犯体制の強化

- ・夜間、屋外を歩いていると暗いと感じる。街灯が必要。(男,30歳代,見付地区)
- ・今後、犯罪等の治安悪化が心配。(男,40歳代,中泉地区)
- ・安心して住めるまちづくりを。(男,60歳代,豊田地区)
- ・安全で安心して暮らせるまち。(男,60歳代,見付地区)
- ・子どもや高齢者が安心して、生活できる、まちづくりを。(女,50歳代,見付地区)
- ・防犯対策を強化して欲しい。(女,20歳代,福田地区)
- ・安全・安心なまちづくり。(男,30歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・見た目の派手さは何もいらぬ。田舎らしく安全で落ち着いたまちであればいい。外見より中身が重要だと思う。私は安全、安心な磐田市が好き。(女,30歳代)
- ・実家の近くで空巣が多い。安心できるまちづくりをお願いしたい。(女,20歳代,竜洋地区)
- ・防犯が充実し、市民が安心して暮らせる場所が一番大事。(男,20歳代,豊田地区)
- ・まちが暗いので街灯を少し増やしてほしい。(女,30歳代,竜洋地区)
- ・田畑が多いからか電灯が少ないように感じる。学校周辺は明るい方が安心できると思う。(女,30歳代,見付地区)
- ・市民も積極的に参加できる防犯体制を確立してほしい。(男,30歳代,福田地区)
- ・田畑は暗く、夜は怖い。(女,30歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・事故や事件をゼロにするのを目標に、地域が取り組むような仕組みをつくる。(男,30歳代,見付地区)
- ・病院に勤務しているが、一人暮らしであるため、家へ帰っても不安。家族がいても仕事に行っている間どうしようかと思っている人はたくさんいる。(女,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)

(3) 交通安全対策の充実

- ・バーンヴィレッジの交差点に設置された歩行者用信号機が見えづらい。(女,40歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・交通安全施設(街灯、横断歩道、信号等)を設置して欲しい。(男,70歳以上,豊岡地区)
- ・駅前スクランブル交差点は不要。(女,30歳代,中泉地区)
- ・カーブミラーが汚れて見にくい。(女,60歳代,福田地区)

- ・街灯整備を進めて欲しい。区画整理に伴って人口が急増している地区の交通安全対策が遅れていないか。(女,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・マラソン大会等を公道でやるな。(男,30歳代,豊田地区)
- ・車社会、お互い譲り合い,ありがたいが実現していない。(男,60歳代,豊岡地区)

(4) 消防・救急体制の充実

- ・大災害に対応できる特殊な消防組織が欲しい。(男,30歳代,豊田地区)

(5) 治山・治水対策の充実

- ・異常気象における集中豪雨により、天竜川・太田川等の堤防が決壊する可能性があると思う。早急に決壊しない堤防を構築する計画に着手してはどうか。(男,60歳代,見付地区)
- ・治山・治水・ライフラインの充実をお願いするとともに安全・安心して暮らしていける磐田市を希望します。(男,50歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)

(6) 消費生活対策の充実

- ・市の活性化は、消費者にどこで消費してもらうかが重要であるが、磐田市の場合それが散り散りになっている。(男,30歳代,中泉地区)

5 やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり

(1) 地域福祉システムの充実

- ・福祉の充実には経費が掛かり大変だが、まずは市民と語り合い、積極的に実行して欲しい。
（男,60歳代,見付地区）
- ・福祉サービスを特に充実させてほしい。（男,40歳代,豊田地区）
- ・高齢者や障害者のために支所機能を充実させた方が良くと思う。各支所には地域に求められる独自の配置があってもいいのではないか。（男,40歳代,豊岡地区）
- ・自治会長、組長などの権限を拡大・強化し、地域力の強化を図るべきである。民生委員の制度を抜本見直し、コストをかけても強化すべき。（男,50歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区）
- ・老人ホームや施設など、リハビリ段階などに合った施設の充実。（男,30歳代,豊田地区）
- ・60才以上で、体力がある人などを交通指導や教育などに生かすことができる仕組みが欲しい。
（男,40歳代,福田地区）
- ・需要が多い介護の資格、取得するのを簡単にし、雇用を増やす。（女,50歳代,豊田地区）
- ・今ある物を有効に活かして使える、そんなリーダー育成が大事。毎朝の子供の登校のハタフリなど一生懸命やっている方をみると頭が下がります。（女,70歳以上,見付地区）
- ・ボランティアに参加してみたいが、どのようにするかわからない。（女,20歳代,天竜・長野・於保地区）
- ・福祉とか教育費など予算が少なくなっている所に予算を増やしてほしい。皆が安心していらしていける磐田市になってほしい。（女,40歳代,豊田地区）
- ・産業よりも福祉の充実が必要。磐田では産業に期待することは難しい。（女,40歳代,天竜・長野・於保地区）
- ・「力のある人、強い人、豊かな人」は、自力で未来を切り開いていくことができると思うが、「力のない人、病弱な人、貧しい人」が笑顔で暮らせるまちになるといいなあと思う。（女,50歳代,岩田・大藤・向笠地区）
- ・市職員が思いやりを持って欲しい。福祉の方でサービスをもっと持って欲しい。（男,40歳代,豊田地区）
- ・医療費の面で。（女,50歳代,見付地区）
- ・赤ちゃんから年寄りまで人が元気につながりをもって幸せに暮らせるまちづくり。人が元気なら活性化するのは・・・（女,50歳代,福田地区）

(2) 子育て環境の整備

- ・少子化にならないよう、産婦人科、保育園等を増やしてもらいたい。子どもを育てる為には、施設はもちろん、市での協力も必要だと思う。（女,30歳代,見付地区）
- ・子育て支援に力をいれ、現在住んでいる人はもちろん、市外の人が磐田市で子育てをしたいと思える環境づくりをして欲しい。（女,30歳代,岩田・大藤・向笠地区）
- ・子供に優しい、まちづくりをしてほしい。（男,30歳代,福田地区）
- ・職場がある浜松市と比較しても、子育て等の面でサービスは劣っているのが残念。（女,40歳代,豊田地区）
- ・子供達が成長した時、磐田に戻って子育てをしたいと思えるまちになると嬉しい。（女,30歳代,見付地区）
- ・子育て支援対策に力をいれてもらうのは当然のこと。（女,20歳代,天竜・長野・於保地区）
- ・子ども達と、地域社会との関わりが薄れている。常識の欠けた子供が多くなった。（男,30歳代,豊岡地区）
- ・子供を育てやすい環境を作っていくことが今後の将来につながると思う。その環境が整っていれば人口も増え、いずれ、財政も豊かになっていくと思います。（女,30歳代,豊岡地区）

- ・親子、家族、自分だけ良ければよいと言う世の中、これでは子供を生む人がいなくなると思う。
（男,60歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区）
- ・子供の医療費負担が大きい。子育て世代にとっては負担。（女,30歳代,見付地区）
- ・未来を担う子供達を自立した社会人として地域全体で育むこと。（女,50歳代,天竜・長野・於保地区）
- ・子供たちの笑い声が聞こえない地域に先はない。（男,50歳代,豊岡地区）
- ・磐田市は子育ての支援が充実している。今後も継続して欲しい。（男,40歳代,今之浦地区）
- ・子供たちにチャンス、きっかけを多く与えて欲しい。（男,40歳代,岩田・大藤・向笠地区）
- ・少子化対策に力を入れてほしい。安心して子供を産み育てる事ができる環境を整えるとともに、
（女,20歳代,竜洋地区）
- ・子ども達が思いやりを持てるようなまちづくりをして欲しい。（女,30歳代,豊田地区）
- ・核家族から大家族へ移行する事により、経済負担の軽減、公共交通機関の利用軽減（子が親を送迎など）、保育施設の利用軽減（増やさなくてよい）、子育ての充実、3世代の交流による人間関係の充実など昔ながらの良い所を取り戻し、地域が幅広い世代で活性化するよう、市が優遇措置を設けるなど、働きかけてはどうか。（男,40歳代,見付地区）
- ・子育て支援に力を入れる施策が充実すれば、市外から転入する人が増えると思う。（女,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区）
- ・共働き世帯が増えているので保育園の定員をもっと増やすべき。（男,40歳代,見付地区）
- ・どの事業から実施すべきか吟味し、迅速に事業を実施して欲しい。磐田市に愛着を感じ、今後も住み続けたいと思うからこそ、市政に期待する。（女,20歳代,中泉地区）
- ・社会的弱者を守る体制を整えてほしい（子供への虐待防止）。（女,20歳代,見付地区）
- ・小学校卒業するまで通院医療費助成を継続して欲しい。小学生はまだまだ病院に通うことが多く、経済的に医療費負担が大きく苦しい。（女,30歳代,今之浦地区）
- ・医療費は中学卒業まで無料にすべき。（男,50歳代,中泉地区）
- ・幼児だけでなく、小、中学生の医療費の助成もして欲しい。（女,30歳代,豊岡地区）
- ・子供が带状疱疹にかかり、薬代8,500円と診察代3割負担が重い。浜松なら500円、湖西なら無料なのにと感じた。病気の子を放っておく事になりかねない。（女,40歳代,竜洋地区）
- ・浜松では、中学生まで医療費負担が500円と聞いた。磐田は未就学児だけである。せめて中学生まで500円で済めば子育て中の家庭は助かる。（女,30歳代,豊田地区）
- ・子供の医療費負担の軽減。（女,30歳代,豊田地区）
- ・先日、ママ友で集まった時、「早く小学生も医療費500円にならないかな」と話が出た。「橋を渡ったところは500円なのに」とも。（女,30歳代,豊岡地区）
- ・市民生活とは関係ない部分にだけ予算配分されているように感じる。乳幼児、高齢者に対する支援はよく聞くが、小中学生くらい市で守って欲しい。（女,30歳代,豊田地区）

(3) 高齢者福祉の推進

- ・自分の周りにも高齢者が多く、今後は便利な生活が出来るように、外に出て行掛けることが楽しいと思う様になりたいし、なって欲しいと思う。（女,60歳代,竜洋地区）
- ・国から子育て手当が一律給付されているが、高齢者には、逆のことばかりが目立っているように感じる。今後も高齢化が進むため、お年寄りに優しい、住みやすいまちづくりをして欲しい。（女,40歳代,竜洋地区）
- ・長野県ではお年寄りの筋力づくり等の教室を推進している。病気の予防や生き甲斐づくりになり、更に、医療費減などメリットは大きいと思う。（女,50歳代,豊田地区）
- ・健康な体、豊かな心を作ることが大切だと思う。寿命が伸びても人のお世話になり生きるのでなく、健康でいる期間が伸びれば、医療費・介護費用が減り、私達の税も減るのではないだろうか。（女,60歳代,豊田地区）

- ・年をとっても健康で生き甲斐を持って過ごし、介護など受ける人になるべく少なくなるようにする。そのため、退職を迎えた人たちが、趣味を活かした講座に参加できるような機会と場所の提供。(女,50歳代,福田地区)
- ・高齢者が安心して暮らせる医療と福祉の整ったまちづくりをして欲しい。(女,60歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・収入の低い人達でも入れる老人ホーム施設を設置して欲しい。(男,60歳代,豊田地区)
- ・高齢者名簿を作り、詳細に家族構成、健康状態などを把握し、重度の障害にならないように、こまめに状況調査を実施している自治体があった。高齢者社会を迎えるにあたり、実施されたらどうか。(女,50歳代,福田地区)
- ・老人福祉施設を充実してほしい。(女,60歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・高齢者が安心して生活できる市営住宅の設置。(女,60歳代,豊田地区)
- ・元気な高齢者が福祉施設のお年寄りや一人暮らしのお年寄りの方々の話し相手になる。成人のボランティア活動を推進する。支えあいの社会を目指して欲しい。(女,50歳代,豊田地区)
- ・訪問調査を土日でも。パートなので暮らせない。(女,60歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・今以上に高齢者が増えていくことが予測される。もっと介護施設を増やしてほしい。(女,70歳以上,見付地区)
- ・社会的弱者を守る体制を整えてほしい。(高齢者への虐待防止)(女,20歳代,見付地区)
- ・安く介護施設を利用できることを望む。(男,50歳代,竜洋地区)
- ・高齢化が進み、医療、買い物等の不便さが気になる。(女,60歳代,竜洋地区)
- ・皆で声を掛け合い、明るいまちにしていきたい。民生委員は、独居老人宅を月1回程度は訪問して欲しい。(女,70歳以上,見付地区)
- ・高齢化社会が進んでいるので、福祉の充実したまちづくりを進め、高齢者に優しいまちづくりを目指して欲しい。(男,60歳代,福田地区)
- ・高齢化社会になるにあたり、老人が住みやすいまちづくりをしてほしい。(男,70歳以上,見付地区)
- ・年寄りに優しいまちづくりをしてほしい。(男,30歳代,福田地区)
- ・今後、自分が高齢者になった時、心配や不安のない暮らしが出来ればと思っている。(男,50歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・高齢者が地域の支援に支えられながら、明るく安心して生活できるようになって欲しい。(女,60歳代,中泉地区)
- ・後期高齢者にも支援をお願いしたい。(女,70歳以上,福田地区)
- ・年寄りが若い人に頼らず気軽に買い物に出かけたい。(女,50歳代,今之浦地区)
- ・高齢化社会に今から準備しないと、今後不安を感じる。個人でやるべきことはやり、行政でなければできないことを積極的に進めて欲しい。(男,40歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・老人が多くなるので、施設を増やすべき。(女,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・年を取ってからの事を考えると、少ない年金でも入所できる老人施設があれば、安心して暮らせると思う。(女,60歳代,見付地区)
- ・現在は、車の運転が出来ても、今後運転出来なくなるときが必ず来る。そうしたニーズに応え、病院、スーパー等を巡回するバスを整備して欲しい。(女,60歳代,見付地区)
- ・老人福祉の充実(女,60歳代,豊田地区)
- ・市で運営する総合スーパー等を運営して欲しい。(男,60歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・高齢者住まいの訪問看護を実現(救急車を呼ぶ前に)する事。(女,70歳以上,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・高齢者が安心して生活できるようにしてほしい。サービスはお金をかけなくてもできるものがあると思います。気くばりや思いやりの気持ちを持ちたい。(女,40歳代,竜洋地区)
- ・高齢女性が老人施設を増やして欲しいと言っていた。高齢の方々が安心して暮らせるようお願いしたい。(女,20歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・特養ホームの待機者ゼロを目指し、施設設置を検討して欲しい。(男,50歳代,中泉地区)

- ・地域に貢献してくれた高齢者が安心して暮らせる社会。(女,50歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・高齢化社会に福祉・医療の充実は欠かせない。安全・安心の磐田市であって欲しい。(女,60歳代,豊田地区)
- ・豊かな市民生活とは、高齢で働けなくなっても、安心して暮らせる社会ではないかと思う。(女,50歳代,福田地区)
- ・高齢者福祉に力をいれてもらうのは当然のこと。(女,20歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・高齢化が進んでいるのに、高齢者の課題解決に向けた真剣な取り組みが実施されていない。(男,60歳代,見付地区)
- ・誰もが年を取るため、将来の不安が少しでも解消されるよう福祉の充実を望む。(女,50歳代,竜洋地区)
- ・「高齢者が暮らしやすい」と全国に公言できるようになって欲しい。(女,50歳代,中泉地区)
- ・定年退職した方々の知識や力を有効活用できる場所を設置して欲しい。(女,50歳代,福田地区)

(4) 障害者福祉の推進

- ・障害者が地域の支援に支えられながら、明るく安心して生活できる磐田市になること願う。(女,60歳代,中泉地区)
- ・障害者を受け入れる磐田にしてほしい。(女,50歳代,福田地区)
- ・障害者に優しいまちは、誰もが暮らしやすいまちになると思う。(女,40歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・車椅子では出掛けにくい場所が多い。道路も車椅子で移動しやすく整備して欲しい。(男,40歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・福祉サービスはありえないほど充実していない。本人の気持ちになって親身に対応して欲しい。(女,30歳代,竜洋地区)
- ・障害者のための交通機関を充実して欲しい。(女,20歳代,豊岡地区)
- ・発達障害児に対する学校内での対応(専任教師配置、専用教室設置)を充実させて欲しい。(女,40歳代,豊田地区)
- ・特別支援学級の拠点校化の見直し等、市教育委員会の特別支援教育に対する方針が定まっていないように感じる。他市のように専門部署を設置し、先を見据えた対応をして欲しい。(男,30歳代,見付地区)
- ・障害者の給料が安いと思う。障害者が働ける会社を増やして欲しい。(女,40歳代,中泉地区)

(5) 健康づくりの推進

- ・日本一健康な市を目指して活動する。その結果、日本一国民健康保険料が安い市になる。(男,60歳代,見付地区)
- ・(梅、長藤、つつじ、港、他)地域の伝統ある祭りや今ある公園をウォーキングコースとして活用する。今後の公園について遊ぶ遊具の設置はしない大きな山(芝生)穴を掘る等自分が体を動かし遊べる様配慮する。(女,60歳代,福田地区)
- ・元気な老人を育成する事が保険料の削減につながる。(女,60歳代,福田地区)
- ・健康市民体操を考案する。(女,60歳代,福田地区)
- ・健康診断を増やしてほしい。(女,30歳代,豊田地区)

(6) 地域医療体制の充実

- ・子宮頸がんの予防接種や子供に関わることを行なってほしい。(男,40歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・子どもの予防接種の公費負担など、必要な事は早急に実施して欲しい。(女,20歳代,竜洋地区)
- ・医療、食生活、運動等、健康予防にもっと力を入れるべき。(男,60歳代,豊田地区)

- ・子宮頸がんの予防接種は、女の子にとって必要だと思う。早急に市負担で実施して欲しい。(女,30歳代,豊田地区)
- ・不妊治療はお金が掛かるため、積極的に支援して欲しい。(女,20歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・病院が遠い、駅に近いと楽だと思う。(女,20歳代,豊田地区)
- ・専門病院の充実。(女,60歳代,豊田地区)
- ・磐田病院は急性期病院となり、在宅(癌の末期や寝たきりの人)を進めている。しかし、現実的に在宅を希望しても、サポート体制が確立されていない。訪問看護や往診する医者を増やして欲しい。開業医に受け持ち区域を設定する等の働きかけをして欲しい。(女,30歳代,今之浦地区)
- ・市総合病院があれば十分。(女,40歳代,豊田地区)
- ・産婦人科を増やすか、産婦人科の医師の数を増やして欲しい。市総合病院は、予約でも1~2時間待ちであるため、妊婦への負担が大きい。(女,20歳代,福田地区)
- ・安全・安心な出産が出来るよう、市総合病院の産婦人科医を確保して欲しい。磐田市には主産できる場所がなさ過ぎる。不安。(女,40歳代,見付地区)
- ・市総合病院の待ち時間が長すぎる。(女,30歳代,豊田地区)
- ・市総合病院が遠い。(女,70歳以上,豊岡地区)
- ・市総合病院は、市民のものであって欲しい。(女,50歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・医師が土・日開業してくれたら助かる。(女,50歳代,見付地区)
- ・発達障害専門の診療を拡大して欲しい。(女,40歳代,豊田地区)
- ・病院利用者に対して、医師、看護師、介護などの人員不足が顕著。(男,40歳代,見付地区)
- ・医療を充実させて欲しい。(女,20歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・子供を授かっても出産できる病院がない。こんな不安や心配がなく安心して出産し子育てのできるまちになったら「磐田に住みたい」と考える人が増えるかもしれない。子供手当ては減っても、医師の確保をお願いしたい。(女,40歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・職場である浜松市と比較しても、医療サービスが劣っていると思う。(女,40歳代,豊田地区)
- ・安心して子供を産み、育てていける磐田市になって欲しい。そのためにも産科・小児科医療の充実が大切だと思う。(女,50歳代,見付地区)
- ・医療が充実し、市民が安心して暮らせる場所が一番大事だと思う。(男,20歳代,豊田地区)
- ・南部地区への医療設備の充実。(男,70歳以上,天竜・長野・於保地区)
- ・南部地区の医療体制を充実させて欲しい。(女,70歳以上,豊岡地区)
- ・個人開業医の休日(年末年始、ゴールデンウィーク、夏季等)が多すぎる。(女,50歳代,見付地区)
- ・子供が夜間救急に行っても、小児科医がいない。いつでも小児科医がいたら安心して暮らせると思う。(女,30歳代,中泉地区)
- ・高度救命救急センターをつくり、優秀なスタッフを育成し、また、医師を確保して欲しい。救える命を適確な処置で助けて欲しい。(女,30歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・南部地域に医療施設が設置されることは、大変嬉しい。(男,60歳代,天竜・長野・於保地区)

6 交流と活力のあるまちづくり

(1) 農林水産業の振興

- ・心配なのは、JA 遠州中央が農業後継者養成のノウハウを持たず、流通のみを業務としているため、市が中心となり 6 次産業の創出を検討して欲しい。職員を締め付けても、今後の発展は見込めない。「やってみなはれ」的に職員のやる気を高揚させて、市民サービスも良くなることを望む。(男,40 歳代,中泉地区)
- ・都市計画の中にも若者が働ける農地の活性化が必要だと思う。(男,70 歳以上,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・他市町村と比べて飛びぬけて豊かな暮らしになる必要はないと思う。しかし、バランスがとれた産業構造を構築して欲しい。特に、1 次産業の弱体化が懸念されるため、担い手育成が急務である。(男,20 歳代,竜洋地区)
- ・耕作放棄地が多過ぎる。有効活用策を検討すべき。(女,30 歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・農業、水産業を継続できるシステムを構築する。(男,30 歳代,豊田地区)
- ・高齢所帯による遊休農地の活用を進める。(男,60 歳代,豊田地区)
- ・散在する耕作放棄地の集団化を検討すべき。(男,60 歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・農業で働く意欲を向上させる施策を実施してほしい。(男,60 歳代,豊田地区)
- ・地産地消を進め、全国に磐田産の野菜や米等をアピールして欲しい。(女,30 歳代,竜洋地区)
- ・市総合病院へのバスから磐田市に広大な茶園があることを初めて知った。磐田茶を積極的に PR して欲しい。(女,70 歳以上,豊田地区)
- ・未利用地を畑として利用できるようにする。農地を増やす。子どもの教育、お年寄りの生きがいの場としても利用することができる。(女,30 歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・市の施設(本庁・支所等)で、地場産品を販売してはどうか。(女,50 歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・市内産の食材を使ったメニューなどが食べられる施設を磐田駅周辺に作る。(女,40 歳代,福田地区)
- ・地産地消の促進。(男,30 歳代,福田地区)

(2) 商業・サービス業の振興

- ・中小企業を活性化するために、商工会議所以外にも、企業どうしが連携や協力して、1 つ 1 つの企業が活発に活動していけるような団体を作って市で応援してほしいと感じます。(女,20 歳代,中泉地区)
- ・観光に注力し、磐田の良さを PR する。B 級グルメのハンバーグを全国に宣伝し、磐田を活性化したい。磐田の商店街を賑やかにする。(女,30 歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・磐田駅北口より市役所へと歩くと淋しいシャッター街。シャッターが一日数時間でも開き生活用品が簡単に購入できるにぎやかなまちを復活させたい。(女,70 歳以上,中泉地区)
- ・磐田駅北口のさみしさは、子供のころと比べ、どうにかならないかと思う。(女,50 歳代,中泉地区)
- ・磐田駅北口にグルメ通りを作る。例えば、ラーメン・ギョウザ・やきそば・お好み焼き・たこやきなどの、屋台・店などを出し、にぎやかな通りにする。(男,60 歳代,竜洋地区)
- ・大型店舗が増加し、消費者の利便性は増したが、昔からの小売店が消えていくことは残念に思っている。駅周辺地域の活性化は、以前からの課題だと思うのが、より支援体制を充実させてはどうか。(女,40 歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・磐田駅前にある店舗を入りやすい雰囲気にした方が良い。何のビルか分からない。(女,30 歳代,中泉地区)
- ・磐田駅前の「活気の無さ」を残念に思う。軽トラ市が定着することに期待している。(女,50 歳代,岩田・大藤・向笠地区)

- ・磐田駅北を整備しているが、まちの活性化を目指しているとは思えない。せっかく整備するのであれば、もっと活性化につながる形を見せて欲しい。(男,30歳代,中泉地区)
- ・磐田駅前を開発し買い物ができるようなまちにする。(男,70歳以上,天竜・長野・於保地区)
- ・磐田駅前の商店街にはガッカリです。どうにかならないのか。魅力のあるお店ならやっていけるのではと思う。(女,40歳代)
- ・弁当屋やそうざい屋、100円ショップ等、小さくてもいいので、誘客効果のある店舗があればと思う。駅周辺の店舗でポイントを貯めて、駅～ららぽーと、駅～病院のバス割引券等に換金できたら、関係者(バス会社、商業施設、駅周辺の店舗)それぞれにメリットがあるのでは。(男,30歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・地方自治体のあり方を、「民間の視点、市民感覚」で考えることが必要。このアンケートも30,000人を対象とすべき。中途半端にやるなら、やらないほうがよい。(女,30歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・磐田駅前に飲み屋が増えてきた。若い人を呼び込めるよう、シャッター通りに若い人でも出店し易い仕組みを作って欲しい。(男,30歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・磐田駅周辺は、シャッター通りになっているのはなぜか。(男,70歳以上,豊田地区)
- ・商業施設を利用促進して欲しい。(女,20歳代,竜洋地区)
- ・ららぽーと北側のホテル・温浴施設を早く着工して欲しいと。(女,30歳代,豊田地区)
- ・磐田市のジャスコを大型ショッピングセンターにすべき。(男,30歳代,見付地区)
- ・磐田市に60年住んでいるが、「おもしろ」を聞いた事がない。それよりもシラス、白ねぎはどうでしょう。昔から遠州地方にある遠州焼きもどうでしょう。B級グルメで有名になれば磐田も活気づくと思う。(男,50歳代,福田地区)
- ・家の近くにスーパーマーケットや病院が欲しい。(女,60歳代,福田地区)
- ・海岸沿いでリサイクルマーケットを開催したい。寺院でリサイクルマーケットを開きたい。公共の温浴施設が欲しい。(女,50歳代,豊田地区)
- ・収入を増やす点から考えて、革新的な産業を生み出すことが必要。失敗を積み重ねても、ポジティブにチャレンジすること。(男,30歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・新しい品種の野菜、果物など作り、産地化する。(男,60歳代,竜洋地区)
- ・磐田駅周辺の商店がなくなり、さびれた感じがする。まち並みを美しくするのではなく、暮らしに役立つ店が立地して欲しい。(女,70歳以上,天竜・長野・於保地区)
- ・市内の空き店舗が気になる。今も住みやすいし、好きなまちだが、見直すべきことを見直し、意見を出し合ったら、より良く変わっていきける気がする。(女,20歳代,福田地区)
- ・レジャー施設を誘致し、活発性のあるまちづくりを。(男,30歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・市南部にも大型ショッピングセンター・総合病院等を誘致し、住民の利便向上を考えて欲しい。(男,70歳以上,竜洋地区)
- ・郊外にスーパー(市街地に集中)がない。(女,60歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・アンテナショップを設置し、全国に磐田独自の農産物等を発信していくべき。(男,40歳代,今之浦地区)
- ・私は市街化調整区域に居住しており、老後を考えると、歩いて行けるショッピングセンターが近くにできると嬉しい。また、市街化調整区域から市街化区域に変更して欲しい。(女,50歳代,天竜・長野・於保地区)

(3) 工業・新産業の育成、振興

- ・安心、安全なまちづくりのためには、積極的な企業誘致が必要である。特に市長、議員は税収確保のため、市外・県外からの誘致をお願いしたい。(男,50歳代,福田地区)
- ・病院や企業、ショッピングセンターの誘致など、住みやすいまちと感じている。(女,30歳代,中泉地区)
- ・電気自動車、電気オートバイ、電池、モーターなどの工場を誘致し、磐田をEV産業の集積地とする。(男,60歳代,竜洋地区)

- ・企業（工場）誘致は、人口も増えて良いと思う。（女,50歳代,中泉地区）
- ・他県にはない海外ブランドなどの誘致。（男,20歳代,天竜・長野・於保地区）
- ・資源リサイクル企業（携帯電話、電化製品に含まれる希少鉱物を分別する等）の誘致。（男,60歳代,福田地区）
- ・産業振興。（男,60歳代,岩田・大藤・向笠地区）
- ・現在の産業構造にとらわれず、新しい磐田ブランドを開発していくことが必要。（男,50歳代,天竜・長野・於保地区）
- ・市の活性化のため、他県から訪れたいくなる「磐田市の顔」が欲しい。（女,50歳代,竜洋地区）
- ・ジュピロなどを利用した磐田市のブランド化。（男,50歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区）
- ・昔から目立たなく、地味でこれと言った特徴もない、活気も面白みもない平凡な市であると感じている。これが磐田市の特徴だというものがあれば、まちに愛着が生まれ、市民の一体感が出てくると思う。一時ジュピロを応援したが、尻つぼみのように感じる。市長のリーダーシップが肝心だと思う。（男,50歳代,中泉地区）
- ・ソルブレベコは、空中分解状態となっている。市の積極支援を切望する。（女,60歳代,福田地区）
- ・産業活動をしやすくし、まちづくりに既存企業の力を活かしていく。（男,30歳代,豊田地区）
- ・図書館において企業情報を提供したり、ビジネス支援等に取り組んでいるところがある。磐田市でも取り入れて欲しい。（女,20歳代,中泉地区）
- ・もっとジュピロ磐田のホームタウンであることをアピールしていけばいいと思う。また、地場製品等使ったいわたブランドをアピールして欲しい。（女,40歳代,見付地区）

(4) 観光・交流の振興

- ・マスコットキャラクターの作成。（男,30歳代,見付地区）
- ・民官連携し、共通のことに取り組む。（女,40歳代,中泉地区）
- ・磐田市と言えば「コレ！」というものがない。他市・他県に広めていける、シンボルがあってもいいと思う。住みやすいところではあるが、娯楽的な場所が少ない。ららぽーとが出来て、少し活気が出たと思う。（女,30歳代,中泉地区）
- ・磐田の強みをどんどんアピールすること。（女,30歳代,中泉地区）
- ・福田の花火大会でも、袋井の花火大会のようにたくさん花火をあげて欲しい。（女,50歳代,福田地区）
- ・人口増のため、新たな魅力づくりを進める。（男,60歳代,見付地区）
- ・県外・国外から訪れたいくなるまちにするためには、シンボル・魅力が必要。天竜川河口や鮫島周辺等空き地を活用するのも良いのではないか。（女,60歳代,見付地区）
- ・県外に出ると「ジュピロ磐田の磐田から来た」と説明する。ジュピロ磐田におんぶに抱っこ状態。B級グルメ等で磐田を全国的に有名にして欲しい。（女,60歳代,豊田地区）
- ・市の目玉がない。市民から大胆なPR方法や活性化アイデアを懸賞方式で募集したらどうか。（女,60歳代,天竜・長野・於保地区）
- ・磐田市の見所を生かしたまちづくりをして欲しい。観光地化して、市外・県外・国外から人を呼び込み、磐田市を盛り上げて欲しい。（女,20歳代,見付地区）
- ・磐田市の農産物、水産品などを生かして、B級グルメを開発する。生産者と消費者をより強く結びつけ、知名度アップを図ることが大切だと思う。（女,50歳代,豊岡地区）
- ・国分寺などを整備し、観光地として活用する。（男,30歳代,天竜・長野・於保地区）
- ・県中西部の市町村の中で磐田が一番地味で特徴がないまちだと思う。もっと明るく魅力のあるまちとして全国的に知名度が高く、自慢できるまちにして欲しい。（男,40歳代,竜洋地区）
- ・B級グルメ。（女,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区）
- ・PRすべきものがたくさんある。意識を高めて欲しい。（男,60歳代,豊田地区）

- ・トンボでは人は呼べないし、活性化も難しいと思う。全国区のジュピロ磐田に注力すべき。Jリーグ開幕時やジュピロ磐田が強かったときは、まちにも元気があった。(男,30歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・竜洋海洋公園の風車周辺を充実させれば、観光客も増加するのではないか。(女,30歳代,竜洋地区)
- ・軽四トラックをリフト付(荷台があるもの)にして、イベント等の看板PRに活用する。(男,50歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・プリンセス磐田とか藤娘のチラシを数年前に見たが、現代では若い男性の方がウケると思う。例えば名古屋とかは「イケメン武将」が市民から選ばれ評判良かったそうです。追っかけもあったとか。(女,50歳代,豊田地区)
- ・ジュピロ磐田をもっと盛り上げて欲しい。(女,20歳代,見付地区)
- ・磐田ゆかりのEXILEをイベントに呼べたら、磐田市に対する若い人の興味・愛着がアップすると思う。(女,20歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・もっとマスコミに情報提供し、まちを積極的にPRして欲しい。(女,50歳代,福田地区)
- ・市内の旧家の並ぶ町をエリア割りにして観光客を取り込んでいく。「マキの生垣」は、都会にはないもの。(男,50歳代,見付地区)
- ・心の温かい人が住んでいる磐田市が知られていないことが残念。心が疲れた人々が磐田へ来て、元気になれるようパワースポットがあったらと思う。(女,40歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・私は転勤族だが、磐田市は知らなくてもジュピロ磐田は誰でも知っている。ここから磐田市をアピールする方が効率的・効果的だと思う。(男,40歳代,見付地区)
- ・全国的な知名度が低い。ジュピロ磐田を利用した活性化策があるのではないか。もっと知恵を出して全国に磐田の名を広めて欲しい。(男,60歳代,豊田地区)
- ・歴史、史跡、特産品等、自慢できるものをいくつも持っている磐田市。人もやさしい。私は磐田に住んでいることを幸せに思う。自分のまちの特徴を上手に発信することが大切だと思う。(女,50歳代,福田地区)
- ・ジュピロ磐田を活かして、まちをアピールする。(男,30歳代,豊田地区)
- ・見付の宿場町を全国的にPRする。(女,40歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・豊かな自然と充実した公共施設を兼ね備えた全国へ自慢を発信できる磐田市。(男,40歳代,見付地区)
- ・磐田出身の芸能人(長澤まさみ、エグザイル)を、まちの広告塔として活用する。(女,60歳代,竜洋地区)
- ・他県・海外から観光客が訪れるようなまちにしていきたい。(男,30歳代,見付地区)
- ・サッカーのまちを積極的にアピールする。(男,20歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・磐田市の売り、歴史、文化、産業、農産物、漁業等、イベントを増やす。長澤まさみさんに観光大使に就任してもらい全国にPRする。(男,50歳代,豊田地区)
- ・磐田市に住むメリットをもっとアピールすべき。(男,30歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・見付学校、裸祭り、国分寺等の歴史資産が多くあることを、もっとPRしては。(男,30歳代,豊田地区)
- ・とても暮らしやすいまちだと思う。今後も住んでいきたい。魅力あるまちになって欲しい。ジュピロ磐田、ヤマハ、スズキ、メロン、しらすなど。もっともっとアピールする方法を考えたい。特にジュピロ磐田はもっともっと盛り上げていきたい。(女,30歳代,見付地区)
- ・遠州灘を開発して、観光スポットにできれば。(男,60歳代,福田地区)
- ・桶ヶ谷沼に「ビジターセンター」があり、竜洋に「昆虫公園」があるが全く連携していない。市の昆虫として「ベッコウトンボ」を定めたまちとしては、何かおかしいと思う。(男,60歳代,豊田地区)
- ・友人が来ても、観光する所がない。フラワーパークや花鳥園など、ゆっくり見れる場所があればと思う。(男,50歳代,見付地区)

- ・我故郷を盛り上げるため、ジュピロ磐田ともうひとつ全国的に有名なものを、大々的にPRしていききたい。(男,50歳代,豊田地区)
- ・行政はPR(広告料)を、「磐田ブランドの生産者」は販売を。市は自主財源の確保、生産者は売り上げ向上していく。(男,30歳代,天竜・長野・於保地区)

(5) 雇用環境の充実

- ・学生が卒業しても行き場(就職)がない状況を作らないでほしい。(女,20歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・雇用確保をもっと頑張ってほしい。(女,50歳代,福田地区)
- ・働き先、雇用について、情報の発信を。(男,30歳代,福田地区)
- ・県外に出た子供たちがリターンし、地元就職したい、又、できるまちになればと思う。(男,50歳代,竜洋地区)
- ・雇用対策に注力するのは当然のこと。(女,20歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・完全雇用の実現(女,20歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・市民の家計は厳しい。転職を考えても、市内に魅力ある転職先がない。就職のチャンス(魅力)のない自治体は生き残れないと思う。(男,20歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・大学卒の人に仕事を与えてください。生活が安定したら、子供が作れて親も子供も祖父母も皆が幸せに暮らせます。大学生活を職を探すのではなく勉強できる環境にしてください。(女,50歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・何をやるにも財源がなければ始まらない。雇用に力入れる(企業誘致)。(男,60歳代,竜洋地区)
- ・若者が希望を持って生活できる場所にすれば結婚する人たちも増え、安心して出産出来る環境にしたら明るい、元気な楽しい磐田市になっていくと思います。(女,60歳代,中泉地区)
- ・若者に雇用機会を与えて欲しい。事業所も利益追及だけでなく、従業員の正社員雇用を増やして欲しい。(女,60歳代,中泉地区)
- ・仕事がなくて困っている人のため、清掃等のアルバイトを増やすべきだと思う。(男,40歳代,中泉地区)
- ・教育職の雇用機会を充実して欲しい。正規雇用を増やして欲しい。(女,20歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・働き口の充実。磐田市の将来は、市民の安定した働き場所の確保からだと思う。気持ちの余裕が活力・気力につながっていく。(女,40歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・働けるのに働けない人もいる。(女,50歳代,豊田地区)
- ・子ども達が地元から離れて行くのではなく、大人になった時、磐田市に戻っていきたいと思えるまちにしていきたい。(女,30歳代,福田地区)
- ・高齢化社会と言われるが、若い人が少なく老人が多いまちでは先行き不安である。若い人がまちにいてくれるように、行政が率先して取り組んで欲しい。(女,50歳代,福田地区)
- ・雇用確保。(男,60歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・職種によって収入が違う社会。(女,60歳代,豊田地区)
- ・健康でいつまでも働ける、活力ある磐田。上から目線ではなく、市民の足になってほしい。弱者が安心して、心休まる市政をお願いしたい。(女,50歳代,豊田地区)

計画推進のために

(1) 市民の力を高める

- ・市を挙げて、何か1つの催し又は大会を実施できたらいいと思う。(女,60歳代,福田地区)
- ・磐田に住んで30年。心から磐田に住んで良かったと思うことがない。もっと心に響き、住みたくなるまち、感動するまちになるよう官民一体で考えたい。(女,60歳代,見付地区)
- ・市民の声を市政に反映できる仕組みを作って欲しい。(男,50歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・私は、パートをしながら、地区サロンのボランティアを月1回している。(女,50歳代,見付地区)
- ・まちづくりに対するQ.D.Cのプランが見えない。イメージプランを描きステップ展開をすることで、市民も理解し課題が明確になるのではないか。「まちづくりTPM」の活動を進めて欲しい。(女,50歳代,今之浦地区)
- ・市民が最低必要な行政サービス以外は、民間に任せていくべきである。議員報酬を日給制にすべき。(男,50歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・自分の家の事を自分でやるように、自分のまちのことは、市民がやる。行政のあり方と、住民のあり様を、再考すべき。(男,40歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・住み慣れていることが、市への無関心につながっていると思った。市政運営にあたって、歳出削減以上に、協働の視点を。(男,30歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・より多くの市民の生の声を聞いたほうがよい。子供や年齢別の希望を聞いたほうが良い。子供用のアンケートも必要でしょう。(次世代の意見も聞くべき)(女,40歳代,中泉地区)
- ・協働体制を作ること。(女,70歳以上,岩田・大藤・向笠地区)
- ・どんな仕事でも意識改革が重要である。(男,40歳代,見付地区)
- ・人任せではなく、自分にできる事があればやっていかななくてはと、今回のアンケートに回答しながら思った。(女,60歳代,見付地区)
- ・限られた財源の中で、高齢者・若者・市議会が共存できるまちづくりを、個々が考え実践し続けられる市になればと思う。(男,20歳代,福田地区)
- ・行政を市民がより理解できるよう、市民参画型で各分野のリーダー育成に取り組んで欲しい。(男,50歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・市政に市民の声を取り入れて欲しい。(男,20歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・多くの人が市に関わろうとする事が重要だと思う。(男,20歳代,豊田地区)
- ・市民が磐田市の今後について意識し、活動することが必要である。(女,20歳代,豊田地区)
- ・行政について考えたことはなかったが、今後は、自ら考えて行動していきたい。(女,60歳代,福田地区)
- ・職場に県外・市外出身の方が多く、磐田市は交通の便がいい、求人が比較的多い、人柄、住みやすいと、皆さん好意的である。(女,30歳代,豊田地区)
- ・中小企業の求人情報を市民に優先的に公開してほしい。(女,20歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・大人だけでなく、幼児から高校生等がたのしんで参加できるまちづくり。合併してから、広報も見にくくなるなど、マイナス面が目につく。(男,20歳代,福田地区)
- ・市民の理解・協力を得るためには、情報開示が必要。(男,60歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・市民に市政情報を積極的に伝えていくことが重要。(男,70歳以上,竜洋地区)
- ・磐田市に総合計画があることを知って、ホームページを見た。(男,50歳代,見付地区)
- ・このアンケート難しすぎる。(女,50歳代,中泉地区)
- ・公会堂等にアイデアポストを設置し、幅広く市民の声を集めていく。(女,50歳代,豊田地区)
- ・生活情報を得るための講習会(国民年金、就職状況説明会、退職後の手続きの仕方等)を開催して欲しい。(女,40歳代,中泉地区)
- ・このアンケートに約1時間かかった。アンケートの集計結果が、どのように活用され、効果を挙げていくのか全く見えないが、よりよいまちして欲しい。(女,30歳代,見付地区)

- ・市広報に載っている市長の話を興味深く読んでいる。わかり易い内容は、好感持てる。(女,50歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・市民意識調査に回答しようと思っても、市政情報を把握していない人には書きようがない。関連資料を同封しろとは言わないが、ホームページに掲載する努力は必要である。(男,40歳代,豊田地区)
- ・アンケートの設問は、複数項を1設問としているため、「どちらともいえない」と回答せざるを得ず、本当に有効な回答が得られるのか疑問である。(男,40歳代,豊田地区)
- ・市政情報は、市民に見えないことが多い。(女,50歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・発言力のある少数意見を尊重するのではなく、常に民意を広く集めることを意識して欲しい。(男,40歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・市民意識調査の内容を十分に理解できていないので、どう回答していいかわからなかった。(女,50歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・調査内容が難しく、回答に困った。(女,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)

(2) 地域の力を高める

- ・市長自ら、市の将来像を市民に語りかけ、協力願う場を多く持たれたらどうか。(男,60歳代,見付地区)
- ・磐田市民で良かったと思えるようなまちになると嬉しい。大きな社会に依存しない行政の仕組みができると、将来にわたって、住みやすいまちであり続けることができると思う。(男,50歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・自分のことをやってもらっていると実感できない。民間や、市民グループに任せられるものを増やして、行政の範囲を縮小して欲しい。(女,70歳以上,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・小学校の体育館を使用するのに、お金がいるのはなぜか。他県では無料使用ができる。(男,30歳代,豊岡地区)
- ・市民全体の意識改革をすべき。一人が社会の一員であることの自覚を持ち、他の人に迷惑をかけないことや、思いやりの気持ちを育てていく。(女,50歳代,豊田地区)
- ・市全体をよくすることに賛成。私が住んでいる地域は、年2・3回の草取りや側溝掃除を実施しているが、どこでも実施しているのか。市街地では見たことがない。出役の必要性は理解しているが、公平でないとおかしい。(男,60歳代,竜洋地区)
- ・利用されていない施設がある。(竜洋コミュニティセンター、福田支所)。(女,50歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・山林が開発されて工場が建設され、人口が増加した。それに伴い、元から住んでいた人との混住が多くなった。新旧住民に大きな隔りがあるように感じる。(男,30歳代,豊岡地区)
- ・転入から6年、この地域は住みにく過ぎる。その理由は、強制的に参加を求められる行事の多さである。(男,60歳代,豊岡地区)
- ・磐田市が好き。もっと将来像や夢を語り合える場を作って欲しい。(男,50歳代,福田地区)
- ・私が子供の頃より地域住民との交流が薄くなり、寂しさを感じている。人と人のつながりが復活することを願う。(女,20歳代,豊岡地区)
- ・若者、中年、老年が集って、色々なことを実行できるまちになることを願う。(女,70歳以上,豊田地区)
- ・魅力あるまちづくりは大切だが、自分の生活で精一杯。地域の集まりや行事の参加など、半分強制で負担が多過ぎる。(女,40歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・祭り、地域活動など、住みにくいとを感じる。ごみの分別、記名式等、次は浜松に引っ越そうと考える人が多くなっている。(男,30歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・何か役に立てる事があつたら、できる限り協力していくつもり。(女,50歳代,豊田地区)
- ・市民の大勢が参加したいようなイベントを行う。(男,70歳以上,天竜・長野・於保地区)
- ・市内で個人の趣味活動ができれば、人と人のコミュニケーションが増え、きずなが生まれ、まちが活性化すると思う。(男,50歳代,豊田地区)

- ・子ども、高齢者が元気であるようにしたい。子どもが屋外で遊び、交流が図られると良い。(男,40歳代,竜洋地区)
- ・市の上層部は、地域住民と密接な関係にある公民館の重要性を認識し、予算配分に配慮すべきと考える。(男,60歳代,中泉地区)
- ・合併したが、住民は、合併前の磐田、福田、竜洋、豊田、豊岡に誇りを持っていると思う。地域を重視して地域振興を図っていけば、地域住民の活力も湧いてくる気がする。(男,40歳代,福田地区)

(3) 行政の力を高める

- ・こんな長いアンケート迷惑、もっと短くして欲しい。(女,70歳以上,竜洋地区)
- ・市役所は市民生活の中で意識することはほとんどない。多くの方は、自力で生きていけるため色々な事をやる必要はない。今の磐田は十分にその基礎ができていると思う。真に支援が必要な弱者対策のみ実施し、あとは自己責任で生きていけばいい。(男,40歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・明るく笑顔で相談できる窓口にして欲しい。(女,70歳以上,見付地区)
- ・市長は末端まで足を運び、現実を理解すべきである。(男,60歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・市民に期待するのではなく、職員・行政にしっかりしてほしい。(女,60歳代,豊田地区)
- ・財政状況の厳しさは理解できるが、事業の見直し、予算の重点配分、重点投資を行い、組織の簡素化、職員の意識改革を行い、コスト意識を持って、業務を行ってほしい。(男,60歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・市からの配布物は、全戸配布を止めて、回覧にすることで、支出削減を図って欲しい。また、橋や道路の新設工事は、通行止めにしてやれば予算が少なくて済むのではないか。(男,60歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・市議会は何のための代表なのか。(男,60歳代,見付地区)
- ・議員定数削減。職員削減(繁忙期はアルバイト、パートで対応)(男,60歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・Q41は全項目を同時に進めていくことが必要。行政は民間に比べて無駄が多い。公務員はあらゆる職業の中で一番保守的で法律で守られているから、コスト意識がない。とにかく時代に合わせて、行政も活動すべし。収入がないなら、そのない収入の中で活動。市民として、新生磐田市になることを期待する。他の自治体から視察が来るくらいに。(男,40歳代,中泉地区)
- ・はっきり言って、市長が代わっても変化を感じることはない。市政はアイデア。おやじの会のように、思いの強さを期待する。県知事のような行動力を市長にも期待する。(女,50歳代,竜洋地区)
- ・一般家庭では、収入が少なくなれば食べる物を質素にし、高額商品を買控える。市も同様ならず。人件費、福祉などは仕方ないが、極力始末して暮らすのが当たり前。数年前の合併も扶養家族が増えただけで集約・統合の効果が見えない。市政は税金で運営されている。市民の収入が減れば税金も減っていく。税収減でもやりくりするのが普通。市民サービスの低下を伴うものであっても職員削減、議員定数削減、議員報酬見直を行うべきだ。(男,60歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・過度の行政サービスは不要。(男,70歳以上,福田地区)
- ・上下水道代金をクレジットで支払いできるように、検討して欲しい。(女,30歳代,豊田地区)
- ・同報無線から流れる広報いわたが聞き取れない。(女,60歳代,中泉地区)
- ・今迄以上に徹底して無駄を省くよう努力してください。(女,60歳代,竜洋地区)
- ・磐田市のカラーは何なのか。誰が市長になっても変化しないし、独自性もない。お役所仕事でしかない。ビジョンも未来も何も見えない。(男,50歳代,竜洋地区)
- ・行政も独自財源を確保する。現金給付しているものを少しずつ減額する。また、現金給付の一部を市の商品券で配布する。空き地を有料駐車場で貸し出す。(女,40歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)

- ・職員自身がムダと感じつつも、口に出せない現実もあるはず。(男,30歳代,福田地区)
- ・財政状況の厳しさを理由にし続けては、何も進まない。市長のトップセールスを期待したい。(女,50歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・ららぼーと内「ぼーと」は、必要ない。(女,50歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・今回の調査に50%以上の回答があったら驚きである。また、十分理解した上で回答している人は10%以下だと思う。時間と費用を掛けて実施するアンケート調査は、税金の無駄遣いと思えない。(女,70歳以上,見付地区)
- ・市民の考えを知りたい思いは理解できるが、今回の設問は多過ぎる。アンケートの作成、集計、分析の費用を考えると、今後の市政運営にしっかりと活用して欲しい。(男,50歳代,豊田地区)
- ・議員は市民のために真剣に考え、取り組んで欲しい。(女,60歳代,中泉地区)
- ・市町村合併の効果を実感できない。便利になったことより、融通が利かなくなり不便になったことの方が多く感じる。(男,40歳代,福田地区)
- ・さらなる行財政改革推進して欲しい。(男,70歳以上,竜洋地区)
- ・頭でばかり考えず、職員・議員が現場を体験すれば、無駄づかいが無くなるのでは?(男,40歳代,豊岡地区)
- ・市行政がやっていること、やりたいこと等、具体的に市民へ情報提供して欲しい。(女,70歳以上,中泉地区)
- ・中小企業が直面する厳しさを、職員が理解し、仕事をして欲しい。(男,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・市職員を1/3に削減する。(男,60歳代,豊岡地区)
- ・「広報いわた」の削減又は廃止。(男,60歳代,豊岡地区)
- ・市長の手腕に期待する。(女,60歳代,見付地区)
- ・合併後、地域要望等が実現しにくくなっている。市から自治会への依頼が多く、仕事の一部を犠牲にして対応するようなことを聞くことがある。(男,60歳代,竜洋地区)
- ・毎日安心して生活できる事が一番。市行政に期待する。(女,60歳代,豊岡地区)
- ・市民が気軽に公共施設を利用できる環境づくりが大切。市役所の平日時間延長窓口や天平のまちなど、平日・日祝日問わずに利用できるの便利である。公共施設の利用しやすい環境づくりが推進されることを期待する。(男,30歳代,見付地区)
- ・徹底した行財政改革の推進。(男,70歳以上,竜洋地区)
- ・職員削減。(女,50歳代,竜洋地区)
- ・磐田市の進むべき方向が見えてこない。(男,60歳代,中泉地区)
- ・合併後、税金(固定資産税)が高く、老後の生活に負担になりつつある。(女,60歳代,豊岡地区)
- ・地域間の格差是正、不平等による市政への不信の是正。(女,30歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・ムダを削減すべき。出先機関を空いている支所に集約し、出先の空き地を売却する。自主運行バスの運用や団体補助をすべて取り止める。改善ではなく徹底した削減をするべき。(女,50歳代,豊田地区)
- ・議員定数削減を検討すべき。市営駐車場等を見直すべき。(男,60歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・今回のアンケートに協力する人は、時間的・経済的に余裕のある市民だと思う。市民の多くが市行政に無関心で、日々生きていくのが精一杯である。アンケートに頼らず、市の職員一人一人に、自分のやりたいことを聞き、それを実行すること。誰もが今より暮らしやすい磐田市になる事を願っている。(男,20歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・助け合い、絆、匿名の善意、みんな知恵を結集してすばらしい市にしたい。
- ・自治会長に頼めば大丈夫という思い込みをしないで欲しい。(男,60歳代,見付地区)
- ・住所変更等、市の職員は仕事が遅い。(女,20歳代,福田地区)
- ・補助制度を減らしてはどうか。今回のような調査は必要だが、市民から寄せられる意見を無視することが多いと感じる。(男,50歳代,中泉地区)

- ・市のあり方を見直し、小さくてもランドデザインのしっかりしたまちづくりを。(男,60歳代,中泉地区)
- ・合併により、施設の一部しか使っていないものが生じているため、遊休施設の有効活用を検討して欲しい。(女,60歳代,竜洋地区)
- ・市の補助の廃止などにより、文化活動・公民館活動が少なくなった気がする。市民サービスは市民全体に平等に行き届くよう厳選して実施して欲しい。(女,60歳代,竜洋地区)
- ・市民の顔色ばかり伺うのではなく、長期的視野から施策を実施して欲しい。(男,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・職員のアイデアが市民全体に届くように頑張ってもらいたい。(男,30歳代,豊田地区)
- ・昨年、用事で市役所へ行った際、フロア職員の素早い案内に助けられた。(女,70歳以上,見付地区)
- ・市民生活の利便性を考慮した場合、土日祝日の窓口対応は欠かせない。そのための人件費は止むを得ないと思う。(男,20歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・磐田市の発展を期待する。(女,70歳以上,福田地区)
- ・大変な時こそ知恵を絞って考える良い機会だと思う。優先順位付けは賛成。(女,60歳代,竜洋地区)
- ・次回以降は、的を絞って調査を実施して欲しい。(男,70歳以上,今之浦地区)
- ・市民の生命・財産を守ることが最優先(収入に応じた体制と規模)。(男,60歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・行政改革。(男,60歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・市職員に積極的に活躍して欲しい。(女,50歳代,豊田地区)
- ・市職員・市民の意識改革により、前向きなまちづくりを進めたい。(男,60歳代,中泉地区)
- ・市民サービスの充実。(男,50歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・プライマリーバランスを考え、予算配分。(男,50歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・知恵を出し合って画期的な事を創出・実行し、他県、他市から見学者が来るような事業をやって欲しい。(女,60歳代,福田地区)
- ・質問内容が難しい。(女,70歳以上,岩田・大藤・向笠地区)
- ・市役所の民営化。仕事のシンプル化。(女,50歳代,豊田地区)
- ・住みよいまちづくりに向けて頑張ってもらいたい。(女,50歳代,福田地区)
- ・市民の声は、現場へ出掛けることが一番だと思う。今回のような意識調査は意味がない。(男,50歳代,見付地区)
- ・今回の意識調査は、目的のない質問ばかり。何の判断材料もない質問だらけである。(男,30歳代,福田地区)
- ・職員給与20%削減。(女,60歳代,豊岡地区)
- ・合併前の方が、財政や行政サービスが良かったという声を聞く。合併して良かったと思えるようになりたい(男,30歳代,豊岡地区)
- ・磐田市は浜松に近い便利な田舎として安心して暮らせる美しいまちにして欲しい。(男,40歳代,竜洋地区)
- ・住民の依頼に対応する「すぐやる課(係)」を設置して欲しい。(男,60歳代,福田地区)
- ・市職員の姿勢対応が余りにも古い。(男,60歳代,豊田地区)
- ・職員の感性・英知で歳出削減を図って欲しい。(男,70歳以上,竜洋地区)
- ・市が何に向かっているのか分からない。市議会だよりを読む人はいない。市長以下、市の職員は、誰でも分かる言葉で話して欲しい。(男,70歳以上,中泉地区)
- ・現場で民間の声をもっと聞くことが必要。(女,20歳代,豊田地区)
- ・議員数削減。議員報酬の日当制。市職員の給料削減。(男,60歳代,豊岡地区)
- ・意識調査の設問が分かりにくかった。(女,20歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・調査票の内容が多過ぎる。(男,20歳代,見付地区)
- ・市政のあり方について再検討すべきだと思う(女,40歳代,豊田地区)

- ・市政を含め、市民の関心がジュピロ磐田等に向き過ぎており、市民生活に平等が感じられない。自治会活動をニーズに合ったものに移行すべき。(女,50歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・豊島から上岡田に抜ける道路に、仮の橋を架けてその横に立派な橋が完成した。完成後には、仮の橋が壊された。便利ではあったが、無駄を感じた。近くの道路に迂回させるなどの方法ができたのではないかと思った。(男,60歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・無駄をなくす努力をしているので、将来よりよいまちになると期待している。(女,60歳代,見付地区)
- ・このような調査は、インターネット等で実施してはどうか。コスト削減。(女,30歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・磐田市のカラー(色)は何色なのか。緑、サックスブルー、を公用車に貼って、職員の仕事への意識を変える。(男,50歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・自主運行バスはいらなと思う。毎日見るが、乗車人数は多くても2人。磐田駅前の市営駐車場は空いているので、市の職員が借りて停めればよい。(女,50歳代,豊田地区)
- ・アンケートが多過ぎて疲れた。(女,50歳代,豊田地区)
- ・「入札制度の再考」最低価格表示はアンフェア(ブレーキをかけている)。ただ安く出来れば安全性は問題なしか。(女,60歳代,福田地区)
- ・医療費削減は相当の歳出削減効果があると思う。(女,60歳代,福田地区)
- ・合併後、組織コストは十分に削減できているのか。職員・議員・市長の給与・賞与・年次昇給・退職金・年金等、自らの肉を落とさないで市民に負担を求めるのは許されない。大胆なコスト削減のもと事業計画を立てることが必要である。職員一人一人が危機意識を持てる体制づくりが必要である。(男,40歳代,竜洋地区)
- ・市の施設などを民間委託されている事は経費節減になっていると思う。公共施設や天下り団体は整理されてるのか。(女,50歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・合併後は組織の合理化が相当進んだと思うが、さらなる合理化、選択と集中が必要だと思う。(男,50歳代,豊田地区)
- ・「税金」を使うものは、公共のものであるという意識を常に持って欲しい。議員報酬も税金で賄っているので、議員の仕事振りを第三者にチェックしてもらおう等、市職員だけではなく、議員給与を見直して欲しい。市民のために働けない議員には辞めて欲しい。
- ・市長・職員・議員全員が一丸となって、市民のことを考え、行動することを期待する。そうすれば、他市の住人に自慢できる市になると思う。(女,40歳代,福田地区)
- ・ガス工事・水道工事等、部署が違うのかもしれませんが、短期間に同一箇所を工事するのは無駄だと思う。(女,40歳代,竜洋地区)
- ・市の特産物や市のPR、企業の誘致にあたり、積極的にトップセールスを実施して欲しい。収入増への注力が、将来の磐田市にとって必要だと思う。(女,40歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・調査票の返信用封筒が小さい。もっと大きくして欲しい。(男,20歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・磐田のまちは駐車場代などがかかり、不便。建物の耐震や老朽化で壊すばかりで、必要なものでさえ造り変えない。交通機関も本数が少なく、交通手段の無い人にはイベントを企画しても参加できない悪循環があると思う。本庁で住民票を取りに行ったら、たらい回しにされたという話を聞いた。職員の縦割り意識が排除しきれていないことと、理解しようとしていないのでは。昼休みに手続きをしに行った時、留守番の人が昼寝して無視された。そういう所も役所の人間としてのおごりがあるのでは。(女,30歳代,豊岡地区)
- ・磐田市のゴミの分別は徹底されていて大変良いが、中には材質の違う物を分けるのに、とても力がいる。そういった物をそのまま捨ててよいか環境衛生課に問い合わせたところ、「御主人に分けてもらってください」と言われ、仕方なくそのようにした。環境問題も大切だが、市民に親切な市であってほしい。(女,40歳代,中泉地区)
- ・民間で出来る事は民間に任せて欲しい。(男,60歳代,天竜・長野・於保地区)

- ・財政が厳しい。市民意識調査は、今更ななんじゃないでしょうか。本当に助けて欲しい人にだけ支援して欲しい。（女,50歳代,岩田・大藤・向笠地区）
- ・敷居の低い市役所であれば意見や提案もたくさん集まると思う。（女,50歳代,見付地区）
- ・昼食時間は、多少の担当者を窓口に配置し、他の職員は、ゆっくり昼食を食べればよい。午後の勤務に備え、ゆとりを持って欲しい。（男,40歳代,見付地区）
- ・市の状況や財政等を市民に知ってもらうことが重要。そのためには、ホームページ、広報いわた等がもっと目に付きやすい状態にすることが必要。（男,50歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区）
- ・市民意識調査を電子化し、集計コストを削減して欲しい。また、実施方法を見直し、市役所・支所での実施とし、普段の利用が多い人や、意見の有る人が参加できるようにすべき。（男,20歳代,豊田地区）
- ・合理化のための職員削減は好ましくない。職員削減により窓口サービスが低下したら本末転倒である。やれることをじっくり考えて実行に移し、よりよい行政改革につながることを願う。（男,40歳代,福田地区）
- ・机の前に居る時間を最小限に、走り廻る事を心掛けて欲しい。気付いたことから、自分でやらなければ、誰もやらないと思い、動いて欲しい。（男,50歳代,豊岡地区）
- ・市の職員が磐田市民の生活を守り向上させるために、持っている力を十分発揮して公務に専念してほしい。アンケート結果は、市政に反映して欲しい。私たちは職員の仕事をよく見ている。（男,30歳代,見付地区）
- ・アンケートは、回答者の集中力が切れない程度のボリュームにしなければ、まともな回答を得られにくい。（女,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区）
- ・アンケートの内容があまりに多くわかりづらい。10年、20年後の磐田市のビジョンを明確にして欲しい。（女,30歳代,豊岡地区）
- ・中小企業に勤めているため、一寸先も闇の状態であり、できる事を必死で考え仕事をしている。それでも収入は減る一方で、正直自分の生活で精一杯。無駄なく効率的に行政運営して欲しい。（男,30歳代,福田地区）
- ・このようなアンケートは、細かくいろいろ声を吸い上げられるようでありながら、実際集計してみると、飛び抜けた意見が見える訳でもなく、とても平凡でつまらない結果になることが多いように感じる。市の職員自身が、生活者の視点で、日々観察に努めることが、活気があって、住みやすいまちづくりにつながると思う。（女,30歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区）
- ・アンケート3ページ以降、特にやりにくかった。意見を書く欄や記載オプションに自分の意見があてはまらない事が多く、困った。市の取り組みも知らない事が多かった。（女,30歳代,豊田地区）
- ・市役所は発想が悪く、頭が固すぎる。このアンケートがよい例だと思う。専門的な事を市民に聞くのは違うと思う。（女,30歳代,豊田地区）
- ・労力のいる、負担の大きいアンケートだった。設問を再検討して欲しい。生きている人を大切に行政を心からお願いしたい。（女,50歳代,岩田・大藤・向笠地区）
- ・職員削減が第一。1年～2年に行う様に。（男,70歳以上,竜洋地区）
- ・行政組織の合理化、議員定数の削減。もっと有能な市議が必要。（男,50歳代,福田地区）
- ・頑張っている職員も居ると思うが、余りにも暇を持て余しているような職員が目立つ。知識がないのか、ミスが多く、何度も役所に足を運ばなければならない。少数で優秀な職員の育成が急務。（女,50歳代,福田地区）
- ・市職員が地区の見本となり、市が良くなる事を望む。市職員の目に余る行動が多く見られる。（男,40歳代,天竜・長野・於保地区）
- ・間に合わない議員は辞めもらいたい。（男,40歳代,豊岡地区）
- ・市議会議員の削減。（男,60歳代,福田地区）
- ・市職員の日々の業務結果を測定する管理システムを構築する。人件費総額の中で成績に応じて給与に格差をつける。（男,30歳代,見付地区）

- ・若い職員は、言葉も丁寧で親切で好感が持てる。しかし、肩書きが付くと、だんだん横柄になる。退職する日まで、市民に仕える気持ちを忘れないで欲しい。(女,60歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・市職員の方にも、真剣に取り組んでいる人、そうでない人の温度差が激しい。(男,40歳代,豊田地区)
- ・優秀な職員の能力を引き出すよう、上司は指導して欲しい。爪を隠している職員がいると思う。(男,30歳代,見付地区)
- ・市職員は、もう少し明るくして欲しい。服装も派手な物は避けるべき。(男,60歳代,見付地区)
- ・限りある財政の中、より良いまちづくりを進めるため、議員や職員一人一人が情報を発信すべきだと思う。(男,40歳代,福田地区)
- ・市職員は、税金で給料をもらっているくせに、人間的な常識とか思いやりがなさすぎる。(女,20歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・公費で委嘱する各種委員には、しっかりと役割を理解して欲しい。理解できていない人がいる。(男,60歳代,見付地区)
- ・市税を無駄にしないで欲しい。(女,60歳代,見付地区)
- ・議員定数の削減(30→25)。市職員削減。(男,50歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・市職員の人材育成が必要、レベルが低く、もっと住民の目線で対応して欲しい。社会情勢が厳しい中、職員に世の中の厳しさが理解されているのか疑問。(男,50歳代,豊田地区)
- ・市民がまちを良くしたいという意識は必要。市職員は、意識の向上を図って欲しい。全員ではないが、「こいつ、仕事しているのか」と思う職員を見かける。(男,40歳代,中泉地区)
- ・市役所の電話対応が非常に悪かった。打ち合わせ中で忙しいと嫌々の対応。職員レベルが低い。(女,30歳代,竜洋地区)
- ・市役所にも50歳以上の職員が多くいるが、高い給料、ボーナスが与えられている。職場の活性化には若い職員が必要である。また、親子、夫婦で同じ市役所に勤めているが、これも良くない。考えるべき。(女,50歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・新聞で職員数1,000人体制と見たが、各部署の必要業務を洗い出し、課題を明確にし、解決方法を検討した上で、削減目標を設定するのではないか。(男,60歳代,豊田地区)
- ・税金の使い方や公共工事等の縦割り社会と言われた今迄の日本の在り方を、磐田市から見直すべき。日本の役人は公僕としてのプライドを持って欲しい。民間人と公人はもっと信じあえるはずだと思う。(男,50歳代,福田地区)
- ・税金は増やすのではなく減らす努力をしなければ増える一方。前例踏襲ではなく、必要性を再確認し、見直しを実行する。無駄な支出はまだまだ削減できるはず。(男,50歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・教育・医療に予算を使い、もっと充実させて欲しい。(女,40歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・パチンコ屋とタバコに磐田市特別税を追加する。(男,20歳代,竜洋地区)
- ・香りの博物館、新造形創造館等の収支はどうなっているのか。本当に必要な施設なのか。(女,50歳代,豊田地区)
- ・税負担やその他行政関係の支出が多い。(男,60歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・公務員を減らすことにより予算の減少。(男,30歳代,豊田地区)
- ・税金の無駄遣いをしないように。市民は、懸命に税金を納めている。明るく、元気な磐田市になって欲しい。(女,50歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・市税などの負担が思い。子どものいる家庭だけが潤っている。そうではない家庭はより苦しい生活になっている。こうした矛盾を市はどう考えているのか。(女,50歳代,豊田地区)
- ・公務員の収入は民間企業並みにすることが大事。(女,60歳代,豊田地区)
- ・子ども手当もいいが、給食費未納家庭には、その分を徴収しなければ、正直者が馬鹿をみる。(男,見付地区)
- ・磐田市でも事業仕分けを行い、税金を無駄なく有効に使って欲しい。(男,30歳代,福田地区)

- ・財源が重要。税収減の状況でも借金して事業実施するのは問題。国同様に無駄を省くことを第一に考え、優先順位を付けて、仕分けして欲しい。(男,60歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・今話題の子ども手当は、給食費、学校で使う物に使えないか。(女,70歳以上,福田地区)
- ・市民が活躍できる場所があると良いと思う。(女,50歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・市民に業務等を押し付けるのではなく、行政を拡大・充実し、商活動の活性化、教育の充実へと市民を誘導していくこと。(男,30歳代,豊田地区)
- ・無駄の徹底排除等により、財政の健全化を図り、借金による将来への負担は無くす。(男,60歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・子どもが楽しく豊かに暮らせるように、子ども関係の予算を増やして欲しい。(女,40歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・民間ではコスト削減は当然の如く実施している。市政も職員一人一人が意識・意見を持って、紙の削減・節電等を励行して欲しい。(男,30歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・税金が無駄に使われていると感じる。有意義に生かして欲しい。仕事にやる気力の無い職員はカットすべき。(女,50歳代,中泉地区)
- ・調査票に決算を載せているが、他市との比較で磐田市がどのような状況にあるか把握できない。財政を健全化し、無借金で市政運営すれば、磐田市に住んでいることを市民が誇りに思う。他市出身で、磐田市在住16年となったが、総合的に非常に良い市だと思う。(男,40歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・天竜川の水を使った飲料水の利用、ムダの排除。税金の無駄使い行政はどう感じているのか。(男,60歳代,竜洋地区)
- ・民間企業並の給与所得に抑える。(女,20歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・市職員の給与減額。(女,70歳以上,豊岡地区)
- ・市議会の日当制。(女,70歳以上,豊岡地区) 7-3-3
- ・民間が厳しい今、市も職員人件費を見直すべき。人員削減・給与減額等、決まりの中に漬かっていないで、思い切った削減をお願いしたい。また、補助金・助成金を見直しせば、市民も納得できる。小さくても健全な財政運営ができている市であって欲しい。(女,60歳代,竜洋地区)
- ・議員数の適正化、議員報酬の見直しを行う。(女,60歳代,豊田地区)
- ・厳しい財政状況であるが、市民の意見を参考に、しっかり見直して欲しい。(女,40歳代,豊田地区)
- ・実質公債費比率を低率で抑える(現在13.7%)。(男,50歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・税金は市民の血税。「福祉、福祉、補助」というたかり精神はいい加減にして欲しい。(女,50歳代,豊田地区)
- ・税金の使い方を見直して欲しい。(男,30歳代,豊田地区)
- ・各種団体への補助は、積極的に見直すべきである。(女,50歳代,福田地区)
- ・下水道代金が高い。(女,50歳代,見付地区)
- ・必要のない公共施設や無駄な道路工事に予算を使わないで欲しい。これ以上「ゆめりあ、天平のまち公の施設」など、利用者が少ない施設は増やさないで欲しい。(女,50歳代,見付地区)
- ・税入減となっており、民間で実施できる事は民間に移管し、徹底的なコスト削減を実施して欲しいと。(男,70歳以上,竜洋地区)
- ・産業の活性化のために、予算を前倒し、仕事量を増やし税収を伸ばし、早く景気がよくなることを期待する。(男,60歳代,竜洋地区)
- ・国・県・市は、働きの割りに人件費が高すぎる。(男,60歳代,竜洋地区)
- ・収入、人口等減少のシナリオも視野に入れ、市民サービスが低下することのないよう、長期的に安定した行政を願う。(男,60歳代,福田地区)
- ・借金をこれ以上増やさないで欲しい。(女,70歳以上,竜洋地区)
- ・現在の経済不況で市民生活は厳しい状態にある。市民生活を豊かにするための取り組みは大切であるが、無理な計画は避け、磐田市の良いところを活かした出来る範囲での活動に取り組んで欲しい。(男,30歳代,見付地区)

- ・市財政の厳しさは、広報等で理解した。皆で考え、努力が必要。少しの我慢はしかたないと思う。市役所はよく頑張っていると思う。(男,30歳代,中泉地区)
- ・市も建設業者も生きていける対策が必要。(女,60歳代,福田地区)
- ・住民税をもっと安く。(男,20歳代,竜洋地区)
- ・市民生活を考えた予算を。一部の人だけが利益を得るのは不公平だと思う。アンケート結果は公表して欲しい。次回の市民意識調査は、インターネットで実施して欲しい。(女,20歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・行政の仕事は、基本的に地味なものだと思う。道路や建物などは必要最低限の整備で良い。限られた財源を有効に活用して欲しい。(男,40歳代,中泉地区)
- ・税金は道路・建物だけに使わず、市民に還元して欲しい。(女,20歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・税金の使い道をよく考えて行政運営をして欲しい。庶民の視点で行政運営を。経費削減への取り組みを民間並みに実施すべき。(男,50歳代,中泉地区)
- ・市民生活に納税は必要だと理解している。しかし、無駄使いは止めて欲しいと思っている。(女,50歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・財源確保に対する考えはどうなっているのか。(女,40歳代,福田地区)
- ・今回のアンケートは、旧磐田市に偏った内容のように思える。豊岡地区には該当しないものも多い。同一市内で地域格差がしょうじないようにして欲しい。(男,50歳代,豊岡地区)
- ・合併5地域を公平にして下さい。人口の多い地域に偏りすぎている。(女,30歳代,竜洋地区)
- ・議員は、もっと進んで仕事してもらいたい。出来なければ、辞めて欲しい。豊岡を活気ある地域にして欲しい。(男,60歳代,豊岡地区)
- ・市長が代わり、市政への関心が高まった。市職員は現場に出て、地域の求めているものを知り、単発ではなく、長期的な施策を検討して欲しい。高齢化、道路の力強い活動方針を作ってほしい。(男,60歳代,竜洋地区)
- ・市民として公平な対応を受けるには、浜松市と磐田市で合併することが望ましい。出来れば遠州圏内をひとつの行政区とするのが良いと思う。(男,60歳代,豊田地区)
- ・5市町村で合併しているので、各地域の特長、自然、資源、産物を生かして、広い視野で、まちづくりをして欲しい。(女,40歳代,竜洋地区)
- ・民間は大変苦しんでいる。市職員は、そうした状況を踏まえ、業務に取り組んで欲しい。私達の納めた税金を無駄に使わないで欲しい。(女,60歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・合併前の磐田地域への施策が目立ち、豊岡・豊田・竜洋・福田に対する物が見えてこない。(女,50歳代,竜洋地区)
- ・磐田市全域が同じレベルで発展する事を望む。(女,50歳代,豊岡地区)
- ・市の中心部ばかりでなく、竜洋・福田など周辺地域にも目をむけて欲しい。(男,50歳代,竜洋地区)
- ・プライマリーバランスを健全に保ち、将来に負担をつけ回すことがないようにする。(男,50歳代,中泉地区)
- ・近隣市町との競争意識を持って欲しい。(男,30歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・地方では何も出来ない。市内の立地企業が市外・県外・外国に出て行かないようすること。更に、働く場を作って欲しい。(男,60歳代,豊田地区)
- ・高齢者がいきいきと働ける場所が欲しい。(女,60歳代,竜洋地区)

その他の意見

- ・心を豊かにする方向に向かって欲しい。(男,30歳代,見付地区)
- ・自分を知る人のみ、暮らしの豊かさが実感できる。心の貧しさは非社会的で身勝手な行為を誘発し恐るべき罪を犯す例もある。良き市民性を育み、暮らしを豊かにする徳育(道德の心)の推進は、乱れがちな世情の中にあって必要だと思う。(女,70歳以上,見付地区)
- ・会社を外国に(今時点のことばかり思い)10年、20年先のことを考えなく、日本での若者の働く場所がなくなり、給料も上がることなく(少ない年金の)老人が見かねて少しでもと力を貸している。公務員などが昔と変わらなく元気づいている。市役所に行けば、ぼくたちは公務員だからと違いを言う。子供手当をあげがい、何でも人を頼りにしてしまう人間を子供の時から作ってしまう。(女,70歳以上,見付地区)
- ・活気をもった市であってほしい。(女,40歳代,見付地区)
- ・誰もがゆとりを持って、生涯を送れと素晴らしい。ゆっくり暮らしたいと思う。(女,60歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・平和で安心できる磐田市になっていくとうれしい。(女,20歳代,見付地区)
- ・今より元気があって明るく、しかも子供から高齢者までが安心して暮らせる磐田市になったら嬉しい。60数年磐田市民で、愛着があるまちだからこそ、近隣市町に負けない活気のあるまちであって欲しい。(女,60歳代,岩田・大藤・向笠地区)
- ・スポーツを売りにし過ぎている。(男,20歳代,天竜・長野・於保地区)
- ・住みやすい磐田市にして欲しい。(女,60歳代,見付地区)
- ・人が生きる事ができる市。(男,30歳代,福田地区)
- ・世界に誇れるまちになりたい。(女,20歳代,西貝・御厨・南御厨・田原地区)
- ・県外の人に何も説明しなくても、相手側から「あ～裸祭りの」、「生シラスの」、「海老イモの」と言ってもらえるようになって欲しい。(女,40歳代,見付地区)
- ・駅西側自転車管理人室にエアコンを配備されたい。夏には熱中症が、年齢的にも心配であります。(男,40歳代,見付地区)
- ・磐田市は、浜松市・掛川市の影に隠れた地味な存在だが、公園等が充実した良い所だと思う。磐南5市町村合併により、町村パワーが加わり、今後も堅実に発展して欲しい。(男,40歳代,中泉地区)

IV 参考資料

- 1 単純集計表（問8～問41）
- 2 調査票

1 単純集計表（問8～問41）

表中、上段は「件数」、下段は「割合(%)」を示す。

問8 市政全般への満足度について（N = 1,856）

満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	無回答
63	375	1,003	272	82	61
3.4	20.2	54.0	14.7	4.4	3.3

問9 市役所の仕事への満足度（N = 1,856）

満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	無回答
92	409	813	429	76	37
5.0	22.0	43.8	23.1	4.1	2.0

問10 改善すべき点のある理由（N = 1,856）

職員にコスト意識がない	仕事のやり方に柔軟性がない	利用時間が不便である	職員の対応や態度が悪い	手続きがわかりにくい	仕事縦割りである	職員の責任感が足りない	仕事が遅い・待たされる	その他	無回答
70	68	65	58	40	33	31	25	41	75
13.8	13.4	12.8	11.5	7.9	6.5	6.1	4.9	8.1	14.8

問 11 - 市の取り組みに対する満足度 (N = 1,856)

カッコ内は、N値に対する割合 (%)

基本施策	不満	やや不満	ふつう	やや満足	満足	無回答
環境保全の推進	36(1.9)	281(15.1)	1001(53.9)	364(19.6)	130(7)	44(2.4)
省資源・エネルギー対策の充実	89(4.8)	497(26.8)	930(50.1)	229(12.3)	52(2.8)	59(3.2)
環境教育の推進	47(2.5)	348(18.8)	991(53.4)	316(17)	96(5.2)	58(3.1)
生活環境の向上	73(3.9)	356(19.2)	897(48.3)	385(20.7)	95(5.1)	50(2.7)
循環型社会の推進	62(3.3)	241(13)	725(39.1)	585(31.5)	204(11)	39(2.1)
上下水道の整備	59(3.2)	199(10.7)	784(42.2)	575(31)	199(10.7)	40(2.2)
計画的な土地利用の推進	94(5.1)	472(25.4)	965(52)	218(11.7)	51(2.7)	56(3)
市街地整備の推進	158(8.5)	521(28.1)	846(45.6)	227(12.2)	49(2.6)	55(3)
道路網の整備	91(4.9)	352(19)	1004(54.1)	297(16)	69(3.7)	43(2.3)
緑豊かなまちづくり	64(3.4)	333(17.9)	984(53)	350(18.9)	84(4.5)	41(2.2)
住生活の向上	68(3.7)	347(18.7)	1135(61.2)	199(10.7)	53(2.9)	54(2.9)
美しい街並みづくり	76(4.1)	426(23)	1011(54.5)	237(12.8)	55(3)	51(2.7)
公共交通機関の利用促進	196(10.6)	493(26.6)	814(43.9)	235(12.7)	74(4)	44(2.4)
地域情報化の推進	69(3.7)	275(14.8)	1064(57.3)	290(15.6)	99(5.3)	59(3.2)
子どもの教育の充実	55(3)	288(15.5)	926(49.9)	423(22.8)	109(5.9)	55(3)
健全な青少年育成	67(3.6)	398(21.4)	991(53.4)	265(14.3)	73(3.9)	62(3.3)
学習機会の充実	31(1.7)	238(12.8)	1037(55.9)	378(20.4)	115(6.2)	57(3.1)
文化の振興と歴史遺産の整備・活用	37(2)	278(15)	1102(59.4)	306(16.5)	78(4.2)	55(3)
スポーツの振興	51(2.7)	214(11.5)	1073(57.8)	372(20)	94(5.1)	52(2.8)
多文化共生と国際交流の推進	57(3.1)	321(17.3)	1136(61.2)	227(12.2)	57(3.1)	58(3.1)
男女共同参画の推進	99(5.3)	445(24)	1026(55.3)	172(9.3)	50(2.7)	64(3.4)
地域防災対策・体制の強化	50(2.7)	281(15.1)	945(50.9)	429(23.1)	110(5.9)	41(2.2)
地域防犯体制の強化	61(3.3)	327(17.6)	918(49.5)	402(21.7)	103(5.5)	45(2.4)
交通安全対策の充実	63(3.4)	296(15.9)	916(49.4)	432(23.3)	108(5.8)	41(2.2)
消防・救急体制の充実	13(0.7)	170(9.2)	1006(54.2)	486(26.2)	140(7.5)	41(2.2)
治山・治水対策の充実	36(1.9)	241(13)	1120(60.3)	320(17.2)	90(4.8)	49(2.6)
消費生活対策の充実	36(1.9)	257(13.8)	1147(61.8)	286(15.4)	80(4.3)	50(2.7)
地域福祉システムの充実	43(2.3)	276(14.9)	1095(59)	299(16.1)	94(5.1)	49(2.6)
子育て環境の整備	70(3.8)	321(17.3)	1005(54.1)	310(16.7)	85(4.6)	65(3.5)
高齢者福祉の推進	79(4.3)	352(19)	951(51.2)	332(17.9)	91(4.9)	51(2.7)
障害者福祉の推進	51(2.7)	293(15.8)	1084(58.4)	283(15.2)	85(4.6)	60(3.2)
健康づくりの推進	24(1.3)	173(9.3)	1085(58.5)	409(22)	109(5.9)	56(3)
地域医療体制の充実	96(5.2)	332(17.9)	856(46.1)	408(22)	123(6.6)	41(2.2)
農林水産業の振興	73(3.9)	319(17.2)	1117(60.2)	214(11.5)	62(3.3)	71(3.8)
商業・サービス業の振興	122(6.6)	574(30.9)	942(50.8)	115(6.2)	27(1.5)	76(4.1)
工業・新産業の育成・振興	87(4.7)	434(23.4)	1069(57.6)	143(7.7)	45(2.4)	78(4.2)
観光・交流の振興	112(6)	424(22.8)	1064(57.3)	157(8.5)	32(1.7)	67(3.6)
雇用環境の充実	132(7.1)	478(25.8)	992(53.4)	156(8.4)	35(1.9)	63(3.4)
市民の力を高める	47(2.5)	279(15)	1160(62.5)	243(13.1)	60(3.2)	67(3.6)
地域の力を高める	48(2.6)	244(13.1)	1193(64.3)	244(13.1)	65(3.5)	62(3.3)
行政の力を高める	146(7.9)	419(22.6)	954(51.4)	221(11.9)	50(2.7)	66(3.6)

問 11 - 市の取り組みに不満を感じる理由 (N = 1,856)

カッコ内は、N値に対する割合(%)

基本施策	全体	必要ない	効果が期待できない	内容がわからない	もっと進めるべき	無回答
環境保全の推進	317(17.1)	14(0.8)	37(2)	167(9)	95(5.1)	4(0.2)
省資源・エネルギー対策の充実	586(31.6)	18(31.6)	71(1)	196(3.8)	290(10.6)	11(15.6)
環境教育の推進	395(21.3)	13(21.3)	57(0.7)	160(3.1)	158(8.6)	7(8.5)
生活環境の向上	429(23.1)	3(23.1)	56(0.2)	95(3)	268(5.1)	7(14.4)
循環型社会の推進	303(16.3)	11(16.3)	65(0.6)	57(3.5)	162(3.1)	8(8.7)
上下水道の整備	258(13.9)	10(13.9)	25(0.5)	49(1.3)	168(2.6)	6(9.1)
計画的な土地利用の推進	566(30.5)	15(30.5)	88(0.8)	286(4.7)	166(15.4)	11(8.9)
市街地整備の推進	679(36.6)	76(36.6)	232(4.1)	156(12.5)	198(8.4)	17(10.7)
道路網の整備	443(23.9)	34(23.9)	67(1.8)	130(3.6)	198(7)	14(10.7)
緑豊かなまちづくり	397(21.4)	25(21.4)	79(1.3)	74(4.3)	212(4)	7(11.4)
住生活の向上	415(22.4)	61(22.4)	104(3.3)	144(5.6)	93(7.8)	13(5)
美しい街並みづくり	502(27)	59(27)	100(3.2)	186(5.4)	142(10)	15(7.7)
公共交通機関の利用促進	689(37.1)	136(37.1)	169(7.3)	63(9.1)	299(3.4)	22(16.1)
地域情報化の推進	344(18.5)	62(18.5)	65(3.3)	127(3.5)	84(6.8)	6(4.5)
子どもの教育の充実	343(18.5)	22(18.5)	43(1.2)	64(2.3)	210(3.4)	4(11.3)
健全な青少年育成	465(25.1)	17(25.1)	118(0.9)	167(6.4)	156(9)	7(8.4)
学習機会の充実	269(14.5)	18(14.5)	72(1)	79(3.9)	92(4.3)	8(5)
文化の振興と歴史遺産の整備・活用	315(17)	39(17)	63(2.1)	112(3.4)	93(6)	8(5)
スポーツの振興	265(14.3)	31(14.3)	48(1.7)	62(2.6)	120(3.3)	4(6.5)
多文化共生と国際交流の推進	378(20.4)	41(20.4)	68(2.2)	164(3.7)	101(8.8)	4(5.4)
男女共同参画の推進	544(29.3)	66(29.3)	83(3.6)	322(4.5)	58(17.3)	15(3.1)
地域防災対策・体制の強化	331(17.8)	7(17.8)	28(0.4)	54(1.5)	235(2.9)	7(12.7)
地域防犯体制の強化	388(20.9)	5(20.9)	26(0.3)	39(1.4)	310(2.1)	8(16.7)
交通安全対策の充実	359(19.3)	8(19.3)	30(0.4)	25(1.6)	289(1.3)	7(15.6)
消防・救急体制の充実	183(9.9)	0(9.9)	17(0)	43(0.9)	122(2.3)	1(6.6)
治山・治水対策の充実	277(14.9)	5(14.9)	26(0.3)	111(1.4)	127(6)	8(6.8)
消費生活対策の充実	293(15.8)	13(15.8)	57(0.7)	97(3.1)	116(5.2)	10(6.3)
地域福祉システムの充実	319(17.2)	11(17.2)	46(0.6)	153(2.5)	104(8.2)	5(5.6)
子育て環境の整備	391(21.1)	9(21.1)	35(0.5)	72(1.9)	271(3.9)	4(14.6)
高齢者福祉の推進	431(23.2)	8(23.2)	13(0.4)	72(0.7)	332(3.9)	6(17.9)
障害者福祉の推進	344(18.5)	5(18.5)	23(0.3)	108(1.2)	202(5.8)	6(10.9)
健康づくりの推進	197(10.6)	12(10.6)	28(0.6)	66(1.5)	86(3.6)	5(4.6)
地域医療体制の充実	428(23.1)	1(23.1)	26(0.1)	21(1.4)	374(1.1)	6(20.2)
農林水産業の振興	392(21.1)	13(21.1)	38(0.7)	137(2)	200(7.4)	4(10.8)
商業・サービス業の振興	696(37.5)	39(37.5)	157(2.1)	188(8.5)	296(10.1)	16(15.9)
工業・新産業の育成・振興	521(28.1)	9(28.1)	57(0.5)	158(3.1)	291(8.5)	6(15.7)
観光・交流の振興	536(28.9)	47(28.9)	141(2.5)	146(7.6)	192(7.9)	10(10.3)
雇用環境の充実	610(32.9)	15(32.9)	73(0.8)	77(3.9)	435(4.1)	10(23.4)
市民の力を高める	326(17.6)	29(17.6)	62(1.6)	168(3.3)	61(9.1)	6(3.3)
地域の力を高める	292(15.7)	36(15.7)	63(1.9)	115(3.4)	70(6.2)	8(3.8)
行政の力を高める	565(30.4)	14(30.4)	78(0.8)	124(4.2)	339(6.7)	10(18.3)

問 11 - 市の取り組みに対する重要度 (N = 1,856)

カッコ内は、N値に対する割合 (%)

基本施策	重要でない	あまり重要でない	どちらでもない	やや重要	重要	無回答
環境保全の推進	22(1.2)	77(4.1)	554(29.8)	625(33.7)	415(22.4)	163(8.8)
省資源・エネルギー対策の充実	26(1.4)	76(4.1)	406(21.9)	606(32.7)	588(31.7)	154(8.3)
環境教育の推進	22(1.2)	58(3.1)	451(24.3)	631(34)	514(27.7)	180(9.7)
生活環境の向上	11(0.6)	36(1.9)	390(21)	661(35.6)	582(31.4)	176(9.5)
循環型社会の推進	13(0.7)	30(1.6)	285(15.4)	603(32.5)	748(40.3)	177(9.5)
上下水道の整備	14(0.8)	14(0.8)	336(18.1)	602(32.4)	716(38.6)	174(9.4)
計画的な土地利用の推進	24(1.3)	110(5.9)	700(37.7)	558(30.1)	293(15.8)	171(9.2)
市街地整備の推進	91(4.9)	199(10.7)	665(35.8)	487(26.2)	247(13.3)	167(9)
道路網の整備	40(2.2)	92(5)	613(33)	601(32.4)	335(18)	175(9.4)
緑豊かなまちづくり	23(1.2)	105(5.7)	642(34.6)	582(31.4)	322(17.3)	182(9.8)
住生活の向上	69(3.7)	172(9.3)	822(44.3)	413(22.3)	188(10.1)	192(10.3)
美しい街並みづくり	64(3.4)	208(11.2)	780(42)	442(23.8)	175(9.4)	187(10.1)
公共交通機関の利用促進	124(6.7)	177(9.5)	548(29.5)	477(25.7)	364(19.6)	166(8.9)
地域情報化の推進	58(3.1)	101(5.4)	660(35.6)	519(28)	323(17.4)	195(10.5)
子どもの教育の充実	24(1.3)	47(2.5)	398(21.4)	533(28.7)	674(36.3)	180(9.7)
健全な青少年育成	28(1.5)	58(3.1)	532(28.7)	562(30.3)	496(26.7)	180(9.7)
学習機会の充実	26(1.4)	84(4.5)	695(37.4)	563(30.3)	287(15.5)	201(10.8)
文化の振興と歴史遺産の整備・活用	46(2.5)	163(8.8)	799(43)	458(24.7)	193(10.4)	197(10.6)
スポーツの振興	35(1.9)	87(4.7)	749(40.4)	569(30.7)	233(12.6)	183(9.9)
多文化共生と国際交流の推進	43(2.3)	115(6.2)	794(42.8)	489(26.3)	226(12.2)	189(10.2)
男女共同参画の推進	80(4.3)	195(10.5)	841(45.3)	373(20.1)	163(8.8)	204(11)
地域防災対策・体制の強化	11(0.6)	21(1.1)	299(16.1)	554(29.8)	796(42.9)	175(9.4)
地域防犯体制の強化	9(0.5)	21(1.1)	301(16.2)	664(35.8)	692(37.3)	169(9.1)
交通安全対策の充実	11(0.6)	23(1.2)	390(21)	616(33.2)	636(34.3)	180(9.7)
消防・救急体制の充実	4(0.2)	19(1)	415(22.4)	626(33.7)	606(32.7)	186(10)
治山・治水対策の充実	11(0.6)	45(2.4)	532(28.7)	632(34.1)	447(24.1)	189(10.2)
消費生活対策の充実	18(1)	83(4.5)	687(37)	554(29.8)	323(17.4)	191(10.3)
地域福祉システムの充実	16(0.9)	50(2.7)	611(32.9)	585(31.5)	398(21.4)	196(10.6)
子育て環境の整備	11(0.6)	30(1.6)	411(22.1)	553(29.8)	664(35.8)	187(10.1)
高齢者福祉の推進	13(0.7)	23(1.2)	265(14.3)	488(26.3)	904(48.7)	163(8.8)
障害者福祉の推進	7(0.4)	23(1.2)	417(22.5)	593(32)	639(34.4)	177(9.5)
健康づくりの推進	14(0.8)	45(2.4)	598(32.2)	583(31.4)	407(21.9)	209(11.3)
地域医療体制の充実	6(0.3)	15(0.8)	203(10.9)	500(26.9)	974(52.5)	158(8.5)
農林水産業の振興	22(1.2)	61(3.3)	616(33.2)	515(27.7)	449(24.2)	193(10.4)
商業・サービス業の振興	48(2.6)	114(6.1)	644(34.7)	540(29.1)	323(17.4)	187(10.1)
工業・新産業の育成・振興	15(0.8)	56(3)	556(30)	579(31.2)	456(24.6)	194(10.5)
観光・交流の振興	55(3)	144(7.8)	710(38.3)	533(28.7)	223(12)	191(10.3)
雇用環境の充実	15(0.8)	40(2.2)	395(21.3)	552(29.7)	681(36.7)	173(9.3)
市民の力を高める	31(1.7)	106(5.7)	853(46)	459(24.7)	187(10.1)	220(11.9)
地域の力を高める	44(2.4)	101(5.4)	820(44.2)	482(26)	202(10.9)	207(11.2)
行政の力を高める	19(1)	41(2.2)	485(26.1)	572(30.8)	542(29.2)	197(10.6)

問 12 今後の重要度ベスト 5 (N = 1,856)

カッコ内は、N 値に対する割合 (%)

基本施策	問 12
環境保全の推進	93(5)
省資源・エネルギー対策の充実	187(10.1)
環境教育の推進	106(5.7)
生活環境の向上	154(8.3)
循環型社会の推進	232(12.5)
上下水道の整備	186(10)
計画的な土地利用の推進	80(4.3)
市街地整備の推進	77(4.1)
道路網の整備	114(6.1)
緑豊かなまちづくり	111(6)
住生活の向上	56(3)
美しい街並みづくり	39(2.1)
公共交通機関の利用促進	188(10.1)
地域情報化の推進	46(2.5)
子どもの教育の充実	400(21.6)
健全な青少年育成	154(8.3)
学習機会の充実	47(2.5)
文化の振興と歴史遺産の整備・活用	45(2.4)
スポーツの振興	56(3)
多文化共生と国際交流の推進	47(2.5)
男女共同参画の推進	28(1.5)
地域防災対策・体制の強化	369(19.9)
地域防犯体制の強化	244(13.1)
交通安全対策の充実	195(10.5)
消防・救急体制の充実	196(10.6)
治山・治水対策の充実	96(5.2)
消費生活対策の充実	45(2.4)
地域福祉システムの充実	89(4.8)
子育て環境の整備	437(23.5)
高齢者福祉の推進	626(33.7)
障害者福祉の推進	190(10.2)
健康づくりの推進	87(4.7)
地域医療体制の充実	520(28)
農林水産業の振興	150(8.1)
商業・サービス業の振興	141(7.6)
工業・新産業の育成・振興	210(11.3)
観光・交流の振興	58(3.1)
雇用環境の充実	426(23)
市民の力を高める	28(1.5)
地域の力を高める	67(3.6)
行政の力を高める	366(19.7)

問 13 今後の優先度ベスト 3 (N = 1,856)

カッコ内は、N 値に対する割合 (%)

基本施策	問 13
環境保全の推進	42(2.3)
省資源・エネルギー対策の充実	111(6)
環境教育の推進	57(3.1)
生活環境の向上	76(4.1)
循環型社会の推進	118(6.4)
上下水道の整備	123(6.6)
計画的な土地利用の推進	39(2.1)
市街地整備の推進	52(2.8)
道路網の整備	76(4.1)
緑豊かなまちづくり	52(2.8)
住生活の向上	27(1.5)
美しい街並みづくり	12(0.6)
公共交通機関の利用促進	101(5.4)
地域情報化の推進	18(1)
子どもの教育の充実	294(15.8)
健全な青少年育成	90(4.8)
学習機会の充実	18(1)
文化の振興と歴史遺産の整備・活用	17(0.9)
スポーツの振興	27(1.5)
多文化共生と国際交流の推進	19(1)
男女共同参画の推進	10(0.5)
地域防災対策・体制の強化	256(13.8)
地域防犯体制の強化	145(7.8)
交通安全対策の充実	111(6)
消防・救急体制の充実	137(7.4)
治山・治水対策の充実	72(3.9)
消費生活対策の充実	17(0.9)
地域福祉システムの充実	59(3.2)
子育て環境の整備	381(20.5)
高齢者福祉の推進	569(30.7)
障害者福祉の推進	135(7.3)
健康づくりの推進	46(2.5)
地域医療体制の充実	481(25.9)
農林水産業の振興	105(5.7)
商業・サービス業の振興	77(4.1)
工業・新産業の育成・振興	146(7.9)
観光・交流の振興	27(1.5)
雇用環境の充実	328(17.7)
市民の力を高める	13(0.7)
地域の力を高める	27(1.5)
行政の力を高める	307(16.5)

問 14 磐田市への愛着 (N = 1,856)

じお てお いる に感	い少 るし 感 じて	言ど えち ないら とも	てあ いま り感 じ	じま つた く感 じ	無 回 答
659	674	319	139	36	29
35.5	36.3	17.2	7.5	1.9	1.6

問 15 磐田市の住みやすさ (N = 1,856)

すた いい へん 住 み や	ばど ち ら か と い え	など ち ら と も 言 え	ばど ち ら か と い え	くた い へ ん 住 み に	無 回 答
227	1,083	369	132	24	21
12.2	58.4	19.9	7.1	1.3	1.1

問 16 今後の居留意向 (N = 1,856)

け ず つ と 住 み 続 け たい	続 け たい	当 分 の 間 、 住 み 続 け たい	え な い	ど ち ら と も 言 え	に 転 出 し たい	で き れ ば 市 外 に 転 出 し たい	市 外 へ 転 出 し たい	無 回 答
905	496	320	87	23	25			
48.8	26.7	17.2	4.7	1.2	1.3			

問 17 転出したい理由 (N = 1,856)

生 活 が 不 便	買 い 物 な ど の 日 常 生 活 が 不 便	自 然 環 境 が 悪 い (少 ない)	育 児 ・ 教 育 環 境 が 悪 い	交 通 (通 学 や 通 勤 な ど) が 不 便	道 路 な ど 都 市 基 盤 が 悪 い	住 宅 事 情 (手 狭 、 家 賃 が 高 い な ど)	近 所 づ き あ い (地 域 の 人 に な じ め な い)	市 に 対 す る 愛 着 が な い	そ の 他	無 回 答
19	4	6	19	4	5	15	12	13	13	
17.30	3.60	5.50	17.30	3.60	4.50	13.60	10.90	11.80	11.80	

問 18 市の魅力的な資源 (N = 1,856)

遠 州 灘 や 天 竜 川 を は じ め と す る 水 資 源	ポ ー ツ ク ラ ブ	ジ ュ ビ ロ 磐 田 な ど の ス ポ ー ツ ク ラ ブ	メ ロ ン や お 茶 、 シ ラ ス や フ グ な ど の 特 産 品	輸 送 用 機 器 や 楽 器 、 織 維 業 な ど の 産 業	境 桶 ヶ 谷 沼 な ど の 自 然 環 境	国 分 寺 跡 や 旧 見 付 学 校 な ど の 歴 史 資 産	掛 塚 屋 台 まつ り や 見 付 天 神 裸 祭 等 の 伝 統 文 化	山 や 森 な ど の 森 林 資 源	住 ん で い る 人 や 出 身 者 な ど の 人	特 に な い	そ の 他	無 回 答
603	497	485	299	257	256	245	124	122	154	35	97	
32.5	26.8	26.1	16.1	13.8	13.8	13.2	6.7	6.6	8.3	1.9	5.2	

問 19 磐田市のシンボル (N = 1,856)

ジュピロ磐田	桶ヶ谷沼	旧見付学校	天竜川	トンボ	国分寺	見付天神裸祭	ららぽーと	遠州灘	ヤマハ
615	187	90	76	58	52	47	43	43	39
33.1	10.1	4.8	4.1	3.1	2.8	2.5	2.3	2.3	2.1

問 20 磐田市のイメージ (N = 1,856) カッコ内は、N値に対する割合 (%)

現在のイメージ		今後期待するイメージ	
きれい	290(15.6)	きれい	814(43.9)
元気(力強い)	126(6.8)	元気(力強い)	426(23)
文化的	424(22.8)	文化的	441(23.8)
安全	633(34.1)	安全	958(51.6)
便利	344(18.5)	便利	998(53.8)
落ち着き	461(24.8)	落ち着き	368(19.8)
にぎわい	103(5.5)	にぎわい	507(27.3)
ぬくもり	413(22.3)	ぬくもり	564(30.4)
歴史的	664(35.8)	歴史的	619(33.4)
安心	610(32.9)	安心	553(29.8)
庶民的	898(48.4)	庶民的	791(42.6)
調和	203(10.9)	調和	656(35.3)
健康的	367(19.8)	健康的	648(34.9)
明るい	311(16.8)	明るい	442(23.8)
やさしい	363(19.6)	やさしい	464(25)
楽しい	146(7.9)	楽しい	585(31.5)
自然豊か	1052(56.7)	自然豊か	744(40.1)
交流的	181(9.8)	交流的	741(39.9)
おもしろみ	62(3.3)	おもしろみ	543(29.3)

問 21 磐田市の良いところ、良くないところ (N = 1,856)

カッコ内は、N値に対する割合 (%)

良いところ (好きなところ)		良くないところ (嫌いなところ)	
災害が少ない	718(38.7)	災害が多い	6(0.3)
自然環境が豊かである	604(32.5)	自然環境が悪い	34(1.8)
買い物など日常生活が便利である	470(25.3)	買い物など日常生活が不便である	332(17.9)
公害が少ない	390(21)	公害が多い	19(1)
住まいの環境が良好である	279(15)	住まいの環境が悪い	46(2.5)
スポーツをする場が豊富である	269(14.5)	スポーツをする場が乏しい	104(5.6)
公園などの憩いの場が豊富である	225(12.1)	公園などの憩いの場が乏しい	296(15.9)
近隣の人々とのきずなが強い	220(11.9)	近隣の人々とのきずなが弱い	174(9.4)
道路事情がよい	184(9.9)	道路事情が悪い	299(16.1)
医療サービスが充実している	101(5.4)	医療サービスが不十分である	404(21.8)
公共交通機関が充実している	93(5)	公共交通機関が充実していない	551(29.7)
文化活動を行う場が豊富である	88(4.7)	文化活動を行う場が乏しい	107(5.8)
子育ての環境が充実している	64(3.4)	子育ての環境が整っていない	193(10.4)
子どもの教育環境が充実している	50(2.7)	子どもの教育環境が悪い	60(3.2)
福祉サービスの水準が高い	21(1.1)	福祉サービスの水準が低い	249(13.4)
街並みが美しい	12(0.6)	街並みがきたない	168(9.1)
娯楽施設が充実している	5(0.3)	娯楽施設が充実していない	328(17.7)
その他	15(0.8)	その他	96(5.2)
特にない	126(6.8)	特にない	232(12.5)

問 22 まちづくりに関する優先施策 (N = 1,856)

無回答	その他	協働の取り組みなどを通じた地域力の向上	街並みや眺望の美しい景観の整備	文化芸術・スポーツ活動の活性化	ベットタウンとして快適に居住できる住環境の整備	歴史や伝統を活かした風格ある歴史のまちづくり	学習環境が整い、多様な人材が育つ教育の充実	多くの人が訪れ、にぎわいのある観光のまちづくり	地域での人のつながりを大切にしたいコミュニケーションの充実	身近な自然に親しめ、地球環境にやさしい環境への取り組み	さまざまな産業の活動が活発に行われるための産業支援	子どもが健やかに育つ子育て支援	医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援	誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実	事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり
71	16	62	134	160	177	185	205	229	236	294	361	558	750	804	851
3.8	0.9	3.3	7.2	8.6	9.5	10.0	11.0	12.3	12.7	15.8	19.5	30.1	40.4	43.3	45.9

問 23 将来の土地利用に関する優先施策 (N = 1,856)

無回答	その他	現状のまま	新たな住宅地の整備	新たな商業用地の整備	教育・文化・スポーツ施設の整備	公園や広場、観光施設などのレクリエーション施設の整備	環境に配慮した工場団地の整備・企業誘致	中心市街地の活性化	農地の積極的な活用と生産基盤の整備	豊かな自然環境の保全
150	24	61	130	177	260	324	357	549	622	630
8.1	1.3	3.3	7.0	9.5	14.0	17.5	19.2	29.6	33.5	33.9

問 24 市内の産業をさらに活性化するための優先施策 (N = 1,856)

無回答	その他	地域の特性を活かした観光事業の充実	市内の生産品や商品、サービスなどのブランド化支援	新規創業をめざす意欲ある人への支援	地産地消・地産外商や農産物のブランド化の促進	農林水産業の後継者・担い手の育成・確保	今ある産業を成長が期待できる産業へ転換するための支援	耕作放棄地の活用や生産基盤の確保	中小・零細企業への支援や企業間の交流支援	地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援	勤労者福祉や雇用対策の充実	成長が期待できる産業（企業）の誘致
122	9	87	113	161	245	279	289	346	368	404	488	496
6.6	0.5	4.7	6.1	8.7	13.2	15.0	15.6	18.6	19.8	21.8	26.3	26.7

問 25 環境を守るための優先施策 (N = 1,856)

太陽光、風力、バイオマスなどのクリーンエネルギーの活用・導入支援	森林などの保全	ごみの減量化及び資源化・再商品化	公害防止への取り組み	下水道の整備や合併処理浄化槽設置の普及	電気自動車など低公害車の普及・利用促進	学校や地域での環境学習や情報提供	自家用車の利用を減らし、公共交通機関の利用促進	その他	無回答
696	661	621	387	312	254	216	159	15	92
37.5	35.6	33.5	20.9	16.8	13.7	11.6	8.6	0.8	5.0

問 26 今後の公共交通について (N = 1,856)

財政負担が大きくなっても、さらに公共交通の充実を図るべき	財政負担の大小にかかわらず利用者のある限り、現状のまま続けるべき	便数・路線の縮小、運賃の値上げなどの大幅な見直しを行っても続けるべき	財政負担の大きい自主運行バスはやめ、デマンド型タクシーなど別のやり方に変えるべき	自主運行バスは廃止し、高齢者や障害者など対象を特定したタクシーチケット交付などの運賃補助に切り替えるべき	その他	無回答
104	264	178	549	566	55	140
5.6	14.2	9.6	29.6	30.5	3.0	7.5

問 27 地域活動への参加について (N = 1,856)

自治会活動への参加	地域での祭やイベント活動への参加	参加していない	学校行事への参加 (P T A など)	子ども会・老人会などの地域活動への参加	スポーツ・レクリエーション活動への参加	環境・リサイクルなどの活動への参加	ボランティア活動への参加	国際交流活動への参加	その他	無回答
941	713	535	312	288	254	205	196	17	27	80
50.7	38.4	28.8	16.8	15.5	13.7	11.0	10.6	0.9	1.5	4.3

問 28 地域活動をより活発にする支援策 (N = 1,856)

活動機会の情報提供	活動に対する補助金・助成金	活動の拠点となる場所の使いやすさ	自治会等組織の育成・強化	小・中学校と地域との連携	相談窓口の充実	活動の拠点となる場所の整備	リーダーの育成や研修	組織・団体をつなぐ連絡体制	その他	無回答
630	419	359	354	304	239	230	228	171	44	141
33.9	22.6	19.3	19.1	16.4	12.9	12.4	12.3	9.2	2.4	7.6

問 29 住み慣れた地域で安心して暮らすための優先施策 (N = 1,856)

高齢者や障害のある方の入所施設の充実	住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援	健康診断などの保健医療サービスの充実	在宅福祉を支えるサービスの充実	保育サービスなどの子育て支援の充実	身近なところでの相談窓口の充実	低所得者福祉の充実	保健福祉に関する情報提供や制度案内の充実	ボランティアなどの参加の促進や支援	道路・商店・病院・公共交通機関などのバリアフリー化	学校での福祉や保健に関する教育の充実	その他	無回答
616	508	387	368	322	300	235	171	152	146	119	12	92
33.2	27.4	20.9	19.8	17.3	16.2	12.7	9.2	8.2	7.9	6.4	0.6	5.0

問 30 高齢社会を迎えるにあたっての優先施策 (N = 1,856)

在宅・施設福祉サービスの充実	ひとり暮らしの高齢者への支援	高齢者の生きがいづくり	老人福祉施設の充実	医療体制の充実	経済的な支援(医療費助成や就業機会の確保など)	公共交通など移動手段の確保	介護予防教室などの健康の維持・増進	地域やボランティアで支えあう体制整備	相談窓口の充実	子どもと触れ合うなど、世代間交流の促進	その他	無回答
626	478	449	395	339	294	218	192	191	129	125	13	76
33.7	25.8	24.2	21.3	18.3	15.8	11.7	10.3	10.3	7.0	6.7	0.7	4.1

問 31 安心して子育てするための優先施策 (N = 1,856)

乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実	産科・小児科医療の充実	子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化	子育て家庭に対する経済的な支援	放課後児童対策の充実	子育てに関する情報提供や相談体制の充実	公園など子どもが安全に安心して遊べる場の整備	手助けがほしい家庭を地域の人がボランティアで手伝う体制の整備	健康診査などの母子保健対策の充実	不妊治療を含む妊娠・出産に対する支援の充実	子どもが持つ親同士が交流できる機会の充実	その他	無回答
838	465	387	297	266	264	248	200	125	119	112	26	105
45.2	25.1	20.9	16.0	14.3	14.2	13.4	10.8	6.7	6.4	6.0	1.4	5.7

問 32 子供への教育を充実させるための優先施策 (N = 1,856)

教師の指導力の向上	子どもの基礎的な知識や技術向上への取り組み	個性を活かしのびのびとした学校生活の実現	体力づくりへの取り組み	職業体験などの社会体験活動の充実	1クラス35人以下とする少人数学級制性の推進	子どもの学力の向上への取り組み	子どもの登下校を含めた学校の安全・安心対策	小学校と中学校の義務教育9年間に連続性を持たせて教育を行う小中一貫教育の実施	地域の食材を活かした「食育」の実施	学校施設や設備の改善・教材や備品等の充実	2学期制の実施	その他	無回答
731	681	372	244	244	238	235	214	145	113	110	10	54	93
39.4	36.7	20.0	13.1	13.1	12.8	12.7	11.5	7.8	6.1	5.9	0.5	2.9	5.0

問 33 生涯学習・スポーツ振興を充実するための優先施策 (N = 1,856)

初心者向けの教室・講座・行事の充実	施設の使いやすさ	施設の充実・整備	情報提供の充実	まちづくりの推進	ジュビロを活かしたスポーツ	具体的には分からない	気軽に相談できる窓口の充実	総合型地域スポーツクラブへの支援協力	グループ、サークルなどへの支援	講師や指導者の育成	活動成果の発表の場・大会等の充実	大学などによる、より専門的な高度な学習内容の充実	その他	無回答
597	504	459	357	265	204	190	185	164	129	72	45	27	90	
32.2	27.2	24.7	19.2	14.3	11.0	10.2	10.0	8.8	7.0	3.9	2.4	1.5	4.8	

問 34 市政に関する情報の入手方法 (N = 1,856)

広報いわた	自治会などの回覧板、掲示板	議会だより	新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース	市の発行するパンフレットやチラシ	磐田市ホームページ	知人・友人から	いわたホットライン	民生委員や自治会から	特に情報は得ていない	市議会議員や市役所職員から	SBSラジオ「ぼーと発!磐田情報局」	磐田市コミュニケーションセンター「ぼーと」	市の窓口や電話などでの問い合わせ	その他	無回答
1,635	1,100	498	394	279	223	213	186	112	96	87	59	42	40	6	62
88.1	59.3	26.8	21.2	15.0	12.0	11.5	10.0	6.0	5.2	4.7	3.2	2.3	2.2	0.3	3.3

問 35 市役所から入手したい情報 (N = 1,856)

医療・健康に関する情報	催し物やイベントに関する情報	ごみ収集などの生活情報	福祉サービスに関する情報	市行政の状況など、市政の動きに関する情報	公民館・体育館・図書館などの施設に関する情報	気象や災害に関する情報	文化・教養・学習活動に関する情報	観光・レクリエーションなどのレジャーに関する情報	市の財政状況や予算などに関する情報	交通安全や防犯に関する情報	育児や子育てに関する情報	道路工事に関する情報	スポーツ活動に関する情報	小中学校などの教育に関する情報	市長や市議会の活動に関する情報	ボランティア活動や協働に関する情報	市民サークル・団体に関する情報	その他	無回答
1,002	824	779	630	604	537	483	468	426	417	346	333	299	296	270	251	229	197	25	111
54.0	44.4	42.0	33.9	32.5	28.9	26.0	25.2	23.0	22.5	18.6	17.9	16.1	15.9	14.5	13.5	12.3	10.6	1.3	6.0

問 36 磐田市の魅力を全国に発信するための優先施策 (N = 1,856)

様々なマスメディア(新聞・雑誌・テレビ等)を活用した情報の発信	「など各種ツール(ホームページやブログ)を活用した情報発信力の強化	(大道芸ワールドカップのよう)集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開	地域ブランドの開発と売り込み	民間と連携した情報の発信	市長によるトップセールスや職員によるPR活動の展開	著名人によるPR(観光)大使の任命・活用	観光パンフレット・マップの充実	近隣自治体と連携した広域的な情報発信の推進	を活用したPR活動の展開	サポーターズクラブの結成など人を活用したPR活動の展開	誘致	フィルムコミッションによる撮影	マスコミキャラクターの作成・活用	都心部などへの情報発信拠点(アンテナショップなど)の整備	その他	無回答
516	407	396	286	252	216	192	160	157	108	102	99	97	42	176		
27.8	21.9	21.3	15.4	13.6	11.6	10.3	8.6	8.5	5.8	5.5	5.3	5.2	2.3	9.5		

問 37 協働のまちづくりの推進 (N = 1,856)

住みよいまちをつくるために「協働」を積極的に推進、充実していくことが望ましい	「協働」はまちづくりには必要だが、押し付けにならないよう慎重に進めるべき	「協働」の意味や効果、範囲がわかりにくいので、なんともいえない	「協働」には手間や時間がかかるのであまりやりたくない	その他	無回答
385	636	673	39	19	104
20.7	34.3	36.3	2.1	1.0	5.6

問 38 協働の推進に必要なこと (N = 1,856)

みんなの意識の変化(協働への理解を深める)	相談窓口の確保	い仕組みづくり	情報の提供や活動に参加しやすい	リーダーの育成	支援制度の充実	活動する機会・場所の充実	その他	無回答
783	70	576	79	97	59	37	155	
42.2	3.8	31.0	4.3	5.2	3.2	2.0	8.4	

問 39 人の役に立ちたいと思うか (N = 1,856)

そう思い、社会貢献活動(ボランティア・NPO等)を行っている	そう思うが、社会貢献活動(ボランティア・NPO等)への参加など、どうしてもいいかわからない	思わない	その他	無回答
218	1,011	240	266	121
11.7	54.5	12.9	14.3	6.5

問 40 今後の行政サービスと市民負担のあり方 (N = 1,856)

ない	行政サービスの維持・充実を優先すべきであり、税など市民の負担が増えることはやむをえない	行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることはやむをえない	い) 財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい(これ以上市民の負担は増やすべきではない)	わからない	その他	無回答
86	584	820	157	77	132	
4.6	31.5	44.2	8.5	4.1	7.1	

問 41 行財政改革のため、今後実施すべきこと (N = 1,856)

行政組織を簡素・合理化(職員の削減等)する	は積極的に民間に任せる	行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる	重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中)	行政内部の経費の適正化・削減を徹底する	職員の意識改革を行う	公共施設を整理統合し、適正な配置とする	政策の立案や予算化の検討を市民参画で行う	自主財源を増やす	その他	無回答
647	601	522	518	291	268	163	90	29	146	
34.9	32.4	28.1	27.9	15.7	14.4	8.8	4.8	1.6	7.9	

このページは、白紙です。



磐田市市民意識調査

まちづくり採点簿・アンケート調査へのご協力をお願い

～ 磐田市総合計画（後期基本計画）策定に向けて～

日ごろから市政運営にご協力いただき、ありがとうございます。

さて、磐田市では平成17年の旧5市町村の合併後、市民の皆さんが安心して暮らせるようにと、幹線道路の整備や学校施設の耐震化など、大きな事業を積極的に実施してきました。しかし、百年に一度と言われている世界的な金融・財政危機により、市民生活や地域社会が雇用不安や生活不安に見舞われる中、市の財政もたいへん大きな影響を受けています。

こうした厳しい財政状況の中、単に事業の廃止や休止による予算の削減ではなく、事業の見直しにより捻出できた財源と人材で、市民に喜んでいただける新たな事業を実施したり、不足している事業へ配分するなど、選択と集中というメリハリのある投資を行っていく中で「温もりのあるまち磐田」の実現を目指し、事業を展開しているところです。

このたび、平成24～28年度のまちづくりの指針となる「磐田市総合計画（後期基本計画）」を策定するにあたり、市民の目線に立って検討を行うために、これまで市で実施してきた取り組みに対する市民の皆様の評価と、今後の取り組みに対するお考えについてをお伺いする市民意識調査を行うこととしました。

調査の結果は、市の施策の優先順位付けや市民と行政の役割分担などの参考にさせていただく予定です。質問数も多く、お手数をおかけしますが、みなさんのご意見をまちづくりに活かすための重要な調査ですので、ぜひご協力をお願いいたします。

平成23年1月

磐田市長 渡部 修

ご回答にあたって

この調査は、20歳以上の市民の方から、無作為に3,000名の方々をお選びし、調査票をお送りしています。回答は、**封筒の宛名のご本人様**がご記入ください。事情により、ご本人様がお答えいただけない場合は、ご家族の方がお答えください。また、この機会に磐田市の将来について、ご家族等で話し合っただけであれば幸いです。調査の結果は統計的に処理をし、調査目的以外に使用することはありません。ご記入いただいた調査票は、**1月31日（月）まで**に、同封の返信用封筒に入れて投函してください。（**切手は不要**です。）

なお、**住所、氏名をお書きになる必要はありません。**

【お問い合わせ先】

磐田市役所 企画財政部 政策企画課 政策推進係

電話：0538-37-4805 FAX：0538-36-8954

E-MAIL：kikaku@city.iwata.lg.jp

総合計画ってなに？

皆さんは、「総合計画」を知っていますか？

アンケートの前に、「総合計画」について簡単にご紹介します。

- 総合計画は、磐田市のまちづくりを進める上でもっとも基本となる重要な計画で、市が目指すまちづくりの方向や、それを実現するために取り組むべきことを定めた計画です。
- 現在の「第1次磐田市総合計画」は、平成19年度から平成28年度までの10年間を計画期間とし、磐田市の将来都市像を『光と風・水と緑 ひとが、まちが、いま輝き出す～自然あふれ、歴史・文化薫るゆとりと活力のまち～』と定め、次の6つの基本目標のもとで、具体的な施策や事業を推進しています。
- 今回策定しようとしているものが、「第1次磐田市総合計画」における後期5カ年（平成24年～平成28年）の具体的な行動計画となる「後期基本計画」です。



「第1次磐田市総合計画」は市役所 本庁舎 2F 市政情報コーナー、各支所及び各図書館でご覧になれます。

また、磐田市ホームページからも見ることができます。

磐田市ホームページ <http://www.city.iwata.shizuoka.jp/>

調 査 票

1 あなた(回答者)ご自身について

※代理で回答される場合は、回答されるあなた自身のことをご記入ください

問1 あなたの性別は？ < 1つに 印 >

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢は？ < 1つに 印 >

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20～29歳 | 2. 30～39歳 | 3. 40～49歳 |
| 4. 50～59歳 | 5. 60～69歳 | 6. 70歳以上 |

問3 あなたの職業は？ < 1つに 印 >

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 勤め人(会社員・公務員・団体職員) | 2. 会社・団体の役員 |
| 3. 農林漁業の自営業 | 4. 商・工・サービス業等の自営業 |
| 5. 自由業・専門的職業(開業医、弁護士、芸術家等) | |
| 6. パート・アルバイト | 7. 専業主婦(夫) |
| 8. 学生 | 9. 無職 |
| 10. その他() | |

問4 あなたの通勤・通学先はどこですか？(主な通勤先) < 1つに 印 >

- | | | |
|-----------|---------------|---------------|
| 1. 自宅 | 2. 磐田市内(自宅以外) | 3. 浜松市()区) |
| 4. 袋井市 | 5. 森町 | 6. 掛川市 |
| 7. その他() | | 8. 通勤・通学していない |

問5 ご家族の構成は次のどれにあたりますか？ < 1つに 印 >

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 単身(ひとり暮らし) | 2. 一世代(夫婦のみ) |
| 3. 二世帯(親と子) | 4. 三世帯(親と子と孫) |
| 5. 兄弟姉妹 | 6. その他() |

問6 あなたのお住まいの地区はどこですか？ < 1つに 印 >

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. 見付地区 | 2. 中泉地区 |
| 3. 今之浦地区 | 4. 岩田・大藤・向笠地区 |
| 5. 西貝・御厨・南御厨・田原地区 | 6. 天竜・長野・於保地区 |
| 7. 福田地区 | 8. 竜洋地区 |
| 9. 豊田地区 | 10. 豊岡地区 |

問7 あなたの磐田市にお住まいの年数は？(通算で) < 1つに 印 >

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| 1. 2年未満 | 2. 2～5年未満 | 3. 5～10年未満 |
| 4. 10～20年未満 | 5. 20年以上 | |

環境にやさしいまちづくり

【1】環境保全の推進

目 標	環境にやさしいまちづくりを実現するため、健康で快適な環境づくりをすすめます。	
主 な 取り組み	桶ヶ谷沼などの自然環境を守っています。 公害の発生を防ぐため、水質調査や事業所への指導などを行っています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
満足 ←————→ 不満 5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	重要 ←————→ 重要でない 5 4 3 2 1

【2】省資源・エネルギー対策の充実

目 標	新エネルギーの活用、家庭や企業での省資源・省エネルギー化をすすめます。	
主 な 取り組み	太陽光発電システムなどの設置を支援しています。 市民や事業者へ地球温暖化防止対策推進の支援をしています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

【3】環境教育の推進

目 標	学校・地域・家庭での環境教育・学習を充実し、環境にやさしいまちづくりをすすめる人材を育てます。	
主 な 取り組み	自然観察教室などを開催しています。 小学生に環境教育を行っています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

【4】生活環境の向上

目 標	住みよい住環境を維持 向上していくため、環境美化などをすすめます。	
主 な 取り組み	河川海岸清掃美化、ごみの不法投棄対策を行っています。 市営霊園（墓地）の整備・管理をしています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

【5】循環型社会の推進

目 標	リサイクルなどをすすめ、ごみの減量化をすすめます。	
主 な 取り組み	ごみの収集運搬を行っています。 リサイクルや再資源化などをすすめています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

【6】上下水道の整備

目 標	安全で安心な水の供給や快適な生活環境を守るため、上下水道の整備をすすめます。	
主 な 取り組み	安全な水の安定供給、古くなった水道管の入れ替えをしています。 下水道の整備により、公共用水域（河川、湖沼、用水路など）の水質保全をすすめています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
満足 ←————→ 不満 5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	重要 ←————→ 重要でない 5 4 3 2 1

住んで良かったと思えるまちづくり

【7】計画的な土地利用の推進

目 標	自然と調和した機能的なまちをつくるため、計画的な土地の利用をすすめます。	
主 な 取り組み	土地の利用に関する計画づくりをしています。 地形や土地の利用状況、交通の状況などを調べています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

【8】市街地整備の推進

目 標	土地の有効利用を図り、安全・安心・快適な都市環境をつくります。	
主 な 取り組み	土地区画整理を行っています。 磐田駅北口広場の整備をしています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

【9】道路網の整備

目 標	人と環境にやさしい道路をつくり、管理していきます。	
主 な 取り組み	幹線道路や生活道路を整備しています。 協働 ¹ による道路管理（まち美化パートナー制度 ² ）をすすめています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

1 協働 同じ目的に向けて、市民（事業者含む）と行政がともに力を合わせて活動すること

2 まち美化パートナー制度 市民等のボランティアによる、市道、河川、公園、緑地などの清掃や美化活動を支援する制度

【10】緑豊かなまちづくり

目 標	市民の憩いの場となる公園や緑地を整備していきます。	
主 な 取り組み	公園や緑地の整備と維持管理をしています。 協働による公園の整備や管理をすすめています。(ワークショップやまち美化パートナー)	
今現在の満足度は?	不満の理由は?	今後の重要度は?
満足 ←————→ 不満 5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	重要 ←————→ 重要でない 5 4 3 2 1

【11】住生活の向上

目 標	安心して快適に住めるように、良好な住環境づくりをすすめます。	
主 な 取り組み	市営住宅の管理や建て替えをしています。 宅地開発や建築などの指導をしています。	
今現在の満足度は?	不満の理由は?	今後の重要度は?
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

【12】美しい街並みづくり

目 標	住んで誇りの持てる美しい街並みをつくるため、地域の特性を活かした景観づくりをすすめます。	
主 な 取り組み	景観づくりのための計画やモデルをつくっています。 屋外広告物の規制や指導を行っています。	
今現在の満足度は?	不満の理由は?	今後の重要度は?
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

【13】公共交通機関の利用促進

目 標	市民の日常生活を支える移動手段を確保するため、公共交通の利便性を高めます。	
主 な 取り組み	自主運行バス(市バス) を走らせています。 JR新駅の設置に向けて取り組んでいます。	
今現在の満足度は?	不満の理由は?	今後の重要度は?
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

自主運行バス(市バス) 市が費用を負担し、バス事業者に委託して運行するバスで、13路線14系統を8台の車両で運行

【14】地域情報化の推進

目 標	情報化社会に対応した地域の情報化をすすめるため、情報通信技術を活用していきます。	
主 な 取り組み	メールによる行政情報の配信をしています。 市民及び小中学生へのパソコン教育を行っています。	
今現在の満足度は?	不満の理由は?	今後の重要度は?
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

豊かな心を育み活躍できるまちづくり

【15】子どもの教育の充実

目 標	ふるさとを愛し、未来をひらく、心豊かな子どもを育てるため、生きる力・確かな学力の育成と信頼される学校（園）づくりを目指します。	
主 な 取り組み	少人数学級 をすすめるとともに、教職員の資質向上のための研修を行っています。 施設の耐震化や校庭の芝生化を行っています。	
今現在の満足度は？		
満足 ←————→ 不満	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	重要 ←————→ 重要でない
5 4 3 2 1		5 4 3 2 1

少人数学級 児童生徒数 35 人以下で 1 学級を編成すること

【16】健全な青少年育成

目 標	非行に走らない健全な青少年を育成するため、家庭教育の充実、地域での青少年育成活動の充実をすすめます。	
主 な 取り組み	家庭教育に関する講座や講演会を行っています。 少年補導センターを運営しています。	
今現在の満足度は？		
5 4 3 2 1	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

【17】学習機会の充実

目 標	多様なニーズに対応した学習プログラムの提供や読書活動の推進、生涯学習施設の充実を図ります。	
主 な 取り組み	公民館講座や出前講座 を開催しています。 図書館や公民館を整備・管理運営しています。	
今現在の満足度は？		
5 4 3 2 1	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

出前講座 市が行っている仕事の中で、市民が「知りたい」「聞きたい」内容について、市職員等が講師となり、皆さんの地域へ出向いてお話しするもの

【18】文化の振興と歴史遺産の整備・活用

目 標	地域の伝統文化の継承や歴史的遺産の保存・整備・活用とともに、市民による文化芸術活動を促進します。	
主 な 取り組み	文化芸術鑑賞会（展示会やコンサートなど）を開催しています。 遠江国分寺跡など文化財の保全・整備・活用を行っています。	
今現在の満足度は？		
5 4 3 2 1	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

【19】スポーツの振興

目 標	市民の健康増進・体力向上のため、スポーツのまちづくりをすすめます。	
主 な 取り組み	スポーツ施設の整備・管理運営を行っています。 スポーツ大会やスポーツ教室などを開催しています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
満足 ←————→ 不満 5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	重要 ←————→ 重要でない 5 4 3 2 1

【20】多文化共生と国際交流の推進

目 標	日本人も外国人も地域社会の一員として、ともにまちづくりに参画する社会を目指します。	
主 な 取り組み	外国人市民への情報提供や相談窓口の設置、多文化交流センターの運営をしています。 市民の国際交流活動の支援をしています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

【21】男女共同参画の推進

目 標	男女が性別にかかわらず尊重され、あらゆる分野でともに参画できる社会を目指します。	
主 な 取り組み	男女共同参画に関する講座や講演会などを行っています。 男女共同参画センター「ともりあ」を運営しています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

男女共同参画センター「ともりあ」 男女が共に生き生きと暮らせる社会を実現するため、具体的な事業を展開する活動拠点（豊田支所1階）

安全・安心なまちづくり

【22】地域防災対策・体制の強化

目 標	地震などの被害を最小限にするため、防災対策や支援体制を強化します。	
主 な 取り組み	建築物などの耐震化に対して助成をしています。 自主防災組織を支援しています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

【23】地域防犯体制の強化

目 標	市民の安全・安心のため、地域の防犯体制を強化します。	
主 な 取り組み	地域の防犯活動団体を支援しています。 防犯灯の設置を行っています（支援しています）。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

【24】交通安全対策の充実

目 標	交通事故をなくすため、安全なまちづくりをすすめます。	
主 な 取り組み	カーブミラーやガードレールを設置しています。 交通安全教室を開催しています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
満足 ←————→ 不満 5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	重要 ←————→ 重要でない 5 4 3 2 1

【25】消防・救急体制の充実

目 標	消防車・救急車の効率的・効果的な運用を図り、安全・安心なまちづくりをすすめます。	
主 な 取り組み	消防施設（消防署や消防車など）を整備しています。 普通救命講習会を開催しています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

【26】治山¹・治水²対策の充実

目 標	大雨などによる被害を防止するため、治山・治水対策をすすめます。	
主 な 取り組み	ポンプ場を整備しています。 松くい虫の防除や森林の保全を行っています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

- 1 治山 災害を防ぐために、植林・造林などをして山を整備すること
 2 治水 水害を防ぐために、調整池や護岸整備など河川を整備し管理すること

【27】消費生活対策の充実

目 標	安心できる消費生活のため、自立した消費者の育成・支援をすすめています。	
主 な 取り組み	消費生活相談を行っています。 振り込め詐欺などに関する情報提供や学習会などを開催しています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

やさしさ、ふれあい、支え合いのまちづくり

【28】地域福祉システムの充実

目 標	誰もが地域で支え合いながら安心して暮らすことができるように、支え合う地域づくりをすすめています。	
主 な 取り組み	福祉ボランティア活動を支援しています。 地区社会福祉協議会 の支援を行っています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

地区社会福祉協議会（地区社協） 市民の皆さんが社会福祉に参加して、地域の中の助け合いを育てていくための組織

【29】子育て環境の整備

目 標	安心して子どもを産み育てることができる社会を目指し、子育てしやすい環境を整備します。	
主 な 取り組み	子育て支援センターの運営、子育て相談員の派遣をしています。 保育サービスの充実に努めています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
満足 ←————→ 不満 5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	重要 ←————→ 重要でない 5 4 3 2 1

【30】高齢者福祉の推進

目 標	高齢者が住みなれた地域で安心して暮らせるように、高齢者福祉をすすめます。	
主 な 取り組み	高齢者在宅福祉サービス（在宅介護手当、タクシー券、紙おむつ券助成等）を行っています。 高齢者相談・支援体制（地域包括支援センター など）の充実に努めています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

地域包括支援センター 高齢者およびその家族からの相談の受け、高齢者の見守り、心身の状態にあわせて支援を行う高齢者の総合的相談・サービスの拠点

【31】障害者福祉の推進

目 標	障害のある方が地域社会の一員として暮らせるように、障害者福祉をすすめます。	
主 な 取り組み	障害のある方の自立を支援しています。 障害者福祉サービスを実施しています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

【32】健康づくりの推進

目 標	各世代の市民の健康を守るため、保健予防活動の充実や食育 をすすめます。	
主 な 取り組み	健康診査や健康教室を行っています。 食育に関する情報提供や地元食材による学校給食メニューの充実を行っています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

食育 「食」に関する知識を身につけ、健全な食生活を実践できる人間を育てること

【33】地域医療体制の充実

目 標	安心して地域の医療サービスが受けられるように、地域連携の医療体制を築きます。	
主 な 取り組み	市立病院の機能強化を図っています。 夜間休日等の救急医療体制の強化を図っています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

交流と活力のあるまちづくり

【34】農林水産業の振興

目 標	農林水産業の生産力向上や安定した経営基盤をつくるため、農林水産業の振興を図ります。		
主 な 取り組み	担い手や後継者の育成支援や、生産基盤の整備をすすめています。 地産地消 ¹ ・地産外商 ² をすすめています。		
今現在の満足度は？		不満の理由は？	今後の重要度は？
満足 ←————→ 不満 5 4 3 2 1		1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	重要 ←————→ 重要でない 5 4 3 2 1

- 1 地産地消 市内で生産された農産物などを市内で消費すること
 2 地産外商 市内で生産された農産物などを市外に売り出してお金を稼ぐこと

【35】商業・サービス業の振興

目 標	地域の特性を活かした魅力ある商業地をつくとともに、新たな商業拠点を整備していきます。		
主 な 取り組み	空き店舗対策を行っています。 商工会議所・商工会への支援をしています。		
今現在の満足度は？		不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1		1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

【36】工業・新産業の育成・振興

目 標	競争力の高い産業を育てるため、産学官民の連携による新産業の創出や産業拠点の整備、人材の育成をすすめます。		
主 な 取り組み	中小企業の支援をしています。 企業誘致を行っています。		
今現在の満足度は？		不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1		1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

産学官民 産業（企業）、学校（大学など）、官公庁（市役所など）、市民等（市民や市民団体、NPOなど）

【37】観光・交流の振興

目 標	観光・交流人口を増やし、地域を活性化するため、観光の拠点・仕組みづくりをすすめます。		
主 な 取り組み	観光施設を整備しています。 観光の情報を発信しています。		
今現在の満足度は？		不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1		1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

【38】雇用環境の充実

目 標	働く意欲のある人が生き生きと働くことができるよう、雇用環境の充実を図ります。		
主 な 取り組み	求職者への適切な情報提供をしています。 自己啓発などの支援をしています。		
今現在の満足度は？		不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1		1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

計画推進のために

【39】市民の力を高める

目 標	市民が幅広い分野で活躍できるように、まちづくりに対する参加意識を高めるとともに、活動を支援します。	
主 な 取り組み	まちづくりサポーター制度 を行っています。 行政情報の提供をしています。(広報いわたの発行やホームページの運用)	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
満足 ←————→ 不満 5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	重要 ←————→ 重要でない 5 4 3 2 1

まちづくりサポーター制度 「まちづくり種をしてみたい」、「自分の持つ知識や技能を活かしてみたい」という人にまちづくりサポーターとして登録していただき、その力を借りて社会参画種を充実させたい団体などとまちづくりサポーターとを事務局が橋渡しすることにより、まちづくりやボランティア種をより盛んにしていこうという制度

【40】地域の力を高める

目 標	コミュニティ組織の充実、市民活動団体・リーダーを育てることにより、地域力を高めます。	
主 な 取り組み	自治会・自治会連合会を支援しています。 市民活動団体を育成しています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

【41】行政の力を高める

目 標	限られた財源で、より良いサービスを提供するために、行財政改革 を推進し、行政力を高めます。	
主 な 取り組み	職員削減や事務事業の見直しなどの行財政改革を行っています。 研修などの実施により職員の資質向上に努めています。	
今現在の満足度は？	不満の理由は？	今後の重要度は？
5 4 3 2 1	1. 必要ない 2. 効果が期待できない 3. 内容がわからない 4. もっと進めるべき	5 4 3 2 1

行財政改革 単なる経費節減・増収を図るだけではなく、市の事業の効率性と質を向上させ市民へのサービス効果を高めること

問12 前問の41の取り組みのうち、今後、特に重要であると思うものはどれですか？
重要だと思うものを5つまで選んで、その番号(【1】～【41】の番号)を記入してください。

--	--	--	--	--

問13 前問で選択した5つのうち、現在の厳しい経済情勢の中での限られた予算において、特に優先すべきものはどれですか？
優先すべきだと思うものを3つまで選んで、その番号を記入してください。

--	--	--

3 まちへの思いについて

問14 あなたは磐田市に愛着を感じていますか？ <1つに 印>

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. おおいに感じている | 2. 少し感じている | 3. どちらとも言えない |
| 4. あまり感じていない | 5. まったく感じていない | |

問15 磐田市は、住みやすいまちだと思いますか？ <1つに 印>

- | | | |
|-------------------|-------------------|--------------|
| 1. たいへん住みやすい | 2. どちらかといえば、住みやすい | 3. どちらとも言えない |
| 4. どちらかといえば、住みにくい | 5. たいへん住みにくい | |

問16 これからも磐田市に住み続けたいと思いますか？ <1つに 印>

- | | | |
|-----------------|----------------|--------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 2. 当分の間、住み続けたい | 3. どちらとも言えない |
| 4. できれば市外に転出したい | 5. 市外へ転出したい | |

【問16で転出したい(4又は5)とお答えの方にお聞きします】

問17 転出したい一番の理由は何ですか？ <1つに 印>

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 買い物などの日常生活が不便 | 2. 自然環境が悪い(少ない) |
| 3. 育児・教育環境が悪い | 4. 交通(通学や通勤など)が不便 |
| 5. 道路など都市基盤が悪い | 6. 住宅事情(手狭、家賃が高いなど) |
| 7. 近所づきあい(地域の人)になじめない | 8. 市に対する愛着がない |
| 9. その他() | |

問18 磐田市の魅力的な資源は何だと思いますか？ <2つまで 印>

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 国分寺跡や旧見付学校などの歴史資産 | 2. 遠州灘や天竜川をはじめとする水資源 |
| 3. 山や森などの森林資源 | 4. 桶ヶ谷沼などの自然環境 |
| 5. 輸送用機器や楽器、繊維業などの産業 | 6. メロンやお茶、シラスやフグなどの特産品 |
| 7. 掛塚屋台まつりや見付天神裸祭などの伝統文化 | 8. ジュビロ磐田などのスポーツクラブ |
| 9. 住んでいる人や出身者などの人 | 10. 特になし |
| 11. その他() | |

問19 磐田市のシンボル(自然、歴史、人物、施設など)と思うもの(こと)は何ですか？
自由にお書きください。 <いくつでも>

例：桶ヶ谷沼、国分寺、旧見付学校、ジュビロ

問20 磐田市の「現在のイメージ」として当てはまるものを選択し、あわせて、これから磐田市に「期待するイメージ」として当てはまるものを選択し、「 」を記入してください。
 <該当するものすべてに 印>

	現在のイメージ	期待するイメージ
(例)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
きれい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
元気(力強い)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
文化的	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
安全	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
便利	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
落ち着き	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
にぎわい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ぬくもり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
歴史的	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	現在のイメージ	期待するイメージ
安心	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
庶民的	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
調和	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
健康的	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
明るい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
やさしい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
楽しい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自然豊か	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
交流的	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
おもしろみ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問21 あなたが思う磐田市の良いところ(好きなところ)、良くないところ(嫌いなところ)はどこだと思いますか？
 <それぞれ3つまで 印>

良いところ(好きなところ)

1. 公共交通機関が充実している
2. 道路事情がよい
3. 買い物など日常生活が便利である
4. 医療サービスが充実している
5. 福祉サービスの水準が高い
6. 子育ての環境が充実している
7. 子どもの教育環境が充実している
8. 公園などの憩いの場が豊富である
9. 文化活動を行う場が豊富である
10. スポーツをする場が豊富である
11. 自然環境が豊かである
12. 街並みが美しい
13. 娯楽施設が充実している
14. 住まいの環境が良好である
15. 近隣の人々とのきずなが強い
16. 災害が少ない
17. 公害が少ない
18. その他()
19. 特にない

良くないところ(嫌いなところ)

1. 公共交通機関が充実していない
2. 道路事情が悪い
3. 買い物など日常生活が不便である
4. 医療サービスが不十分である
5. 福祉サービスの水準が低い
6. 子育ての環境が整っていない
7. 子どもの教育環境が悪い
8. 公園などの憩いの場が乏しい
9. 文化活動を行う場が乏しい
10. スポーツをする場が乏しい
11. 自然環境が悪い
12. 街並みがきたない
13. 娯楽施設が充実していない
14. 住まいの環境が悪い
15. 近隣の人々とのきずなが弱い
16. 災害が多い
17. 公害が多い
18. その他()
19. 特にない

4 まちづくりについて

問2 2 磐田市を魅力あるまちにしていくためには、何を優先すべきだと思いますか？ < 3つまで 印 >

1. 誰もがその人らしく安心して生活が送れるような福祉の充実
2. 子どもが健やかに育つ子育て支援
3. 医療体制や健康づくりの充実など市民の健康支援
4. 文化芸術・スポーツ活動の活性化
5. 身近な自然に親しめ、地球環境にやさしい環境への取り組み
6. 街並みや眺望の美しい景観の整備
7. ベットタウンとして快適に居住できる住環境の整備
8. 歴史や伝統を活かした風格ある歴史のまちづくり
9. 多くの人々が訪れ、にぎわいのある観光のまちづくり
10. さまざまな産業の活動が活発に行われるための産業支援
11. 事故や犯罪が少なく、災害にも強い安全なまちづくり
12. 学習環境が整い、多様な人材が育つ教育の充実
13. 地域での人のつながりを大切にしたコミュニティの充実
14. 協働の取り組みなどを通じた地域力の向上
15. その他 ()

問2 3 将来の土地利用(土地の使い方)に関して、何を優先すべきだと思いますか？ < 2つまで 印 >

1. 豊かな自然環境の保全
2. 農地の積極的な活用と生産基盤の整備
3. 公園や広場、観光施設などのレクリエーション施設の整備
4. 教育・文化・スポーツ施設の整備
5. 新たな商業用地の整備
6. 環境に配慮した工場団地の整備・企業誘致
7. 新たな住宅地の整備
8. 中心市街地の活性化
9. 現状のまま
10. その他 ()

5 産業(商業・工業・農林水産業)について

問2 4 今後、市内の産業をさらに活性化するためには、何を優先すべきだと思いますか？ < 2つまで 印 >

1. 成長が期待できる産業(企業)の誘致
2. 今ある産業を成長が期待できる産業へ転換するための支援
3. 中小・零細企業への支援や企業間の交流支援
4. 新規創業をめざす意欲ある人への支援
5. 勤労者福祉や雇用対策の充実
6. 耕作放棄地の活用や生産基盤の確保
7. 農林水産業の後継者・担い手の育成・確保
8. 地産地消・地産外商や農産物のブランド化の促進
9. 地域の商店街や磐田市の顔となる磐田駅前周辺の商店街の活性化支援
10. 市内の生産品や商品、サービスなどのブランド化支援
11. 地域の特性を活かした観光事業の充実
12. その他 ()

耕作放棄地 耕作の目的で使われておらず、引き続き使われる見込みのない農地

6 環境について

問25 地球環境を守るためには、何を優先すべきだと思いますか？

< 2つまで 印 >

1. 森林などの保全
2. 公害防止への取り組み
3. 太陽光、風力、バイオマス¹などのクリーンエネルギーの活用・導入支援
4. 学校や地域での環境学習や情報提供
5. 下水道の整備や合併処理浄化槽²設置の普及
6. ごみの減量化及び資源化・再商品化
7. 自家用車の利用を減らし、公共交通機関の利用促進
8. 電気自動車など低公害車の普及・利用促進
9. その他()

1 **バイオマス** 生物資源で、エネルギーとして利用できるもの。農業廃棄物、サトウキビ、石油に類似した液体燃料を抽出できる植物など

2 **合併処理浄化槽** し尿と生活雑排水(台所、風呂、洗濯等に使用した水)をまとめて処理する浄化槽

7 公共交通について

問26 市内には、JR東海道線、民間路線バス、自主運行バス(市バス)等の公共交通がありますが、特に自主運行バスは、大きな財政負担(年間約1億円)が課題となっています。

今後の公共交通(自主運行バス)についてどう思いますか？

< 1つに 印 >

1. 財政負担が大きくなって、さらに公共交通の充実を図るべき
2. 財政負担の大小にかかわらず利用者のある限り、現状のまま続けるべき
3. 便数・路線の縮小、運賃の値上げなどの大幅な見直しを行っても続けるべき
4. 財政負担の大きい自主運行バスはやめ、デマンド型タクシーなど別のやり方に変えるべき
5. 自主運行バスは廃止し、高齢者や障害者など対象を特定したタクシーチケット交付などの運賃補助に切り替えるべき
6. その他()

デマンド型タクシー 一般のタクシー車輛を使い、決められたコースと時間の中で、予約のあった便のみ運行する乗合タクシーのこと

8 コミュニティについて

問27 あなたは地域活動(自治会、PTA、ボランティア、趣味やスポーツのサークルなど)に参加していますか？

< 該当するものすべてに 印 >

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 自治会活動への参加 | 2. 学校行事への参加(PTAなど) |
| 3. 地域での祭やイベント活動への参加 | 4. ボランティア活動への参加 |
| 5. 子ども会・老人会などの地域活動への参加 | 6. 環境・リサイクルなどの活動への参加 |
| 7. スポーツ・レクリエーション活動への参加 | 8. 国際交流活動への参加 |
| 9. 参加していない | |
| 10. その他() | |

問28 地域活動をより活発にするための支援策として、何を優先すべきだと思いますか？

< 2つまで 印 >

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 活動機会の情報提供 | 2. 相談窓口の充実 |
| 3. リーダーの育成や研修 | 4. 小・中学校と地域との連携 |
| 5. 活動の拠点となる場所の使いやすさ | 6. 活動の拠点となる場所の整備 |
| 7. 活動に対する補助金・助成金 | 8. 自治会等組織の育成・強化 |
| 9. 組織・団体をつなぐ連絡体制 | |
| 10. その他() | |

9 福祉について

問29 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、何を優先すべきだと思いますか？

< 2 つまで 印 >

1. ボランティアなどの参加の促進や支援
2. 住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援
3. 身近なところでの相談窓口の充実
4. 在宅福祉を支えるサービスの充実
5. 保健福祉に関する情報提供や制度案内の充実
6. 健康診断などの保健医療サービスの充実
7. 高齢者や障害のある方の入所施設の充実
8. 学校での福祉や保健に関する教育の充実
9. 保育サービスなどの子育て支援の充実
10. 低所得者福祉の充実
11. 道路・商店・病院・公共交通機関などのバリアフリー化
12. その他 ()

問30 本格的な高齢社会を迎えるにあたって、何を優先すべきだと思いますか？

< 2 つまで 印 >

1. 在宅・施設福祉サービスの充実
2. 介護予防教室などの健康の維持・増進
3. 高齢者の生きがいづくり
4. 地域やボランティアで支えあう体制整備
5. 子どもと触れ合うなど、世代間交流の促進
6. 相談窓口の充実
7. ひとり暮らしの高齢者への支援
8. 公共交通など移動手段の確保
9. 老人福祉施設の充実
10. 医療体制の充実
11. 経済的な支援（医療費助成や就業機会の確保など）
12. その他 ()

10 子育て・教育について

問31 安心して子どもを生き育てるためには、何を優先すべきだと思いますか？

< 2 つまで 印 >

1. 乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実
2. 子育てに関する情報提供や相談体制の充実
3. 健康診査などの母子保健対策の充実
4. 放課後児童対策の充実
5. 公園など子どもが安全に安心して遊べる場の整備
6. 子どもが安心して登下校できる交通安全対策、防犯対策、教育保育施設の耐震化
7. 子どもを持つ親同士が交流できる機会の充実
8. 子育て家庭に対する経済的な支援
9. 手助けがほしい家庭を地域の人がボランティアで手伝う体制の整備
10. 産科・小児科医療の充実
11. 不妊治療を含む妊娠、出産に対する支援の充実
12. その他 ()

問3 2 子どもたちに対する教育を充実させるためには、何を優先すべきだと思いますか？

< 2つまで 印 >

1. 教師の指導力の向上
2. 学校施設や設備の改善・教材や備品等の充実
3. 子どもの登下校を含めた学校の安全・安心対策
4. 子どもの学力の向上への取り組み
5. 子どもの基礎的な知識や技能向上への取り組み
6. 個性を活かしのびのびとした学校生活の実現
7. 地域の食材を活かした「食育」の実施
8. 体力づくりへの取り組み
9. 1クラス35人以下とする少人数学級制の推進
10. 職業体験などの社会体験活動の充実
11. 2学期制の実施
12. 小学校と中学校の義務教育9年間に連続性を持たせて教育を行う小中一貫教育の実施
13. その他 ()

少人数学級制の推進 磐田市では平成21年度から小中学校の全学年で少人数学級を実施

11 生涯学習・スポーツ振興について

問3 3 生涯学習¹・スポーツ振興を充実させていくためには、何を優先すべきだと思いますか？

< 2つまで 印 >

1. 施設の使いやすさ
2. 施設の充実・整備
3. 情報提供の充実
4. 気軽に相談できる窓口の充実
5. グループ、サークルなどへの支援
6. 初心者向けの教室・講座・行事の充実
7. 活動成果の発表の場・大会等の充実
8. 大学などによる、より専門的で高度な学習内容の充実
9. 講師や指導者の育成
10. 総合型地域スポーツクラブ²への支援協力
11. ジュビロを活かしたスポーツまちづくりの推進
12. 具体的には分からない
13. その他 ()

1 **生涯学習** 一人ひとりが自分の人生を楽しく豊かにするために、生涯のいろいろな時期に行う学習やスポーツ、文化活動、ボランティア活動、趣味など

2 **総合型地域スポーツクラブ** 「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」スポーツを楽しむことができる社会の実現のため、地域の方が主役となって、自ら運営・管理する新しいスポーツクラブ

12 広報広聴について

問3 4 磐田市では、市の行事や行政サービスなどをお知らせするために、さまざまな広報活動を行っています。あなたは、普段、市からの情報をどのように得ていますか？ <該当するものすべてに 印>

1. 広報いわた
2. 磐田市ホームページ
3. 議会だより
4. いわたホットライン¹
5. 自治会などの回覧板、掲示板
6. 市の発行するパンフレットやチラシ
7. 磐田市コミュニケーションセンター「iぼーと」²
8. 新聞の地域版やテレビ・ラジオのニュース
9. SBSラジオ「ぼーと発! 磐田情報局」³
10. 知人・友人から
11. 市議会議員や市役所職員から
12. 民生委員や自治会から
13. 市の窓口や電話などでの問合せ
14. 特に情報は得ていない
15. その他 ()

- 1 **いわたホットライン** 携帯電話やパソコンなどのメール機能を利用して、防犯や子育て、イベントなど利用者が希望する項目を選択、登録することで、リアルタイムに情報を受け取れるサービス
- 2 **磐田市コミュニケーションセンター「ぼーと」** 「ららぼーと磐田」内にある観光や産業をはじめとした各種情報の発信拠点
- 3 **ぼーと発! 磐田情報局** 「商業」「観光」「物産」などの旬な情報を、SBSラジオ放送を活用し、毎週金曜日に発信

問3 5 あなたは、市役所からどのような情報を得たいですか？ <該当するものすべてに 印>

1. 市行政の状況など、市政の動きに関する情報
2. 市の財政状況や予算などに関する情報
3. 公民館・体育館・図書館などの施設に関する情報
4. 文化・教養・学習活動に関する情報
5. 観光・レクリエーションなどのレジャーに関する情報
6. スポーツ活動に関する情報
7. 催し物やイベントに関する情報
8. 市民サークル・団体に関する情報
9. ボランティア活動や協働に関する情報
10. 医療・健康に関する情報
11. 福祉サービスに関する情報
12. 交通安全や防犯に関する情報
13. ごみ収集などの生活情報
14. 育児や子育てに関する情報
15. 小中学校などの教育に関する情報
16. 市長や市議会の活動に関する情報
17. 気象や災害に関する情報
18. 道路工事に関する情報
19. その他 ()

問36 磐田市の魅力を全国に発信していくためには、何を優先すべきだと思いますか？

< 2つまで 印 >

1. ITなど各種ツール(ホームページやブログ)を活用した情報発信力の強化
2. 様々なマスメディア(新聞・雑誌・テレビ等)を活用した情報の発信
3. 市長によるトップセールスや職員によるPR活動の展開
4. サポーターズクラブ¹の結成など人を活用したPR活動の展開
5. 民間と連携した情報の発信
6. 近隣自治体と連携した広域的な情報発信の推進
7. 著名人によるPR(観光)大使の任命・活用
8. マスコットキャラクターの作成・活用
9. 都心部などへの情報発信拠点(アンテナショップ²など)の整備
10. 観光パンフレット・マップの充実
11. 地域ブランドの開発と売り込み(支援)
12. (大道芸ワールドカップのような)集客力のある地域イベントやB級グルメなどの創出・展開
13. フィルムコミッション³による撮影誘致
14. その他()

1 サポーターズクラブ その自治体の出身者、ゆかりのある人、市民などの個人や団体が会員となり、自治体の魅力を発信する応援団

2 アンテナショップ 地方自治体が東京・大阪などの繁華街で地元の特産品などを販売する店(サライショップなどとも言う)

3 フィルムコミッション 映画、テレビドラマ、コマーシャル等のロケーションの誘致と受入れ体制を整えた組織

13 協働のまちづくりについて

問37 平成21年度に磐田市協働のまちづくり推進条例が施行されました。「協働」とは、市民や事業者などが、地域の課題などに対し、共通の目標のもとに、共に力を合わせ、互いを信頼し、自発的に活動することをいいます。

あなたはこのことについてどう思いますか？

< 1つに 印 >

1. 住みよいまちをつくるために「協働」を積極的に推進、充実していくことが望ましい
2. 「協働」はまちづくりには必要だが、押し付けにならないよう慎重に進めるべき
3. 「協働」の意味や効果、範囲がわかりにくいので、なんともいえない
4. 「協働」には手間や時間がかかるのであまりやりたくない
5. その他()

問38 協働を推進するためには、何が必要だと思いますか？

< 1つに 印 >

1. みんなの意識の変化(協働への理解を深める)
2. 相談窓口の確保
3. 情報の提供や活動に参加しやすい仕組みづくり
4. リーダーの育成
5. 支援制度の充実
6. 活動する機会・場所の充実
7. その他()

問39 あなたは、ひとの役に立ちたいと思いますか？

< 1つに 印 >

1. そう思い、社会貢献活動(ボランティア・NPO等)を行っている
2. そう思うが、社会貢献活動(ボランティア・NPO等)への参加など、どうしたらいいかわからない
3. 思わない
4. その他()

14 行政運営について

問40 地方自治体を取り巻く財政状況は厳しく、今までの行政サービスをすべて同じ水準で維持することは難しい状況です。このような時代を迎え、これからの行政サービスの水準と市民負担のあり方についてどう思いますか？ <1つに 印>

1. 行政サービスの維持 充実を優先すべきであり、税など市民の負担が増えることはやむをえない
2. 行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担(例：公共施設利用料金等)が増えることはやむをえない
3. 財政状況に応じた行政サービスを提供すればよい(これ以上市民の負担は増やすべきではない)
4. わからない
5. その他()

☆参考 平成19年度及び21年度一般会計の決算状況(比較)

収入の部		単位:百万円		
項 目	平成19年度 収入額	平成21年度 収入額	増減率 %	
市税(市民税・固定資産税等)	30,345	27,142	-10.6	
負担金等(保育費・給食費等)	621	626	0.8	
使用料等(市営住宅家賃収入等)	971	874	-10.0	
財産収入(土地売却収入等)	209	717	243.1	
繰入金(貯金の取り崩し)	985	2,125	115.7	
繰越金(前年度余剰金)	1,812	2,390	31.9	
諸収入(預金利息等)	3,605	4,073	13.0	
自主財源 計(自己収入)	38,548	37,947	-1.6	
地方譲与税等(国の配分金)	3,867	3,574	-7.6	
地方交付税(国の財政調整金)	3,772	4,017	6.5	
国庫支出金(国からの補助金)	4,467	7,049	57.8	
県支出金(県からの補助金)	2,549	2,478	-2.8	
地方債(銀行等からの借金)	5,648	8,956	58.6	
依存財源 計(他からの収入)	20,303	26,074	28.4	
合 計	58,851	64,021	8.8	

支出の部		単位:百万円		
項 目	平成19年度 支出額	平成21年度 支出額	増減率 %	
人件費(職員等雇用費)	11,888	11,596	-2.5	
物件費(公共施設の運営費等)	8,546	8,281	-3.1	
維持修繕費(施設の修繕費)	608	561	-7.7	
扶助費(生活保護費・児童手当等)	4,537	5,163	13.8	
補助費等(各種団体助成金等)	4,019	5,866	46.0	
建設事業費(土木工事費等)	10,220	11,648	14.0	
公債費(借金の返済費)	6,905	7,441	7.8	
その他	9,211	10,642	15.5	
合 計	55,934	61,198	9.4	

問41 磐田市においても行財政改革を強力に推進し、効率的な行政運営に努めているところですが、今後さらに進めなければならないことは何だと思いませんか？ <2つまでに 印>

1. 行政組織を簡素・合理化(職員の削減等)する
2. 公共施設を整理統合し、適正な配置とする
3. 行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる
4. 重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする(事業の見直し・選択と集中)
5. 職員の意識改革を行う
6. 行政内部の経費の適正化・削減を徹底する
7. 政策の立案や予算化の検討を市民参画で行う
8. 自主財源を増やす
9. その他()

15 磐田市のまちづくりについて自由な意見をお聞かせください

問42 市民の皆さんの暮らしを豊かにするために、意見や提案(アイデア)、磐田市の将来像や夢をお持ちでしたら、ぜひ、お聞かせください。

長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。

1月31日(月)までに、返信用封筒に入れ、お近くのポストにご投函ください。

平成 22 年度 磐田市市民意識調査報告書
(概要版)

平成 23 年 3 月

発行：磐田市 企画財政部 政策企画課
磐田市国府台 3 番地 1 〒438-8650
TEL : 0538-37-4805 FAX : 0538-36-8954
E-mail kikaku@city.iwata.lg.jp